

# Working Paper Series

Working Paper #18-01

河井重蔵・弥八研究会編

河井弥八日記 一九四一年

Graduate School of International Relations

University of Shizuoka

52-1, Yada, Suruga-ku Shizuoka, JAPAN 422-8526

<http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp>

【史料復刻】

『河井弥八日記』一九四一年

前山亮吉・森山優（編）河井重蔵・弥八研究会（校訂）

目次

解題

『河井弥八日記』（一九四一年）本文

『河井弥八日記』人名録

（右開きのページ数）

iii

1

（左開きのページ数）

1

## 【史料復刻】

### 『河井弥八日記』一九四一年

前山亮吉・森山優（編）河井重蔵・弥八研究会（校訂）

#### 解題

今回復刻したのは、『河井弥八日記』の一九四一（昭和一六）年分である。当時、河井は侍従次長を辞してから四年余、貴族院議員（勅選）になって三年を経過していた。この年は、日米交渉をめぐって内閣が二度も倒れ、東條英機内閣のもと二月八日に米英との戦争を始めた、まさに運命の一年であった。

#### ・日米開戦と河井弥八

開戦は二月一日の御前会議で決定されたが、もとより最高機密であり、河井に情報が入った形跡は見受けられない。二月四日の晩に「日米会談ノコトヲ憂懼」し「睡眠不十分」との記述がある程度である。日米関係の緊張は、一月一六日に開会した第七七議会で、東條英機首相、東郷茂徳外相から説明されていた（「何レモ対米関係ノ緊迫セル状況ヲ告ケ、最後ノ決心ヲ以テ外交ニ最善ヲ尽スヘキヲ述フ」）。貴族院は本会議で「国策遂行ニ関スル決議」を全会一致で可決、趣旨説明にあたった島津忠重は、「我等ノ襟度ニモ自ラ限度ガアリマス、我方方ノ至レリ尽セリノ努力ニモ拘ラズ、尚且帝国ノ実力ヲ過小視シ、帝国ノ真意ヲ故ラニ理解セズ、敢テ我方帝国不動ノ国策遂行ヲ阻碍シテ覺ムル所ヲ知ラズ、帝国ノ名誉ヲ汚辱シ其ノ存立ヲ脅カサムトスルノ態度ヲ

改メザルモノガアリマシタナラバ、政府ハ断乎タル決意ヲ以テ所信ニ邁進セラレムコトヲ、衷心希望シテ已マナイモノデアリマス」と政府を鞭撻、全会一致で可決した。この決議は各会派から発議者が出ていたが、河井は同成会の代表として文言の調整にあたっている（一五日）。

この第七七議会は、政府が提出した三八億円にものぼる膨大な臨時軍事費（名目は「支那事変」に対応するものだが、フル水準まで整備された海軍の予算不足を補うものだった）等の政府提案を、三日間で可決して閉会した。日中全面戦争が始まった直後に開かれた臨時議會（第七二議會）以来、臨時議會が開かれるのは四年ぶりだった。定例の議會に加えて改めて臨時議會を開催したのは、予算不足解決という現実的課題に加え、米英戦について議會にそれとなく伝える目論見が皆無だったとは言えない。ある委員會の席上で陸軍省の佐藤賢了軍務課長が対米英作戦構想を口走って議事録から抹消したとか、秘密会を開催して議員に遠回しに説明していたという証言もある（『石井秋穂大佐回想録』厚生省引揚援護局、一九五四年）。もとより、衆議院も「国策遂行ニ関スル件」を一八日に全会一致で決議、提案者の島田俊雄は「一日モ速ニ断然処置ニ出デラレ」と政府を突き上げていた。日本中が、熱狂の渦に包まれようとしていたのである。河井は前述のような立場だったが、一八日に「外務大臣カ外交上ノ報告ヲ議會ニテ行フ場合ハ、本會議ニテセラルルヤウ政府ニ要望」している。その

要望は七七議會ではかなえられなかったが、貴族院のチェック機能を果たそうとしていたと言えよう。

河井の日米戦争観だが、直接的な記述はないものの、開戦の捷報に沸き立った一二月八日、たまたま開かれた三七会で「一同記念スヘキ会合ナリシヲ喜び、歎ヲ尽シテ散会」したとの記述がある。大戦果の報に、素直に喜んでる様子が窺える。そして、一六日に開会された第七八帝国議會で全会一致で採択された貴族院の「陸海軍ニ対スル感謝決議案」では、河井は発議者として名前を連ねている。

しかし、この年が始まった段階で、一二月の対米開戦を予測できた者は皆無に近かったであろう。四一年当初は前年に引き続き、近衛新体制運動と河井ら「旧勢力」の攻防が続いていた。まずは、その状況を確認してみよう。

#### ・新体制運動の退潮

四〇年一〇月一二日、大政翼賛会が発足したが、近衛文麿総裁は発会式で「臣道実践」を強調、予定された綱領と宣言を発表せず、一同を哑然とさせた。運動推進派の期待とは裏腹に、既に近衛は腰砕けになっていたのである。折しも著名な憲法学者である佐々木惣一が、『中央公論』一〇月号で新体制運動の議會否定を非立憲的と批判していた。

近衛の弱腰は、一二月に平沼騏一郎（無任所國務大臣）、柳川平助（司法大臣）ら「精神右翼」らが入閣したことで、いつそう明

らかとなった。新体制運動の「革新」性は急激に薄まってきてきたのである。

新体制運動は、政治・経済・官界などさまざまな領域で国家が統制力を発揮することをめざしていた。特に経済新体制では、資本主義経済を統制経済に改造するため、資本と経営の分離や利潤統制など、共産主義を連想させる政策が立案されていた。私有財産の否定にまで行き着きかねない改革は、経済界を中心に広範な警戒心を引き起こした。そのような懸念を払拭するため、一二月八日に閣議決定された「経済新体制確立要綱」は、微温的なものに変貌を余儀なくされたのである。これにより第七六回帝国議會に提出が予定されていた戦時緊急体制法案は、一転して見送られることになった。

#### ・第七六議會における攻防

四〇年一二月二四日に召集された第七六議會では、貴衆両院共に翼賛会の「政治性」を問う質問が相次ぎ、新体制運動が挫折に追い込まれた事が知られている。河井は、この動きの貴族院における要となり、さらに関連法案に対して独自の立場から修正を要求している。三つの局面をⅠ翼賛会の骨抜き化、Ⅱ国防保安法、Ⅲ治安維持法改正案の順に見ていこう。

#### Ⅰ 翼賛会の骨抜き化

佐々木惣一は、先述の論考に続き、『改造』四一年二月号に「大政翼賛会の憲法上の論点」を掲載、翼賛会を「幕府」的存在と批

判した。仮に大政翼賛会を政事結社とすると、明治憲法に法的基盤を持つ既存と政府・議会との関係はどうなるのか、それは新たに「幕府」をつくることになるとの指摘である。河井らの懸念も、軌を一にしていたと思われる。

河井は主に伊澤多喜男の判断を仰ぎながら同成会の結束をはかり、三派聯盟（同成会・同和会・交友倶楽部）さらに研究会や公正会のメンバー、衆議院の反対派とも連絡しながら、翼賛会への対抗措置を講じていたことが日記から読み取れる（森山優「河井弥八と戦時体制 一九四〇、四一年の日記から」河井弥八記念館第六回講演会レジュメ、二〇一七年三月二日）。また、報徳社に対しても軽率妄動を戒める対応をとった。

貴族院における翼賛会批判の「最高潮」は、二月六日の岩田宙造（同和会）の質問だった（翼賛国民運動史刊行会編『翼賛国民運動史』一九五四。伊藤隆『近衛新体制』中公新書、一九八三）。岩田は翼賛会を「幕府的勢力ヲ作ル因ニナル」と激しく批判し、近衛首相には翼賛会の機構改編を約させ、平沼内相からは翼賛会は治安警察法上の「政事結社」ではなく「公事結社」であるとの言質をとったのである。しかし、それがそのまま自動的に政府の方針に反映されるわけではない。この時期、河井は運悪く風邪をこじらせ、ようやく登院したのは一九日のことであった。二一日、河井は「三派少数者」に研究会の田口弼一が加わったメンバーで打ち合せをおこない、委員会一致の

決議で政府に翼賛会の機構改編と人事刷新さらには予算緊縮を突きつけることを申し合わせた。他派が応じない場合は三派のみでも「堂々之ヲ主張シテ記録ニ留」める覚悟を決めたが、同時に衆議院の動向にも留意するなど、目配りも欠かさなかった。

衆議院では、二二日、翼賛会の予算を削減する修正案が提出された。一五年度予算六五万円を二五万円に、一六年度予算八〇〇万円を三〇〇万円に、それぞれ削ろうという案である。翼賛会の有馬頼寧事務総長は前日の日記に「否決してみる、そして運動がどんなになるか。議員の人達は何を血迷ふて居るのか」と強気の言葉を記している（尚友倶楽部・伊藤隆編『有馬頼寧日記 四』山川出版社、二〇〇一年）。結局、修正案は予算委員会と本会議ともに賛成少数で否決された。

河井は二五日に開かれた貴族院予算委員会を傍聴したが、ここで質問に立った岩田、丸山鶴吉（同成会）、大河内輝耕（研究会）は、翼賛会違憲論、既存統治機構との関係、思想的背景（私有財産否定）、予算規模と用途等の問題で政府を追及した。結局、予算削減の動きは出なかったが、翌二六日に全委員一致の形で希望決議を提出すべく各派の交渉が始まる。予算委員会を休憩して懇談会による調整がはかられたが、河井によれば事態は紛糾した。結局、各派一名ずつの小委員による協議で成案を得ることになる。このような「速記録」では窺えない状況を知ることができるのも、日記の醍醐味である。

これを承けて二七日の予算委員会では、翼賛会予算の削減と機構改編・人的構成に対する希望決議を全会一致で採択、翼賛運動が「徒ラニ経済組織及国民ノ私生活ニ対スル脅威圧迫ヲ加フルカ如キコトナカラシメンコトヲ望ム」と釘を刺したのである（第七十六回帝国議会貴族院予算委員会議事速記録第十二号）。さらに貴衆両院の翼賛会改革論者は三月六日に会合を開き（河井は欠席）、一二日の同成会例会でも改組について意見を交換している。

新たな権力核たらんことを目ざした翼賛会は行政補助機関と位置づけられ、四月の改組で「革新」色の強い有馬ら中心メンバーは翼賛会から放逐される。「革新」勢力に対する「旧勢力」の勝利であった。しかし、河井は翼賛会が改組した四月に入っても小笠郡での翼賛会の動向を警戒している。

このように、貴族院が一致して反対にまわったことで、翼賛会の骨抜き化が成功したが、ほぼ同時並行的に議論されていたⅡ国防保安法とⅢ治安維持法改正案では様相を異にした。これらについて、貴族院各派は問題意識を共有しつつも足並みが乱れ、政府案を掣肘することができなかったのである。まずは国防保安法について見てみよう。

## Ⅱ 国防保安法の修正案提出

政府は第七十六議会に国防保安法を提出し、国家機密を外国に漏洩することに厳罰でのぞむ姿勢を示した。この法律で規定する

国家機密とは「国防上外国ニ対シ秘匿スルコトヲ要スル外交、財政、経済其ノ他ニ関スル重要ナル国務ニ係ル事項」とされ、具体的には「御前会議、枢密院会議、閣議又ハ之ニ準ズベキ会議、帝国議会秘密会に付せられた事項（準備した事項を含む）」と会議の議事、さらに「其ノ他行政各部ノ重要ナル機密事項」で、それらを表示する図書物件を含んでいた（第一条）。問題は、何が国家機密にあたるかが曖昧だったことである。どういうものが機密とされるかで機密の範囲が外国に知られる可能性があり、法令に明記するわけにはいかない。しかし、範囲を明記しないと「行政各部」が恣意的に運用して歯止めがなくなるおそれがあった（林武ほか「軍機保護法等の制定過程と問題点」『防衛研究所紀要』一四・一、二〇一一）。衆議院では一月二二日から審議に入る。衆議院は、機密の範囲を各大臣が機密事項として決裁したものとする、政略に利用したり人権蹂躪は「断ジテサセナイ」という答弁を政府側から引き出して一定の歯止めをかけ、二月八日に可決した。

無修正可決を当然視する観測が流れる中（「貴院の無修正可決は確実視」『東京朝日新聞』二月九日）、貴族院は一二日から特別委員会を開いて審議を開始した。ここで問題となったのは、衆院と同様、「機密」の範囲とその運用であった。機密の範囲を定めた第一条の審議のみで、二日を要したのである。予想を覆し、貴族院では修正案が提出された。当初は議論に加わっていた最大会

派の研究会が及び腰となったため、修正案提出の原動力となったのは三派だった。予算委員会で大政翼賛会に対する前述の批判が展開された二五日、修正案が作成され、河井は賛成演説者を求めて岩田に電話で連絡している。翌日、岩田から松本丞治に断わられたとの連絡があり、河井は田口に研究会の形勢を問うなど情報を収集している。結局、賛成演説は法曹界の重鎮であった小原直（発議者六人の一人）があたることとなった。

発議者の一人松村義一（公正会）は「條文全体ヲ見マシテ練熟セラレテ居ラヌ〔中略〕推敲ガ足ラヌ〔中略〕政府提出ノ法案ニシテ是程練熟セラレナイ法案ハ極メテ稀デ〔中略〕未ダ曾テ見タコトハゴザリマセヌ」とこきおろし、この法案が可決されると「国民ノ不安ヲ招クコト極メテ大」と修正の必要性を訴えた。審議過程で出た論点を大ざっぱにまとめると次の三つであった。第一に、第一条の規定では秘密の範囲が不明確で、拡大解釈の危険性があること。政府は公示すると説明したが、法の要件に入っていないため、濫用の可能性が否定できない。また、御前会議や帝国議会の秘密会などという規定は、国家の最高機密を扱う立場の人間が外国と通ずる可能性を示唆している。そのようなものに接する機会がない国民にとっては、国の指導者へ不信任を抱かせる悪影響が懸念されるというわけである（わずか八ヶ月後に発覚したゾルゲ事件で本当に起こってしまったが）。このため、修正案では、具体的な会議の名称を削り、その代わりに「事項及図書物件

ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」と機密の対象を明確化した。第二点は、検事と司法警察官の権限が拡大されることであった。被疑者の勾留や尋問を司法警察官にも可能とすれば、所謂「岡ツ引根性」で「捕ヘテ来テカラ泥ヲ吐カセル」ようなやり方で使われる危険性がある（林博太郎委員長の説明）。さらに、現行制度では検事は公訴提起前には原則として被疑者に強制力を用いることができないが（できるのは判事のみ）、この法案ではそれが可能となっている。歴代の司法大臣や検事総長が人権擁護を訓示しても効果がないので国民が不安に思うのも当然（小山松吉）であり、小原は冤罪の場合でもいったん疑いをかけられたら家族まで売国奴の烙印を捺される危険があると指摘した。第三は、三審制を二審制に改めた点である。小原はこれを人権尊重と誤判防止の観点から「許スベカラザル所ノ暴挙」と厳しく批判している。

修正案は第一条に関するもののみ記名投票で、残りは起立採決となった。賛成は七七、反対一六三で修正案は否決される。三派の賛成票は五〇票、同和会の一名を除き出席者は全員賛成票を投じた。うち同成会は一五票を占めている。残りの修正案も起立少数で否決された。結果は伴わなかったが、三派以外の議員も賛成することで、貴族院の存在意義を示したとも言えよう。修正案の賛成演説のなかで小原直は、政府案に賛成することが翼賛議会の責任という声に対し「憲法政治ノ精神ヲ誤解シ、帝国議會ノ權能ト職責トヲ誤ルモノデアル」と所信を述べ、さらに重要法案だか



ら修正を差し控えた方がよいという雰囲気には「何タルコトデアリマスカ、是コソ実ニ弱イ者イジメノ議論デアル〔中略〕重大ナル欠点ガアツタナラバ是非共之ヲ修正シテ完全ニ近イモノニスルト云フコトコソ、議會ノ権能デアリ、職責デアルコトヲ確信スル」と苦言を呈した。河井は「松村義一、小原直岡氏ノ演説最佳ナリ」と書き留めている。

### Ⅲ 治安維持法改正案

第七六議会に提出された治安維持法改正案は、それまでの治安維持法を、さまざまな観点から強化する内容だった。なかでも、取締の対象を結社の組織・加入・目的遂行のための行為から、準備・宣伝・扇動にまで拡張したことは大きい（これにより、翌年の横浜事件のでっち上げに法的根拠を与えた）。

貴族院は一九三四（昭和九）年、治安維持法の強化に反対し、廃案に追い込んだ経緯があった。その時、特に問題となったのは、予防拘禁制度の導入だった。しかし、貴族院は、当時横行していた官憲の横暴を例に挙げて予防拘禁制度の導入に懸念を示し「運用其ノ宜シキヲ得ナクッタナラバ、非常ナル社会不安ヲ招クコトハ疑ヒナイ」（岡部長景）と指摘しながらも、可決成立させている。河井ら三派は修正案を用意したが、既に国防保安法が貴族院を通過したため、人権上問題視された刑事手続きについての修正は、権衡をとる観点から見送りとなった。残された修正点は「旧勢力」としての性格が反映されている内容である。それは取締対

象を「国体変革」と「私有財産制度」否認に加え「憲法ニ定ムル統治組織ノ機能ヲ不法ニ変壞スル」ことにまで拡張しようというものであった。なぜ、このような条文を追加しようとしたのだろうか。

審議の過程で次田大三郎は、政府案で準備・宣伝・扇動が罪となるのは「国体変革」のみであり、「私有財産制度ヲ否認」する場合は除外されているのは何故かと質問した。要するに、これは新体制運動の一部が唱える財産奉還論などの宣伝・扇動を治安維持法の対象とせよという意味である。さらに次田は、現実に政治家に対してテロを実行した右翼が、なぜ取締の対象にならないのかと政府を糺した。右翼だろうと左翼だろうと、明治憲法体制を揺るがす者は取り締まれ、これが「旧勢力」のスタンスである。しかし、修正案についての各派の態度は足並みが揃わなかった。河井によれば「研究会先ツ豹変シ、次テ公正会軟化ス。三派ハ再ヒ議場ニテ修正案ヲ争ハントセシモ、同和会ノ結束乱レシヲ以テ断念」したという。結局、貴族院は「思想犯罪ノ絶滅ヲ期スベシ」と結ぶ希望決議を満場一致で可決して委員会を閉じた。ただ、決議の賛成演説に立った山岡萬之助が「左右両翼ヨリ述べラレタル所ノ、私有財産制度ニ付テハドウシテモ取締ラナクテハナラヌ」と述べたように、新体制運動への警戒心が、このような形で表現されたとも言えよう。当時の雰囲気について藤枝の文学者小野庵保藏は、「資本主義が行

き詰つてしまつたのだから、次に來るのは、社會主義の國家組織だらうとは、誰も一致して描いた想像だつた〔中略〕ある有力者は、新體制が進歩すると、金持なんかはみんな財産を提供しなければならぬと威かされ」たと記している（小野庵保藏「田舎哲学記（抜粋）」一九四一年一〇月校正ゲラ、藤枝文学舎を育てる会小野庵研究会『小野庵保藏集』二〇〇三年四月、藤枝文学舎を育てる会）。

翼賛会が改組されても、このような雰囲気は続いていた。河井は、日米開戦直後に文部省で開催された第五四回報徳経済学研究会で、会員から「議會否認ノ如キ発言」があつたため「正確なる意見」を發表したと記している。

以上みてきたように、貴族院は、その独自の立場から政府に注文をつけることで、存在意義を示そうとした。なかでも、河井は同志と共に、時流に流されず自己の所信を表明する立場を貫いた。それは一面では成功したが、全般的には「歴史作り」に終わらざるを得ない結果となつた。

・農業生産と河井弥八

一九四〇年は前年の朝鮮米の不作により、米の需給が逼迫した年だつた。四一年は朝鮮米こそ復活したものの（それでも三八年の移入量の三分の一）国内生産は約一二パーセント減で台湾からの移入も三割近く減少したため、外米の輸入が急増し、国内でまかなえたのは全体の八割（六〇八七万石余）に留まつた（全国食

糧事業協同組合連合会調査部編『戦前戦後米麦流通統計要覧』全国食糧事業協同組合連合会、一九五二）。食糧の増産は、緊急の課題だつた。

河井は、昨年の甘藷生産の実績を、全国的な増産に結びつけようと、積極的に活動している。戦時期の河井と丸山方作の活動については前田寿徳「戦中・戦後における「大日本報徳社」の甘藷増産活動に関する研究」、『丸山方作日記』『河井弥八日記』の分析を中心に、その(1)・その(2)『淑徳大学総合福祉学部研究紀要』三七・四〇、二〇〇三・二〇〇六に詳しい。河井の活動は特に翌四二年から活発化するが、四一年は学習活動と宣伝活動が目をはく。なかでも後者は貴族院議員という立場を最大限に利用して、今風に言えばメディアミックス的な展開を遂げている点、注目されよう。

最もオーソドックスな形態は、講習会・講演会の開催だつた（主に丸山方作に依頼したが、本人が講演することもある）。地元遠州はもとより富山県、新潟県、神奈川県と幅広い。開催にあたっては地方官僚と綿密に連絡をとり、場合によっては自ら聴講者の選定にあたつてゐる。東京宅でも、町内会長に講習会参加者の推薦を依頼している。農林省や皇室に対する働きかけにも熱心だつた。牧野伸顕、一木喜徳郎らは言うに及ばず、地方官僚や知人ら会う人ごとに甘藷の宣伝を続けた観がある。

また、河井は新しいメディアであつたラジオ放送にも着目し

た。日本放送協会に働きかけて丸山の「甘藷栽培ノ体験ヲ語ル」と題する講演を全国放送させたが、放送前に農林省に働きかけて事前に全国の新聞に予告を掲載させている。放送原稿は『日本農業新聞』に掲載され、さらに赤木正雄を通して全国治水砂防協会に印刷を依頼している。印刷された三百部を送られた河井は、一両日中に発送を終えた。

収穫期に入ると、河井の活動は、さらに活発化する。一月六日には日本映画社の撮影班を南郷村に案内し、試験地の収穫状況を撮影させている。これは一日の『日本ニュース 第七五号』のなかで「全国農村に拡る食糧増産運動」として取り上げられ、全国の映画館で上映された。丸山式の盛り畝と作付け方法（丸山の説明付き）、たわわに実った芋づるを河井らと持ち上げている映像を現在も見ることが出来る（NHK「戦争証言アーカイブス」）。その直後、河井は収穫した甘藷を貴衆両院で展示している。時あたかも解題冒頭で言及した第七七議会で「国策遂行ニ関スル決議案」が採択された翌日であった。日米関係の緊迫に伴い、傍聴者や議員で食堂も「大満員」だったため、「異常ナル関心ヲ喚起シ」「多数議員ヨリノ熱心ナル質問ヲ受」けたという。

開戦後、河井の日記は甘藷関係の記述で埋められていく。甘藷生産の全国普及に報徳社もあけて邁進することになる。この年の日記の記述が大晦日、丸山が執筆した甘藷栽培法の新版への「序文ヲ起草ス」という一文で締めくくられたのは、象徴的である。

他にも日記の記述は多岐にわたるが、紙幅の関係からこの程度にとどめたい。『河井弥八日記』は歴史を振り返る上での宝庫と言うにふさわしい。

#### 河井重蔵・弥八研究会について

参考のため、河井重蔵・弥八研究会についての前回のワーキングペーパーの文章を一部加筆修正して掲載する。

二〇〇二年、掛川市は、河井家から旧河井邸と土地、土蔵等に納められていた河井重蔵と弥八関係の膨大な旧蔵史料を譲渡された。史料の全貌を把握して河井家に報告する必要があるため、掛川市教育委員会が二〇〇三年に開始したのが、新たに立ち上げられた河井家寄贈資料目録作成調査委員会による目録作成事業である。既に弥八の侍従次長時代の日記が、岩波書店から復刻されていた（一九九三―一九九四年）。これらの史料の価値については、今さら論じるレベルではないことが、当初から想定された。北原勤の呼びかけに応じた地域史研究者を中心に、掛川市教育長から委嘱された一〇名ほどの調査員が、主に夏・冬・春の休みの期間（高校教員を主要メンバーとしていたため）、旧河井邸での任にあたることになった。途中、中断時期はあったが、二〇〇七年まで事業は継続された。夏は冷房がなく締め切った部屋の中で、冬は隙間風に苛まれながらという悪条件の作業だったが、一部は埃まみれとなっていた膨大な

史料群との格闘が、往事を偲びつつ続けられた。

現在、確認されているだけで、史料数は四万余点にのぼる。

河井重蔵と弥八の巨大な政治活動を窺わせる史料群である。まだ調査が完了していない段階だったが、北原勤が『近現代日本人物史料情報辞典3』（伊藤隆・季武嘉也編、吉川弘文館、二〇〇七）に、「河井重蔵・弥八」の項目を執筆したことで、河井家史料の存在が全国の研究者に知られることになる。その後、諸事情により、史料の閲覧が困難な状況が続いたが、旧河井邸が取り壊された跡に南郷地域生涯学習センターが建設され、敷地内に残る土蔵を改装した河井弥八記念館も二〇一二年に開館となった。史料は教育委員会に申請すれば、閲覧可能である。

河井重蔵・弥八研究会は、上記の事業で調査員を務めた者達を中心として、若干のメンバーを加え、二〇一二年に発足した。二〇一八年三月の構成は、下記の通りである（調査員経験者は\*を付した）。

北原勤\*（元静岡県立高等学校教諭 地域史）

見城悌治（千葉大学国際教養学部・准教授 日本史学、日本近代思想史）

小池善之（静岡県近代史研究会事務局長 日本近代思想史）

清水実\*（元静岡県立高等学校教諭 地域史）

前山亮吉（静岡県立大学国際関係学部教授 政治学、日本政治史）

森山優\*（静岡県立大学国際関係学部教授 日本史学、日本近代史）

山本誠\*（静岡県立科学技術高校教諭 日本近世文学）

二〇一二・一三年度に、静岡県立大学教員特別研究費「戦後政治と参議院 河井弥八文書を中心に」が採択され、史料調査と判読作業が開始された。調査の過程で、二〇〇七年までの史料調査では把握できなかった新史料も発見され、研究が深化しつつある。二〇一四年～二〇一七年度は、静岡県立大学教員特別研究費「河井家文書と日本政治（河井重蔵・弥八を中心に）」として採択され、河井重蔵関係文書も加えて研究を進めている。日記復刻の成果は『河井弥八日記 河井弥八手帳 一九五二年』（二〇一四年八月、静岡県立大学大学院国際関係学研究科ワーキングペーパー#14・1）、『河井弥八日記 一九四〇年』（二〇一六年三月、静岡県立大学大学院国際関係学研究科ワーキングペーパー#16・1）として出版され、河井重蔵宛の田中正造書簡は「田中正造の新発見資料（書簡と風刺画） 掛川市所蔵河井家文書調査より」『静岡県近代史研究』三九、二〇一四年一〇月）に復刻し、特に後者は静岡のみならず正造の地元栃木県でも大きく報道されるなど、マスコミにも反響を得た。これは、北原・山本・見城・清水が復刻の中心となり、他のメンバーがこれを補完する形で完成させたものである。

また、河井弥八記念館での講演会（掛川市南郷地区区長会と

河井文書研究会の共催）には講師を派遣して研究成果を講演してきた。参考までに今までの報告者と題目を以下に示す。

第四回 見城悌治「河井重蔵と田中正造の交流―田中正造書簡の内容を中心に」（二〇一五・三・一四）

第五回 清水実「浜松県地租改正と交換米問題、小笠地域の地価修正運動と河井重蔵」（二〇一六・三・一三）

第六回 森山優「河井弥八と戦時体制―河井弥八日記一九四〇・一九四一年から」（二〇一七・三・一一）

第七回 北原勤「点描・河井重蔵―河井重蔵書状より」（二〇一八・三・一〇）

今回、日記の筆耕は清水・山杳・森山・北原が分担した。原稿化の前段階で、一部の筆耕を関口哲矢氏（大同大学等講師）にお願いした。記して謝意を表したい。解題は森山が執筆し、本文全体のチェックは清水・山杳・北原・森山が、人名録は清水・山杳・森山が作成し照合には北原・見城の各氏にも参加いただいた。

河井弥八日記  
一九四一年

凡例（書式について）

- 1 仮名遣いは原文のままとした。
- 2 句読点は適宜補った。日記の日付同一行の天候、健康などの句読点は、原文の通りとした。
- 3 旧字は基本的に常用漢字に置き換えるが、人名は表記のままとした（正字は正字、略字は略字）。
- 4 一行に二行書いている場合（註的な意味で）は≧≧で括った。
- 5 ママ カ 「ヨゴレ」「ニジミ」などは、ルビと同様に文字の横につけた。
- 6 本文中の空白は、文字数程度の幅のかっこをとり、「空白」とした。
- 7 「総裁」を「総オ」と書くなど、日記ゆえの簡略化については、分かりにくい場合は、文字の横にかっこ「」で正確な字を記載した。
- 8 アルファベット、算用数字は基本的に半角横書きとした。
- 9 抹消部分は、単なる書き間違いを除き、筆耕して抹消線を引いた。
- 10 欄外に記入されている場合は、その日付の最後に「以下欄外」として記入した。
- 11 日記は、日付が変わるごとに、空白一行を挿入した。
- 12 現在では差別的表現と受け取られる記述があるが、歴史的史料のため原文通り記載した。
- 13 プライベートな問題に関する記述については、一部復刻を見送った部分がある。

一月一日(水) 晴 寒

○昨夜十一時発熱三九・一二達ス。今朝十時三八・五、十二時七・九、二時八・〇、六時八・八ニ達シ、爾来大ナル上下ナシ。高熱ニ拘ラス気分案外悪シカラス。堀先生午後来診、最近流行中ノ感冒ナリト断セラレ、専ラ肺炎予防手当方ヲ注意セラル。

○例年ト異リ、宮中拝賀ノ礼ヲ欠キ遺憾甚シ。

○来賀ノ客若干アリシモ、昏迷其名ヲ記セス。

一月二日(木) 晴 寒

○昨夜睡眠困難ナリ。体温三七・八(十時)ヨリ七・五ニ下降(十二時)セシモ、大体七・五ノ辺ヲ上下ス。

食餌ハ朝夕各一回、便通ナシ。堀先生来診ス。

○小林次郎氏其他数氏来賀セラル。今回静岡県教育課長ニ転任セル五十川捨造氏来訪セシモ面会セス。

一月三日(金) 快晴 暖

○昨夜睡眠完カラス。午前三時過ニ及フ。今朝体温三七・五ヨリ漸次下降シ、終日三七・二ヲ持續ス。食量ハ朝昼夕共ニ一椀程度ニシテ便通三回アリ。始メテ昨年来ノ宿塊ヲ一掃セシ感アリ。

堀先生来診セラル。最早肺炎ノ虞ナシト断セラル。

○要ハ流行感冒ノ病状著明トナル。平臥中絶エス心痛ヲ漏ス。

○重友ヲシテ大日本報徳社ニ対シ、来十日以後新年常会ニハ出席シ難キコトヲ電報セシメ、又詳細ハ手紙ニテ申送ラシム。年末手当受領ノコトヲモ併記シテ謝意ヲ表ス。

○重友ハ山崎博士(泰治同伴)、久保春海氏、山崎昇二郎等ヲ訪賀ス。

○榛葉孝平氏ハ電話ニテ予ノ病氣ヲ知り、特ニ来リテ見舞ハル。面会出来サリシヲ遺憾トス。特効薬Cold Tablet十二錠ヲ贈ラル。

○瀬古保次、内田明、阿川昌朝、其他数氏来訪セラル。久保應助氏亦来賀ス。

〔欄外〕

○泰治ノ為ニ夜、松浦永次郎氏ニ宛依頼書ヲ認メ、明日之ヲ持チテ艦政本部ニ往訪セシムルコトトス。

一月四日(土) 快晴 甚寒

○昨夜モ三時過マテハ睡眠出来スト雖、心中些ノ凝滞ナシ。終日平臥ス。体温朝八時三七・二ヨリ夕六時三七・六ノ間ニ在リ。十時頃三六・四ニ降リシモ恐クハ体温器ノ見誤ナラン。食事ハ朝雑煮一、午温<sup>マ</sup>飩一、夕粥一ヲ摂ル。何レモ相当量ノ副食物ヲ食ヘリ。林檎、蜜柑、ウイスキ―ナトモ食ス。咳減シ、漸ク快方ニ趨ケルヲ知ル。午食



後、榛葉氏恵投ノ「クールタブレット」六箇ヲ頓服ス。

○要ハ体温低下シ来リ、午後ハ三六度台ニ入ル。相変ラス心神憂鬱ニシテ氣苦勞多シ。夕食後、女中ヲシテ身体ヲ按摩セシメシニ大ニ鎮靖ニ帰ス。

○午前中書留郵便ヲ以テ大政翼賛会入会ハ「考慮中」トノ返事ヲ發ス。同成会月番柴田善二郎氏宛ナリ。

○旧臘小林嘉平次氏逝去ニ付、嗣子誠一氏ニ対シ、弔電ヲ發ス。

○本日、來訪客米山梅吉氏、高尾亮一氏、大谷忠四郎氏、赤木正雄氏、久保春海氏、東照宮々司岩崎保治氏代主典岡本実氏、八木四郎氏等ナリ。

#### 〔欄外〕

○重友ハ三時過發ニテ遠州へ赴ク。

○泰治ハ松浦永治郎氏ヲ海軍省ニ訪ヒシニ不在ノ為（行違）面会ヲ得サリシヲ以テ、午後逗子ニ同氏ヲ訪問シ、海軍造兵將校出願ノコトヲ告ケテ指導ヲ乞フ。

○石野元治郎氏旧臘負傷セルヲ以テ、重友ヲシテ見舞ハシム。

一月五日（日）快晴 寒

○昨夜モ三時過マテ睡眠出來ス。今朝体温計破壊ノ為、計ル能ハス。十一時三七・六、三時三七・二、六時三七・六、九時三七・二、食量朝一、昼一、夕二、次第第二進ム。干

柿ヲ食ヒシニ甚美味ナリ。大便通ナシ。

午後三時頃、堀先生來診ス。少シク氣管支ヲ犯サレタルヲ以テ辛子湿布ヲ施サル。夜七時頃之ヲ再行フ。

○泰治ハ午前九時發燕号ニテ大阪ニ赴ク。昇三郎方ニ泊ル。

○午後大森しづ子、くみ子同伴來訪ス。

○米山梅吉氏ヨリ電話ニテ病状ヲ尋ネラル。

○要ハ平温ニ復シタルモ咳多シ。氣分昨日ニ異ラス。

一月六日（月）快晴 寒

○昨夜モ三時過マテ睡眠セス。体温八時三六・五、十一時三七・四、二時三六・四ニシテ大体三六・五ノ辺ヲ上下ス。氣分大ニ宜シ。食事三回、漸次其量ヲ増加ス。大便通一回アリ。辛子湿布三回、大ニ効アリ。

○要ハ午前中ハ病勢惡シ。殆狂態ニ近シ。午後ハ沈靜。睡眠多シ。

○同成会三浦安藏氏ニ依頼シ、三派（同成、同和、交友）議員名簿ヲ作ル。

○朝比奈アキ子ヨリ電話アリ。一家全員流感中ト云フ。

○角替ふみ子、午後來訪ス。夕刻帰ル。二十「一字空キ」日頂戴セシ御菓子ヲ呈シ、老夫人ニ送ラシム。

○鷺山恭平氏ヨリ電話ニテ病状ヲ見舞ハル。明日一木社長ヲ訪問シ、重要社務ニ付協議スト云フ。病氣ノ為出席ヲ断

ル。氏ハ本日、田辺理事、小野教学部長ト共ニ上京、今城館ニ泊セリト云フ。

○直子ヲシテ一木社長ニ電話セシメ、明日ノ集会ニ参同ヲ断ラシム。

○重友夜十一時頃帰宅ス。昨今両日所用ヲ果シ、十一時五十八分ニ乗レリト云フ。

○夜十二時過、館林三喜男、大中寺ノ修行ヲ終ヘテ来リ泊ス。

一月七日（火）曇 雨雪模様 冷

○昨夜二時ヨリ今朝ニ亘リ睡眠ス。四時惡寒アリ。体温三七・五、八時三六・九、十時三六・六、二時三六・五、四時三六・四。

咳殆出テス。食欲益回復ス。依テ其狀況ヲ堀先生ヘ報告ス。

○要ハ平温ニテ睡眠稍多キモ覺ムレハ憂鬱ノ言ヲ発ス。其状一層昂進ス。

○要ハ館林ヲ枕頭ニ招キテ不安ヲ慰フ。館林大ニ慰撫ス。

○地方長官ノ異動発表セラル。館林三時十分發、前橋ヘ帰ル。

○重友ハ本日ヨリ会社ヘ出勤ス。

一月八日（水）雪三寸余 寒

○昨夜十一時ヨリ快眠。朝七時半覺ム。気分大ニ宜シ。

体温八時三六・一。正午三六・六。四時三六・五。八時三

六・六、食欲正常、大便一回ニシテ、鷺山氏等ニ面会一時間計リナレモ、異常ナシ。殆全快ナリ。

○要ハ精神不安減退セス。咳發甚シキヲ以テ九時頃辛子湿布ヲ行フ。

○朝、塚本清治氏ニ電話（代人）ニテ勅選会及三派会ノ会日ニ付意見ヲ問フ。其結果、二十日頃三派会開催ノ希望ヲ以テ江口定條氏ニ電話（代人）シ、岡喜七郎氏ト協議決定ヲ乞フ。

○二時頃、鷺山恭平、小野仁輔両氏來訪セラル。強メテ面会ヲ為ス。昨日社長宅ニ佐々井、鷺山、田辺、小野四氏集会シタル結果、(1)甲種乙種定款ニ在来ノモノハ其儘トシ、新二時勢ニ適スルモノヲ立案スルコト。(2)本社支社ヲ東京ニ設クルハ見合ハスルコト。(3)雑誌報徳ノ編纂發行ヲ東京ニ移スハ見合ハスルコトト決定シタリト云フ。尚、戦死社員ヘ御下賜金アルトキ之ヲ財団トスヘシトノ地方意見ニ対シテハ、結論ニ至ラス。教学振興方法ニ付所見ヲ交換ス。両氏四時四十分發ニテ帰還セラル。

〔欄外〕

○重友昇給一円拝命。

○地方官部長級ニ大異動発表セラル。館林ハ転任ヲ命セラル。

一月九日（木）晴 暖和

○昨夜モ睡眠十分ナリ。心身共二大ニ回復ス。体温八時及十

二時半各三六・二。四時三六・六。八時三六・三ナリ。

食事三回、相当ノ量ニ達ス。午後、堀先生来診セラル。

明日入浴ヲ許サル。

○要ハ咳嗽少シク減ス。平温ニシテ食餌モ少シク増加ス。憂鬱甚シ。

○朝、白根竹介氏ヨリ有樂会開会ニ付電話ニテ相談アリ。依テ十八日ヲ希望スル旨ヲ答フ。

○九時四十分頃伊澤多喜男氏来訪ス。枢府ニ入リシ事情其他ニ付談話セラル。会见四五十分。

○午後、長谷川直敏將軍来訪セラル。面会セス。

○午後、小林次郎氏令夫人来訪ス。要モ面会セス。

○泰治、夜十一時半頃芦屋ヨリ帰京ス。

一月十日（金）曇 夜小雨 冷

○昨夜モ睡眠十分ナリ。気分益佳良。体温八時三六・六、正午三六・四、四時三六・六五、八時三六・八ナリ。食量モ少シク増加ス。

○要ハ平温、咳少シク減退ス。精神ノ悶々毫モ軽減セス。

○朝、三派議員懇親会ヲ二十一日午後五時半開会ノ通知ヲ受ク。又同日四時片倉兼太郎氏ヨリ晚餐ニ招カル。依テ小坂順造氏ヲ煩ハシ片倉氏ノ招宴延期ヲ懇請ス。幸ニシテ

片倉氏ノ同意ヲ得タリ。

一月十一日（土）晴 寒

○昨夜睡眠十分ナラス。体温八時三六・四。一時三五・八、八時三六・四、食欲平常ニ復ス。十一時過入浴ス。

○要ハ憂鬱例ノ如シ。

○近衛首相ヨリ、時局ノ重大ナルニ鑑ミ懇談シタシトノ理由ヲ以テ、来十五日正午、首相官舎ニ集会ヲ求メタル出席ノ返書ヲ發ス。今回八十四日衆議院代表、十五日貴族院代表、十六日新聞通信雜誌代表、十七日実業家代表ヲ招ク予定ナリト發表セラル。

一月十二日（日）晴 寒

○昨夜、重友帰宅遅カリシ為、要ノ不安甚シ。其為予モ亦睡眠甚十分ナラス。八時半起床ス。気分宜シ。

○十二時頃出發。横浜ニ朝比奈貞一ヲ訪フ。一家健全ナリ。要ハ精神休養ノ為当分世話セラレンコトヲ求メ快諾ヲ得タリ。三時過辞去、帰京ス。

○堀庫一先生ヲ訪ヒ、要ノ病氣ニ付説明ヲ求メシニ、強度ノ神経衰弱ナルモ精神異常ニハ非スト云フ。其療養法トシテハ入院ハ宜シカラス。寧ロ気分転換ヲ可トスト云フ。又ホルモン注射ヲ試ミルモ宜シカルヘシト云フ。

○不在中、天野尹氏夫人及小児ト共ニ来訪ス。又柴沼惣吉ノ妻、乳児ヲ伴ヒテ来訪ス。

○七時頃、徳田政信氏来訪ス。年頭挨拶ヲ述フ。

一月十三日(月) 快晴 厳寒

○昨夜十二時過ヨリ三時頃マテ不眠ナリシモ気分爽快ナリ。終日異常ナシ。

○要ハ気分昨日ト大差ナシ。唯少シク落付ケルカ如シ。

要ハ促レテ昼頃ヨリ横浜ヘ赴カントセシモ竟ニ能ハス。

○午後、矢田部盛枝氏来訪ス。二荒山神社ニ於テ御祈祷セラレシ由ニテ御守札ヲ持来ル。依テ之ヲ居間ノ上段柱ニ奉貼ス。矢田部氏ハ要ノ為ニ親切ノ限リヲ尽シテ懇説セラ。清酒一升ヲ神社ニ奉供ス。興ニヲシテ矢田部氏ノ宿所タル国学院大学院友会ヘ同行持参セシム。

○朝、赤木正雄氏愛知県ヨリ帰京セラレ鶏卵一箱ヲ贈ラル。

○米山梅吉氏ヨリ電話ニテ病氣ヲ見舞ハル。

○鷺山恭平、戸塚八郎《凱旋祝賀》、寺田密次郎《謝状》、鳥居清一《成瀬達氏ヘ紹介》、成瀬達《鳥居氏紹介》ノ諸氏ヘ書状ヲ認ム。

○重友ハ社用ニテ午後遠州ヘ赴ク。今明両晩南郷村宅ニ宿泊ノ予定ナリ。

〔欄外〕

○門標ヲ書改ム。

一月十四日(火) 快晴 最寒

○昨夜睡眠十分ニシテ心気爽然タリ。但シ要ノ憂悶ハ軽減セス。不相変先憂ニ耽リテ複雑ヲ極ム。之力為ニ病臥中ニ比シテ心身ノ疲労多キヲ感シタリ。

○関屋正彦氏来。十六日午後九時十分發ニテ中華民国河北省唐山ナル豊凜中学校ヘ赴任ストノ通知アリ。依テ十時頃一心塾ニ同氏ヲ訪ヒシニ不在ナリシヲ以テ辞ヲ託シ置キテ帰宅ス。

○駿河東報徳社西ヶ谷正巳氏ヨリ明日ノ社長会及常会ニ出席スヘキヤヲ電報ニテ照会アリ。直ニ不参ノ旨ヲ返電シ且書状ヲ以テ其事由ヲ通告ス。

○要ノ心身保養ノ為、午後一時頃出發。横浜朝比奈方ヘ赴ク。今朝、昇三郎ヨリ来京セシニ付、夕刻訪問スヘシトノ電話アリシニ付、同人ニ面会センコトヲ主張シテ横浜行ヲ肯セス。慰諭百方漸ク承諾ヲ得タリ。直子ト共ニ朝比奈方ニ送届ケ、五時半頃帰宅ス。

○昇三郎、夜七時半頃来訪ス。三島氏側ノ状況ヲ聴ク。又泰治ノコトヲ依頼ス。九時五十分頃伊澤氏方ヘ赴ク。

〔欄外〕

○庵地淑子双男児ヲ分娩シ母子健全ナリト云フ。

一月十五日(水) 快晴 頗寒

○昨夜睡眠不十分ナリ。三時頃ヨリ熟眠ス。

○九時半出發。經堂ニ下車。千歳郵便局ニ至リ、大日本報徳社ヨリ贈ラレタル金百円ヲ受領ス。

○小林方ニテ地図ヲ求メ、貴族院事務局ニ小林書記官長ヲ問フ。

○正午、首相官邸ニ參集ス。十二時半ヨリ昼食ヲ饗セラル。

一時、両議長書記官長ト共ニ各派交渉委員一室ニ集リ、首相陸相海相ヨリ時局ノ深刻ナル狀況ニ關スル説明ヲ聴ク。之ニ對シ小坂順造氏ヨリ生産力拡充ニ關スル政府ノ方針ニ付質疑アリ。首相之ニ答フ。最後ニ議長ヨリ適切ナル謝辞ヲ述ヘラル。二時四十分頃散會ス。

○貴族院ニ小林書記官長ヲ訪フ。開會劈頭ノ質問演説、議案提出方要請、秘密會ノ議事取扱方、予算委員會ノ審査方法改善方等ニ付所見ヲ述ヘ、書記官長ノ意見ヲ問フ。

○五時半、華族會館ニ於テ徳川敏子姫ノ上杉家ニ結婚披露宴アリ。出席ス。八時散會ス。宇佐美氏ト家政相談人人選ニ付相談ス。

○重友、夕刻遠州ヨリ歸京ス。

一月十六日(木) 晴 寒

○昨夜睡眠十分ナラス。

○全国治水砂防協會ヨリノ案内ニ応シ、今明兩日足尾及鬼怒川上流五十里ノ砂防關係事項視察旅行ニ參加ス。感冒癒エタルモ少シク不安ナリ。

○七時四十分、赤木正雄氏ト共ニ出發ス。地下鉄ニテ上野ニ至リ、八時四十二分發日光行列車ニ乗ル。同行江口定條、大塚惟精、俵孫一、植原悦二郎四氏ニシテ惣員六名ナリ。十二時三分日光著、下車ス。栃木県土木課長技師小池啓吉氏出迎フ。自動車ニテ金谷ホテルニ入リ中食ス。此所ニテ東照宮ニ荒山神社兩宮司、輪王寺座主、町助役青柳正雄、県會議員鈴木久太郎、古河日光精銅所長岸野佐吉氏等ノ出迎ヲ受ク。食後細尾峠ヲ踰エテ足尾ニ至ル。技師遠藤守一氏等現場附近ニテ出迎フ。遠藤氏ノ案内ニ依リ実地ヲ視察ス。細尾峠ニテ自轉車故障アリ。又、足尾町ニテ路ヲ誤リタル為到著予定時刻ヨリ約一時間ヲ後ル。四時足尾發、五時前清瀧精銅所ニ於テ岸野所長ノ歡迎ヲ受ケ、喫茶ノ後辞去ス。

大谷川及稻荷川砂防工事ノ視察ハ時刻後レシ為省略シ、一路鬼怒川温泉ニ向ヒ七時前同ホテルニ著ス。

〔欄外〕

○鬼怒川ホテルニテハ山縣知事(三郎氏)、經濟部長石川貞四郎氏ノ出迎ヲ受ケ、両氏及小池技師ト晚餐ヲ一堂ニテ食ス。種々有益ナル談話アリ。予ハ甘藷増産ニ付知事及

經濟部長ニ大ニ説明ヲ為ス。

○晚餐後知事及部長ハ帰庁ス。予等ハ俵氏ノ室ニ集リ、薄茶ヲ喫シ雑談ス。九時過就褥ス。

○本日、大政翼賛会参加ノ貴族院議員各派別数ノ発表アリ。

一月十七日(金) 晴 寒和ク

○昨夜快眠ス。早朝入浴ス。

○朝食前、赤木正雄氏ヨリ砂防妨害、停頓ニ関スル土木局内ノ実情ヲ聴ク。又本日視察スヘキ五十里堰堤箇所及大塩沢ノ概況ヲ聴ク。前者ニ対シテハ各員意見ヲ交換ス。

○九時過出發。川治ヲ経テ五十里堰堤築設予定箇所ニ至リ、説明ヲ聴ク。ソレヨリ海跡ヲ経テ大塩沢ノ橋梁ニ至リ、同川荒廢ノ状況ヲ視察ス。帰途再五十里堰堤予定地ニ下車シテ所見ヲ交換ス。

○十一時過、川治ホテルニ著、休憩シ温泉ヲ視察ス。中食ヲ為シ十二時半出發。二時、宇都宮市ナル栃木県庁ニ著シ、山縣知事ヲ訪ヒ昨今両日ノ厚遇ヲ謝ス。正庁屋上ヲ見ル。○二時五十分、宇都宮駅発帰京ス。駅ニハ小池課長見送ラル。四時五十八分上野著。地下鉄ニテ帰宅ス。

○関屋正彦氏北支ヘ出發ノ予定ノ処、一時中止セリトノ電話アリシト云フ。

○本日、曾我村長高橋良一郎氏来訪セシモ不在ナリ。

〔欄外〕

○今日午前十時半、議長召集ノ各派交渉委員会アリシモ不参加ス。今朝、議会ノ議事進行ニ関スル件ヲ協議ス。

○昨日、伊能芳雄氏(新任静岡県学務部長)来訪ス(不在)。

○植村澄三郎氏今朝九時四十分逝去ノ由、新聞紙ニテ承知ス。○女中〔空白〕ヲ休暇セシム。早川ヘ赴ク。

一月十八日(土) 晴 暖

○昨夜モ睡眠十分ナラス。

○十時前、米山梅吉氏ヲ訪ヒ、病中見舞ニ対シ厚意ヲ謝ス。氏ハ不在ナリ。

○十時半頃、小林書記官長ヲ官舎ニ訪ヒ、感冒引籠中ナリ。強ヒテ会谈セラル。昨日ノ各派交渉会ニ付、質問ヲ為シ意見ヲ述フ。

○十一時、植村澄三郎氏ヲ弔問ス。夫人ニ面会シテ深甚ナル弔意ヲ表ス。

○十一時半、日本俱樂部ニ出頭ス。有楽会第二回ヲ開会ニ付、幹事トシテ其世話ヲ為ス。出席者五十二名、食後水野會長ノ司会ニテ各自自由意見ヲ交換ス。倉知氏ヨリ有楽会ノ沿革ヲ説明シ、其残務各殘金引継ノ為スコトヲ述ヘ、一同承諾ス。ソレヨリ柴田善三郎、関屋貞三郎、下村宏、倉知鉄吉、田口弼一、犬塚勝太郎、橋本圭三郎、水野鍊太郎、倉知

鉄吉、柴田善三郎諸氏ノ意見開陳アリ。三時過散会ス。次回ハ近ク開会ノ申合セヲ為ス。

○夜、掛川中学校長山本幸雄氏、神戸商科大学事務官神野傳藏氏来訪ス。山本校長排斥事件ニ付説明セラル。

〔欄外〕

○世田谷区役所坂本喜作氏（《教育課長主事》）来訪シ、池之上小学校電話架設費ハ保護者会ニテ寄付セラレタシト申入アリ。不在ニ付面会セス。

○女中〔空白〕早川ヨリ夜帰来ル。

一月十九日（日）晴 暖

○亡父母及亡祖母ノ為、法会ヲ為スニ決シ、朝、電話ヲ以テ長谷寺ノ都合ヲ問合セ、十時重友、泰治、なほ子及興三ヲ伴ヒ、同時ニ至リ回向ヲ為ス。読経料トシテ金貳拾円ヲ納ム。偶然、真好寺若僧アリ。面会ス。

○帰途、高橋雄豺氏ヲ訪フ。不在ナリ。和田謙三氏ヲ訪ヒテ池之上小学校会ノ事務ニ付打合セヲ為ス。

○午後二時頃、伊林初次郎氏夫妻来訪ス。氏ハ今期議会用務ノ為、興亜院ヨリ出張ヲ命セラレ、今朝来著セリト云フ。滞在期間三ヶ月ナルヲ以テ夫人ヲ連レ来レリ。前橋館林へ電話ス。四時頃去ル。

○五時頃、小林書記官長来訪ス。議院用務ニ付打合セヲ為ス。

有樂会ノコトヲ報告ス。琉球産ノ豚塩漬ヲ頒タル。

○田口弼一氏ヨリ電話ニテ有樂会ノコトヲ問ハル。

○夜七時、杉本良氏来訪ス。掛川中学校長問題、掛川町政問題、其他ニ付談話ス。九時頃去ル。

○女中〔空白〕子ニ休暇ヲ与フ。

一月二十日（月）昼暖 晴 タヨリ寒 曇

○朝、高橋雄豺氏ヲ訪フ。不在ナリ。

○和田謙三氏ヲ訪ヒ、区役所教育課長申入レノ電話架設費ノ件ニ付、課長ノ覚書ヲ渡ス。

○一木男爵ヲ訪問ス。去五日以来神経痛ニ悩ムト云フ。十分許リ要談ス。

○学士会館ニテ中食ス。

○一時半、昭和会館ニ出頭。公正会ノ政務調査会ニ於テ主催セル海軍中佐〔空白〕氏ノ最近ノ米国事情及海軍々務局長ノ談話ヲ聴ク。ソレヨリ次田大三郎氏ト同成会ノ室ニ於テ三派会合等ニ付相談ス。

○夕食後、植村澄三郎氏方ニ至リ通夜ヲ為ス。九時帰宅ス。先是、要ヨリ電話アリ。大ニ予ノ為ニ健康ヲ心配ス。

○高橋雄豺氏ヨリ電話ニテ予ノ懸念セシ事項ニ付説明アリ。一応安心ス。然ルニ仏印ト泰トノ戦争問題ニ付（？）今朝来政府及軍部ノ動向ヲ聴ク。

○夕、要ヨリ電話ニテ大ニ予ノ健康ヲ案シ来ル。

一月二十一日（火）晴 頗寒

○八時半頃登院ス。

○九時半ヨリ控室ニテ例会ヲ開キ、柴田氏ヲ座長ニ推シ、伊澤氏退議員ノ報告、十五日首相官邸会談ノ報告、十七日各派交渉委員会ノ報告、大政翼賛会加入者ノ報告アリ。次ニ本期議會ニ於ケル各種委員選任ノ方法ニ付協議ス。丸山氏ノ發議ニ依リ塚本、河井、小坂順三名ニ依託ス。○十時、本會議アリ。諸般ノ報告ノ後、首相外相ノ演說アリ。

次テ陸海兩相ヨリ前議會終了後ノ支那事變作戰ノ經過ヲ報告セラル。海相ハ特ニ潜水艦沈没事件ヲ加フ。ソレヨリ政府ノ要求ニ依リ秘密会トナシ、首相陸相海相ヨリ最近時局ノ緊迫セル狀況ヲ報告アリ。一時二十分頃散会ス。

○議院食堂ニテ中食ス。

○二時半頃、青山齋場ナル故植村澄三郎氏ノ告別式ニ臨ミ拝礼ス。

○三時頃、帰宅セシニ恰モ憲兵來訪。泰治ノ海軍出願ニ付全家身許調査アリ。予之ニ応対説明ス。

○重友ハ、夜十一時上野發ニテ秋田山形兩県へ出張ス。

〔欄外〕

○同成、同和、交友三派議員ノ懇親会ヲ五時半ヨリ丸ノ内会

館ニテ開催シ、世話人トシテ出席ス。出席數四十七名、岡喜七郎氏ヲ座長トシ食後各員ノ自由談話ヲ為ス。出淵氏ノ日米關係觀、水野氏ノ三派同合又ハ聯盟問題提出アリ。柴田氏ハ其方法ヲ委員ヲ挙ケテ研究スヘシト述ヘ、澤田氏ハ先ツ其可否ヲ決シ速断速行セヨト論ス。江口氏ハ之ニ反対シ、織田氏ハ無所屬ヲモ招クヘシト要求シ、岩田氏ハ各派三名ツ、世話人ヲ挙ケ十分ノ研究ヲ為シテ結論ヲ得タシト述ヘ、岡氏ハ近ク世話人ヲ挙ケ研究ヲ遂クヘシト告ク。八時四十分頃散会ス。

一月二十二日（水）晴夜雨 暖

○本會議アリ、出席ス。政府ハ午前中閣議ヲ開クヲ以テ、本會議ニ於テ兵役法中改正案ヲ上程シ、委員附託ト為シタルノミニテ散会ス。

○散会后、控室ニテ同成会例会ヲ開ク。(1)委員選定ニ付、會員ニ協力ヲ求ムル事項四ツ、(2)三派懇親会ノ結果、三派合同又ハ聯盟ニ関シ一切ノ調査ヲ為ス為委員三名ノ選舉《之ハ塚本、河井、小坂三人ニ決ス》。(3)大政翼賛会ニ入会スル會員ハ月番幹事ニ於テ手續ヲ執ルコト。(4)伊澤氏ヘ記念品ヲ、加藤政之助氏ヘ米寿祝賀品ヲ送ルコト《伊澤氏ヘ十円宛、加藤氏ヘ五円ツ、》ヲ決定ス。又、(5)塚本氏ヨリ衆議院ニ於テ施政方針ニ対スル質問演說ヲ中止



シタルニ付、貴族院亦之ニ倣フヘキヤニ関スル各派交渉委員有志会ニ於ケル申合事項ノ報告アリ。其決定ヲ承認ス。(6)最後ニ議事アル日ニハ九時半マテニ登院セラルヘシトノ慣行ニ対シ、協議事項アル場合ニ限り日時ニ指定ストノ申合ヲ為ス。

○四時頃、小林書記官長ヨリ各派連絡員ヲ至急ニ名選定セヨトノ申越アリ。依テ塚本氏ト相談ノ上、取敢ヘス同氏及予、之ニ当ルコトトシテ回答ス。

○五時、新喜樂ニ於テ片倉兼太郎氏ヨリ晚餐ヲ饗セラル。十八名出席ス。

〔欄外〕

○寒中ニ付参内シテ

天機并御機嫌奉伺ノ記帳ヲ為ス。

大宮御所ニモ奉伺ス。

○衆議院ハ時局ノ重大ナルニ鑑ミ、政府ニ対スル一切ノ質問ヲ中止スルノ申合セヲ為シ、且政府鞭撻<sup>マツ</sup>ノ決議ヲ為スコトニ決シ、本日之ヲ上程スルコトナレリ。

右ニ対シ政府ハ戦時立法及予算ノ外一切ヲ議院ニ提出セサルニ決スル為、本日午前中、重要閣議ヲ開キタリ。

一月二十三日(木) 晴 暖

○朝、江口定條氏ヨリ電話アリ。同和会ノ希望トシテ三派間

題研究委員ノ(決定ヲ報シ)速ニ会合ヲ催サンコトヲ申出テラル。

午後、食堂ニテ古島一雄氏ニ面会シ右会合ヲ明日十時ト定メ、其旨ヲ電話ニテ各員ニ通知ス。三派委員ハ同和会岩田、倉知、江口。交友岡、古島、大西。同成会塚本、小坂、河井ナリ。

○十一時、議長室ニテ政府及貴族院連絡会ヲ開キ出席ス。政府側ハ河田、村田両大臣、内閣三長官、陸海軍両次官、兩軍務局長、議員ハ酒井、大久保、松平康、中御門、桂、黒田、中村、倉知、仁井田、塚本、河井、内田、(岡氏欠席)ニシテ小林書記官<sup>(長脱カ)</sup>之ニ加ハル。問題ハ貴族院ノ戦時協賛議會タル態度ノ要求ニシテ、之ニ対シ政府トノ間ニ所見ヲ交換ス。十二時二十分頃散会ス。又、政府鞭撻<sup>マツ</sup>ノ決議案ヲ提出スヘキヤニ付テハ研究会側ニテ立案セルモノアリ。之ニ付テ審議ス。

○食後、外務省ニ松田道一博士ヲ訪問ス。有益ナル談話ヲ聴ケリ。

○議院ニ帰リテ小林書記官長ニ面会ス。ソレヨリ伊澤多喜男氏ヲ訪ヒ、三派合同又ハ聯盟問題ニ付意見ヲ問フ。

〔欄外〕

○朝、高橋雄豺氏ニ電話ニテ最近ノ対外状況ニ付問合セタリ。

一月二十四日(金) 晴夜雨 暖

○十時、三派問題委員会ニ出席ス(第一内談室)。出席者ハ塚本、小坂、河井、岩田、倉知、江口、古島、大西ノ八名(岡欠席)ナリ。本日開会セラルヘキ各派交渉会ニ於ケル時艱克復ニ関スル決議案ニ付、意見ヲ交換ス。其間予ハ小林書記官長ト会見シテ、予等ノ意見ヲ伝ヘ、必要ナル点ニ付参考ニ供ス。又昨日ノ連絡会議ノコトヲ報告ス。

○午後一時、議長応接室ニ於ケル各派交渉委員会ニ出席ス。先ツ議長ヨリ、本会ハ政治ニ関スル協議ナルヲ以テ、議長ガ之ヲ召集スヘキモノニ非スト雖、議事交渉委員多数ノ要求アリ、且時局柄故召集セリト釈明シ、之ヲ以テ先例トセスト確言ス。小林書記官長ハ依託ニ依リテ起草セラル文案ニ示ス。

協議ノ結果、各派二名ノ小委員ニ附託シ、文案作成及提出方決定ノコトトス。二時小委員会開会、決議案文成ル。依テ二十七日上程、發議者ハ交渉委員各派一名、賛成者ハ交渉委員各派全員トシ、説明者ハ一条公ト決定ス。尚、提出主旨ノ説明原案ハ事務局ニ託シテ起草シ、来廿六日小委員集會シテ検閱スルニ決ス。

○六時ヨリ錦水ニテ伊澤氏ノ祝賀兼送別会アリ、出席ス。同成會員四名ノ外、全員出席ス。塚本氏惣代トシテ挨拶ヲ

述ヘ、伊澤氏之ニ答フ。八時半頃散會ス。

〔欄外〕

○なほ子ハ本日横浜朝比奈方ニ要ヲ訪問ス。

○山崎昇二郎、午後一時發ニテ上海ヘ出發ス。

一月二十五日(土) 曇 寒冷

○九時過、松平宮相私邸ニ至リ、令息逝去ニ付弔問ス。又焼香ヲ為シテ歸ル。

○十時頃、増田次郎氏ヲ訪問ス。日本發送電總裁辭任ニ付、在任中ノ厚意ヲ謝ス。次ニ三橋氏ノ為ニ斡旋セラレシコトヲ謝ス。今回、同氏ト山口氏等ト調停成リシ由ヲ告ク。更ニ報徳事業ニ付、不相変尽力アランコトヲ求ム。

○十一時過歸宅。夕刻迄各種ノ準備又ハ整理ヲ為ス。

○四時半、徳川家ニ至リ家政相談人会ニ出席ス。顯徳院殿御墓ノ形式ヲ決定シ予算ヲ可決ス。公爵ヨリ令嗣ノ動靜、上杉伯令嗣夫人ノ狀況、順子嬢御縁談ノ件ニ付報告アリ。了テ夕食ヲ頂戴ス。公爵ハ松平家ヘ御通夜ノ為赴カレシニ付、予等ハ七時半頃退出、八時過歸宅ス。

一月二十六日(日) 晴 寒

○朝、赤木正雄氏來訪ス。五十里ニ築造スヘキ詰石堰堤ノ効果ニ関シ説明アリシモ、時間少カリシヲ以テ三會堂ナル

全国治水砂防協会ニ同氏ヲ訪問シ、更ニ詳細ヲ聴取ス。

○十一時半、貴族院ニ於ケル各派交渉委員小委員会ニ出席ス。

出席者ハ一条公、酒井伯、白根氏、矢吹男、内田氏、古島氏、岩田氏、倉知氏、塚本氏及予ナリ。小林書記官長参加ス。書記官長ヨリ決議案説明書案ヲ示サレ、之ニ就キテ協議シ、一時頃案成リ散会ス。

○再ヒ三会堂ニ赤木氏ヲ訪問シ、詰石堰堤ニ関シ調査ノ件ヲ依頼シ地下鉄ニテ帰宅ス。

○曾我村長高橋良一郎氏提出ノ砂防堤築造ノ件ニ付赤木氏ヨリ回答アリ。該堰堤ハ県ニテ設計書ヲ調製シテ提出アラハ、直ニ審査ヲ為シ許可ノ上、着工スルニ決定シアリト云フ。依テ村長ニ之ヲ通知ス。

○五時半学士会館ニ於テ故湯浅男爵ノ五七日法会ニ次ク追悼晚餐会アリ、出席ス。来会者百四五十名、盛会ナリ。席上島田俊雄、伊澤多喜男、鈴木貫太郎男ノ追憶談アリ。九時過散会ス。

#### 〔欄外〕

○今朝、黒田新平氏来訪ス。来月中旬住友山林部ニ採用セラルトイフ。

○夕、青木勝氏来訪セシモ面会セス。氏ニ於テ時間ノ余裕ナカリシカ故ナリ。

○倉知鉄吉氏ノ勧誘ニ応シ同友会ニ入会ス。入会金三円ヲ納

付ス。二十七日、其受取書ヲ受ク。

一月二十七日(月)晴寒

○九時四十分ヨリ控室ニ於テ同成会例会ヲ開ク。二十二日以来ノ各事項、決議案提出ニ至ルマテノ経過、三派会委員集会ノコトヲ報告ス。

○十時本会議ニ出席ス。日程ヲ変更シテ時艱克服ニ関スル決議案ヲ上程ス。一条公爵提出ノ趣旨ヲ説明シ、近衛首相之ニ答ヘ、全会一致ヲ以テ可決ス。ソレヨリ法律案三案ノ第一読会ヲ開キ委員附託トナシ、最後ニ下村宏氏ノ質疑演説ニ入ル。之ニ対シ外務、陸軍、拓務、文部各相及首相ノ答弁アリ。休憩ス。二時再開、赤池濃氏ノ質疑アリ。首相之ニ答ヘ三時過散会ス。

○二時、同成会控室ニテ五十里堰堤築造ノ件ニ付、谷口技監ノ説明ヲ聴ク。次田、河井、其他ノ外、衆議院ヨリ俵、小泉、植原、松尾、木曾ノ諸氏モ来会ス。次田、河井、植原、俵ノ各員ヨリ、(1)先年施工不可能トシテ中止シタル箇所ニ築堤スル理由。(2)施行法ニ対スル安全ノ確信アリヤ。(3)上流各川荒廃ノ結果、築堤ノ効果著シク減殺スヘシ。(4)上流各川ノ砂防工事実施ヲ先トスヘシ、等ノ意見出テ技師連ハ全ク答弁ニ窮ス。ソレヨリ此予算ニ対スル両院ノ態度ニ付協議ス。

〔欄外〕

- 四時半ヨリ帝国治山治水協会ニ於テ、企画院書記官「空白」氏ノ国土計画ニ関スル説明ヲ聴取ス。出席者多数ニシテ、説明ハ甚新奇ナリ。食事中及食後ニ於テ各員熱心ニ討議ヲ門ハス。予ノ述ヘタル食糧充足問題、五十里堰堤築設問題、足尾視察要望、技術者ニ対スル批評等、大ニ論議ノ中心トナル。八時半散会ス。
- 泰治斬髪ス。クリッ坊主トナル。
- 全国治水砂防協会々員ヲ募集シ、既ニ二十余名ノ承諾者ヲ得タリ。

一月二十八日（火）晴 寒

- 本会議アリ、出席ス。法律案ヲ委員附託トナシタル後、田中館博士ノ質疑アリ。了テ散会ス。
- 田口弼一氏ト会談ス。大政翼賛会ノ性質ヲ明ニスル方法ニ付、意見ヲ交換ス。
- 十一時頃、古島、岩田、江口、塚本四氏ト内談室ニ会合シ、大政翼賛会ノ性質ヲ明ニスル方法ニ付協議ス。結局各自尚一応ノ研究ヲ遂ケタル上ニ於テスルコトニ一致ス。
- 午後一時、赤木技師ノ来院ヲ求メ、本日マテニ治水砂防協会ニ入会セシ議員氏名ヲ報告ス。次ニ昨日谷口技監ニ面会セシ時ノ議論ノ内容ヲ告ケ、鬼怒川全体ノ砂防費ノ既

定額ヲ五十里上流ノ砂防ニ使用シ得ルヤ如何、又其額如何ヲ問フ。

- 丸山方作氏ニ書状ヲ認メ、藤岡博士又ハ藺部博士ヨリ申出アラハ、之ニ対応セラレンコトヲ請フ。又、放送局ニテ放送依頼アラハ、之ヲ受諾センコトヲ求ム。栃木県經濟部長石川貞四郎氏ニ丸山氏ノ消息ヲ伝フ。

- 赤木氏ヨリ提出セラレシ五十里堰堤地点ノ地質調査報告ハ次田氏ニ渡シ、政府ニ対スル質疑ノ資ニ供ス。

〔欄外〕

- 杉山東一氏夫人男児ヲ生メリトノ通知アリ。
- 伊澤多喜男氏ヘ記念品料金十円ヲ醸出ス。
- 加藤政之助氏米寿祝品料金五円ヲ醸出ス。
- 夜八時頃、掛中校長山本幸雄氏来訪ス。本日学務部長ヨリ辞表聴許ノ取扱出ツヘシトノ申渡ヲ受ケタル由ヲ報告セラル。少シク意外ニ感シタルモ告訴ノ取下ケナシトノ事実ヲ聞キテ了解ス。
- 湯浅男未亡人、榛葉孝平氏、高橋藤太郎氏ヘ対シテ挨拶状ヲ発ス。
- 岡本保次氏去廿五日逝去□□<sup>（印刷重リ）</sup>由通知ニ接ス。

一月二十九日（水）曇 寒和ク

- 朝、伊澤氏方滞在ノ高子ト電話ス。

○十時ヨリ予算委員会アリ。登院傍聴ス。臨時軍事費追加案ナリ。秘密会ニ於ケル質疑応答アリテ後可決ス。

○衆議院食堂ニ於テ中食ス。小山議長ト同席ス。大政翼賛会ニ対スル衆議院ノ形勢ヲ聴ク。又議事進捗ノ状況ニ付テモ談話アリ。大ニ参考トナル。

○右ノコトヲ小林書記官長ニ報告シ、且此際兩院有力者ノ会合ヲ議長主催ニテ行ハルル方法ナキヤヲ相談ス。結局実現セサルヘシ。

○午後、読書室ニテ衆議院予算委員会速記録ヲ読ム。

○五時半華族会館ニ至リ、岩倉道俱男主催ノ「ソ」領利権問題座談会ニ出席ス。晚餐ヲ饗セラレタル後、田中丸氏ノ漁業権問題交渉経過、進藤氏ノ缶詰生産及販売状況、左近司氏ノ石油問題、三井氏ノ石炭現狀、柳原燃料局長官ノ北樺太、蘭印ノ石油問題取扱方ニ関スル談話アリ。甚有益ナリ。島津公、大河内子、大井男、松田男、渡辺男、八條子、柴山男、倉知氏等出席ス。

〔欄外〕

○泰治ハ陸軍病院ニ至リ陸軍ノ体格検査ヲ受ク。甲種合格ナリト云フ。

友人四人受検後來遊。夜十時頃散会ス。

○岡本三郎司氏ニ対シ弔電ヲ発ス。

一月三十日（木）晴 寒

○朝、俵孫一氏へ電話ニテ五十里堰堤問題ニ付打合セヲ為ス。

○本会議アリ出席ス。臨時軍事費予算追加案ヲ上程シ直ニ可決ス。兵役法中改正案外二件ヲ可決ス。

○田口弼一氏ト会谈ス。氏ハ大政翼賛会ニ付予等ト意見ヲ同ウシ、予等五長ト食事ヲ共ニシ懇親ヲ重ネタシト申出テラル。予ハ予等ノ会合ニ出席ヲ□□ス。<sup>（德憑力）</sup>

○男爵岩倉具徳氏秘書ト称スル山岸義夫ナル者、議院ニ來訪ス。皇徳奉賛会ノ事業賛助ノ為、御宸翰写真帳ノ購買ヲ求ム。之ヲ謝絶ス（野口明氏へ報告ス）。

○元貴族院事務局員宮本九平ナル者、貴族院改革意見ナルモノヲ草シ多額議員ヲ訪ヒ、予ノ名ヲ挙ケ金銭ノ寄贈ヲ受クル由ニテ、塩田、大谷、熊谷三氏ヨリ報告アリ。依テ書記官長ニ此事ヲ告ケ、本人ニ警告シ且被害防遏ノコトヲ依頼ス。

○読書室ニ入り、大政翼賛会ニ関スル速記録ヲ取調フ。

〔欄外〕

○たか子、本日午前十時半発ニテ芦屋へ帰ルニ付、直子東京駅へ見送ル。

○京都府茶業研究所ヨリ碾茶十缶ヲ送付アリ。依テ振替ニテ代金（三円）、送料（十二銭）、並通信料（四銭）ヲ送ル。

○掛中校長山本幸雄氏ヨリ書状ヲ以テ、知事ニ対シ同氏ヲ休

職処分ニ附セラレタシト依頼スルヤウ申出テラル。之ヲ謝絶ス。

一月三十一日(金) 晴 頗寒

○本会議アリ出席ス。借地借家法案第一読会、商工會議所法中改正案第一読会アリ。次テ民法中改正案、非訟事件手續法中改正案、戸籍法中改正案ノ各第一読会続テ開キ、三案ヲ可決ス。了テ田中館博士ノ質問ニ対シ文部省政府委員(松尾氏)ノ答弁アリテ散会ス。

○三派代表有志塚本、河井、岩田、江口、古島ノ会合アリ。特ニ田口弼一氏ヲ迎ヘテ大政翼賛会ニ対スル処理ニ付相談ス。其結果、予算委員会ニ於テ岩田氏ヨリ質疑ヲ為スコトトス。又其他ノ委員アルモ質疑者ヲ物色シ成ルヘク連繫ヲ取ルニ決ス。

○塚本、田口両氏ト衆議院食堂ニ至リ中食ス。小山議長、木曾代議士トモ同卓ス。一二打合セヲナスヲ得テ都合宜シ。

○一時半ヨリ予算委員室ニ於テ国防保安法案ニ付、司法次官ノ説明ヲ聴ク。陸軍ヨリモ説明員出席シテ説明ヲ為ス。三時散会ス。

○夜、赤木正雄氏ヲ訪フ。不在ナリ。

〔欄外〕

○泰治ハ今朝憲兵隊ニ出頭シ、航空技術將校志願ニ付、身分

関係ノ説明ヲ為ス。昨日憲兵來訪セシモ不在ナリシヲ以テナリ。

○大森健三氏ノ命日ナルニ付、直子ヲシテ墓參セシメ花ヲ供フ。

○静岡市英和女学校卒業生二名來訪ス。柴田令夫人ノ紹介ニ依ル。同校改組ニ付賛助員タランコトヲ求メラル。直子応対ス。

二月一日(土) 晴 頗寒

○午前七時三十九分發ニテ帰国ス。一時二十二分掛川著。袴田銀藏氏出迎フ。直ニ大日本報徳社ニ至ル。鷺山理事ニ面会ス。

鷺山理事ニ対シテ、最近内外緊迫ノ情勢ヲ告ケ、報徳社ノ進路ヲ確守シテ邁進スヘク、如何ナル場合ニモ周章スヘカラス、又根底ナキ社会改革運動ニ対シテハ輕率ニ雷同スカラトナシテ報徳社ヲ指導セラルヘキ、而シテ時局ニ処スル緊急ノ要務ハ食糧ノ増産ニ在リ、本年ノ米作ニ先チテ馬鈴薯、麦、甘藷ノ大增産ヲ図ルヘク、報徳社ノ最大ノ努力ヲ希望シタリ。

衆議院予算委員会速記録ヲ示シテ一読ヲ乞フ。

○帰途、神宮寺ニ至リ墓參ス。又真如寺ニモ參詣ス。

○大村留吉ハ感冒ニテ臥床中ナリ。外一同無事ナリ。

○夜、小柳直吉氏来訪ス。小笠、磐田、榛原三郡ノ篤農有志ハ丸山方作先生ヲ中心トシテ実行会ヲ結成シタシトテ予ノ同意ヲ求ム。其申出ニ賛成シ、明日報徳社ニ於テ丸山先生ニ懇願スヘキ由ヲ勧告ス。

〔欄外〕

○鷺山恭平氏ヨリ、カラスミ一腹ヲ贈ラル。

二月二日(日) 晴 頗寒

○八時二十九分發ニテ袋井ニ至リ中遠鉄道ニテ石津駅下車、徒歩ニテ梅山岡本家ニ至リ、故保治氏ヲ弔フ。祖夫人(八十一才)及三郎司氏ニ面会ス。十時五十五分發バスニテ豊浜(乗換)、福田ヲ經テ十二時中泉著、駅前ニテ中食シ十二時四十分發ニテ掛川ニ至リ、大日本報徳社ニ出頭ス。

○常会ニ出席。丸山方作先生ノ講演ヲ聴ク。了テ事務室ニ至リ、丸山先生ニ面会シ甘藷增收方法全国放送計画ニ付相談ス。次ニ佐々井副社長ニ面会ス。佐々井氏ハ三時四十分發ニテ歸ル。三郡有志篤農会ノ組織ニ付、丸山先生ノ出席ヲ乞ヒ協議会ヲ催シ、大体ノ方針ヲ決定シ実行方法ヲ協議ス。出席者ハ南郷村小柳直吉、大村芳次、西郷村松浦清三郎外二氏(佐藤政雄、北浦正造)、袋井町名倉貫一及袴田銀藏諸氏ニシテ袴田氏ニ対シ規約起草、創立總會召集等、一切ノ事務ヲ委託ス。

○五時頃杉谷ニ石野元治郎氏ヲ訪フ。意外ニモ大元氣ナリ。少時談話ス。歸ル時、令息ヲシテ予ヲ送ラシメ、且鶏卵一箱ヲ贈ラル。

○夜、篤農者小柳、石野(福松氏)、松浦外二氏来訪ス。十時マテ談話ス。

〔欄外〕

○岡本氏ヨリ餅ヲ贈ラル。

○石野氏ヨリ鶏卵一箱ヲ、小柳氏ヨリ手打蕎麦ヲ、松浦清三郎氏ヨリ菠薐草一把ヲ、西郷某氏ヨリ芋切干ヲ贈ラル。

○報徳社ニテ掛中校長山本幸雄氏ニ面会ス。氏ノ進退ニ付熟考ス。氣ノ毒ニ堪ヘス。

二月三日(月) 晴 寒

○朝、原田村長来訪ス。時局及村治ニ関シテ懇談ス。

○小柳直吉氏来訪シ、字長久院雜木林ノ売却及茶園トシテノ開墾ニ付承諾ヲ求ム。之ヲ承諾ス。

○九時五十六分發ニテ歸京ス。藤枝ニテ下車。藤相事務所ニ山田平四郎氏ヲ訪フ。中村圓一郎氏ノ病状ヲ問ヒ訪問ノ可否ヲ相談ス。山田氏ハ電話ニテ中村秀平氏ニ問合セタル上往訪ニ決ス。山田氏ノ用意セル自動車ニテ中村氏ヲ訪ヒ約三十分間面会ス。十二時辞去。山田氏ト別レ、一時三十八分發ニ乘リ歸京ス。

○館林三喜男、午後出京ス。両三日滞在スト云フ。

○重友ハ一昨夕十時頃帰京セリト云フ。

二月四日（火）晴 寒

○十時登院。予算委員会ヲ傍聴ス。

星野企画院總裁ノ物動計画ニ関スル説明、石黒農林大臣ノ米ノ生産并配給ニ関スル事項及肥料製造并配給ニ関スル事項ノ説明アリ。午後橋本警保局長ノ昨年来国内治安保持ノ状況ニ付テノ説明アリ。右ニ対シテ各員ヨリ憂国割切ナル質疑ヲ重ヌ。最後ニ有田前外相ノ対ソ關係ニ付テ松岡外相ニ対スル質疑アリ。外相ノ答弁ハ帝国外交運営ノ根本ニ触レタリ。五時半退出、委員会ハ六時頃マテ続行シタリ。

○五時半ヨリ晚翠軒ニ於テ新旧貴族院書記官長ノ為ニ祝賀会アリ、出席ス。主人側ハ宮田、東久世、水谷川男、長、長谷川六氏及予ナリ。八時散会ス。

○館林マス子、葉子同伴来著ス。当分滞在、医療ヲ受クト云フ。

〔欄外〕

○大久保立子、本日逝去セリト聞ク。

二月五日（水）曇 朝雪模様午後晴 寒冷

○咽喉ヲ害シタルニ依リ成ルヘク遅ク登院ス。本会議アリ、出席ス。陸軍々法会議法中改正案（海軍同上）特別委員ニ指名セラル。

○議事散会后、予算委員室ニテ有田委員ノ外相ニ対スル質疑ヲ傍聴ス。

○石渡莊太郎氏ニ面会シ、相続税物納制度ノ施行期限ノ規定ヲ十五年四月一日相続開始分ヨリ実施スルヤウ政府ノ意見ヲ問ハンコトヲ請フ。午後石渡氏ヨリ交渉ノ結果ヲ報告セラル。依テ衆議院ニ俵氏ヲ訪ヒシニ不在ナリ。砂田重政氏ニ所見ヲ述ヘシニ賛成ヲ得タルヲ以テ俵氏ニ取次ヲ依頼ス。土方久徴氏ハ解釈論ヲ主張セシモ何等根拠ナシ。

○二時頃、故子爵大久保立氏ヲ弔問ス。嗣子寛一氏及未亡人等ニ面会シテ弔意ヲ表シ又焼香ヲ為ス。

○三時半頃、河野博通氏来訪シ議院ニ於テ面会ス。《横浜市役所ヘ奉職希望ノ件ニ付テナリ》

○五時迄、予算委員会ヲ傍聴ス。赤池氏ノ計画經濟ニ対スル質問ニ始終ス。

○五時半、田口氏ノ自動車ニ関屋氏ト同車シ丸ノ内会館ニ至リ、全国治水砂防協会役員会ニ出席ス。赤木氏ノ意見書ヲ審議シ、大塚惟精氏ヨリ五十里堰堤ノ件、予ハ足尾ノ状況ト赤麻沼猪水池ノコトヲ報告ス。食後西原氏ノ雲原



村状況談アリ。八時半散会ス。

〔欄外〕

○館林三喜男、前橋へ帰ル。

二月六日（木）晴 暖

○陸海軍軍々法會議法中改正案特別委員会ニ出席ス。一応ノ説明アリタル後、午前中ニ散会ス。

○午後一時、古島、岡、江口、岩田、塚本、田口六氏ト内談室ニ会见ス。大政翼賛会ニ対スル衆議院議員ノ意向ニ関シ、田口氏ノ報告アリ。尚、最近入手セル二三ノ事実ニ付發表ス。警保局長ニ対スル措置ニ付テモ研究ス。

○一時半ヨリ予算委員会アリ。須臾ニシテ休憩ス。三時頃再開。三時半頃ヨリ岩田宙造氏ノ翼賛会ニ関スル質問アリ。首相内相之ニ答弁ス。岩田氏ノ論旨ハ、(1)憲法違反論（主トシテ第四条ヲ挙ク）、(2)治安警察法準拠論、(3)強度ノ政治性ノ可否論ナリ。(1)ハ答弁喰違ヒノ感アリ。(2)ハ政府ノ答弁首肯シ難ク、(3)ハ政治性輕微トナル。

次テ、赤池、丸山、大河内子、松村諸氏ノ質疑アリ。相当ノ広範圍ニ至リテ論難ヲ展開シタリ。六時二十分頃散会ス。

○十二時過、関屋貞三郎氏ノ紹介ニテ清水市中村政藏氏来訪ス。大豆種ノ北海道ヨリ購入許可ノ件ナリ。石黒農相ニ

相談ス。

〔欄外〕

○石渡莊太郎氏ニ面会シ、昨日、砂田、俵両氏ニ面話シタルコトヲ告ケ、同氏ノ配慮ヲ謝ス。

本件ニ付テハ今朝電話ヲ以テ徳川公ニ報告ス。

○夕、三橋四郎次氏ヨリ錦水方ニ招カレ、同成會員一同出席ス。佐藤助九郎氏ヨリ富山産鱒及鮎粕漬ヲ饗セラル。何レモ極メテ珍味ナリ。

○泰治ハ夜行列車ニテ信州鹿沢ヘスキーニ行ク。

二月七日（金）晴 寒

○感冒再発、朝七時、体温三十七度二分ニ達ス。已ムヲ得スシテ休養スルニ決ス。

貴族院事務局、塚本清治氏ニ欠席ノ旨ヲ通シ、植原悦二郎氏、徳川公爵家ヘモ夫々其用件ニ於テ不参ノコトヲ謝シ、又関屋貞三郎氏ヘハ中村氏依頼ノ用件ヲ答ヘ、松本勝太郎氏ヘハ丸山方作氏講演ノ日及場所ニ付テ報告シ、塩島金一郎氏ヘハ大久保立子葬儀ニ付テ問合セヲ為ス。

○午後、堀先生来診ス。体温三十八度、辛子及エキホス湿布施用ヲ命セラル。午後四時頃、三十八度五分ニ達ス。夕刻、辛子湿布ヲ施シ、次テエキホスヲ用フ。何レモ効果アリ。咳発大ニ停マル。

○食餌ハ朝、餅。夕、温飩<sup>マヤ</sup>ナリ。果汁二杯。

医薬ノ外ニ、コール・タブレット四箇ツ、二回服用ス。

二月八日(土) 晴 寒

○昨夜快眠ス。体温朝三七・三、其後ハ終日三六・三、夜亦同シ。気分宜シク食欲進ム。午後三時頃、堀先生来診ス。

服薬例ノ如シ。又コールタブレット二回(三錠ツ)。辛子及エキホス湿布二回施用ス。咳ノ減退著シ。

○丸山方作氏、朝高松宮家へ奉伺ノ予定ニ付、吉島事務官ニ電話シテ同氏ト通話ス。(1)同氏ノ明日、明後日講演会ノ場所ヲ問フ。(2)ラヂオ放送ハ交渉未成ノ旨ヲ告グ。(3)帰途我家ニ一泊ヲ乞フ。

○三宅福馬氏へ電話ニテ東京放送局へ交渉ノ状況ヲ問ハントセシモ外出先ヨリ応答ナシ。

○相続税法中改正ノ件ニ付、俵孫一氏ニ電話セシニ不在ナリ。依テ已ムヲ得ス、其事ヲ宇佐美興屋氏ニ電話シ、同氏石渡莊太郎氏ヲ訪問セラレンコトヲ乞フ。

○夕、朝比奈貞一來訪ス。要ノ取扱ニ付相談ス。

○海江田一郎氏来訪ス。清風園内ニ住宅地ヲ求メタシト云フ。

二月九日(日) 晴 寒

○昨夜睡眠十分ナリ。体温八時三六・五、正午三六・一、七

時三六・六ナリ。食量三回平常ト異ラス。午前中大便ヲ通ス。服薬例ノ如シ。辛子湿布二回、エキホス一回、吸入一回ナリ。

○朝、丸山方作氏ヨリ千葉県ニ於ケル今明両日ノ講演会予定ヲ報告セラル。依テ之ヲ松本勝太郎氏ニ電話ニテ通知ス。

○小林次郎氏来訪ス。書記官長拝命、内祝トシテ一茶ノ俳句短冊及蛙画ノ短冊ヲ贈ラル。病中ニ付面会セス。

○去年八月一日、情報部発行ノ「皇国内外ノ情勢」ナル小冊子ヲ岩田宙造氏へ送届ク。

○静岡市、静陵高等女学校校長室田有氏来訪ス。同校ノ資金募集ノ件ニ付テナリ。病中ニ付面会セス。

○四時頃、堀先生来診ス。

○館林マス子、沼津へ赴キ、大森夫人ヲ訪問ス。要ノ為ニ静養ヲ依頼ス。

○重友ハ約一週間ノ予定ヲ以テ再ヒ東北地方へ旅行ス。今夕、郡山泊ノ予定ナリ。

二月十日(月) 雪三寸 朝歇午後晴 暖

○昨夜睡眠十分ナリ。体温八時三六・五、正午三六・三、夜九時三六・七ナリ。食量三回ニシテ平常ト異ラス。

服薬例ノ如シ。辛子湿布并エキホス各一回。咳減少ス。

堀先生午後四時半頃来診ス。エナルモン注射ヲ為ス。

○朝、貴族院ヨリ各派交渉委員会ノ通知ヲ受ケシモ出席ヲ断ル。仮議長選定ノ件ニ付テナリ。

本会議アリシモ登院セス。軍法會議法案委員会ヲ欠席ス。

○直子ハ朝、横浜ニ赴キ要ヲ見舞フ。夕刻帰宅ス。要ノ近状ヲ審ニスルヲ得、又アキ子ノ心境モ明トナレリ。

○マス子ハ午後、齒科医ニ赴キ治療ヲ受ク。

○泰治、夜十時頃スキーヨリ帰来ル。

〔欄外〕

○大角海軍大将、須賀海軍少将等ト去五日、広東ヲ発シ海南島ニ向ヒシニ、途中飛行機ノ故障アリテ山岳ニ激突シ、全員殉職ス。

二月十一日(火) 快晴 暖

○昨夜快眠ス。体温朝八時三六・七、正午三六・三、四時三六・八、七時三六・六ニシテ下降思ハシカラス。咳発尚止ラス。食事三回、量普通、十一時頃大便通シアリ。灌腸ヲ以テ之ヲ促セリ。辛子、エキホス、湿布、各一回。午後少シク頭痛アリ。又、昏々トシテ眠ル《臥床ニ飽キ、少シク疲労衰勢ス》。

堀先生七時来診ス。気管支ノ雑音ハ発咳ノ時ト雖、消失セスト云フ。

○午後光永星郎氏、其所有地ヲ見回リニ来リシ由ニテ訪問セ

ラル。病中ナルヲ以テ面会セス。

○泰治ハ十二時五十分、陸軍航空本部ニ出頭シテ人物考査ヲ受ク。

二月十二日(水) 晴 強風寒冷

○昨夜快眠ス。体温八時三六・八、正午三七・〇、午後四時三七・三、六時三七・四、十時三六・五ナリ。咳発昨日ト異ラス、食事三回、量普通ナルモ美味ヲ感セス。気分全体ニ懶シ。辛子湿布二回。エキホス一回。

堀先生、夕五時頃来診ス。解熱剤ヲ与ヘラル。又、病菌抗素ノ注射ヲ行フ。

今朝、尿ヲ採リテ検査セシニ蛋白質ナシ。糖ノ含有量ハ微量ニシテ痕迹ヲ示スノミト云フ。

○本会議アリ。国家総動員法改正、国防治安法等、議題ニ上リシモ出席スル能ハス。甚遺憾ナリ。

正副議長共ニ病氣ニテ欠席セラレシヲ以テ仮議長徳川圀順公、議長ノ職務ヲ行ヒタリ。

○要ヨリ二回電話アリ。心配少カラサルモノノ如シ。

○大野春子ヨリ直子ニ対シ、祈祷ノ為ニ用キタル要ノ膚襦袢ヲ返却シ、同時ニ煮豆御符ヲ送来ル。予ノ分ハ直ニ服用シ了ル。

○マス子、齒科治療ヲ受ク。

〔欄外〕

○家代山田家（幼主惇元）ニテ明日、法会ヲ行フ由、大村留吉ヨリ通知アリ。依テ同人ヲ代人トシテ列席セシムルコトトシ、此事ヲ留吉ニ命ス。

二月十三日（木）曇強風後晴 寒

○昨夜快眠ス。体温午前八時及正午三六・四、午後五時三六・七、十時三六・五ナリ。咳発少シク緩ナリ。体温ノ下降ハ解熱剤ノ効果ナラン。食事三回、量多シ。辛子、エキホス各一回、吸入二回、朝食後コール・タブレット四錠ヲ頓服ス。午後大便通一回アリ。体温下降ノ為、気分宜シ。終日、雑誌御料林等ヲ読ム。

○名取和作氏ヨリO.W.Willcox氏ノNation can live at Homeナル米書ヲ贈ラレシヲ以テ、三四十頁ヲ通読ス。氏ハAgro-biologist<sup>アグロバイオジスト</sup>ニア、農作ノ進歩改良ニ依リテMalthusノ指摘セル結果ヲ廻避<sup>アヤ</sup>シ得ルモノト為ス如シ。日本ノ現状ニ関シテハ富民協会ノ報告書ヲ根拠トス。

○袴田銀藏氏へ振替ニテ金五十円ヲ贈ル。之ハ東遠明朗会創立諸費ニ充テンカ為ナリ。同氏ニ対シ同会創立ノ状況ヲ問合ハス。

○夜七時頃、堀先生来診ス。病菌抗素ヲ注射ス。

○直子、泰治少シク感冒ノ気味ナリ。マス子ハ齒ノ治療ヲ受

ク。

二月十四日（金）曇 冷

○昨夜睡眠十分ナラス。已ムヲ得ス読書二時過ニ及フ。体温朝昼及三六・五、夕及十時三六・四ニシテ、咳発減少シ気分良好ナリ。食事三回、量増加ス。午前便通アリ。又昼間睡眠二回。辛子湿布一回、吸入二回。堀先生来診ス。○本会議アリシモ登院セス。入浴ヲ欲シタルモ外氣冷ナル為、之ヲ止メテ専ラ蟄伏平臥ス。

○直子ハ九時過横浜へ赴ク。マス子モ齒科ノ治療ヲ受ケタル後、横浜へ赴ク。夜八時頃帰来ル。

○丸山方作氏ヨリ書状到著、詳細ニ千葉県下ニ於ケル講演ノ状況ヲ報告セラル。又、帰途、坂部村ニ立寄ラレタルニ同村ノ有志六名ノ米、小麦、甘藷増産成績ノ顕著ナルヲ報告セラル。

二月十五日（土）快晴 暖

○昨夜殆ト睡眠セス。時々読書ス。竟ニ曉ニ至ル。

○体温八時及一時三六・〇、八時三六・五。十時過入浴ス。又髻ヲ剃ル。大ニ輕快ヲ覺ユ。咳発為ニ減少ス。吸入午後及夜各一回。

食量大ニ増進シ、大便通一回アリ。大体平常ニ復ス。

八時半頃、堀先生来診ス。

○本会議アリ。総予算案、追加予算案、臨時軍事費予算案ヲ可決ス。児玉伯、建部博士ノ賛成演説アリ。

本日モ遺憾ナカラ欠席ス。

○矢田部夫人、夕六時八分浅草著ニテ来ル。興三、之ヲ出迎フ。

○夜十時前、昇三郎来訪ス。直子縁談ノコト、泰治陸軍受験ノコト等ヲ相談ス。

○本日ハ初メテ気分宜シ。「国際知識」誌ニ就キ、日米関係ヲ耽読ス。

二月十六日(日) 晴 暖

○昨夜モ睡眠大ニ不足ス。四時頃マテ輾々反側ス。

○体温朝夕各三六・五、気分爽快ナリ。咳モ大ニ減少ス。吸入午前午後各一回、食量平常ニ回シ、夜大便通アリ。夕刻、堀先生来診。慢性気管支加答児ノ残存ヲ認ムルモ全快ト見做スト云ハル。咳発ニ対スル手当ヲ指示セラル。

明日ヨリ議会ニ登院スルモ差支ナシト決定セラル。夜入浴ス。

○昇三郎、朝十時半頃去ル。今夕ハ伊澤氏方ニ、明、明後夕ハ帝国ホテルニ泊スト云フ。直子ノ芦屋行ニ付、打合せヲ為ス。

○十時半頃八木四郎氏来訪ス。昨秋ヨリ日野所在ノ工場勤務トナリシモ、本社詰トナリタシト云フ。之ニ対シテ工場実務ノ研究ヲ離ルルノ不可ナルヲ告ク。昼食ヲ呈ス。

○十一時半頃、井上寿徳氏新夫人ト共ニ来訪、挨拶ヲ述ヘ写真ヲ贈ラル。

○二時頃、清水市出身中村政蔵氏《日本石油、労務課》来訪ス。大豆種子買入願出ノ件ニ付打合せヲナス。角替吉平氏ニ紹介ス。最近ノ会社ノ状況ニ付、種々ノ談話ヲ聴取ス。

〔欄外〕

○昌子、マス子ハ大森夫人ニ面会ヲ兼ね、買物ノ為、午後銀座方面ヘ赴ク。

○今市町、県社報徳二宮神社ニ於テ、明日午前十時ヨリ祈年祭ノ新穀献納式ヲ行フニ付、予ノ出席ヲ求メラレシニ対シ、病氣ノ故ヲ以テ参加不能ヲ遺憾トスル旨、速達郵便ニテ返答ス。

二月十七日(月) 細雨 冷

○昨夜亦不眠甚シ。就褥ノ頃ヨリ次第ニ悪寒ヲ覺エ、一時頃ニ至リ発熱著シカリシカ如ク、其原因ハ昨日来客ニ接スルコト長カリシニ由ルカ、又ホルモン注射ノ副作用ナラシカト思料ス。体温八時三七・六、十二時半三七・〇、

五時三五・五、九時三六・四ナリ。食事三回、朝昼ハ其量著減、夕平常ニ復ス。吸入夕一回、夜九時堀先生来診ス。熱原不明。

○本会議アリシモ欠席ス。甚遺憾ナリ。

○午後三時半頃、三ヶ日町大福寺高平勇氏来訪ス。丸山方作先生ヲ中心トスル農業団体ノ連合会ヲ三月気賀町ナル引佐農学校ニテ挙行スヘキニ付、予ノ出席ヲ求メラル。乃之ヲ快諾ス。

○袴田銀藏氏ヨリ書状来著。東遠明朗会ハ去八日発企人会ヲ開キ会則ヲ決定シ、会長、副会長、小野仁輔氏、幹事袴田銀藏、小柳直吉、戸倉儀作、松浦清三郎、山本福吉五氏ヲ選任シ、丸山氏ノ都合ヲ問合セタル上、来二十日掛川農学社ニテ会員大会ヲ開クニ決定セシ由ヲ通知セラル。之ニ対シ二十日ハ出席シ難シ、鷺山、田辺、両氏ヲ顧問ニ推薦スルニハ会員大会ニテ全会一致ヲ以テセラレタシ。小野氏ノ副会長就任ヲ喜フ旨ノ返事ヲ出ス。

〔欄外〕

○泰治ハ海軍ノ技術将校出願ニ付、体格検査、人物考査ヲ受クル為、築地海軍經理学校ヘ出頭ス。夕刻帰ル。

○矢田部夫人、マス子ハ午後横浜朝比奈方ニ要ヲ訪問ス。十時過帰宅ス。

○高平勇氏ニ対シ明日ノ衆議院議事傍聴券交付方ヲ田村属ニ

依頼ス。

二月十八日(火) 晴 暖

○昨夜亦睡眠容易ナラス。乃チ認物ヲ為シ、十二時頃便通ヲ終リ、漸ク華胥ニ遊フ。八時頃覚眠ス。気分佳良ナリ。○今朝体温三六・四、夕六時半三六・二。食事三回、量普通ナリ。終日起居テ疲労ヲ感セス。二時及八時半、吸入ヲ為ス。六時過堀先生来診ス。全快ヲ告ケラル。但シ、当分夜間ノ集会ニ出席ヲ禁セラル。

○一時半頃、三浦安藏氏来訪ス。病氣欠席中ノ同成会事務ニ付報告セラル。又、伊澤氏加藤氏ヘ贈品ノ件ニ付相談ヲ受ク。総テ登院ノ上ノコトトス。

○□□□氏来訪ス。横浜市役所ヘ奉職希望ニ付、昇三郎ノ紹介ニテ柴田善三郎氏ニ面会セリト云フ。明日半井市長往訪ノ約ヲ得タルニ依リ、其結果ハ更ニ通知スヘシト云フ。

○植村澄三郎氏ノ使来訪シ、内山真龍翁贈位申請書及附属書類ヲ返送セラル。余部多キヲ以テ留置カレンコトヲ求ム。

○四時過、徳川公爵家ニ至リ宇佐美中将ニ面会シ、公爵ヨリ屢慰問セラレタルニ対シ挨拶ヲ述ヘ、相続税法関係ニ付成行ヲ問フ。

〔欄外〕

○伯爵徳川達孝閣下、今朝十一時頃薨去セラレタル由、宇佐美氏ヨリ聞知ス。依テ公爵邸ヨリノ帰途弔問ス。

○東遠明朗会会則ニ対シ各所ニ亙リ所見ノ記入ヲ為シ、明後日ノ創立總會ニ於ケル説明材料ト為ス。

其結果、修正箇条細則制定箇条及単ナル正誤又ハ字句整理箇条ノ取扱ヲ見ルニ至ルヘシ。

夜十二時終了。

二月十九日(水) 雨 暖

○昨夜亦睡眠容易ナラス。十二時迄東遠明朗会々則ニ付、修正点施行細則等ヲ記入シ、且組織ノ根本事項ニ付説明ヲ附記ス。八時頃覚眠。九時過袴田氏へ速達便ニテ送付ス。

○病態漸ク撤退セルカ如シ。体温平常ニ復シ食餌普通量トナリ大便通アリ。十時出発、五時半帰宅セシモ少シク疲労セシメシナリ。

○本会議アリ。十一時過ヨリ出席ス。

○議事散会后、各派交渉委員会ニ出席ス。井上匡四郎子、松平議長ハ何レモ議員勤続三十年ニ達セシ由ニ付、院議ヲ以テ之ヲ表彰シ且記念品ヲ贈呈シ、肖像画<sup>マヤ</sup>ニ院内ニ掲クルコトヲ決定ス。次ニ書記官長ヨリ、閣議ニ基キ昨日貴族院ノ議事促進方ノ懇請アリシ由ニテ其内容ヲ報告ス。之ニ対シ各員ヨリ之ヲ不満トスルノ意見続出し、結局書

記官長ヲシテ政府ノ真意ヲ質シ、交渉委員ノ意向ヲ伝ヘシムルコトトナル。

○研究会酒井伯ヨリ、瀬古前書記官長ニ対シ記念品贈呈ニ付勧誘アリ。同成会ヨリ發起人トシテ塚本氏ヲ煩ハスコトトス。事務ハ事務局ニ託スル意向ナリ。

〔欄外〕

○柴田氏、塩田氏等ヨリ昨夜ノ三派懇親会ノ状況ヲ聴ク。

○古島氏ニ面会シ、昨夜ノ申合事項ヲ処理スル方法ヲ相談ス。

○議案類、速記録等ノ整理ヲ為ス。

○徳川達孝伯薨去ニ付、御花料ヲ井出、真野、河井、土方、宇佐美、成田、井出<sup>マヤ</sup>ヨリ計金五十円ヲ呈スルコトシ、<sup>(ト脱カ)</sup>之カ実行ヲ徳川家事務所ニ一任ス。

○帰途、徳川伯ヲ弔問ス。御遺骸ニ対シ焼香拝礼ス。

○重友、今朝秋田県ヨリ来著。直ニ出勤シ夕刻帰宅ス。

○館林マス子病臥ス。

二月二十日(木) 曇 暖

○昨夜快眠ス。体温食事等平常ニ異ラス。夜咳発稍多シ。

○十時三十分登院。米穀ノ応急措置ニ関スル法律案改正委員会ニ出席傍聴ヲ為ス。

○大政翼賛会予算ノ取扱ニ関シ、田口、丸山、岡、古島四氏ト意見ヲ交換ス。

○□□□氏議院ニ來訪シ、昨日半井横浜市長往訪ノ由ヲ報告ス。而シテ本日午後平山泰氏ヲ訪問スヘキニ付、夕刻其結果ヲ電話ニテ報告スヘシト約セラル。

○山本忠助氏來訪ス。田子村ニ砂防工事實施確定セシ由ニテ謝意ヲ表セラル。明日ノ貴族院傍聴券ヲ呈ス。

○赤木正雄氏來訪シ、治水利水ニ関スル行政機構改革意見草案ニ付、協議委員ノ選定方ヲ申入レラル。偶然山本氏ニ出会フ。

○市川紀元ニ中尉伝刊行会主事渡辺光平氏、山崎覺次郎博士ノ紹介ニ依リ來訪。同会事業發起人タランコトヲ依頼セラル。之ヲ諾ス（二木男、山崎博士、篠田中將、柴田氏等ノ同意ヲ得タリト云フ）。青山士氏ノ此事業ニ対スル關係ヲ問ヒシニ之ヲ知ラス。

〔欄外〕

○館林マス子、本日モ病氣ニテ臥床ス。

○角替佑子、家政学院入学銓衡ヲ通過ス。

○黒田新平氏來訪。同氏去十四日農林技手退官、今回住友本社林業所ニ勤務スルコトナレリト挨拶セラル。氏ハ明後二十二日単身赴任、家族ハ四月移転スヘシト謂フ。

二月二十一日（金）曇夜雨 暖

○昨夜睡眠十分ナリ。終日異常ナシ。吸入朝夕各一回。

○本會議アリ、出席ス。総動員法改正案、衆議院議員等ノ任期延長案等可決セラル。

○議事散會後（三時半）ヨリ大政翼賛会予算ニ対スル態度ヲ協議スル為、三派少数者、岩田、岡、古島、大西、丸山、柴田、河井及研究会田口、内談室ニ集會ス。各自意見ヲ開陳シ、結局貴族院予算總會ニ於テ政府力委員ノ質問ニ對シテ答弁セシ諸点ヲ抑へ、委員會一致ノ決議ヲ以テ、政府ハ速ニ同會ヲシテ法規ニ適ヒ、機構改正ヲ為シ、人事ヲ刷新シ、予算ノ緊縮ヲ為サシムヘシトノ趣旨ヲ高調スルニ決ス。而シテ先ツ速ニ其事項ヲ起草シ、明日午後一時ノ集會ニ於テ内容ヲ検討スルコト。其結果ニ依リ他派ニ交渉ヲ開始シ予算委員會ニ臨ムコト、万一他派ニ於テ之ヲ容レサルトキハ三派ハ堂々之ヲ主張シテ記録ニ留ムヘシト覺悟ヲ決定シ、尚今明兩日ノ衆議院内ノ動向ヲ明ニシ之ヲ参酌スルコトトシ、丸山氏ニ右起草ヲ依託ス。四時半散會ス。

○大河内輝耕子ニ右ノコトヲ内報ス。

〔欄外〕

○瀨古夫人來訪セラル。鮮魚一籠ヲ贈ラル。

○館林多久次氏夫人、伊林夫人來訪、莓ヲ贈ラル。

○河野博通氏來訪ス。明日大阪ヘ歸ルト云フ。

○□□□□氏來訪。外孫□□□□氏明星中学校入学希望ニ



付、児玉校長へ依頼ノコトヲ申入レラル。夜、依頼状ヲ出ス。

○直子、横浜朝比奈方ニ要ヲ訪フ。明朝、燕ニテ大阪へ赴クコトトス。

○矢田部夫人、日光へ帰ル。

○館林マス子、腹痛回復ス。

二月二十二日(土) 晴 暖午後強風寒

○昨夜モ快眠ス。咳発減少シ、疲労度少シク減ス。吸入朝夕二回。

○直子ハ九時發燕ニテ大阪へ赴ク。依テ昇三郎宛電報ヲ以テ同人ノコトヲ依頼ス。東京駅マテ重友同行見送ル。

○十時過登院ス。本日午後一時ノ集会ニ付、用意ヲ為ス。ソレヨリ治安維持法改正案委員会ニ至リ傍聴ス。

○田口弼一氏第八控室ニ来リ、丸山、次田両氏及予ト会谈ス。

○十一時半、食堂ニ入り昼食ヲ為ス。了テバスニテ新橋ニ至リ、地下鉄及京成電車ニテ上野寛永寺ニ赴ク。十二時半著。

○一時ヨリ故徳川達孝伯ノ葬儀アリ。列席ス。焼香ノ後、階下ニ出テ告別式ニ来集者ニ対シ列立挨拶ス。一時頃季候急変シ、西北風強ク俄ニ寒冷ヲ加ヘシヲ以テ、一時半列立ヲ罷メ、京成電鉄、省線、黄バスニテ貴族院ニ帰ル。

○古島一雄氏ニ面会シ、午後ノ会合ノ状況ヲ問フ。五時半頃帰宅ス。

○六時半頃、日本放送協会講演部副部長佐々健治氏ヨリ電話アリ。丸山方作氏ノ甘藷増収方法放送ニ付打合せアリ。

〔欄外〕

○袴田銀藏氏ヨリ一昨二十日、東遠明朗会発会式ノ状況ヲ通知アリ。

一、来会者七十四五人、引佐、豊橋方面ヨリモ来ル。

一、丸山先生令息ト共ニ来臨。

一、午前、議事。小野副会長司会、会則決定、顧問推戴、細則制定方幹事一任等決定。

一、午後、丸山先生講演、四時三十分散会。

○丸山方作氏ヨリモ謝状ニ接ス。二十五日朝發、栃木県足利郡筑波村ニテ村長前橋眞八郎氏主催ノ講話会ニ出席、二十七日早朝同所發、午前中ニ来訪スル由ノ通信ニ接ス。

二月二十三日(日) 晴 北風強頗寒

○昨夜北風烈シ。本日も大ニ寒シ。

○咳発殆消失シ気分宜シ。夜吸入一回。

○九時半頃、岡本愛祐氏ヲ訪ヒ、御料事業ニ対スル木材統制ノ利害ヲ問フ。

○十一時半、吉祥寺一、三二二三宅福馬氏ヲ訪ヒシニ不在

ナリ。甘藷栽培法ノ放送ニ付、配慮セラレタルヲ謝スル旨ヲ告ケテ歸ル。

○午後、丸山方作氏ニ返書ヲ認ム。(1)東遠明朗会結成ニ付挨拶、(2)去十七日、高平勇氏来訪ノ用件、(3)二十六日、栃木県足利郡筑波村ニ於ケル講演会ニ県役人來ラハ面晤セラレタキ件、(4)ラジオ放送交渉経過報告、(5)二十七日來訪ヲ待ツ等ニ付テナリ。

○右件ニ付、栃木県經濟部長石川貞四郎氏へ書状ヲ呈ス。

○池ノ上駅辺ノ店ニテ斬髪ヲ為ス。

○林野会ニ対シ森林病虫害凶説ノ昆虫編第一第二ヲ頒布セラレンコトヲ申出ツ。

#### 〔欄外〕

○朝、柴田善三郎氏ヨリ電話ニテ信遠三ノ四電線省営ノ件及佐久間線速成ノ件請願採択運動ノ為、明朝兩人ニテ第三分科委員訪問ノコトヲ要求セラル。

○瀬古前書記官長ニ対シ贈呈スヘキ記念品料金五円ヲ振替ニテ近藤庶務課長へ送ル。

○衆議院ハ昨夕、大政翼賛会ノ予算ニ対スル修正案ヲ否決シ、原案ヲ確定シテ貴族院<sup>大隈</sup>へ送付ス。

○花房崎太郎氏、夫ト共ニ來訪シ病氣全快ニ付謝意ヲ表セラル。予不在、面会セス。

二月二十四日(月)晴 頗寒

○風強ク、北風寒シ。

○本会議アリ、出席ス。二十二ノ法律案ヲ可決シ去ル。

○次田大三郎氏ヨリ、一昨日ノ三派小委員会ニ於ケル大政翼賛会ニ対スル希望決議案ヲ受ク。依テ之ヲ同成会ノ予算委員、入江、米山、塩田三氏ニ示シ、委員会ニ於ケル三氏ノ行動ニ付相談ス。

○佐久間線急設及辰野豊橋間私設鉄道買収ノ兩請願ハ分科会ニ於テ審議未了トスヘキモノト決セラレタル由ナルモ、之ヲ採択セシムルヤウ主査柳澤伯、出淵勝次氏、結城安治氏ニ対シ配慮ヲ求ム。柴田氏ハ其他諸氏殊ニ久保田男及八代副主査ニ依頼ス。其結果、採択セラル。

○国防治安法案ニ対シ委員会ニ於テ修正案提出ノ議アリ。三派ハ之ヲ主張スルモ、研究会ノ態度豹変セシヲ以テ三派ノ結束ヲ固クスルニ決シ、交友俱樂部岡、古島兩氏及委員内田、大西兩氏ニ話ス。又、同和会ニ対シテハ岩田、江口兩氏既ニ退出後ナルヲ以テ協議スルヲ得ス。明朝迄ニ電話スルニ決ス。

丸山、次田兩氏ハ明日九時半登院シ、三派ノ同委員各個ニ就キ議ヲ纏ムルノ任ニ当ル。

#### 〔欄外〕

○館林マス子、横浜朝比奈方ニ要ヲ訪フ。要ハ帰心矢ノ如シ

ト云フ。噫、未快癒ノ曙光スラ之ヲ見ル能ハサルカ。深憂ニ堪ヘス。

○重友、感冒ノ気味アリ。欠勤ス。

二月二十五日(火) 晴 頗寒

○九時半頃登院ス。今朝、岩田、江口両氏ト打合セノ内容ヲ丸山、次田氏等ニ告ク。

○九時五十分第二部会ニ出席シ、予算委員補闕選挙ヲ行フ。田所美治当選ス。控室ニ帰り、夕刻迄ニ松村氏及三派委員集会協議ノコトヲ定ム。

○十時ヨリ予算委員会ヲ傍聴ス。東郷男ヨリ近東情勢、泰仏印紛争調停会談状況、蘭印交渉問題、最近日英関係事項、野村大使ノ行動関係等ニ付質問シ、松岡外相ヨリ秘密会ニテ答弁ス。午後、大政翼賛会ニ関シ岩田宙造、丸山鶴吉、大河内輝耕子ノ質問アリ。

○四時半頃、白根竹介氏来談。国防保安法案ノ取扱方ニ付意見ヲ交換ス。其状況ヲ岩田氏、同案三派委員、塚本氏ヘ報告ス。

○国防保安法案ノ修正ニ関シ、同案委員松村、小原、澤田、松井、内田、中野、下條、建部ノ八氏会合協議ス。松井氏ハ修正主張程度異ルノ故ヲ以テ夙ク退出ス。ソレヨリ七氏ニテ修正点ヲ定メ、案文ニ付協議シ、其成案作成ヲ

小原氏ニ託ス。予ハ委員会及本会議ニ於ケル修正案取扱方法ニ参画ス。右ノ結果、夜電話ヲ以テ岩田氏ト相談ス。議場ニ於ケル賛成演説者ヲ得ル為。

○帰途、四谷伝馬町ニ三浦安藏氏ヲ訪ヒ、大政翼賛会予算ニ対シ附スヘキ希望条項ノ印刷七十部ヲ作ルコトヲ依頼ス。〔欄外〕

○重友ハ本日モ病氣欠勤ス。

○朝、電話ニテ花房崎太郎氏ノ全快ヲ祝ス。又、一昨日ノ来訪ヲ謝ス。氏ハ一兩日中ニ伊東ヘ転地スト云フ。

○食糧増産ノ為予備金三千万円支出ノ公約及其内容ニ付テハ、農地開発法案委員会ニテ佐藤助九郎氏ヨリ質問スルコトヲ依頼ス(会計法違反問題ナリ)。

○木材統制法案ニ付テハ内地木材ノ供給計画ノ内容、民林濫伐偏行ノ弊ヲ予防スルコト、民林所有者ノ犠牲トナサルコト等ニ付、深甚ノ注意ヲ求ムルヤウ柴田兵一郎氏ニ依頼ス。

二月二十六日(水) 暖 晴

○朝、伊澤多喜男氏ヨリ電話アリ。鉄道問題ノ請願処理ニ付談話ス。

○岩田宙造氏ヨリ電話アリ。国防保安法案ノ修正案ニ対スル賛成演説ハ松本烝治氏ニ交渉セシニ承諾ヲ得ル能ハサリ

シ由、通報アリ。

○田口弼一氏ニ対シ電話ニテ、右件ニ付研究会ノ形勢ヲ問フ。  
○九時半登院ス。右案ニ付、下條氏ヨリ委員会ノ経過ヲ報告アリ。修正案ハ本会議ニ提出スルニ決ス。仍テ賛成者ノ署名ヲ集ム。

○本会議ニ出席ス。

○予算委員会ニテハ、岡氏ヨリ大政翼賛会ニ対スル希望事項ニ関シ委員一致ノ態度ヲ取ル為懇談会ヲ開クノ動議ヲ可決シ、各派ヨリ二名ノ委員ヲ出シテ成案ヲ得。午後ノ委員会ニテハ異論続出シ、遂ニ委員長ニ成案作成ヲ委任シ、委員長ハ各派一名宛ノ小委員ヲ挙ケンコトヲ求メ、之ト会議シテ成案ヲ得タリ。

○国防保安法案ニ対スル修正案作成会ニ出席シ、小原氏ノ立案ヲ提出スルニ決シ、発議者ヲ六名トシ、賛成者三十一名ヲ得タリ。議事課長及属官ヲ呼ビ、正式ニ提案ノ手続ヲ了ス。

〔欄外〕

○二・二六ナルモ先輩ヲ訪ハズ。

○重友病氣心配ナシ。本日モ欠勤ス。

○ナホ子ヨリ手紙ヲ受取ル。芦屋到著ノ模様。其後ノ行動ヲ詳ニス。

○袴田銀藏氏ヨリ去廿日決定セシ東遠明朗会ノ会則、細則、

予算等ヲ送來ル。

○栃木県筑波村役場ヘ電話シ、丸山氏ニ対シ明日貴族院ニ來訪ヲ求ム。

○故松本喜作氏後嗣〔空白〕氏來訪シ喜作氏ノ農業著書ヲ贈ラル。

○マス子、磐瀬先生ノ診察ヲ受ク。格別ノコトナシ。

○矢田部夫人來著ス。マス子、明日前橋ヘ歸ルヲ以テナリ。

二月二十七日（木）暖 晴

○九時半登院。国防保安法案及予算案中大政翼賛会事項取扱ノ為協議ス。

○本会議ニ出席ス。国防治安法ニ付、堂々論陣ヲ張ル。採決ノ結果ハ修正案ニ賛成七七票、反対百七十三ナリ。松村義一、小原直両氏ノ演説最佳ナリ。追加予算案ハ大政翼賛会ニ対スル希望決議ヲ可決ス。政府ノ責任重大ナリ。

○議事散会前丸山方作、服部源太郎両氏ニ傍聴席ニテ面会ス。両氏ニ対シ、今夕來泊ヲ勸ム。

○九時頃両氏來訪ス。夜一時過マテ快談ス。

〔一行アキ〕

○大村留吉ヨリ米売払代金一六三二円六〇錢ヲ振替口座ニ払込ミアリトノ通知、振替貯金局ヨリ來著ス。此金額ハ払代ヨリ五〇円ヲ雜費トシテ大村方ニ控除セシ残額ナリ。

〔欄外〕

○焼津水産学校長荒木丑平氏ノ為ニ五十川教育課長へ書状ヲ呈ス。

○マス子ハ葉子ト共ニ前橋へ帰ル。

○大森健一郎来泊ス。身体検査ヲ受ケル為ナリ。又、中学校へ入学希望ヲ發ス。

○来月四日夕、三派議員懇親会開催ノコトニ決定シ、会場ヲ中央亭ト定メ其通知状ヲ發ス。

二月二十八日（金）雨午後晴 冷

○七時起床。香坂昌康、内田重成二氏へ丸山氏ノ来京ヲ報ス。香坂氏病中ナリ。

○九時三十分貴族院ニ至ル。丸山、服部両氏ヲ伴ヒ応接室ニ待タシメ、内田重成、田澤義鋪両氏及二荒芳徳伯ニ面会セシム。

○九時五十分各派交渉会アリ。今期議會ノ議事取扱方ニ付協議ス。議案ナケレハ自然休会トシ、最終日ニ本會議ヲ開クコトトス。

○赤木正雄氏来訪ス。

○十時ヨリ、予備金支出ノ件委員会アリ、出席ス。八條隆正子委員長ニ、予ハ副委員長ニ当選ス。ソレヨリ議事ヲ進メ正午休憩ス。七時終了ス。

○刑法改正案ニ付兩院協議会アリ。結局六時頃成案成立ス。○午後一時本會議ヲ開ク。日程ノ中、請願一件ヲ残シテ休憩ス。

○治安維持法委員会ニ於テ、次田委員ハ修正ヲ主張ス。各委員亦同意見ナリ。然ルニ研究会先ツ豹変シ、次テ公正会軟化ス。三派ハ再ヒ議場ニテ修正案ヲ争ハントセシモ、同和会ノ結束乱レシヲ以テ断念ス。斯クテ委員会ハ修正ヲ否決シテ本案ヲ可決ス。

○六時、各派ヨリ一名宛交渉委員集会シ、議長ノ諮問ニ応シテ議事方法相談ス。即再会ノ上、協議会ヲ成案<sup>マデ</sup>ヲ上程シ、其間ニ他ノ案ノ委員会終了セサレハ、成案會議ヲ了ラハ散会スルニ決ス。

〔欄外〕

○七時交渉会再会セラレ治安維持法改正案及予備金支出ノ件委員会終了セシニ付、引続キ上程、今夕中ニ議了スヘキヤ否ヤヲ議ス。研公ニ派ハ之ヲ賛セシモ、他派ハ之ニ反對シ、竟ニ此儘ニテ散会スルニ決ス。

○七時半議事再会、直ニ散会トナル。

○大森健一郎ハ寛博士ヲ訪ヒ診断ヲ受ク。

○静陵高女校長室田有氏、同校復興資金募集ノ件ニ付、出身者二婦人ト共ニ来訪ス。十二時半面会ス。

三月一日(土) 曇 寒

○塚本清次、江口定條、小坂順造三氏ノ病氣ヲ電話ニテ見舞フ。

○本会議ニ出席ス。(1)予備金支出承諾ノ件、(2)治安維持法中改正案、(3)請願一件ヲ議決シ十一時十五分頃散会ス。

○控室ニテ白票青票投票者ノ調査ヲ為ス。

○食堂ニテ白票有志丸山、河井、大谷、佐藤、米山、松村諸氏会食ス。

○一時、日本放送局ニ至リ講演部副部長佐々健治氏ニ面会シ、丸山氏ノ業績ヲ紹介シ本年度甘藷増産ノ為速ニ三回ノ連続講演ノ取計ヲ申入ル。然ルニ連続講演ハ既ニ数カ月ニ亘リテ確定シアリ。到底之ヲ容ルルノ余地ナキモ、一回ツ、不定期ニ之ヲ行フ様希望ストノコトニテ、局ニテモ頗熱意ヲ有ス。依テ本月二十日頃マテニ第一回分トシテ苗床作成ヨリ植付マテノ講演ヲ三十分間行フコトト協定シ、尚其日時ノ決定ハ打合セヲ為スコトトセリ。

○夜、右ノ次第ヲ丸山氏へ通知スル為、葉書ヲ発ス。

○児玉伯ヨリ全国治水砂防協会顧問トシテ六名ノ推薦アリシヲ以テ、事務所ニ立寄り赤木氏ニ之ヲ報告ス。

○大岩武夫氏傍聴券ヲ求メラル。熊谷氏ニ乞ヒテ氏ノ傍聴券ヲ呈ス。

○松平議長井上子ノ勤続三十年表彰費割当金四円ヲ事務局ニ

納入ス。

〔欄外〕

○大日本山林会ニテ佐藤蘭部両博士ニ甘藷増産ノ写真、図表等ヲ示シ説明ヲ為ス。

○全国治水砂防協会ニテ末次大将ニ同様ノ説明ヲナス。

○大森健一郎ハ帝大レントゲン科ニ至リ検診ヲ受ク。

○矢田部夫人横浜朝比奈方ニ要ヲ見舞フ。夜一泊ス。

○伊東滞在ノ伊澤多喜男氏ニ対シ、請願二件ハ請願委員会ニテ採択セラレ廿五日ノ本会議ニ上程セラルヘキヲ報告ス。

○夜、伊佐勇松氏来訪ス。一昨日要ヲ訪問セシ由ニテ状況ヲ報告ス。至情感謝ノ至ナリ。甘藷増産ノコトヲ話ス。

三月二日(日) 細雨雪 寒冷

○清宮殿下御誕辰ニ付奉賀ノ為参内ス。午前十時御人形ノ間ニ於テ特ニ拝謁ノ光栄ヲ賜ハル。竜顔ヲ拝シ玉姿ヲ仰キ奉リテ感激言フ所ヲ知ラス。御菓子ヲ頂戴ス。

○朝、大瀧靖氏ヲ訪ヒテ昨日来訪セラレシモ不在ナリシヲ以テ用件ヲ伺ヒシニ、世田谷区方面会館建築費寄附ノ件ニ付テナリ。

○宮中ヲ退出シ乾門ヲ出テ十時三十分軍人会館ニ入ル。本年卒業スヘキ陸軍諸学校生徒ノ卒業祝賀式ニ臨席ス。静岡育英会総裁、会長、副会長欠席ニ付会長ニ代リテ祝詞

ヲ述フ。次テ宇佐美、松田両中将、清水、鈴木両中佐、島津少佐ノ祝詞及激励ノ辞アリ。増田次郎氏モ送別ノ辞ヲ述ヘラル。ソレヨリ食堂ニ入り卓上ニテ飯田理事ノ育英会ノ沿革及事業ノ説明アリ。次ニ各自自己紹介ヲ行ヒ二時散会ス。三時帰宅ス。

○久保春海氏ノ病状ヲ聞ク。氣ノ毒ナリ。

○五時、三信ビル東洋軒ニ開会セル第六高女校長丸山、伊井両先生、安河内教頭、歓送迎晩餐会ニ出席ス。頗盛会ナリ。余興落語、丸一大神樂、漫談及獅子舞アリ。九時散会ス。

三月三日（月）曇 寒冷

○昨夜漸ク睡眠十分ナリ。感冒ノ再発ヲ怖レ終日外出セス。

○本日、沼津中学校ニ出頭シ校長ニ面会シテ大森健一郎ノ為ニ四学年復校ヲ依頼セント欲セシモ、外出ヲ欲セサリシヲ以テ長文ノ手紙ヲ呈シ懇請ス。尚其写ヲ大森夫人ニ送り速ニ校長ヲ訪問センコトヲ勸ム。健一郎八午前中ニ下谷ヘ赴ク。今夜一泊スト云フ。

○栃木県足利郡筑波村長前橋真八郎氏ヨリ書状ヲ受ク。返書ヲ発ス。

○過日小笠村松本俊男氏来訪シ、故喜作氏ノ遺著「農家経営ノ要領」ヲ贈ラレシモ面会セサリシヲ以テ謝状ヲ呈ス。

○静岡市北安東町一二一荒木丑平氏《県立焼津水産学校長》ニ対シ返書ヲ認メ、且昨日同氏ヨリ贈ラレタル鯉節ヲ小包郵便ニテ返還ス。

○河野博通氏来訪ス。今朝、半井横浜市長ヲ訪問セリト云フ。

○東京中央電話局長ヘ書状ヲ発シ、電話機ノ検査及改修ヲ求ム。

○夕、真島幸次郎氏ヲ往訪ス。自動車通行禁止立札撤去ニ付相談ス。

○夜、日本放送協会佐々健治氏来訪ス。甘藷栽培放送ニ付相談ス。

〔欄外〕

○矢田部夫人夕刻横浜ヨリ帰来ル。要ノ気分大ニ回復セリト云フ。

○角替文子盲腸炎手術ノ為入院中ニシテ経過良好ナリト云フ。

○夕、大森夫人ヨリ電話ニテ健一郎ノコトヲ尋ネラル。寛博士診断ノ結果ヲ詳細ニ報告シ、速ニ沼津中学校ヲ訪問スヘキ旨ヲ勸ム。

○直子特急燕号ニテ帰京ス。

三月四日（火）晴 寒

○昨夜睡眠十分ナラス。三時ニ至ル。今朝七時起床ス。

○十一時、貴族院警務課ニ出頭。遺失セシ眼鏡ヲ受取ル。ソレヨリ読書室ニ於テ取調ヲ為ス。

○電話ニテ打合セタル結果、一時頃石黒農相ヲ官舎ニ訪問ス。丸山氏ノ甘藷栽培法ヲ速ニ全国ニ放送スル為、農林省高官ヲシテ氏ニ先チテ政府ノ方針ヲ放送セラ<sup>(レ)</sup>ンコトヲ申入ル。農相之ヲ諾シ、午後三時本省ニ次官ヲ訪問セラレンコトヲ求メラル。

○三時、農林省ニ出頭、井野次官ヲ訪ヒ、以上ノ希望ヲ述ヘテ同意ヲ表セラル。次テ岸農政局長、同局農産課長森肆郎技師、特産課長坂田英一技師ニ紹介セラレ、甘藷増産方法ヲ説明シ、更ニ甘藷買上価格ヲ問ヒ貯蔵方法ヲ質ス。一トシテ要領ヲ得ス。是レ政府ノ真意ノ桑園縮少ノ跡始末ニ在ルヲ以テナリ。次ニ農村ニ対スル米ノ配給ノ不当ナル実例ヲ挙ケテ説明シ、四時過退出ス。

○中央亭ニ至リ中央放送局講演副部長佐々健治氏ニ電話ヲ以テ右決定ノ由ヲ告ケ、本件ニ付テハ今後ハ農林省ヨリ交渉アルヘキヲ報ス。

○河合亮之助氏問合ノ榛葉翁御表彰ノ件ハ下条氏□ノ取調ヘタル結果ヲ報告セラル。依テ其旨河合氏ヘ通スル為書状ヲ認ム。

〔欄外〕

○丸山氏ノ放送ヲ全国ニ周知セシムル方法トシテ、農林省ニ

於テハ企画部ノ力ヲ利用スト諾セラル。又、放送局ニテモ宣伝部ニテ行動スヘシト云フ。

○本件ニ付テハ農林大臣以下当局ノ熱意熾烈ナルヲ認メタリ。又、丸山氏ニ対スル当局ノ認識ヲ深クシタルコトハ甚大ナリ。

○五時半ヨリ中央亭ニ於テ三派議員有志ノ懇親会ヲ開ク。来会者三十三名、食後三派合同又ハ提携強化ニ関シ熱心ナル協議アリ。結局各派ヨリ三名ノ委員ヲ挙ケ研究促進拡スルニ決ス。

○大森健一郎、沼津中学校ニ再入学ヲ得ヘキ旨、大森夫人ヨリ電話アリ。

三月五日(水) 晴 寒冷

○丸山氏ノ書翰ニ依リ、朝放送協会佐々氏ヘ電話ヲ以テ放送ノ日時ニ付打合セヲ為ス。

○小坂順造氏肺炎ニ罹リシ由、伊澤氏ヨリ電話アリシヲ以テ、十一時岡本町ノ別邸ニ至リ見舞フ。同時伊澤氏モ来リ夫人ニ面会ス。小坂氏ハ肺炎ノ前軽度ノ脳溢血発シタリトテ、絶対安静ヲ保チ加療中ナリ。経過良好ト云フ。十二時頃辞去。伊澤氏ノ自動車ニ同乗シテ帰宅ス。

○伊澤氏立寄ラレシヲ以テ甘藷増産運動ノコトヲ談話ス。

○午後二時、農林省ニ岸農政局長ヲ訪問シ、今朝佐々氏トノ



談話ニ基キ、来二十日又ハ二十一日丸山氏ヨリ都合ノ回報ヲ俟チテ、局長又ハ他ノ人ノ放送ヲ求メ承諾ヲ得タリ。依テ直ニ電報ヲ以テ、兩日ノ中何レヲ採ルヘキヤヲ丸山氏ニ照会ス。

○塩水港製糖会社東京支店ニ横有恒氏ヲ訪ヒ、同社台灣試験場ニ於テ細菌ヲ応用シテ甘藷増産ニ成功セシ事蹟ヲ問フ。

○夕、丸山氏ヨリ二十日ヲ可トストノ電報到著ス。依テ其旨佐々氏ニ電話シ配慮ヲ頼ム。岸局長ヘハ電話セシモ不在ノ為果サス。明朝ヲ期ス。

#### 〔欄外〕

○直子、要ヲ見舞フ為横浜朝比奈方ヘ赴ク。夜一泊ストノ電話アリ。

○角替文子盲腸ノ手術ヲ受ケタルニ本日退院スト云フ。

○七時頃、世田谷警察署情報部係持木熊男氏来訪ス。大政翼賛会ニ対スル所見ヲ問ハル。

○明星中学校長児玉九十氏ヨリ□□□氏令孫□□氏入学ノ件ハ甚困難ナリトノ予報アリ。依テ之ヲ□□氏ニ報告シタル上、児玉氏ニ対シ十二分ノ同情ヲ求ムルノ書翰ヲ認ム。

三月六日（木） 晴タヨリ曇 寒

○昨夜快眠ス。

○皇后陛下御誕辰ニ付皇后宮職ニ至リ恐悦ヲ申上ケ、御車寄ニテ恭シク奉賀ノ記帳ヲ為ス。

○日本俱樂部ニテ少憩ノ後、中央亭ナル日本國際協會午餐会ニ出席ス。食後三井物産倫敦支店長田辺俊介氏ノ空爆下ニ於ケル倫敦ノ実況談ヲ聴ク。頗有益ナリ。

○三菱經濟研究所ニ久保應助氏ヲ訪問シ、兩親ノ病状ヲ問フ。久保氏ハ輕キ脳溢血ニ罹リ、母堂ハ喘息アリ。何レモ輕快ニ赴ケリト云フ。又、應助氏ハ去月結婚セリト云フ。夜、久保氏ヨリ電話アリ。最早殆快癒セリト云フ。

○放送協會佐々氏ヨリ電話ニテ本日農政局國枝技師ヨリ電話アリ。来二十日ハ丸山氏ノミノ甘藷栽培法ノ放送アリトノ申出ニ接シタルモ、予カ昨日迄ニ報告セシ所ト異ル所以ヲ質サル。夜、岸局長ニ電話ニテ問合セ其事由ヲ佐々氏ニ返話ス。

○夜、大瀧靖氏来訪。八日夕開会セラルヘキ池之上小学校会顧問会ニテ協議スヘキ予算案編成方針ニ付相談ヲ受ク。

#### 〔欄外〕

○皇后陛下ヨリ特別ノ御思召ヲ以テ大鯪一尾ヲ頂戴ス。乃其一部ヲ矢田部大森兩夫人ニ頒ツ。

○要ハ横浜ヨリ帰来ル。元氣回復セシモノノ如シ。

○重友ハ夜十一時四十分發ニテ郡山ヘ赴ク。

○矢田部夫人夕刻日光ヘ帰ル。

○大森夫人来訪ス。健一郎ノ入学ニ付謝意ヲ述ヘラル。

○夜、昇三郎ヨリ電話ニテ直子ノ縁談ニ対スル意向ヲ問ハル。  
満足ナルヲ以テ促進セラレンコトヲ求ム。

三月七日(金) 雨 冷

○昨午後、大河内輝耕子ヨリ電話アリシモ不在ナリシヲ以テ  
今朝用件ヲ問ヒシニ、昨夕両院ノ翼賛会改革論者ノ会合  
ニ予ノ出席ヲ求メントノコトナリト云フ。江口、松村両  
氏等モ出席セルカ如シ。

○順宮殿下御誕辰ニ付奉賀ノ為御内儀ニ至リ、事務官室ニテ  
大夫事務官等ニ面会シテ祝賀ス。又昨日御肴御下賜ニ対  
シテ御礼申上ク。

帰途、呉竹寮ニ立寄り藤井御養育掛長ニ面会シ奉賀ス。

○大膳頭室ニ黒田子爵ヲ訪フ。甘露寺侍従次長在リ。両氏ニ  
対シテ甘藷増産ノ急要ヲ切言ス。

○日本俱樂部ニテ昼食ヲ為シ、貴族院第八控室ニ入り速記録  
ノ整理ヲ為ス。

○一杉藤平氏来訪セシモ不在ナリキ。要之ヲ接迎シ恩賜ノ肴  
ヲ饗シテ午餐ヲ呈ス。

○丸山方作氏ニ対シ本日拝戴ノ御菓子ヲ贈呈ス(郵便)。

〔欄外〕

○昇三郎ニ対シ直子縁談ノ進行ヲ依頼シ、且謝意ヲ表ス。

三月八日(土) 晴 寒

○故久宮祐子内親王殿下ノ第十三回御命日ナルヲ以テ、午前  
十時豊島ヶ陵御墓所ニ参拝ス。二上守長案内セラル。

○帰途渋谷ニテブロンチンヲ求ム。

○二時、文部省第一会議室ニ於ケル第四十六回報徳経済学研  
究会ニ出席ス。法政法学士岩井氏ノ二宮翁夜話ニ現ハレ  
タル経済倫理ニ付テナル研究発表アリ。甚有益ナリ。

○帰途銀座ニテ洋帳ヲ求ム。

○午後七時、池之上小学校会顧問会ヲ開会ス。出席者ハ顧問  
長谷川直敏、黒田清秀、阿川昌朝、中村藤兵衛、清水錠  
之助、真島幸次郎六氏、副会長和田謙三、渡辺亘、幹事  
阿川丑太郎、末松直次、田中猛、大瀧靖、鈴木吉五郎、  
河戸芳雄八氏ナリ。

予ハ会長トシテ顧問就任ニ対シ謝意ヲ表シ、校長及副会長  
并幹事ヲ紹介シ、小学校会設立ノ経過、事業遂行ノ方針、  
収支取扱方等ヲ詳述シテ顧問ノ援助ヲ乞フ。ソレヨリ校  
長ノ現状報告アリテ、八時半頃閉会ス。閉会后、甘藷栽  
培ニ付写真ヲ示シテ説明ヲ為ス。

〔欄外〕

○重友ハ夜十時過帰宅ス。本日茨城県ヨリ帰り出社セリト云  
フ。

○館林マス子両児同伴、夕刻来泊ス。

三月九日(日) 晴 寒

○十時頃、静岡英和女学校復活ノ為委員三名(阿部ゆひ子《麻布区霞町四》、外二名)来訪ス。徳川公爵ヲ名誉賛助員ト為スノ件ニ付、配慮ヲ求メラル。之ニ対シテ別ニ考案セラレンコトヲ求ム。其他種々相談アリ。

○一時四十分頃、渡部信氏ヲ訪フ。伊東卓治氏北京大学教授就任ニ付、同氏ニ寄セラレタル配慮ヲ謝ス。而シテ同氏カ宇野博士ト交渉セシ顛末ヲ報告シタル上、鑑査官ニ採用後ノコトニ付更ニ配慮ヲ乞フ。渡部氏ハ博物館ノ嘱託トシテ関係ヲ持續スルノ意向ナルカ如シ。一切ヲ託ス。

○夕刻、千葉伊東氏方へ右ノ趣ヲ電話ス。而シテ明日出勤ノ上渡部氏ニ直接依頼スヘキヲ勧告ス。

○三時過、一木男爵ヲ訪フ。神経痛ニテ臥床中ナリ。最近ノ事情ニ付談話ス。又、甘藷増産方法放送ノ件、東遠明朗会発会ノ件ニ付報告ス。五時半帰宅ス。

○館林三喜男出京セリトテ来訪ス。予ハ不在ノ為面会セス。同人ハ五時四十分発ニテ帰ル。一也ヲ連レ戻ル。

三月十日(月) 晴 寒

○十時半、貴族院ニ出頭、読書室ニ於テ調査ヲ為ス。又、西

原亀三、鷺山恭平両氏ニ宛書状ヲ認ム。

小林書記官長ニ面会ス。泰仏印間調停外交経過ノ報告ハ来十五日本会議ニ於テ聴取スルコトトナセリト伝ヘラル。之ハ予ノ意見ニ合致スル取扱ニテ会心ノコトナリ。

○正午、中央亭ニ於ケル日本国際協会午餐会ニ出席ス。食後、天羽英二大使ヨリ最近欧洲ニ於ケル情勢ニ付テ的確ナル講演ヲ聴ク。甚有益ナリ。

○二時半、再貴族院ニ出頭シ、書記官長ニ面会ス。偶、田口弼一氏ニ出会フ。田口氏ヨリ大政翼賛会ニ対スル衆議院有志ノ態度ニ付、説明ヲ聴取ス。

○昨日、農林技師國枝益二氏ヨリ丸山氏ノ放送原稿ヲ求メラレシニ依リ、本日電話ヲ以テ其用途ヲ質問シ之ニ同意ス。

○夜、放送協会講演部副部长佐々健治氏ヨリ、放送日時ヲ二十日午後六時三十分ヨリ五十分迄二十分間ト決定セシ由通知ヲ受ク。

〔欄外〕

○泰治ハ本日卒業論文ヲ提出ス。

○泰治ノ出願セル陸軍航空材料研究将校採用願ニ対シ、七日附ヲ以テ同研究所長ヨリ採用内定セシ由ノ通知アリ。

三月十一日(火) 雨 暖

○昨夜三時半マテ眠ラス。

○朝、丸山方作氏へ電報ヲ以テ、放送ハ二十日午後六時三十分ヨリ二十分間ト決定セシ由ヲ通ス。午後放送ノ内容試案ヲ作り、速達便ニ託シ發送ス。

○三ヶ日町高平勇氏ニ対シ電報ヲ以テ丸山氏ヲ中心トスル篤農家ノ大会ハ二十三日、三十日、二十一日ノ中ナラハ都合宜シキ旨ヲ通ス。夕刻返電アリ。二十一日午後十時決定セリト云フ。

○貴族院読書室ニ於テ甘藷ノコトヲ調査ス。

○小林書記官長ヨリ最近ノ政治動向ニ付聴取スル所アリ。中食ノ際書記官長書記官ト共ニ食フ。

○四時半、軍人会館ニ於ケル静岡育英会理事会ニ出席ス。明年度ノ予算案ニ付審議シ、来二十日評議員会ヲ開クニ決シ五時半散会ス。出席者ハ飯田、伊藤、篠田、緒明、宇佐美、江藤、加藤各理事ト八名ナリ。

○六時、人見次郎氏ヨリ築地米田屋方ニ招カル。大竹十郎氏、柴田善三郎氏、加藤五十造氏《朝鮮無煙炭会社常務取締役》ナリ。柴田氏気焰大二挙リ、十時半散会ス。

○伊林初次郎氏来訪ス。明後日午後一時半出發北京へ赴任スト云フ。

#### 〔欄外〕

○仏印泰間ノ紛争調停条約調印セラル。

○松岡外相明十二日出發、独伊蘇國へ出張スル由發表セラル。

○黒崎幸吉氏ヨリ十日附書狀ヲ以テ、直子ノ縁談ハ三島甫氏ハ勿論三島家ニ於テ直子ヲ娶リタシトノ申出アリシニ依リ、成立セリト報セラレ、尚媒酌ノ労ヲ取ラルヘシト通セラル。

三月十二日(水) 曇 冷

○昨夜睡眠困難ニシテ三時迄覚ム。

○十時四十分頃、同成会例会ニ出席ス。来会者十四名ニシテ稀ナル盛会ナリ。大政翼賛会改組ニ関スル件ニ付所見ヲ交換ス。

○正午ヨリ幸俱樂部午餐会アリ、出席ス。

○矢吹省三男ヨリ、二俣町出身田代訂氏ノ家系等ニ付質問ヲ受ク。

○関屋貞三郎氏ヲ訪問ス。氏モ夫人モ不在ナリ。正彦氏ニ面会ス。

○一旦帰宅ノ上、衣ヲ更メテ六時築地新喜樂方ノ大藏通信兩大臣ノ晚餐会ニ出席ス。議員側ハ松平佐佐木正副議長、桂公、中御門侯、酒井伯、松平康春子、河井、岡、小林翰長、政府側ハ兩大臣ノ外、星野、伊藤述史、村瀬、富田四氏ナリ。帰途ハ松平康春子ノ車ニ同乗シ、渋谷駅ニテ別ル。

○向隣西澤善三郎氏ハ明十三日永福町ノ新宅へ転宅スル由、

夫人来訪挨拶セラル。

〔欄外〕

○黒田大膳頭ヨリ電話ヲ以テ甘諸購入希望ニ付、如何ナル地方ヨリ之ヲ購入スヘキヤノ相談ヲ受ク。

三月十三日（木）曇夜雨 暖

○昨夜快眠八時間ニ及ス。心気漸ク恢復ス。

○九時、兵庫県經濟部米穀課勤務兵庫県技手青木幸藏氏来訪ス。同氏将来ノ進路ニ付テ意見ヲ求メラル。依テ食糧配給事業ノ為、専心努力シ以テ其功績ヲ認メラルルヤウ邁進センコトヲ勸ム。又、甘諸ノ増産并購入ニ関シテモ考慮スヘシト注言ス。青木氏ハ木村直恵氏ノ紹介アリ。昨年モ来訪セリ。

○十一時、三会堂ナル全国治水砂防協会ニ於ケル治水水利水ニ関スル官庁統合作成委員会ニ出席ス。出席者ハ大河内子、松平男、次田氏、江口氏、河井、俵孫一氏、小山谷藏氏、植原悦二郎氏ナリ。赤木幹事案ヲ審議シ山林関係事項モ加ヘテ改案スルコト。来二十三日ノ総会ニ諮リ、国土計画ノ至要ナル事項トシテ企画院ニ提出スルコトヲ決定ス。昼食ヲ喫シ二時前散会ス。

○三時、横浜角替方ニ至リ文子ヲ見舞フ。盲腸手術後ノ経過佳良ニシテ、本日ハ起キ居ルト云フ。角替モ帰来ル。五

時四十六分程ヶ谷発ニテ帰宅ス。角替ハ駅マテ予ヲ見送ル。

○夜、千葉市伊東卓治氏ヨリ電話ニテ同氏鑑査官拝命、同時に辞任ノ手續ヲ本日取リタル由報告アリ。

○向隣西沢善三郎氏、本日永福町ヘ転宅ス。朝往訪挨拶ヲ述フ。

〔欄外〕

○岡本保次氏未亡人春子刀自ヨリ餅ヲ贈ラル。

三月十四日（金）雨 冷

○朝、貴族院ハ明日午前十時本会議ヲ開キ国务大臣ノ外交経過ヲ聴取スルノ議事日程ヲ受領ス。

○朝、重光葵氏ヲ訪ヒシニ不在ナリ。

○ソレヨリ古川印刷所ニ至リ、丸山氏ノ甘諸増産方法ノ全国放送案内ノ葉書二百枚ヲ注文ス。十一時半頃印刷成ル。二時マテニ全部宛名ヲ書了ル。葉書及印刷代計六円四十錢ナリ。

○五時頃、鈴木寛一氏来訪ス。本日陸軍獣医学校へ来レリト云フ。夕食ノ後去ル。今夜行ニテ岐阜ヘ帰ルト云フ。

○五時半ヨリ三七会ヲ錦水ニ開ク。池尾芳藏氏ノ日本放送電総裁就任祝賀ヲ兼ヌ。来会者池尾氏ヲ加ヘ二十二名ナリ。近来ノ盛会ナリ。一同元氣宜シ。又、撮影ヲ為ス。九時

散会ス。

○芦屋高子ヨリ直子縁談ニ付黒崎幸吉氏ヲ往訪セシ由ニテ、同氏ハ媒酌人タルコトヲ承諾セラレ、結納品ヲ昇三郎方ヘ送ルコト、結婚式ハ岡山市ニテ四月十日以後ニ行ヒタシトノ通知アリ。

○黒崎氏ニ対シテ挨拶ヲ述ヘ、四月上旬往訪スヘキ旨ヲ通ス。  
〔欄外〕

○清水市鈴木與平氏ヨリ市教育会ニ於テ故與平氏ノ伝記編纂ノ計画アリ。其中ニ秩父宮同妃両殿下去十二年二月清水食品会社ヘ台臨ノ時拝写セシ御写真ヲ載セタシトノコトナルモ、差支ナキヤヲ問合セタル。依テ電話ニテ今村別当ニ其事ヲ問ヒ、其御写真ヲ別当ニ提示セシムルコトトシ、其旨ヲ鈴木氏ヘ返書ス。

三月十五日（土）晴 暖

○昨夜睡眠十分ナラス。

○午前十時ヨリ本会議アリ。首相、大橋外務次官ヨリ最近ノ外交ニ関スル説明アリ。次テ陸海軍大臣ヨリ戦況其他ニ付報告アリ。了テ請願二十一件ヲ採択シ、十一時五十分散会ス。

○散会后、三派委員江口、岩田、古島、岡、河井、内談室ニ集会シ、三派聯盟問題ニ付協議ス。其結果各派ヨリ三名

乃至五名ノ委員ヲ挙ケ、貴族院改革問題ニ付至急調査ヲ進メ、三派ノ意見ヲ確立シ、之ヲ以テ益連契ヲ鞏クスヘシト云フニ決定ス。依テ三派ハ夫々近日例会ヲ開キ之ヲ決定スル筈ナリ。

○甘藷育苗成方法ノ放送ノ案内書ヲ二十枚計リ発送ス。

○右件ニ付農林省農産課國枝技師ヲ訪ヒ原稿及材料ヲ渡シ、放送前全国ノ新聞紙地方版ニ放送ノコトヲ掲載スルヤウ依頼ス。又其原稿ハ日本農業新聞ニ掲載スルコトヲ約セラル。

○右件ニ付、放送協会ニ佐々講演部副部長ヲ訪ヒ、打合せヲ為ス。

○清水市鈴木与平氏ヘ送レル昨日ノ書翰ニ誤記アルヲ思出シ電報ヲ以テ其旨ヲ通ス（發電ヲ佐々氏ニ頼ム）。夜、鈴木氏ニ書状ヲ認ム。

〔欄外〕

○四時半、徳川公爵家々政相談人会アリ、出席ス。十五年度決算ヲ議定ス。眞野文二氏相談人ヲ辞任シ、石渡莊太郎氏新任セラル。

○女高師校長下村寿一氏ノ依頼ニ依リ、同校藤澤教諭ヲ甘藷栽培講習会ニ出席セシムルコトヲ報徳社ニ電報ヲ以テ依頼シタルニ、承諾ノ返電ヲ得タリ。

○徳田政信氏来訪ス。植村氏ヨリ貸与セラレタル学資金ノコ

ト二付、相談アリ。予不在ナリシモ其交渉ヲ一任セラレ  
ンコトヲ求メ置ケリ。

三月十六日(日) 晴 頗暖

○昨夜モ睡眠十分ナラス。

○朝、東京女高師校長下村氏ニ明十七日ヨリ丸山講師ノ講演  
アルヘキニ付、本日藤澤教諭ヲ掛川ニ出張セシメラルヘ  
シト電話(故障取次)ス。

○鈴木与平氏ニ書状ヲ認メ、昨日ノ書状ノ訂正ヲ為ス。又、  
橋本萬右衛門氏ニ書状ヲ送り、徳川公揮毫ヲ承諾セラレ  
シ由ヲ報ス。

○佐々健治氏ニ丸山氏ヨリ託セラレタル放送原稿ヲ送ル。

○白澤保美博士ヨリ電話ヲ以テ、財団法人久連国民高等学校  
ノ監事植村澄三郎氏逝去ニ付、其補欠トシテ予ニ対シ就  
任ヲ申出テラル。之ヲ諾ス。

○十時二十分発臨時急行ニテ掛川ヘ赴ク。静岡ニテ普通車ニ  
乗換ヘ、三時掛川ニ下車ス。急行列車ノ満員驚クニ堪ヘ  
タリ。掛川ニテ袴田銀藏氏及大村芳次出迎アリ。

○掛川報徳社ニ出頭ス。鷺山理事ニ面会ス。又、女高師教諭  
藤澤氏来訪ス。水谷講師ノ馬鈴薯植方実習ヲ見ル。

○夜、小柳直吉氏来訪ス。南郷村米、諸増産状況ノ報告アリ。  
又、明朗会ヘ選出スヘキ評議員ニ付相談ヲ受ク。

〔欄外〕

○中央報徳会雑誌「斯民」ノ需ニ応シ送付セラレタル原稿ヲ  
校正ス。夜九時過速達便ニテ発送ス。

三月十七日(月) 曇 冷

○早朝、石野元治郎氏小柳直吉氏来訪ス。

○村役場ニ村長ヲ訪フ。村長ヨリ丸山氏放送ニ関スル案内状  
二通、即予ノ発シタルモノ放送協会ノ発シタルモノヲ示  
サル。村長ニ対シ成ルヘク広ク聴講セラルルヤウ配慮ヲ  
頼ム。

○十時半頃、報徳社ニ出頭ス。丸山講師ノ米ニ関スル講演ヲ  
聴ク。食後、時局ト食糧増産ノ必要トニ関スル講話ヲ為  
ス。四時事務室ニ帰ル。

○鷺山、田辺両理事ト要務ヲ相談ス。

○帝室林野局出張所ニ岡元所長ヲ訪ヒ、甘藷増産ノ講演ヲ所  
員ニ聴カシメンコトヲ勧誘ス。所長大ニ喜フ。

○帰途、信用組合ニ立寄り鷺山、吉岡両氏ノ講話ヲ聴ク。

三月十八日(火) 風雨強 寒冷

○三時覚眠、東遠明朗会々々則及施行細則ヲ閲覧ス。

○八時半、掛川報徳社ニ出頭ス。大村芳次及小柳直吉氏ハ予  
ヲ見送リテ出社シ、且丸山講師ノ講演ヲ聴ク。

丸山氏ト明後二十日同氏出京出迎ノコト等ヲ相談ス。又、本日放送協会佐々健治氏ニ提出スヘキ放送原稿ヲ受取ル。

○三ヶ日町高平勇氏ヨリ報徳社ニ電話ヲ以テ、来二十一日ノ丸山会会場ハ都合ニ依リ三ヶ日町大福寺ニ変更セシ由ヲ通シ来ル。

○十時五十分掛川発ニテ帰京ス。四時一分新橋著、風雨甚急ナリ。人力車ニ乗リテ日本放送協会ニ至リ佐々健治氏ニ面会シ、丸山氏放送原稿ヲ渡し、且明後日丸山氏ノ出社ニ付打合セヲ為ス。

丸山氏二時二十五分東京著。直二日本俱樂部ニ出迎へ、四時放送協会ヨリ出迎ノ自動車ニテ同協会ニ至リ、協会ニテ弁当ヲ食シ、放送後ハ自動車ニテ東京駅ニ送ルコトヲ約ス。

○六時前帰宅ス。下村寿一、子爵黒田長敬、杉本良諸氏ニ電話ス。黒田子ニハ宮内省買上ノ甘藷調達方法ニ関スル報告ナリ。

三月十九日（水）晴 暖

○八時、長谷川直敏中将ヲ訪問ス。町政素乱ニ対シ意見ヲ求メラル。

○十時、同成会臨時例会ニ出席ス。三派ヨリ三名乃至五名ノ委員ヲ挙ケ、貴族院制度改革案ノ調査ニ着手スルノ件ヲ

相談ス。其結果委員ヲ四名トシ塚本、次田、小坂三氏及予ヲ挙クルコトト決シ、尚二十五日午前九時臨時例会開会ノコトヲ申合セ散会ス。

○日本俱樂部ニテ午餐ヲ喫シ、食後外務省南洋課長東光氏ヨリ泰仏印調停ノ顛末ニ関スル講話ヲ聴ク。

○故男爵坂本俊篤氏ノ邸ニ至リ弔問ス。

○堀庫一先生ヲ訪ヒ、健康診断ヲ受ク。左足及左手ニ少シク痺レヲ感シタルヲ以テナリ。血圧百四十一九十。心臓異状ナシ。VBノ欠乏ニ因ルモノト診断セラル。

○重友昨日三島へ出張ヲ命セラレシ由ニテ九時頃帰来ス。

○静岡英和女学校基金募集員森下氏等徳川邸ヲ訪問ス。依テ右ノ件ニ付予ノ関知セシ所ヲ宇佐美氏ニ電話ス。

〔欄外〕

○朝比奈アキ子、瑛子ヲ伴ヒ来訪。夕食ノ後帰宅ス。

三月二十日（木）晴 暖

○朝、長谷川直敏將軍ヲ訪ヒ町会改革ニ付意見ヲ答フ。

○十時出発。三会堂ナル全国治水砂防協会ナル行政機構統一案委員会ニ出席ス。小山、植原、大河内、松平四氏出席。赤木技師ト討議決定ス。中食後散会ス。

○二時二十五分、丸山方作氏東京駅ニ著ス。令息同伴ナリ。之ヲ待合室前ニ出迎へ、日本俱樂部ニ案内休息ス。此所



ニ黒田大膳頭、野村主膳監、杉本良氏、小山谷蔵氏、土岐嘉平氏、女高師教諭中澤氏、千葉県庁社会課増田氏代理佐藤等来リ、丸山氏ノ説明ヲ聴ク。四時杉本氏ト共ニ丸山氏及令息ヲ同伴シ放送協会ニ赴ク。

○放送協会ニテハ丸山氏ヲ佐々氏ニ紹介シタル後、新橋駅ニ至リ四時四十五分發ニ乗リ帰郷ノ途ニ就ク。九時五十七分掛川著。大村芳次及小柳直吉氏ノ出迎ヲ受ケテ帰宅ス。

○丸山氏ハ「甘藷栽培ノ体験ヲ語ル」ト題シテ六時三十分ヨリ二十分間全国ニ放送ヲ行フ。時間短キニ過キシヲ以テ説明不十分ナリシト云フ。遺憾ナリ。

〔欄外〕

○丸山氏ノ放送原稿ハ一ヲ赤木正雄氏ニ一ヲ農林省國枝技師ニ送付スルヤウ、佐々氏ニ依頼ス。赤木氏ハ全国砂防協会員ヘ國枝氏ハ日本農業新聞ヘ投稿スル由ナリ。

三月二十一日（金）晴 暖

○午前六時四十四分發八時四十九分三ケ日駅著下車、徒歩ニテ大福寺ニ赴ク。

○午前十時ヨリ西三、東三、西遠ノ丸山会大会ニ出席ス。東遠ヨリハ山本福吉、袴田銀蔵、松浦清三郎、佐藤政雄、小柳直吉、大村芳次、和田岡村二氏其他モ出席ス。

大福寺ニテハ高平勇氏ノ主催ニ係リ磯部幸一郎氏、田村勉

作氏、森口淳三氏、農士<sup>ママ</sup>内山三男氏、県農会技師農学士加藤省三氏、技手石原民次郎氏（氣賀駅在）等ヲ初メトシテ篤農家七八十名来集シ以テ丸山先生ヲ迎フ。午前中、田村、磯部両氏ノ実験談アリ。午後予ハ時局ト食糧増産急務ヲ述フ。丸山先生加藤技師ノ講話アリ。

予ハ三ケ日駅發四時十七分ニ乗リ、六時二十二分掛川著ニテ帰宅ス。此会合ハ例類ナキ熱心家ノ集リニテ国家ニ貢獻スルノ大ナルハ想像ニ余リアリ。篤農家ノ実験談ハ悉ク価値アルヲ以テ之ヲ印刷シテ頒布センコトヲ袴田氏ニ相談ス。

○甘藷六百貫御買上ノコトヲ磯部氏ニ相談ス。

○田村氏ヨリ稷ヲ高平氏ヨリ蜜柑一箱ヲ〔空白〕氏ヨリ香露柿ヲ贈ラル。又、愛知旭種ノ稲二株ヲ持来リ、特殊ノ作方ニ付説明セシ人アリ。

三月二十二日（土）晴午後曇 暖

○午前九時、鷺山恭平氏ヲ報徳社ニ訪問ス。昨日三ケ日町ニ於ケル西三、東三、西遠、東遠丸山会大会ノ状況ヲ報告シ今後ニ対スル所見ヲ述フ。

○中村田一郎氏病氣見舞ノ為静岡ヘ赴ク。九時五十六分發十一時二分著。大東館ニテ打合せヲ為シ、十一時四十五分著特急ニ関屋貞三郎、白根竹介、結城安次三氏ヲ迎フ。

関屋氏ハ病氣ノ為来ラス。後刻、松本学氏来リ加ハルト云フ。三橋四郎次氏専ラ斡旋ス。ソレヨリ一同求友亭別館ニテ昼食ヲ為シ、一時五十一分静岡発二時十九分藤枝著。自動車ニテ吉田村ニ中村氏ヲ見舞フ。中村氏大ニ悦フ。氏ニ対シテハ一同ヨリ衷心回復ヲ熱禱シ居ルヲ以テ、経済界ヨリ引退セラレンコトヲ懇述ス。氏ハ案外元氣ナルモ、足取りハ確ナラス。庭園ヲ案内セラレ紀念ノ撮影ヲ為ス。四時五十五分中村邸ヲ辞シ、五時二十三分藤枝発五時四十五分静岡著。直ニ三橋氏ノ案内ニテ佐野春方ニ赴キ鄭重ナル晚餐ヲ饗セラル。松本氏此時来加ハル。知事、学務経済両部長、市長尾崎氏モ来加ス。静岡七時四十分発ニテ帰宅ス。

○静岡英和女学校長室田有氏同窓会長加藤夫人ト共ニ関屋氏ヲ出迎ヘシモ、同氏来ラス。室田氏ハ三橋氏ニ招カレテ求友亭ニテ昼食ヲ共ニス。

○一木男爵夫人ノ命日ニ当ルモ遂ニ訪問スルヲ得ス。

三月二十三日(日) 曇夜雨 冷

○朝、小柳直吉氏西郷小学校教員某氏ヲ連レテ来ル。格別ノ用事ナシ。教育上ノ時事ヲ雑談ス。

○九時三十六分発ニテ浜松ニ至リ、自動車ニテ報徳館ニ出頭ス。同館所属婦人会ニ出席ス。式後横田氏ノ紹介ニテ戦

争ノ将来ト日本ノ使命ニ付テ平易ナル講話ヲ為シ、進ンテ之ニ対処スル方途并夫人ニ対スル希望ヲ述フ、約一時間ニシテ終ル。昼食ヲ饗セラレ自動車ヲ与ヘラル。

○橋本紀平ヲ訪問ス。橋本織作氏没後ノコトヲ問フ。又、平山植林ニ対スル不当払下事件ヲ問フ。

○一時三十一分浜松発ニテ掛川ニ歸リ、直ニ信用組合ニ出頭ス。鷺山恭平、加藤安吉、吉岡八二郎、山崎好知、榛葉謙吉五氏アリ。加藤氏ハ暫時ニシテ帰宅ス。四氏ヨリ最近ノ地方事情ヲ聴取ス。夕食ヲ饗セラレ六時歸ル。

○浜松報徳社ニテ西山口村成滝ノ人鈴木夫人ニ出会フ。又、長谷川鉄雄氏往訪ノ心組ナリシモ、時間ナキ為電話ニテ断ル。

〔欄外〕

○気賀町森口淳三氏ヨリ浜名湖産サヨリ十五尾ヲ贈ラル。美麗新鮮ナリ。一尾ヲ試食ス。

三月二十四日(月) 雨 冷

○昨夜大雨ナリシモ朝歇ム。

○八時頃、石野元治郎氏予ノ需ニ依リ来訪ス。村内報徳社結社ノ氣運熾ナル為、村長及現在社員トノ融合ヲ計ルニ付意見ヲ求ム。氏ハ明朗会ノ成績ヲ挙ケタル後ニ結社スヘシトノ意見ナリ。

○九時頃出發、真如寺ニ參詣ス。ソレヨリ神宮寺ニ墓參、參詣ス。

○報徳社ニ至リ袴田銀藏氏ニ面会シテ東遠明朗会々則及施行細則并趣意書ノ加筆セシモノヲ渡ス。

○十一時、鷺山恭平氏ヲ信用組合ニ訪問ス。黒田芳松氏モ在リ。昨日ノ好意ヲ謝シ、南郷村報徳社結社ノ成行ヲ述ヘテ、将来ニ於テ配慮セラレンコトヲ請フ。又、昨日森口淳三氏ヨリ贈ラレタルさより七尾ヲ呈ス。

○十一時五十分發ニ乗リ帰京ス。六時過帰宅ス。稷、苺、浜納豆、さより、生菓子、乾柿、ネーブル柑等ヲ持来ル。

○夜、徳川家正公ヨリ電話ヲ以テ来月九日貴族院書記官長以下高等官ノ招カルルニ付、予ニモ出席ヲ求メラル。御厚意ヲ深謝ス。

〔欄外〕

○石間たみへ手紙ヲ發シ中村円一郎氏及浅井熊太郎氏方ノ血統其他ヲ問合ス。

○昇三郎ヨリ書狀到著。なほ子三島甫氏結婚ニ付簡單ナル結納ヲ交換セリト云フ。

三月二十五日（火）晴 寒冷

○午前九時登院ス。同成会臨時例会ヲ開キ、予ハ三派全体乃至聯盟強化ニ付連絡委員協議ノ結果、貴革問題研究ノ為

委員選定ノ申合ヲ為シタルコトノ経過ヲ報告シ、且他派内ノ意向ヲ詳細ニ述ヘ、三派ノ執ルヘキ態度ニ付所見ヲ述ヘ、塚本氏ハ貴革ハ議員ニ於テ案ヲ作成スヘキモノニ非ストノ所信ヲ述フ。併シ調査ヲ完全ニ為スコトニ付テハ意見一致ス。

次田氏ヨリ即時合同意見トシテ他派ノ情勢ヲ報告シ、下条氏ハ純無所属団成立ノ形勢報告アリ。

○本会議ハ請願委員長ノ報告ニ次キ、請願ヲ一括採択シテ散会ス。

○議事散会後古島、岡、岩田、塚本、河井会合シテ連絡會議ヲ開キ、各其派ノ状況ヲ報告シテ将来ノ連結ニ付相談ス。

○貴族院ノ塔屋ニ登リ眺望ヲ擅ニス。家ニ帰りテ昼食ス。

○三時出發、真野文二博士ノ病氣ヲ見舞フ。又、関屋貞三郎氏ヲ見舞フ。関屋氏ヨリ大竹十郎氏ノ身上ニ付親切ナル配慮アリ。感謝ニ堪ス。

○夕五時半、伊澤多喜男氏ヨリ同成会會員一同ヲ星ヶ岡茶寮ニ招カル。磯貝、大谷、米山、建部、次田、中川、丸山、小坂梅、佐藤、三橋、柴田、塩田、平沼、片倉諸氏来ル。帰途小坂氏ノ厚意ニ依リ、丸山、柴田、建部、佐藤諸氏ト自動車ニ同乗、渋谷駅ニテ別ル。柴田氏ニ対シ関屋氏配慮ノコトヲ報告ス。

〔欄外〕

○午後、一也前橋ヨリ来ル女中ニ送ラル。女中一泊ス。

○清水市鈴木与平氏ヨリ、市教育会ニテ故与平氏ノ伝記へ、久邇若宮殿下清水食品会社へ台臨ノ時拝写セシ写真ヲ入レタシトノ希望ニテ、其手續ヲ照会アリ。依テ電話ニテ宇川別当ニ問合セ其結果ヲ返事ス。先ニ秩父宮今村別当ニ問合セタルト同一方法ナリ。

○故柴田彦平氏追悼録ノ題簽ヲ書ス。又、題字ヲ認メ山崎はま子ニ送ル。

○甘藷購入ノ件ニ付丸山、磯部両氏ト相談ノ結果ヲ黒田大膳頭ニ報告ス。

○省線パス 外特―一六―〇〇一二〇

○市電自動車特別乗車券〇〇〇一二一〇号ヲ受領ス。

三月二十六日(水) 晴 寒

○午前九時、徳川公爵家ニ宇佐美中將ヲ訪問ス。静岡英和女学校基金募集ノ件ニ付、経過ヲ報告シ所見ヲ述フ。

○十時三十分、貴族院ニ出頭ス。十一時閉院式ヲ行ハル。近衛首相勅旨ヲ奉シテ勅語ヲ奉読ス。

○正午、首相官邸ニ於ケル各大臣ノ午餐会ニ出席ス。首相ノ挨拶ニ対シ小山議長謝辞ヲ述へ、佐々木副議長乾杯ヲ發議ス。

○二時軍人会館ニ於ケル培本塾理事会ニ出席ス。柴田理事長、

小田原氏代理須原主事、榛葉理事出席ス。(1)明年度予算案ヲ審議シ、(2)理事ノ補欠トシテ河合亮之助氏ヲ挙クルニ決定ス。

○山崎覺次郎博士ヲ訪問ス。山崎健太郎氏ノ結婚ヲ祝シ、其住所ヲ問フ。

○夕、赤木正雄氏来訪ス。丸山方作氏ヨリ昨日受領セシ放送ノ原稿ヲ渡ス。

○内田重成氏ニ対シ丸山氏ノ出張ヲ求ムルヤ否ヤヲ問フ。要否共電報ニテ通知ヲ乞フ。

三月二十七日(木) 曇夕晴 寒

○午前十時、議長室ニ開カレタル各派交渉委員会ニ出席ス。

在満、南支(仏印ヲ含ム)皇軍慰問団派遣、内地半部傷病將兵慰問団派遣ノ件ヲ決定ス。直ニ三浦安藏氏ヲ招キ同成会員ニ通知ヲ發ス。

○書記官長ノ自動車ニ同乗十一時参内ス。十一時五十分正殿ニ於テ天皇陛下ニ拝謁ス。感涙禁シ難シ。ソレヨリ豊明殿ニテ酒饌ヲ頂戴ス。

○阪下門外ニ出テ小林氏ノ自動車ヲ探シ、更ニ宮内省ニ出頭ス。

大膳頭黒田子爵ヲ訪フ。甘露寺侍従次長モ在リテ、甘藷栽培方指導ノコトヲ打合ハス。ソレヨリ白根次官ヲ訪ヒ

丸山氏ヲ招クコトトス。

○帝室林野局ニ高尾事務官ヲ訪ヒ木曾、赤石視察ノコトヲ依頼ス。次ニ岡本監理部長ヲ訪問ス。

○七時、池之上小学校会幹事会ニ出席ス。明年度予算案ヲ決定シ、母ノ会ニ対スル本会ノ態度ヲ協議ス。十時半散会ス。

三月二十八日(金) 晴 強風寒

○午前中に在宅。黒崎幸吉氏、昇三郎、河合亮之助氏、丸山方作氏其他へ書状ヲ発ス。又、石間たみ子ヨリ返書ヲ受ク。

○十一時半頃、焼津水産学校校長荒木丑平氏来訪ス。

○二時頃、玉川ノ別荘ニ小坂順造氏ヲ見舞フ。病氣ノ経過佳良ナリト云フ。

○三時過、内務省ニ赤木正雄氏ヲ訪問ス。(1)来月二日ノ水ニ関スル行政機構改正研究委員会ニ欠席ノコトヲ告ク。(2)氏ハ丸山氏ノ甘藷栽培ニ関スル原稿ヲ印刷シ、三百部ヲ頒与セラルルコトヲ約セラル。(3)五月一日木曾御料林内拝観ニ次キ、赤石山御料林視察計画ノコトヲ告ク。

○四時過、日本放送協会ニ佐々健治氏ヲ訪ヒ、丸山氏ノ放送ニ付謝意ヲ表ス。

○五時、芝公園内浪華家方ニ開カレタル帝国林政会ニ出席ス。後藤、中川、伊澤、香坂、藺部、佐藤、岡本、本多、其

他諸氏出席ス。山林伐採税ニ対スル方策ヲ研究ス。夕食ヲ喫シ九時散会ス。

〔欄外〕

○秩父宮附別当今村中将ヨリ、故鈴木与平氏伝記ニ両殿下尊影奉掲方ニ付注意アリ。依テ此事ヲ鈴木氏ヘ伝達ス。

○伊佐勇松氏来訪。直子結婚ニ付祝儀トシテ桐製机一脚ヲ贈ラル。

三月二十九日(土) 少雨小雪 寒

○十時頃、静岡県引佐郡中川村内山三男氏来訪。二時頃去ル。

○三時頃、会計検査院村田武氏来訪ス。身上ニ付相談報告アリ。

○六時頃、伊東卓治氏来訪ス。同氏鑑査官陞任ハ明後日発令セラルヘク、氏ハ同日其官ヲ辞シ同時ニ博物館ノ囑託ヲ拝命スルニ内定セリト報告アリ。氏ノ為ニ速ニ良夫人ヲ迎フルコト及学位ヲ受クルコトヲ進言ス。

○夕、泰治ノ学友三名来訪ス。長尾啓氏及同氏弟。大塚氏ナリ。

三月三十日(日) 曇午後晴 寒冷

○昨夜、脚部冷エテ睡眠十分ナラス。

○北河豊次郎氏、培本塾ニ対シ金三万円ヲ寄附セシニ付謝状

ヲ呈ス。

○袴田銀藏氏ヨリ東遠明朗会々則及施行細則ノ印刷成レリトテ、五部ヲ送来ル。

○農林技師國枝益二氏ヨリ丸山氏ノ甘藷栽培法ヲ登載セル日本農業新聞ヲ送付セラル。依テ之ヲ丸山氏ニ転送シ且氏ニ対シテ続稿ヲ認メ國枝氏ヘ送付センコトヲ求ム。

○丸山氏ヨリ来月九日宮内省ニ出頭シ実地指導スヘシトノ電報到著ス。依テ直ニ返書ヲ送ル。

○午後三時過、朝比奈アキ子来訪ス。依テなほ子泰治記念ノ為、兩人、要、マス子、アキ子ヲ引連レ新宝館ニ至リ撮影ス。重友ハ会社ヨリ来リ之ニ加ハル。帰途重友ト別レ、一同麻布おつな鮎方ニテ鮎ヲ食フ。アキ子八時頃横浜ヘ帰ル。

○午後斬髪ス。

○館林葉子発熱甚シ。四〇・六度。堀先生ヲ招キ診療ヲ受ケシム。

〔欄外〕

○三笠宮崇仁親王殿下、昨日子爵高木正得氏令嬢百合子嬢ト御結婚勅許相成リタル由発表セラレタルヲ以テ、十一時皇后宮職ニ出頭シ兩陛下ニ奉賀ス。次ニ大宮御所及三笠宮御殿ニ至リ奉賀ス。

○浅野長光氏ニ出会ヒシニ、氏ハ来月一日新官制ニ依リ組織

セラルル宮内省警衛局ノ課長ニ転任スルノ内定ヲ受ケタリト云フ。

○館林葉子、夜発熱四十度七分ニ達ス。堀先生ヲ招キ診療ヲ受ク。

三月三十一日(月) 晴 寒

○東京帝国大学卒業式ニ泰治ノ父トシテ臨席ス。十時大講堂ニ於テ各科代表生ニ卒業証書ヲ授与セラレ、次テ平賀総長ノ告辞アリテ式畢ル。ソレヨリ冶金科教室ニ至リ主任教授ヨリ各自ニ対シ証書ヲ交付シ吉川教授ノ祝辞アリテ退出ス。次ニ工学部卒業生一同機械学科教室ニ集リ祝杯ヲ挙ケテ十一時四十分頃散会ス。

○一木男爵ヲ訪問ス。令夫人ノ七回忌ニ参拝セサリシヲ詫ブ。

○泰治ハ三島教授邸其他ヲ訪問シテ帰宅ス。

○重友ハ五時頃腹痛ニテ帰宅ス。夜、堀先生葉子ヲ診察セラレシ序ヲ以テ診察ヲ受ク。葉子少シク気管支カタルアリ。発熱四十度ヲ越ユ。

○昨夜、昇三郎ヨリ電話アリ。直子縁談ニ付予ノ往訪ハ十日以後ニ変更ス。又、結婚ノ日ヲ五月十三日ト決定通知ス。

〔欄外〕

○伊東卓治氏ヨリ電話ヲ以テ同氏本日帝室博物館鑑査官ヲ拝命(七等)、直ニ依願免官トナリ從七位ニ叙セラレ、又総

長ヨリ囑託ヲ命スルノ辞令ヲ受ケタル由通知アリ。

四月一日（火）晴夜驟雨 冷

○朝、岡喜七郎氏ト三派聯合貴族院制度研究会ノコトニ付相談ス。同氏ヨリ大政翼賛会ニ付有志議員ノ会合ヲ催スノ發議アリ。

○塚本清次氏ニ対シ慰問団参加議員ノ選定方法ヲ問フ。又、白根氏申出ノ貴族院議員俱樂部結成ニ付意見ヲ交換シ、岡氏ノ發議ニ付相談ス。塚本氏ヨリ五葉会々員ニ予ヲ推薦セシ由話サル。

○早朝、泰治大阪へ赴ク。昇三郎方ニ至リ、住友社員ノ任命ヲ受クル為ナリ。

○泰治ヨリ陸海軍ニ対シ、学校卒業ノ届書ヲ書留速達ニテ發送ス。

○早朝、八幡神社ニ参詣ス。

○十時、池之上国民学校ノ新入児童入学式ニ参列ス。次テ父兄ニ対シ池之上国民学校会ノコトヲ演説シ協力ヲ求ム。

○学校ニテ加藤夫人ニ面会ス。夫人ノ發起セル活動ニ付質問ヲナス。其結果岸上校長ノ意見ヲ問フ。夫人ニハ近日返答スルコトヲ告ク。

○東横ニテ昼食シ宮内省ニ出頭シ、大金事務官、黒田大膳頭及土岐内匠頭ヲ訪ヒ、九日丸山氏ノ講話ニ付打合せヲ為

ス。

○高木幸平氏来訪シ、家庭ノ都合ニ依リ東京へ転職ノ希望ヲ告ク。長男ノ学資ハ静岡育英会ヨリ借り、転職スヘカラスト意見ヲ述フ。

〔欄外〕

○七時半、池之上国民学校会役員会アリ、出席ス。明年度予算案ヲ議決ス。本年度決算ハ支出決定セシニ由リ之ヲ整理シテ監査ヲ受ケ、来十二日予算案ト共ニ總會ニ附議スルコトナル。加藤夫人ト会見ノ内容ニ付報告シ、各自ノ所見ヲ求ム。学校名ヲ改ム。

○石間壬生弥盛岡高等農林校へ帰ルノ途次、来泊ス。泰治ノ入宮祝トシテ金十円ヲ、直子結婚祝トシテ金三十円ヲ尚ヨリ贈ル。

四月二日（水）晴 冷

○公正会ヨリ来十四、五両日伊那、三信、鳳来寺、豊川四電鉄視察旅行ノ案内アリ。参加シ難キヲ以テ、伊澤氏ニ其事実ヲ電話シ其案内状ヲ郵送ス。

○十時、同成会事務所ニ出頭シ、(1)皇軍慰問団参加者ヲ調査シ、之カ決定方法ヲ研究ス。(2)内地傷病將兵慰問団申込

者ナキヲ以テ、督促状ヲ發セシム。

岡喜七郎氏申出ニ係ル有志会合ノ件ニ付、江口氏ト相談シ其結果ヲ岡氏ヘ報告ス。

○十一時、帝国治山治水会ニ須山温圭氏ヲ訪ヒ、同会主催ノ視察旅行実施ノ時期、案内先等ニ付意見ヲ述フ。

○十一時過、全国治水砂防協会ニ出頭シ、曩ニ總會ニテ可決セル建議ヲ政府ヘ申達スル方法ニ付協議決定ス。末次會長、俵、大河内子、江口氏出席ス。

○三時、浦賀船渠会社ニ重光蔭氏ヲ訪ヒ、田代訂氏ノコトヲ問フ。

○四時、農林省農産課ニ國枝技師ヲ訪ヒ、日本農業新聞ニ丸山氏ノ意見登載ノ配慮ヲ謝シ、且続稿ノコトヲ報告ス。

又、来九日新宿御苑ニ於ケル実地指導見学ノコトニ付打合せヲ為ス。

#### 〔欄外〕

○石間壬生弥ハ興三ノ案内ニテ各所ヲ見学シ、夕六時五十分發ニテ盛岡ヘ赴ク。

○館林一也、齒ノ治療ヲ終ル。葉子平温ニ復ス。

○重友疲労ノ為欠勤ス。

○泰治ノ為松浦少将ヲ艦政本部ニ訪問ス。夕刻、少将ヨリ電話ニテ泰治ハ海軍ニ採用セストノ通知ヲ受ク。

○静岡八木夫人、女兒同伴来泊ス。

○大野芳子夕刻来ル。当分滞在。要ヲ輔ク。

○夜、加藤宮内省参事官ヨリ、新宿御苑ニ於ケル丸山氏ノ実演ハ、外来者ノ見学ヲ許サズト決定セシ由ノ通知ヲ受ク。依テ其旨ヲ二三氏ニ通知ス。

四月三日(木) 晴南風強 暖

○八時半、小林書記官長ヲ訪問ス。貴族院各派ノ行動ニ関シテ質問ス。氏ノ厚意ニヨリ自動車ニ同乗、御祭典ニ赴ク。

○九時三十分、神武天皇祭参列ノ為参集所ニ入ル。

天皇陛下御親参 皇太后陛下御拝アラセラル。高松宮、三笠宮、閑院宮、梨本宮、東久邇宮、同若宮、閑院宮若宮、李鐫公、各殿下御参拝アリ。小林氏ノ車ニテ同乗退出、渋谷ニテ別ル。

○陸軍航空本部ヨリ泰治ニ対シ、陸軍航空技術将校候補生ニ採用セシ由通知アリ。且来十日午前八時立川航空技術学校ヘ入營スヘシト附記セラル(昨夜受信)。依テ午後右受領書ヲ認メ書留速達郵便ニテ發送シ、及芦屋ナル泰治ニ対シ其旨ヲ電報ス。

○午後、伊佐勇松氏来訪ス。報徳社結社及甘藷栽培ニ付、雜誌及写真ヲ貸与ス。氏ハ近ク亡父十三回忌ノ為、帰郷スト云フ。香料五円ヲ呈ス。

○福田武三氏来訪ス。母堂(七四) 去月三十一日腦溢血ニテ



急逝セリト云フ。依テ香料金五円ヲ呈ス。

〔欄外〕

○朝、八木雅夫氏来訪、婦人及女兒ヲ伴ヒ去ル。

○夕食後、高橋雄豹氏ヲ訪ヒ、丸山氏ノ放送原稿ヲ呈ス。氏ハ氏ノ主宰スル雑誌ニ載録スヘシト云フ。時事ニ付最新ノ知識ヲ得。

○夜、堀先生来リ葉子ヲ診察ス。漸次輕快ナリ。

四月四日(金) 晴 暖

○九時十二分東京發ニテ帰郷ス。汽車ノ混雜甚シク、之カ為二十五分遲著ス。袴田銀藏氏ノ出迎ヲ受ケ報徳社ニ出頭ス。鷺山、田辺兩理事ニ面会シテ打合セヲ為ス。又、袴田銀藏氏ニ就キ東遠明朗会ノ事務ヲ問フ。

○六時帰宅ス。

○七時小柳直吉氏来訪。明日藤田久藏氏来訪アルヘシト告ク。

四月五日(土) 雨 冷

○午前八時頃、石野元治郎氏来訪。村内農事振興ニ付報告アリ。

○引佐郡中川村藤田久藏、樽井虎一兩氏来訪(九時半到着、小柳直吉氏案内)。硫酸ヲ主成分トスル強度酸性肥料施用ノ沿革及効果ニ付説明セラレ、昨年肥料統制法ノ制定ニ

依リ禁止セラレシニ對シ例外的取扱ヲ受ケタシトノ陳述アリ。之迄兩氏カ政府農事試験場及県庁ニ對シテ執リシ運動ヲ報告セラル。

○兩氏及石野氏、小柳氏ニ對シ午餐ヲ呈ス。

○午後、小柳氏ノ斡旋ニテ兩氏ヲ中心トスル農事座談会アリ。石野、石野福松、大谷、落合、松井六郎其他十三氏出席ス。藤田氏ハ主トシテ稻作ニ付、樽井氏ハ主トシテ土壤及肥料ニ付体験談ヲ為シ、大イニ一同ヲ啓發ス。其方法ハ從來ノモノト異ル所甚多ク、一大驚異ナリ。五時兩氏ニ夕食ヲ呈シ、自動車ヲ僦ヒテ停車場ニ送ル。兩氏ハ五時五十五分發ニテ金指ヘ向フ。

○石野元治郎氏ト夕食ヲ喫シ、村内農事改進ノコトヲ談ス。

○南鄉村学校長藤田一男氏、岩滑校長ニ轉任シ来訪挨拶ヲ述フ。

四月六日(日) 雨歇曇風強 寒冷

○朝、自動車ヲ約セシニ来ラス。徒歩掛川ニ赴ク。

○九時、大日本報徳社ヘ出頭ス。十時、県官《角銅氏》及裁判所長ノ来著ヲ得テ、同社ノ二宮佐藤兩先生例祭ヲ行フ。来会者千余名ナリ。祭典ヲ終リテ表彰式ヲ行フ。総テ無事進行ス。其間余ハ社長訓示ヲ代演ス。知事代理ノ祝辞アリ。十一時四十分散会ス。

○県官、裁判所長、片平翁、佐々井副社長ト共ニ午餐ヲ喫ス。  
○午後十二時四十分ヨリ講演会アリ。佐々井氏講演ヲ為ス。  
三時散会。一同多大ノ感銘ヲ受ク。

○一時ヨリ事務室階上会議室ニ於テ東遠明朗会役員会アリ、出席ス。副会長小野氏幹事袴田、小柳、山本、松浦、戸倉五氏、評議員吉岡八二郎、名倉彦一郎、福井孫吉、松井六郎、寺田美佐久、山本和二郎、大杵才作、児玉由太郎八氏出席ス。鷺山顧問モ亦臨席セラル。(1)組織ヲ変更シテ村単位ノ入会ヲ許スコト、(2)村明朗会ハ二十名以上トスルコト、(3)今秋立稲共進会開催ノコト、(4)丸山先生ノ指導ヲ受クル為先生ノ出張ヲ乞ヒ、会員有志出席ノコト、(5)篤農者ノ体験談ヲ詳細ニ筆記シ、実費ニテ各員ニ頒布スルコト等ヲ議シ、四時散会ス。

〔欄外〕

○鷺山恭平氏ニ恩賜ノ煙草ヲ、片平信通翁ニ御紋菓ヲ呈ス。  
○泰治大阪ヨリ歸來リ墓参ヲ為ス。二日住友金属株式会社ヨリ三等職員ヲ命セラレ、附属金属研究所ニ奉職スルノ辞令ヲ受ク(月俸八十円)。  
○泰治ニ陸軍航空技術学校ニ入営ノ決定ヲ受ケタル経緯ヲ説明ス。

四月七日(月) 晴 寒冷

○薄氷ヲ見タリト云フ。西風強ク寒氣烈シ。

○朝、役場ニ村長ヲ訪ヒ、村出身將兵ノ状況ヲ問フ。ソレヨリ杉谷ノ神社ニ参拝シ、出征并応召軍人ノ留守宅ヲ見舞フ。

○杉山遠征郎氏來訪セシニ付帰宅面会ス。筍及蕨ヲ贈ラル。  
○次ニ挙張神社ニ参詣シ出征并応召軍人ノ留守宅ヲ見舞フ。両字ニテ十六戸ナリ。

○掛川ニテ伊藤文一郎氏ニ邂逅ス。

○掛川報徳社ニ出頭ス。(1)藤田訓二氏ニ就キ北海道ニ於ケル稲ノイモチ病ノ原因ヲ問フ。(2)丸山氏新著甘藷栽培法ヲ二十九冊ヲ發送ヲ依頼ス。

○掛川信用組合ニ鷺山恭平氏ヲ訪ヒテ談話ス。六時過帰宅ス。

○泰治ハ午前八時五十五分發ニテ東京ニ歸ル。

○南郷村国民学校校長兼青年学校長ニ新任セラレタル笹本氏來訪ス。予ハ不在ナリキ。氏ハ西郷村笹本五郎馬氏ノ養子ニシテ嘗テ東京ニ予ヲ訪ヒタルコトアリト云フ。

〔欄外〕

○米〔空白〕俵代金七百四十円二十五錢ヲ受取ル。

○四月八日(火) 快晴 寒冷

○寒氣強ク結氷ヲ見ル。

○原田村長來訪ス。泰治入営ニ付、村將兵義会ヲ代表シテ祝

辞ヲ述フ。

○役場ニ出頭シ、次ニ国民学校ニ新校長笹本氏ヲ訪フテ挨拶ヲ述フ。氏ハ予ノ幹旋ニテ学習院初等科ヲ見学セリト云フ。

○丸山氏著生理応用甘藷栽培法ヲ読了シ、正誤ヲ要スル点ニ標記ヲ施ス。帰東ノ時、掛川駅ニ報徳社員ノ出頭ヲ求メ校訂書ヲ渡ス。

○十一時五十六分発ニテ東京ニ帰ル。六時帰著ス。

○夜、皇軍慰問団派遣ノ件及傷病將兵慰問団人選ノ件ニ付、佐藤庶務課長及小林書記官長ニ電話ス。

○田村角太郎氏兼任守衛長ニ任セラレシトテ来訪ス（予不在ナリ）。

○山崎はま、角替ふみ同恭子来訪ス。泰治ノ入営ヲ祝ス。

○夜、大瀧靖氏来訪。池之上国民学校会決算確定方法ニ付相談アリ。其結果来十日午後田中幹事提示ノ帳簿閲覧ヲ約ス。

#### 〔欄外〕

○館林葉子病氣殆全快ス。マス子元気ナシ。

○要モ元気ナシ。

○大野芳子昨日雷<sup>イカツテ</sup>へ赴キ一泊、夕刻帰来ル。

四月九日（水）雨 冷

○七時半頃丸山方作氏来訪ス。朝食ヲ供シ本日ノ行動ニ付打合せヲナス。

○九時半、女子高等師範学校ニ下村校長ヲ訪問ス。校長ハ関係アル職員ヲ召集シ、熱心ニ丸山氏ノ説明ヲ聴取ス。十時五十分同行ノ自動車ニテ宮内省ニ赴ク。

○十一時十分宮内省ニ着。岡本官房主務ヲ訪問ス。三浦書記官、富士川属ノ案内ニテ大膳頭室ニ至リ、黒田子爵、甘露寺侍従次長、牧野侍従等ニ面会ス。同所ニテ中食ヲ供セラル。黒田子、岡本、三浦三氏ト共ニス。又、大膳寮附近ニテ甘藷貯蔵適地ヲ見タルニ、不適當ト決ス。十一時四十分発車。旧庁舎ノ地下室ヲ検分シ貯蔵ノ適地ト決定ス。一時五十分新宿御苑ニ著ス。

○一時二十分過ヨリ洋館広間ニ於テ、甘藷栽培法ニ付説明ヲ為ス。予ハ補完的質問ヲ為シ、三時半終了ス。ソレヨリ御菜園ニ至リ種藷ヲ埋ムルノ実演ヲ為ス。八田侍医頭、甘露寺次長、黒田大膳頭、三浦書記官、中島技師、福羽技師、学習院教授、宮家職員、其他内匠寮、主馬寮、林野局等ノ職員及服部博士、加藤氏等四五十名聴講ス。四時過辞去。四谷ニテ丸山氏ノ千葉ニ赴クヲ送り、神田Y・M・C・Aマテ自動車ニテ送ラル。

#### 〔欄外〕

○四時半、財団法人勸農会理事会ニ出席ス。既ニ乙種学校設

立ノ件ヲ可決シ了テ、予ヲ待フルナリ。

○五時辞去。五時半徳川公爵家ニ至リ、公爵ノ貴族院新旧高等官招待会ニ出席ス。食事ヲ辞退シ六時半退出ス。

○七時帰宅。泰治入営送別会アリ。マス子、アキ子モ来会ス。

○九時、読売新聞社会部小野頭氏来訪ス。岡本参事官ノ同意ヲ得テ本日丸山氏ノ講演ノコトヲ談話ス。

○なほ子聖路加病院ニ至リ、飯田英作氏ノ診察ヲ受ク。背部神経麻痺ナリト云フ。

○全国治水砂防協会赤木正雄氏ヨリ、丸山氏ノ放送「甘藷栽培ノ体験ヲ語ル」三百部ヲ贈ラル。

四月十日（木）晴 暖

○五時前起床ス。

○泰治陸軍航空技術学校へ入営ニ付、重友ト共ニ之ヲ立川ノ兵営ニ送ル。山崎はま子来訪、見送ル。池ノ上駅ニテ別ル。予ハ営庭ヨリ引返シ九時帰宅ス。重友ハ四時帰宅ス。

○北沢八幡社ニ参詣シ泰治ノ武運長久ヲ祈ル。

○石間尚二男出生。名ヲ選定センコトヲ依頼アリシ由ニ付、急速調査シテ速達便ニテ送ル。

○要ハアキ子なほ子ト共ニ買物ニ行ク。マス子不快ニテ留ル。

○読売新聞社ヨリ電話アリ。丸山氏ノ甘藷増産方法ニ付、記事掲載ノ由ナリ。所要事項ヲ説明ス。

○長津久男氏来訪ス。重友ニ対スル縁談ニ付申出アリ。

○二時、池之上国民学校会決算書類ヲ同校ニ至リ検閲ス。和田副会長、田中、大瀧両理事出席ス。総会ノコトヲ相談ス。

○朝比奈由紀子、今朝発熱四十度五分ニ達ス。堀先生ヲ招キ診察ヲ乞ヒシニ、肺炎ノ虞アリト云フ。依テ湿布、酸素吸入等ヲ行フ。先生ハ注射二本ヲ施サル。

〔欄外〕

○本日ノ読売新聞ヲ求ム。新宿御苑ニテ甘藷栽培ノ記事アリ。

○東京駅ニ於テ来十三日燕ノ急行券ヲ求ム。二等三等各一枚ヲ得タリ。

○六時、末広方ニテ開会セル有志会ニ出席ス。岡、古島、江口、赤池、澤田、丸山、次田、河井、松村、田口ノ十人出席ス。欠席ハ塚本、岩田、田澤三氏ナリ。次回ヲ五月廿六日ト決定ス。

四月十一日（金）晴 暖

○六時半起床ス。由紀子ノ為ニ体温表ヲ作り記入ス。

○午前中各種ノ用務ヲ遂行ス。又、砂防協会寄贈ニ係ル印刷物（丸山氏放送原稿印刷物）ハ午前中ニ二百五十部ヲ発送ス。

○十時出発。鷹の台ニ至リゴルフヲ為ス。偶マ東久世男、其

他男爵数氏ノ来リテ競技セルアリ。食ヲ共ニシタル後、同男及松平外與麿男ト一週ス。成績6153—114ナリ。四時七分大和田発電車ニテ六時頃帰宅ス。

○朝、朝比奈貞一來訪ス。由紀子ノ病氣見舞ノ為ナリ。由紀子本日ハ大ニ回復ス。堀先生三時頃来診。最早肺炎ノ危険ヲ脱シタリト告ケラル。体温最高三十八・七最低三十六・五。

○夕、石井忠晴氏来訪ス。子息敏晴氏早稲田高等学院ニ入学ノ為、杉森孝次郎氏ニ紹介ノ名刺ヲ認メ石井氏ニ渡ス。

○七時、馮國光氏令弟國相氏ヲ伴ヒ来訪ス。父君廣民氏ハ病氣全快セシモ、既ニ退官シ目下奉天医科大学病院ニ入院中ナリト云フ。父君ヨリ元時代ノ碑文拓本ヲ、國光氏ヨリ泰治へ四書ヲ贈ラル。

○八時過、赤木正雄氏来訪。砂防協会見学旅行団編成方ニ付相談アリ。

#### 〔欄外〕

○今朝ノ読売新聞ニ丸山氏ノ甘藷増産方法記載アリ。甚要領ヲ得タリ。

四月十二日（土）晴 暖

○昨夜睡眠十分ナラス。蓋シゴルフニ依ル疲労ノ為ナリ。

○早朝、真島幸次郎、二見孝平両氏ヲ訪ヒ、清風会總會ヲ来

十八、十九両日ノ中ニ開会セラレンコトヲ依頼ス。

○大日本報徳社ニ電報ヲ發シ、来二十日發高田泊トシ、其後ノ常会日取ハ適宜決定ヲ乞フ。

○大竹十郎氏令息結婚ニ付、祝状祝品（切手十円）ヲ呈シ、且披露宴ニ出席ノ旨ヲ通ス。

○丸山方作氏ノ放送原稿ハ本日ヲ以テ三百部ヲ發送シ了ル。

○同氏著甘藷栽培法三部ヲ森村男爵へ追加送付スルヤウ報徳社へ依頼狀ヲ發ス。

○二時、池之上国民学校会總會アリ。決算ヲ議定シ明年度予算案ヲ可決シ、会名ヲ改称ス。予ハ会ノ性質、會員ノ学校ニ対スル考方、収支取扱方ニ付演説ヲ為ス。四時散会ス。

○五時、工業俱樂部ニ於ケル植村甲午郎氏ノ晚餐会ニ出席ス。席上同氏ノ挨拶ニ対シ来賓ノ謝辞アリ。八時散会ス。

四月十三日（日）曇午後雨 冷

○朝、矢吹省三男へ電話セシモ、起床セサリシヲ以テ目的ヲ果サス。

○八時五十分發臨時燕号ニテ大阪へ赴ク。要同伴ナリ。重友興三兩人荷物ヲ持チテ東京駅ニ見送ル。要ハ二等予ハ三等ニ乗リシモ、程ナク二等ニ乗換フルコトヲ得タリ。四時五十分大阪著。志朗及昇三郎ノ出迎アリ。昇三郎ハ雨

洋傘ヲ用意シ来リ。好都合ナリキ。阪神電車ニテ芦屋ニ下車シ昇三郎方ニ至ル。

○車中岡田分平氏ト同乗ス。倉真村ニ於ケル小作官補ノ言動ニ付心痛ヲ述ヘラル。

○昇三郎高子ニ対シ直子ノ縁談及泰治ノ就職ニ付尽力ヲ謝ス。又、明日黒崎幸吉氏訪問ノコト、同氏及夫人并三島甫氏招待ノコト等ヲ相談ス。万事昇三郎ノ配慮ニ依リテ好都合ナリ。

○夕食ノ時、鮮鯛ヲ饗セラル。

〔欄外〕

○昇三郎ニ御紋章附銀花瓶（小）一対ヲ贈ル。

四月十四日（月）晴 冷

○昨夜快眠ス。昇三郎ハ夙ク会社へ出勤ス。

○八時半頃、要、高子ト海岸へ散歩ス。

○十一時過、本山村北畑五〇五ニ黒崎幸吉氏ヲ往訪シ、直子縁談ニ付配慮セラレタルヲ深謝シ、又今夕ノ晚餐会ニ出席ヲ乞フ。夫人ハ病中ニ付面会スルヲ得ス。要、高子同行ス。

○晚餐会ハ六時甲子園ホテルニテ行フコトトシ、万事昇三郎ノ配慮ニ依リテ進行ス。時刻前、要、高子ト共ニ先著ス。

黒崎氏先ツ来リ、三島甫氏次テ来リ、最後ニ昇三郎来著

ス。挨拶ノ後晚餐ヲ喫ス。了テ結婚式日時、場所、方法、程度、住家等ニ付相談ス。八時半散会ス。費用四十円ヲ支払フ。

四月十五日（火）晴 暖

○早朝、単独ニテ海岸ヲ散歩ス。

○八時五十分出發、昇三郎荷物ヲ持チテ扶ク。九時半頃大阪駅著。駅頭ニテ昇三郎ニ別ル。今朝、直子ヨリ電話アリ。結婚式ハ一週間計リ延期ヲ求メ来ル。依テ之力配慮ヲ昇三郎ニ依頼ス。十時十分大阪発車。午後六時十分掛川著。大村留吉ノ出迎ヲ受ケ無事帰宅ス。要モ久々ニテ帰宅ス。

四月十六日（水）晴 暖

○朝、要ト共ニ神宮寺ニ至リ墓参ス。

○要ト別レ報徳社ニ出頭ス。田辺理事ニ面会ス。偶マ片平信通翁来社セラレ面会ス。(1)上越出張所社長会及富山県社長会ニ出張ノ件ニ付報告ヲ受ク。(2)丸山氏ノ甘藷栽培法ナル書物正誤ノ件ニ付、溝口正氏ニ原稿ヲ示ス。此日藤田訓二氏転居セシヲ以テ披露ノ中食ヲ饗セラル。四時過帰宅ス。

○石間たみ子来訪アリ。布団綿ノ世話ヲ為ス。又、重友ノ縁談ニ付種々助言セラル。

○夕、石野元治郎氏来訪ス。昨日、小笠郡内大政翼賛会推進  
会議ノ模様ヲ告ケ、村内報徳社ノ結成ニ付、余程慎重ヲ  
期セラレンコトヲ希望シ置ケリ。

四月十七日(木) 晴 暖

○朝、要ハ民子及マスエト共ニ蒲団綿打直シノ相談ヲ為ス。

○小柳直吉氏来訪。甘藷増産方法ニ付、各地ヨリ村役場へ照  
会アリタル由ヲ告ク。依テ之カ取扱方ニ付、一応之ヲ見  
タシト申入レシニ、村長ヨリ拒絶セラル。

○掛川駅へノ途次、原田清次郎氏ニ出会ヒシヲ以テ、右件取  
扱方ニ付依頼ス。

○八時五十五分発ニテ帰京ス。島田マテ石間たみ子同車ス。  
二時十二分品川著。直子ノ出迎ヲ受ケ三人ニテ荷物ヲ分  
チ持チ帰宅ス。

○館林マス子ハ昨日前橋へ帰ル。大野芳子刀自附添見送ル。  
夜帰来ル。

○朝比奈由紀子ハ病氣全快ス。明日横浜へ帰ルト云フ。

○五時半、法曹会ニ於テ大竹十郎氏長男民陟氏ト山内〔空白〕  
氏長女しほ子嬢トノ結婚披露アリ、出席ス。柴田善三郎  
氏媒酌人トシテ披露ヲ為シ、予ハ来賓ヲ代表シテ祝辞ヲ  
述ヘ乾盃ス。盛会ナリ。

○内田重成氏ヨリ県教育会及郡農会ヨリ丸山氏ヲ聘シ講習会

ヲ開キタシトノ電報アリ。依テ電報ニテ丸山氏ノ都合ヲ  
問ヒシニ、二十三日以後ハ都合良シトノ返電アリ。

〔欄外〕

○読売新聞社小澤氏ヨリ電話アリ。桐生高等工業学校ニテ丸  
山氏ノ講話ヲ希望ストノコトナリ。本社へ直接交渉アラ  
ンコトヲ望ミ置ケリ。小沢氏ハ本人へ通シタリト云フ。

○重友ヨリ会社ノ従業員并職工募集ニ付、法規違反アリシ由  
ヲ聞ク。心配ナリ。

四月十八日(金) 暖 小雨 午後晴

○朝、高橋雄豺氏ヲ訪問シ、甘藷栽培法普及及運動ニ付同氏  
ノ配慮ニ依リ読売新聞ノ寄セラレタル厚意ヲ謝ス。

○高橋氏ノ申出ニ依リ、山梨県知事高野源進氏へ甘藷栽培法  
ノ書物ヲ贈ル。又、富山県知事町村金五氏へ一部ヲ呈ス。

○内田重成氏ニ返電ヲ発シ、今後ハ丸山氏ト直接ノ交渉ヲ求  
ム。又、丸山氏へ電報及書状ヲ以テ右ノコト其他ヲ報告  
ス。

○小林貴族院書記官長ニ電話ヲ以テ最近ノ政情ヲ問フ。又、  
傷病將兵慰問旅行ニ一部参加ノコトヲ打合ハス。

○二時、日本俱樂部ニ於ケル有楽会世話人ニ出席ス。水野、  
岩田、倉知、白根、山岡諸氏出席。貴族院議員全体ノ共  
同調査会設置ニ付相談ス。結局各派ニテ議ヲ纏メ非公式

ノ交渉会ヲ開キ、更ニ議長ノ召集スル交渉会ニテ決定セ  
ンコトニ定メ各派ノ議ハ本月中ニ纏ムルコトトス。又、  
有楽会ハ来三十日正午開会ニ決ス。

○農林省ニ坂田特産課長ヲ訪フ。課長ハ五月一二両日帝國農  
会主催ニテ甘藷栽培体験談話会ヲナスコトヲ告ケラル。  
依テ中央郵便局ヨリ右ノコトヲ愛知県被推薦者タル丸山  
氏へ通報ス。

〔欄外〕

○有楽会世話人会ノ模様ヲ電話ニテ塚本清治氏へ報告ス。

○要ハアキ子ト立川ナル陸軍航空技術学校ニ泰治ヲ見舞フ。

○夜、徳田政信氏来訪ス。学修ノ近況ヲ報告アリ。又、植村  
氏ヨリ学資関係ニ付テハ予ノ意見ヲ告グ。

四月十九日(土) 晴 暖

○朝、電報ヲ以テ二十日以後上越富山方面ノ行動ヲ報徳社ニ  
通知ス。夕、鷺山恭平氏ヨリ電報アリ。二十日夜行ニ乗  
リ二十一日午前七時二十分高田著ノ由ヲ通シ来ル。

○高木勝義氏《高木幸平氏長男》、武藤弘氏《西南鄉村、工  
大機械二年生、戸倉惣兵衛氏紹介》ノ為、静岡育英会貸  
費出願推薦人トナル。

○夜、郷野正蔵氏来訪、長男中彦氏《氣象学校》ノ為、育英  
会資費出願ノ許可ヲ求メラル。

○甘藷栽培ニ付諸方面ニ回答ヲ發ス。丸山氏ヨリモ報告ヲ受  
ク。

○藤田久蔵氏ノ依頼ニ依リ、陸軍衛生兵伍長勲八等功七級山  
本要吉氏ノ碑面文字ヲ揮毫シテ發送ス。

○午後、植村澄三郎氏未亡人ヲ訪ヒシニ不在ナリ。徳田政信  
氏ノ為ニ学資貸与ヲ依頼セントセシモ能ハス。

○朝比奈アキ子、午後由紀子ヲ伴ヒ横浜ニ帰ル。

○夜、館林三喜男来泊ス。警察部長会議ニ列席ノ為ナリ。

〔欄外〕

○明日午前十時、故飯田栄太郎氏ノ記念碑除幕式及慰靈祭施  
行ノ通知アリシヲ以テ、追仰ノ書翰ヲ認メ中社長枝村藤  
次郎氏へ速達便ニテ發送ス。

○日本電気会社労務員募集法規違反事件ハ始末書提出ノミニ  
テ無事解決セリト云フ。

四月二十日(日) 快晴 暖

○貴族院ノ傷病將兵慰問旅行ニ加ハリ、兼ネテ大日本報徳社  
ノ上越出張所社長会及富山県振興報徳社總會ニ出席ノ為、  
八時三十分上野發ノ汽車ニ乗ル。

○慰問団ハ团长子爵京極高銳子、団員三橋四郎次氏ナリ。午  
後一時十三分戸倉駅下車、自ラ自動車ヲ雇ヒテ上山田陸  
軍転地療養所ヲ訪問ス。团长ヨリ慰問辞ヲ述へ、所長ノ



求ニ依リテ記念ノ撮影ヲナシテ退出ス。

○戸倉発二・四九（予定時刻ヲ繰上ク）三時六分篠ノ井ニテ一行ト別レ、三時廿二分長野著、下車。善光寺ニ参詣ス。長野五・二六―七・二八高田ニ著ス。柏原ニテ上越出張所主事小山豊作氏ノ出迎ヲ受ケ、同氏ノ案内ニテ高田ホテルニ入ル。

高田市ハ桜花満開ヲ過キ、又、博覧会アリ。汽車雑踏甚シ。

○新潟県庁振興課嘱託渡辺平治郎氏来訪ス。同県ニテハ今回報徳係員ヲ置キ、同氏ニ此事ヲ嘱託シテ大ニ振興ニ努ムルコトトナレリト云フ。各地ノ気運甚佳ハシ。

〔欄外〕

○上野駅ニハ小林書記官長、内田理事官、其他兩名見送ラル。汽車混雑甚シカリシヲ以テ、座席ヲ先占シアリ。好都合ナリキ。

○小林書記官長ヨリ要事ヲ問ハル。

○房前卓氏事務局ヨリ同行世話セラル。

四月二十一日（月）晴 甚暖

○午前七時二十分、鷺山理事高田ニ著ス。老軀ヲ提ケテ斯道ニ危瘁セラル。感謝曷ソ任ヘン。渡辺県嘱託出迎ヘ旅館ニ案内ス。

○昨夜投宿ノ小山氏、今朝来著ノ鷺山氏ト朝食ヲ共ニス。

○十時、元西頸城郡役所ナル公会堂ニ於ケル上越出張所社長会ニ臨席ス。小山氏司会者トナリ、議事ヲ進ム。予ハ社長ヲ代理シテ一場ノ挨拶ヲ述フ。社長十八名ナリ。ソレヨリ協議、指示等アリ。出張所側ノ希望条項等提出セラル。一同昼食ヲ喫シタル上、更ニ予ハ需ニ応シテ約一時間余ノ講演ヲナス。三時過閉会ス。

○高田発三時四十分ニテ鷺山理事ト共ニ富山ニ向フ。小山主事駅頭ニ見送り、渡辺嘱託ハ直江津ニテ帰庁スルニ付別ル。六時五十八分富山ニ著ス。

学務部長吉田龍雄氏、（社会教育課）社会課主事田賢照氏出迎ヘ、旅館富山館へ案内セラル。佐藤助九郎氏令弟「空白」氏停車場ニ出迎ヘラル。

○金岡又左衛門氏ヨリ富山ホテルニ招カル。夕食ノ後、之ニ赴ク。町村知事モ待居ラレ十一時迄会食要談ス。

〔欄外〕

○中川村藤田久蔵氏来村、南郷村明朗会員ノ為、稲作ノ指導ヲ為セリ。

四月二十二日（火）晴 寒冷

○七時、諏訪川原町ニ大尉富田正吉氏ヲ訪ヒシニ転勤セリト云フ。

○九時頃、農産課長事務官西村虎雄氏来訪。十時ヨリ県庁ニテ農務課技術者、農事試験場員農学校教員若干名ノ為、甘藷栽培法ニ付講話ヲ求メラル。之ヲ諾ス。鷺山氏ト別レテ登庁、知事ニ面会ス。ソレヨリ約一時間半講話ヲ為シ質問ニ答ヘテ退出ス。知事ノ求ニ依リ丸山方作氏ノ来講ヲ求ムル為、電報ヲ以テ依頼ス。

○正午、知事ヨリ富山ホテルニ招カル。貴族院ノ傷病將兵諸士慰問団招待ノ席ニ加ハレルナリ。金岡氏モ来会ス。新聞社ノ撮影アリ。

○一時半、教育会館ナル富山県振興報徳社總會ニ出席ス。吉田学務部長ハ会長ニ推サル。議礼ノ後、予ハ社長代理トシテ挨拶ヲ述フ。次テ各種ノ議事アリ。最後ニ約一時間講話ヲ為ス。

○四時四十七分富山発電車ニテ桜井町石田へ赴ク。中田氏同行、吉田氏駅へ見送ラル。六時著。石田区長紙谷春男氏方ニ投宿ス。八時過ヨリ小学校ニ於ケル講演会ニ出席。鷺山氏講演ノ後、予ハ食糧増産殊ニ甘藷増産ニ付講話ヲナス。十時散会ス。鷺山中田両氏ト紙谷氏方ニ宿泊ス。

〔欄外〕

○富山県ニテハ、知事学務部長以下悉ク報徳事業ニ熱心ナリ。最近各町村及各学校ニ結社ヲ命令シタル由ニテ着々進行中ナリ。幹部ハ県會議員ヲ初メトシ有為ノ人材ヲ網羅シ

テ生氣潑刺タリ。

○桜井町有力報徳家左ノ如シ。

石田校長 本波栄太郎氏

〃 区長 紙谷春男氏

〃 浜区長 川端潔氏

〃 岡部社長 大坪又三郎（八六）

石田区 濱松与三左衛門氏

〃 分家 女主人あい

結婚費寄附忠靈塔寄附

〃 富農 能登繁次郎氏

○紙谷氏ハ待遇懇切ヲ極ム。夜食ヲ饗セラル。

四月二十三日（水）快晴 冷

○九時五十分頃、紙谷氏ニ謝シテ辞去ス。氏ハ予等ニ金一封ヲ贈ラレシモ固辞シテ受ケス。同氏、本波校長、川端氏停留場ニ見送ル。

○電車十時五分石田発、魚津ニテ省線ニ乗換ヘ、十時五十七分發高岡十二時八分著、約四十分ノ乗換時ヲ利用シテ市中ニ出ツ。十二時五十分高岡発、一時十七分出町著、東砺波公会堂ニ入ル。会長根尾宗四郎、技手渡辺孝雄、農学校長加茂善治、農会技師長谷川喜一郎氏等ニ会ス。昼食ノ後二時ヨリ開会ノ東砺波郡有志会ニ臨席ス。需ニ応

シテ甘藷栽培法ニ付約一時間ノ講演ヲ為ス。四時散会。

鷺山氏ト別ル(《氏ハ米原ニ出テ帰ル》)。

佐藤助九郎氏来場。氏ノ案内ニ依リ農事試験場ニ「チューリップ」栽培ヲ見、更ニ一篤農家ノ花圃ヲ見ル。ソレヨリ庄川ニ至リ地勢ヲ視察シ、五時半頃佐藤氏居村小学校ヲ訪ヒ、直ニ同氏邸ニ入ル。根尾宗四郎氏同行、中田賢照氏モ加ハル。佐藤氏方ニテハ夫人ニ面会シ、先代ノ靈ニ焼香シ鄭重ナル夕食ヲ饗セラル。

○佐藤氏ノ自動車ニテ七時過辭去。途中根尾氏ト別レ、八時石動著。更ニ東帰ノ中田氏ト別レ八時十二分發ニ乗リ大阪ニ向フ。偶マ寢台車ノ上段ヲ得タルニ、田中清文氏乗合セ在リ。下段ヲ別タル。

〔欄外〕

○魚津ヨリ車中ニテ県議片折十次郎氏(氷見郡熊無村長)福岡町島田七郎右衛門氏西砺波郡松沢村高島開作氏ト同車ス。何レモ報徳ノ有力者ナリ。

○立山連峰ノ雄姿ヲ眺望ス。車中ノ壯觀ナリ。

四月二十四日(木) 晴 冷

○汽車山崎ヲ過クル所覺眠起床ス。五時四十二分大阪著。直ニ東上ノ特急車ヲ申入レシモ席ナシ。已ムヲ得ス朝食ヲ了ヘテ神戸ニ向フ。

○神戸ヨリ八時三十三分發下関仕立ノ急行列車ニ乗ル。幸ニ

シテ座席ヲ得タルモ、京都辺ヨリ大ニ混雜ス。七時二十三分品川著。渋谷ヲ經テ八時帰宅ス。

○昇三郎在泊シ在リ。直子縁談ノ日取ニ付相談ス。

○館林三喜男ハ午後前橋ヘ帰ル。

四月二十五日(金) 晴 冷

○六時發品川ニ至リ六時五十三分列車ニ乗リ、九時前熱海ニ下車。直ニ同地陸軍第一病院分院ニ出頭シ、貴族院ノ傷病將兵慰問団一行ニ加ハル。団長京極高銳子、三橋四郎次氏ト行動ヲ共ニス。団長ヨリ慰問辭ヲ述ヘテ退出。

○熱海駅ニテ十時十五分 天皇陛下靖国神社御親拝ノ時ニ遙拝ス。十時四十九分發、十一時二十一分伊東著(此間小原直氏、同夫人ト同車)。直ニ伊東療養所ニ赴キ(《町役場往訪ノ上》)見舞フ(《旅館ニ分宿ニ付明地ニテ挨拶》)。ソレヨリ旅館暖香園方ニテ昼食。一時五分發車。五時前湊海軍病院著。鄭重ナル待遇ヲ受ケテ見舞ヲ述フ。ソレヨリ院内ノ設備ヲ一見シテ退出ス。

長津谷ヘ長驅、石廊崎灯台ニ至テ帰ル。七時下田温泉ホテルニ入ル。

○静岡県庁救護課属梶原(空白)氏二十二日ヨリ同行世話セラル。又、伊東ヨリ湊ヲ經テ明日吉奈ニ至リ、沼津ニ著

スルマテノ自動車ハ三橋氏県庁ニ依頼セラレ特ニ雇入ル  
ルヲ得テ、甚好都合ナリ（代百円）。

〔欄外〕

○靖国神社臨時大祭ニ付泰治来宅ス。

四月二十六日（土）晴 冷

○五時起床、六時前散歩、柿崎玉泉寺ニ至リ弁天島ヲ見テ帰  
ル。七時朝食。七時半旅館出發。下田乗合自動車發着所  
ニ至ル。京極子爵、梶原属同行ス。雇入自動車ニ乗リシ  
ナリ。運転手ノ尽力ニ依リ乗合自動車ノ番号札第一号ヲ  
得。

○八時發車。天城峠ヲ踰エ十一時修善寺駅著。途中乗合自動  
車ノ混雜甚シク立錫ノ余地ナシ。

十一時七分修善寺發十一時五十分三島著、同五十七分三  
島發十二時五分沼津著。駅前ニテ昼食ス。

○十二時二十八分沼津發三時三十四分品川著。渋谷ヨリバス  
ニテ帰宅ス。沼津ヨリ品川迄中村秀平氏ト同車シ円一郎  
氏ノ容体ヲ聴ク。

○五時半、帝国ホテルナル山崎健太郎氏ノ結婚披露会ニ臨席  
ス。要同伴ナリ。山崎博士健太郎氏ニ代リテ挨拶ヲ述ヘ、  
第一信託専務尾上栄太郎氏祝辞ヲ述ヘ、予ハ乾杯ヲナシ  
万歳ヲ三唱ス。来会者凡五十名。質素ナル晚餐会ナリ。

九時過帰宅ス。

〔欄外〕

○夜、泰治ニ軍刀ヲ贈ル為、選定手入ヲ為ス。

四月二十七日（日）晴 冷

○朝、木曾及赤石方面視察旅行ニ付高尾事務官ノ所案ヲ基ト  
シ、江口定條、大塚惟精氏ト相談ス。其結果、高尾氏七  
時頃來訪ス。出發ノ時期ノ繰上困難ナル由ヲ答フ。

○終日在宅。各方面ヘ書状ヲ發ス。又、電報ヲ富山県農産課  
長西村事務官及丸山氏ニ發ス。

丸山氏、内田重成氏、藤田久藏氏、小山豊作氏、渡辺平治  
郎氏、町村知事、吉田書記官、西村事務官、佐藤助九郎  
氏、金岡又左衛門氏、中田賢照氏、紙谷春男氏、田中清  
文氏、入江貫一氏、根尾宗四郎氏、及高柳貞逸氏（父君  
逝去ニ付）等ヘ書状ヲ認ム。

○二十八日夕開会ノ蘭影会及三十日正午開会ノ有樂会出席ノ  
通知ヲ發ス。

○小林書記官長來訪。純無所属団結成ノ件手續、政務調査組  
織方法、選挙法違反議員ノ失格取扱方法等ニ付所見ヲ問  
ハル。

○朝、要ハ興三ト共ニ泰治ヲ往訪ス。備前住祐定ヲ贈リ軍刀  
ト為ス。

四月二十八日(月)曇 冷

○木曾赤石方面旅行ニ付、岡本愛祐氏ノ意見ヲ問ヒ其儘実行シ難キモノアルヲ認メシモ、高尾氏本日宇都宮方面へ出張ニ付、案ヲ決定スル能ハス。其旨江口定條氏へ電話ス。

○九時半頃、小野仁輔、藤田釧<sup>(訓ニカ)</sup>二両氏来訪ス。本年九月傷兵帰還者ノ為ニ報徳講習会開催ニ付、軍事保護院ノ賛助ヲ得ル件ニ付、同院往訪ヲ求メラル。依テ同院ニ同行総務課長青柳一郎氏ヲ訪ヒ申入ル。又、次ニ総裁ニ面会シテ略其同意ヲ得タリ。両氏ハ事務官ト協議シテ賛同ヲ得タリ。両氏ニ対シレンボーグリルニテ午餐ヲ呈ス。

○貴族院事務局ニ房前属ヲ訪ヒ、伊東ニ於ケル中食料ヲ支払フ(三・二〇)。小林書記官長ニ面会ス。

○枢密顧問官子爵石黒忠恵氏ノ告別式(《築地本願寺》)ニ臨ミ焼香ス。

○日本倶楽部ニ至リ調物ヲ為シ、又小説大原幽学ヲ読ム。

○六時ヨリ丸ノ内会館ニ於ケル蘭影会ニ出席ス。五十名計出席。卓上先ツ杯ヲ挙ケテ聖寿ノ万歳ヲ三唱奉祝(《奈良大將発声》)シ、食後款談、八時頃散会ス。

〔欄外〕

○東遠明朗会ハ南郷村宅ニテ開会ス。出席者三十余名。丸山講師来臨。稲作(苗代)及甘藷ニ付講演及実地指導ヲ為

ス。志太郡田中氏、磐田郡名倉氏、金谷町山本氏モ体験談ヲ為ス。試験地左ノ如シ。

苗代 大村芳次作

甘藷苗 落合銀平

〃 畑 廣尾畑

四月二十九日(火)曇午後ヨリ雨 冷

○午前九時池之上国民学校ノ天長節祝賀式ニ出席ス。

次ニ同校少年団結成式并入団式アリ。来賓トシテ出席ス。式中祝辞ヲ求メラレシヲ以テ一言ス。十一時退去ス。

○十二時四十分東御車寄ニ参内、奉祝ノ記帳ヲ為ス。ソレヨリ宮内省ニ出頭シ会議室ニ於テ、皇后陛下皇太后陛下ニ対シ奉リ恐悦ノ為記帳ス。

一時過大講堂ニテ、旧奉仕者ノ天長節奉祝会アリ、出席ス。出席者二百五十余名ト云フ。白根次官ノ挨拶、関屋貞三郎氏ノ謝辞并祝辞、松平官相ノ発声ニテ聖寿万歳三唱アリ。茶菓ヲ饗セラル。又、指名ニ依リテ懷旧談ヲ行フ。一同ニ対シ御奥ヨリ御菓子一包宛ヲ下賜アラセラル。

○二時ヨリ側近奉仕者ニ賜謁アリ、予ハ第四班ノ首席トシテ同班八名ト共ニ表御座所ニ於テ拝謁ス。陛下竜顔誠ニ麗ハシク、各員歡喜面ニ現ハル。予ニ対シ甘藷栽培ノコトヲ御下問アラセラレシヲ以テ謹テ奉答ス。次テ丸山氏ト

ハ如何ナル人カトノ御下問アリ。是亦謹テ奉答ス。至誠天ニ通スルモノナリ。御茶菓子賜リ又御盃及御菓子一折ヲ頂戴ス。

〔欄外〕

○皇后陛下ノ御機嫌ヲ奉伺シ奉賛ノ意ヲ上ル。竹屋旧女官長面接セラル。

○奉答要旨左ノ如シ。

内地食糧自給ノ必要、本年秋収マテノ食糧充足ノ切要ト其方法。甘藷栽培ノ成績（《南郷村》）ヲ見テ宣伝開始セリ。丸山氏ノ経歴ト高松宮殿下賜品、米麦、甘藷栽培ニ堪能ナルコト。

○泰治十二時前帰来ス。恩賜ノ御菓子ヲ頂カシム。

○加藤虎之亮氏ヨリ招カレ晚餐ヲ饗セラル。山本良吉氏、藤井種太郎氏、塚本常雄氏出席ス。

四月三十日（水）晴 冷

○無所属倶楽部結成ノ由、新聞紙ニ記事アリ。右二付、伊澤氏ヨリ田中穂積氏ノ去就ニ付内報アリ。往訪ヲ約ス。依テ平沼亮三氏ニ電話ニテ紹介ノ為同行ヲ依頼セシニ、田中氏之ヲ断リタリ。

○伊佐勇松氏来訪ス。同氏ノ郷村ヲ問フ。

○正午中央亭ニテ有楽会ヲ開ク。出席者四十五名、大政翼賛

会ノ現状及将来ニ付石渡氏ノ説明アリ。各員ヨリ共同調査会ノコト、両院議員倶楽部ニ対スル所見ノ開陳アリ。二時頃散会ス。

○六時半、東横電代沢出張所ニ於テ開会セル清風会總會ニ出席ス。会員異動報告、十五年度決算承認、十六年度予算可決ノ上、会長ヲ互選ス。真島幸太次郎氏当選ス。全会一致ナリ。次テ幹事ハ会長ノ指名ニ依ルコトニ決シ、會長ハ木村進、斎藤勝次郎、木村康一郎、郷秀雄四氏ヲ指名ス。各員ノ間ニ下水掃除ノ徹底、自動車制札撤去問題、電灯故障ニ対スル場合、町会役員選定問題、宇野氏囑託解除ノ件等ヲ相談ス。長谷川氏ヨリ二丁目町会役員問題ノ真相報告アリ。九時散会ス。

出席者ハ真島、長谷川、重光、松尾、堀、佐藤、大瀧、小池、平田、古丸、二見、河井十二人ナリ。

〔欄外〕

○夜、大野芳子帰来ス。

五月一日（木）晴 冷

○午前七時、町内出征兵二名出発ニ付、八幡神社ニ至リ送別ヲ為ス。社殿ニ陞リテ神事ニ列ス。七時半、式畢ル。

○田中穂積氏ノ問題ニ付テハ無所属倶楽部ト提携ノ必要上慎重取扱ノ要アリト認め、伊澤氏ニ電話ニテ田中ヨリ受取

レル書状ノ内容ヲ伺ヒ筆写シ、又之ニ対スル伊澤氏ノ返書ヲモ写取ル。尚、之ニ対シテ後藤文夫氏ノ態度ヲモ問フ。

田中氏ニ対スル件、俱樂部ニ対スル態度ニ付、次田丸山両氏ト意見ヲ交換ス。

○十時、幸俱樂部ニ次田丸山両氏ト会シ、本日ノ各派代表者会ニ於テ相談スヘキ事項ニ付協議ス。

○十時三十分、各派協議員会ニ臨席ス（研究会）。貴族院共同政務調査機関連設置ノ件ヲ可決シ、其方法ニ付貴族院調査課ヲ利用シ其建物ヲ使用スル等、意見ヲ交換ス。而シテ議長ヨリ正式交渉委員会ノ開会ヲ乞ヒ、実行方法ヲ議スルコトト決ス。事務局ヨリ電話ニテ五日十時ト決ス。

○同成会ニ帰り塚本平沼両交渉委員ニ対シテ速達ニテ右次第ヲ告ケ、且協議ノ為九時集会セラレンコトヲ求ム（塚本氏ヘ電話ス）。

〔欄外〕

○三会堂ニ至リ食事ス。

○一時過、帝室林野局ニ野口監理部長ヲ訪フ。又高尾事務官ニ面会シテ木曾赤石方面旅行計画ニ付、別案ノ作成ヲ為ス。高尾氏ハ御料地栃木県所在耕地農業振興策ニ付、予ノ意見ヲ究ルヘシト大ニ期待シ居タリ。

○如水会館ニ江口定條氏ヲ訪ヒ、右旅行案ニ付説明ヲ為ス。

○夕、永村清氏来訪ス。清風会総会ノ状況ヲ問ハル。町会紛乱ノコトヲ交話ス。

五月二日（金）晴 暖

○午前九時、三会堂ニ至リ甘藷栽培体験家座談会ニ出席ノ丸山方作氏ニ面会ス。十時迄座談会ヲ傍聴ス。

○十時、三会堂ヲ去リ、十二時鷹の台ゴルフ場ニ達ス。5753。直ニ中食ス。

○食後、次田大三郎氏ト一周ス。次田氏ト同車ニテ帰ル。五時半帰宅ス。

○夕、丸山方作、磯部幸一郎両氏座談会ヲ了リテ来訪ス。座談会ノ状況ヲ報告セラル。又、磯部氏カ宮内省ヘ納入セシ甘藷ノ代金ニ付相談アリ。依テ直ニ電話ニテ大膳頭黒田子爵ニ打合せヲ為ス。其結果、磯部氏申出ノ通り一俵（十貫目）代六円、六百貫代三百六十円、送料豊橋駅マテ七円五十銭、駅ヨリ宮内省マテ三十六円ニテ可ナリト決ス。磯部氏ハ帰郷後直ニ右ニ依リ請求スト云フ。

○徳田悦翁、政信両氏来訪ス。雑談ヲ為シ十時帰ル。

○井上匡四郎子ヨリ明夕晚餐ニ招カル。伊澤多喜男氏ヲ招カレシニ由ル。

○新潟県庁振興課渡辺平治郎氏ヘ、丸山氏近ク同県西蒲原郡黒崎村報徳社ヘ赴クニ付、直接交渉アルヘキ由ヲ通ス。

〔欄外〕

○江口定條氏ヨリ電話アリ。西原亀三氏来京ニ付、午餐会ヲ催セリト云フ。予ハゴルフニ赴キ不在ナリシ為出席セス。

五月三日(土) 曇タヨリ雨 南風強 暖

○八時過、代官山アパート六号館ニ薦野孝卿氏ヲ訪フ。氏ハ近々帰国スルニ付、昨日来訪セシニ不在ニテ面会セサリシニ由ル。来訪ヲ謝シ健全ヲ祈ル。

○十時前、同成会事務所ニ出頭ス。塚本、丸山、次田、平沼四氏来集ス。一昨日ノ非公式各派交渉会ノ内容ヲ報告シ、本日ノ交渉委員会ニ臨ムニ付、打合セヲ為ス。又準備委員選定ノ方針ニ付相談ス。

○昨日、平沼亮三氏ニ対シ小林一三氏ヲ同成会ニ入会セシムル件ニ付、尽力ヲ依頼ス。平沼氏今朝小林氏ヲ訪ヒ、申入レヲ為ス。而シテ其結果ニ付報告セラレシニ、塚本氏ハ反対ノ意向ヲ表示セリ。予ハ之ニ拘ラス平沼氏ノ労ヲ多トシ、更ニ勧誘センコトヲ依頼ス。

○帝室林野局高尾事務官ニ対シ、(1)第二日ノ日程ニ付相談ス。

(2)活動写真撮影及同技術者一名同行ノ許諾ヲ求ム。(3)瀬尻行ノ希望ヲ告ク。(4)江口氏ハ昨夜出発、六日塩尻ヨリ同行スル旨ヲ告ク。

○篠田次助氏ニ対シ十六mmフィルム購入方ニ付配慮ヲ乞ヒシ

ニ、不能ナリト云フ。

○如水会館前橋氏ヘ右件ノ中、同氏関係ノコトヲ電話ニテ通知ス。

○丸山方作、袴田銀藏、小柳直吉、松井五郎氏ヘ発信ス。

〔欄外〕

○五時半、井上匡四郎子ヨリ招カレテ晚餐ヲ饗セラル。伊澤多喜男氏来リ、主賓タリ。十時頃辞去、自動車ニテ送ラル(ラインワイン、ポルトワイン甚佳ナリ)。

○要ハ直子同伴、横浜角替方ヘ赴ク。又、夜ハ朝比奈方ニ至リ一泊ス。明日山崎宅ヲ訪フ筈ナリ。

五月四日(日) 強風雨 薄暑

○朝来風雨烈シク雨漏ルコト甚シ。

○昇三郎ヘ返書ヲ認ム。又、鈴木二平寛一両氏ニ対シ結婚式参列ノ案内ヲ発ス。

○午後二時頃杉本良氏来訪ス。同氏ハ近ク拓殖協会ヲ辞任スト云フ。

○島田民治、白井演、藤浪得二、桜井文平諸氏ヘ挨拶ノ葉書ヲ呈ス。

○Y・M・C・A 菅儀一氏ノ依頼ニ依リ、来五月二十日沼津市所在ノ中等学校ニテ同協会主催ノ江原素六先生追憶講演会ヲ許容セラレタシトノ依頼書ヲ学務部長伊能書記官



ニ呈ス。又其事ヲ菅氏へ報告ノ為手紙ヲ認ム。

○要ハ直子ト共ニ八時半頃帰宅ス。

五月五日（月）晴 暖

○貴族院内田明氏ノ配慮ニ依リ、16mmノ<sup>（半）</sup>一本購入ノ方法付キタルヲ以テ、此事ヲ如水会前橋（空白）兵衛氏ニ伝言ス。又、高尾事務官ノ依頼ニ依リVest Film二本ノ調達ヲ得タリ。

○要、直子ト共ニ本間俊平先生ヲ訪フ。先生ハ帰途青山師範駅マテ予等ヲ見送ラル。果物ヲ呈ス。

○山崎はま子ヲ訪フ。直子告別ノ為ナリ。海苔ヲ呈ス。

○関屋貞三郎氏ヲ訪フ。氏モ夫人モ不在ナリ。蜜柑ヲ呈ス。

○小林次郎氏ヲ訪フ。夫人ニ面会ス。絹メリヤスシャツ上下ヲ呈ス。

○大森健一郎来泊ス。寛博士次男某氏ノ音楽ヲ聴ク為ナリ。興ニヲ同伴シテ音楽会ニ臨ム。尚博士ニ就キ健康上ノ相談ヲ為ス由ナリ。

○夜、伊東卓治氏来訪ス。

五月六日（火）晴 暖

○木曾御料林并赤石山系三峰川方面視察旅行ノ為、午後八時新宿発列車ニ乗ル。大塚惟精氏、江口定條氏同伴ノ前橋

半兵衛氏ト出会フ。高尾事務官態々案内セラル。上諏訪ニテ出張所長竹下融氏迎送、連絡ニ任セラル。

○一時二十五分、塩尻著。木曾支局監理課長藤野宗次氏態々出迎ヘラル。此所ニテ浅間温泉ヨリ来レル江口定條氏加ハル。木曾支局業務課長渡辺昇三郎技師東上ノ為、来合セ面会ス。

○二時三十八分、木曾福島著。支局長辛木宣夫氏、神宮御用材伐出主任技師富田良太氏、野尻出張所三殿分担区齋藤洋氏其他支局員諸氏出迎フ。以上三氏亦加ハリ、二時五十八分上松著、下車ス。植松運輸事務所長荻野湛氏上松出張所長橋本正武氏出迎フ。

○以上諸氏ト共ニ寢覚床臨川寺ニ往復ノ後、運輸事務所ノ機械工場、薪材燃料製造工場ヲ視察ス。

○四時半、小川ニ向フ。森林鉄道ニ依ル。藤野事務官斎藤技手ト別ル。途中ニテ曹達ハルプ工場ヲ視察シ、六時赤沢伐木事業所ニ著、一泊ス。

〔欄外〕

○照宮成子内親王殿下東久邇宮盛厚王殿下ト御結婚御内約御成立ノ由発表セラル。

五月七日（水）快晴 暖

○五時半起床。八時出發。辛木支局長、富田技師、橋本所長

ノ案内ニテ、中立備林冷沢所在ノ御神木ヲ拝見ス。富田技師辛木局長ノ説明ヲ聴キ御神木ヲ仰キ感嘆ニ堪ヘス。

○先是、往路ニ当リ檜樹伐倒ノ実況ヲ見、又木登リ法二種（綱ニテ足場掛ケノ法、カンジキ使用ノ法）ノ実演見ル。

○徒歩再ヒ赤沢事業所ニ返リ、十時半森林鉄道ニテ下ル。途中北股線ニ入り十一時里沢ニ下車シ、米国式集材機ノ使用ヲ視察ス。之ヨリ支局長ト別レテ森林鉄道ニ乗リ、数丁ニシテ下車シ、徒歩分度峠ニ向フ。人夫三人一行ノ為荷物ヲ運フ。

○分度峠ニハ王滝出張所長齋藤雄一氏出迎フ。橋本出張所長ト別ル。

○瀬戸川東股伐木事業所ニテ中食シ、了テ軌道ニ乗リ備林ヲ下ル。樺ノ大森林壯觀ナリ。瀬戸川伐木事業所ニテ森林鉄道ト乗換ヘ、田島ニ下リ王滝出張所ニ入り小憩ス。此所ニ三浦所長川上八三郎氏以下、両出張所員、荻野運輸事務所長及日發常盤發電所長石渡功氏出迎フ。

〔欄外〕

○王滝出張所ニテ廣幡皇后宮大夫及藤井御養育掛長ニ対シ、照宮殿下御結婚御内約ニ付祝電ヲ呈ス。

○四時、森林鉄道ニテ三浦ニ向フ。五時半著、三浦堰堤工事ニ副所長吉田俊三氏以下出迎フ。直ニ工事ノ現場ヲ見、又コンクリート製作場ヲ視察ス。

○夕、日發事務所ニ投宿ス。吉田氏、石渡氏ノ外所員大塚理氏、駒村正太郎氏、武部九郎氏、間組村垣一夫氏等大ニ接待セラル。

五月八日（木） 快晴 暖

○五時半起床。三浦ハ海拔千三百米、寒冷ナリ。桜花六月中旬開クト云フ。

○八時半、森林鉄道ニテ下ル。発スルニ先チ揮毫ヲ求メラル。江口氏大ニ健筆ヲ揮フ。九時半頃氷ヶ瀬ニ立寄り風景ヲ賞ス。

○三浦所長川上氏ト別レ鹹川ニ入り、沿道ノ森林ヲ車上ヨリ視察ス。富田技師ノ説明ヲ聴ク。伐木事業所ニ至リテ還ル。

○十一時半、王滝出張所ニ入り中食ス。

○十二時半王滝発、一時三十五分上松著、一時四十八分省線ニテ発ス。荻野橋本両所長ト別ル。偶マ車中ニ辛木支局長アリ、福島マテ同車ス。同駅ニハ妻籠出張所長伊藤悦夫氏在リ、出迎フ。之ニテ支局長及富田氏ト別ル。

○二時一分福島発、新ニ支局計画課長佐治秀太郎技師同行セラル。三時一分塩尻著、三時三十八分同発、四時四分辰野著下車ス。伊那出張所長浅田雄次氏、支局砂防技手小椋頭氏出迎フ。之ニテ帰東ノ前橋半兵衛氏ト別ル。又小

棕氏ハ支局へ帰ル。

○四時四十二分伊那電鉄伊那駅発、五時十二分入舟著。直ニ旅館箕輪屋ニ投宿ス。

五月九日(金) 晴漸曇 暖

○早朝、江口大塚両氏ト天竜川ヲ渡リ丸山公園ニ散歩ス。招魂社ヲ拝ス。

○八時、浅田出張所長ノ案内ニ依リテ発車ス。高尾佐治両氏同車ナリ。伊那北駅附近ノ新設土場ヲ視察シタル上、高遠ニ向フ。同所ニテ酒(千釀)及饅頭ヲ求ム。ソレヨリ黒川部落ナル戸台事業区ノ土場ニ立寄りテ之ヲ視察シ、十時市野瀬著。分担区佐藤宏氏(北大出身)ノ案内ヲ得。其旅館前ニテ車ヲ下リ、更ニ修繕中ノ橋ヲ渡リテ再ヒ乗車、十一時頃杉島土場ニ著ス。

○杉島ナル三峰川森林軌道建設事務所ニテ所長上月正一氏ニ面会シ、工事ノ状況ヲ聴キ同所ニテ中食ス。杉島ニテ天竜峡彩雲閣ニ対シ十一日夕宿泊取消ノ電報ヲ発ス。

○十二時十五分、軌道ニ乗リ杉島ヲ発ス。上月氏同車ス。十二時半過桃ノ木部落附近通過ノ時、石塊墜落シ来リ、江口大塚両氏ノ間ニ当ル。大塚氏右拳ニ微傷ヲ負ヒ、江口氏左大腿ニ輕キ打撲ヲ受ク。何レモ輕シ。一同大ニ驚ク。ソレヨリ戸草ノ隧道ヲ過キ平瀬ニ下車ス。時二一時十分

ナリ。是ヨリ徒歩一里半、三時小瀬戸谷出合ナル浦伐木事業所ニ著、投宿ス。

○佐藤氏ノ歓待ヲ受ケ一同大ニ両氏ノ為ニ無事ナリシヲ祝ス。

五月十日(土) 雨午後歇 暖

○早曉ヨリ降雨アリ。予定ノ行動ヲ執ルヘキヤ否ヤヲ凝議ス。浅田所長佐藤技手ハ笹山越ノ不能ヲ述フ。江口大塚両氏ハ断行論ニシテ、予ハ一日滞在スヘシト主張ス。依テ此地ノ状況ヲ知悉セル人夫頭ヲ呼ヒテ質シタルニ、所長等ト同論ナリ。是ニ於テ高尾事務官ハ兎ニ角出發シテ実況ニ応シテ決定スヘシトノ折衷意見ヲ出シ之ニ決ス。

○七時十五分出發(地下足袋、巻脚絆、靴下ヲ求メ傘ヲ借ル)。所長ハ人夫多数ヲ出シテ警戒シ、且荷物ノ運搬ニ任セシム。斯クテ三峰川左岸ヲ登リ、八時四十分大曲リニ於ケル人夫小屋ニ達シ休憩ス。

○九時十五分人夫小屋ヲ発ス。陵線ヲ直上シ急峻ナルモ手入能ク整ヒ、歩行意外ニ容易ナリ。十時過ヨリ雨歇ミ無風ナリシカハ、梶、唐檜、白檜ノ天竜林ヲ登ルコト七百米ニシテ、十一時三十分笹山峠(二、一〇〇)ニ達ス。

○笹山峠ニテ中食ス。此時飯田出張所長大澤万治氏人夫ヲ率ヒテ来ル。

○十二時半、浦ヨリ来レル浅田上月佐藤三氏以下多数ノ人夫ト別レテ発シ、鹿塩ニ向フ。途中数ヶ所ニテ休息ス（殊ニ入沢井部落ノ神社）。四時三十分、鹿塩温泉山塩館ニ著、投宿ス。

〔欄外〕

○鹿塩ニテ大澤所長ト明日ノ行動ヲ相談シ、二時廿一分天竜峡出發、吉田ニ向ヒ弁天島ニ泊ルニ決ス。其間天竜峡ニテ中食スルコトトス。其結果彩雲閣ホテルヘ電話シ、弁天丸文ヘ電報ス。

○八時半本局計画課長大塩義男技師、支局監理課長藤野宗次氏、飯田出張所久保田得一郎氏来著ス。一同晚餐ヲ共ニス。

五月十一日（日）晴 稍冷 午後薄暑

○早朝入浴ス。江口氏ノ打撲甚輕快トナル。

○七時半、大塩技師、高尾事務官、佐治技師、大澤所長等ト別レ、自動車ニテ山塩館ヲ出發ス。大河原方面ノ南朝遺跡ヲ訪ハンカ為ナリ。藤野氏久保田氏同車ス。途中大河原丸川旅館ニ立寄りテ打合セヲナシ、三四町先ニ下車ス。

○上蔵部落ニテ医王山福德寺建物（《国宝》）、信濃宮造営地（《勤勞奉仕隊地均中》）、野々宮神社、大河原城址、香坂高宗墓ヲ訪フ。高宗ノ子宗重ノ建テタル宗久寺ノ趾ハ訪

ハス。急歩丸川方ニ帰り絵葉書ヲ求メ高尾大塩諸氏等ニ伝言ヲ依頼シ、九時四十八分出發伊那電市田ニ向フ。十一時著。

○十一時二十一分市田發、十二時三分天竜峡著。直ニ橋ヲ渡リテ風景ヲ見、彩雲閣ホテルニ入りテ中食ス。

○二時四分天竜峡發、五時四十七分吉田著（実ハ十分間遅著）。直ニ東上ノ六時二分發ニ乗り、六時三十五分弁天島著。丸文別館ニ投ス。

○隣室ニ静岡ヨリ来レル警防団幹部ノ酒宴アリ。低劣喧騒甚シ。乃海岸ニ出テ又舞阪トノ橋ニ至リテ帰宿ス。月明ニシテ静穩ナリ。帰宿セシニ騒乱漸ク斂マリ平穩ニ復ス。

五月十二日（月）晴 冷

○六時起床ス。昨夜ハ疲勞ノ為熟眠ス。食前約一時間両氏ト散歩ス。

西ノ方第一鉄橋ヲ經テ帰ル。月見草花麗シ。

○九時四十七分弁天島發、十時浜松著、十時十九分同發ノ急行列車ニテ帰ル。途中江口氏ハ沼津ニ下車、予ハ品川ニテ渋谷ヲ經テ帰ル。時二三時半ナリ。

○車中ニ於テ旅行諸費ノ計算ヲ了ス。

○午後四時半頃、朝鮮總督府技手落合伊作氏来訪ス。最近技手ニ昇進シ大ニ重用セラルト云フ。今回ハ大和橿原ニ開

会セル全国都市計画大会ニ選拔セラレテ出席シ、其序ニ各地視察ヲ命セラレタリト云フ。

○七時過、榛葉孝平氏來訪ス。十一時半マテ談話ス。

五月十三日(火) 雨 冷

○終日家居シ日記ヲ整理シ、又旅行中世話セラレタル人々へ謝状ヲ發ス。

○六時、全国治水砂防協會ニテ西原龜三氏ノ來京ヲ迎フル為晚餐會アリ(待月莊)、出席ス。俵孫一、砂田重政、植原悦二郎、大河内輝耕子、江口定條氏出席ス。赤木正雄氏斡旋セラル。

○三時半、久保春海氏夫人逝去ス。依テ夜九時頃往訪見舞フ。氣ノ毒ニ堪ヘス。

○夜、昇三郎來泊ス。

五月十四日(水) 晴 冷

○十時、貴族院議長ノ主催ニ係ル共同調査會準備委員會ニ出席ス。十一時半一応散會ス。來廿日午前十時再會ノコトナル。

○十二時、日本俱樂部ニ於ケル徳川靜岳公追悼會并記念事業相談會ニ出席ス。中川望、添田敬一郎、土方久徵、鈴木信太郎、田澤義鋪氏代理出席ス。三時散會ス。

○右ノ結果、松平議長ヲ訪問スルコト、徳川公ニ都合ヲ問合ハスコトニ決定ス。

○故男爵千秋季隆男ヲ弔問ス。

○千秋邸ニテ松平議長ニ出會ヒ、前記ノ件ヲ報告シ面會ノ都合ヲ問フ。

○四時半、徳川邸ニ至リ宇佐美中將ヲ訪問ス。前記ノ二件ニ付内談ス。

○五時ヨリ家政相談人會アリ。井出、土方、成田、石渡諸氏出席ス。晚餐ヲ饗セラル。八時半散會ス。徳川公ノ御都合ヲ問フ。

○夜、中川望氏ニ電話ヲ以テ松平伯、徳川公訪問ノ結果ヲ報告ス。

○夜、昇三郎歸來ル。又、朝比奈アキ子來泊ス。

〔欄外〕

○要ハ大野よし子ト中山ニ赴ク。

○なほ子ハ朝比奈方ヲ訪問ス。なほ子歸ル時アキ子送り來ル。一泊ス。

五月十五日(木) 晴 冷

○朝九時頃運送屋來リ、西ノ宮ヘ送ルヘキ荷物ヲ作り之ヲ發送ス。総數十箇ナリ。右ニ付渋谷駅ニ至リ、芦屋マテノ乗車券二枚ヲ求ム。

○来廿六日夕、三派中心議員有志ノ晚餐会ヲ末広方ニ開会ニ決シ、其案内状ヲ田口、田澤、松村、岩田、江口、赤池、小原、澤田、岡、古島、大西、塚本、次田、丸山十四氏ニ発ス。

○正午、要ト共ニ出發。谷中天王寺ニ至リ、故久保夫人ノ葬儀ニ臨席ス。式了リ要ハ帰宅シ、予ハ三時迄留マリ来弔者ニ挨拶ス。全部終了ノ上久保家ヲ代表シテ謝辞ヲ述フ。○三時四十分徳川公爵家ニ至リ、故静岳公御伝記編纂所長井野辺博士ヲ訪フ。博士ノ需ニ依リ貴族院関係事項ニ付説明ヲ為ス。晚餐ヲ饗セラレ七時半退出ス。

○夕、矢田部夫人、館林マス子来泊ス。アキ子モ尚留ル。

○昇三郎ハ今夕ヨリ伊澤氏方ニ泊ス。

○伊佐勇松氏来リ寿司ヲ作り、なほ子ノ為ニ祝セラル。

〔欄外〕

○金千五百円ヲ銀行ヨリ引出シ諸費ニ充ツ。

五月十六日(金) 晴 冷

○朝、長澤久男氏ニ電話ヲ以テ東亜経済調査部員鈴木〔空白〕氏トノ面会ヲ断ル。

○朝来、大急キニテ荷物ヲ整フ。矢田部夫人、マス子、アキ子、大野女史等大ニ尽力セラル。正午、自動車二台ニテ発ス。要、直子同伴ナリ。矢田部夫人、マス子、アキ子

東京駅マテ同車、見送ル。興三ハ登校ノ時直子ト挨拶ス。○午後一時三分発、六時三十八分掛川著。雨中ナリ。大村留吉ノ出迎ヲ受ケ、自動車ニテ自宅ニ入ル。

五月十七日(土) 大雨 冷

○直子ハ要ト共ニ墓参ス(自動車ヲ用フ)。

○予ハ八時三十分掛川信用組合ニ鷲山恭平氏ヲ訪問シ、報徳及明朗会ノコトニ付相談ス。辛木木曾支局長ヘ甘藷栽培法ノ書ヲ呈ス。

○掛川発九時三十六分、大村留吉、ます枝、まさ、八重等見送ル。

五時二十分大阪著、阪神電車ニテ六時頃芦屋著。自動車ヲ雇ヒテ直ニ昇三郎方ニ著ス。

○雨、米原辺ヨリ歇ム。

五月十八日(日) 晴 薄暑

○大阪ニ至リ各種ノ用意ヲ為ス。高子案内シ、要、直子同行ス。

○新大阪ホテルニテ専務取締役ニ面会シ、結婚式及宴会ニ付打合せヲ為ス。又、美容室ニ至リカツラ其他ノ都合ヲ問フ。

○ホテルニテ本間俊平先生ニ出会フ。先生ヨリ祝儀トシテ金

三十円ヲ贈ラル。又、牧野宝一氏、梨本宮家属笹川吉雄氏ニモ出会フ。中食ス。

○三越支店ニ至リ買物ヲ試ミシニ好都合ナラス。

大丸デパートニ赴キ買物ヲ為ス。(1)三島家両親、弟、妹ニ対スル贈物トシテ反物ヲ求ム《勘定ハ芦屋宛トシ他日支払フ筈ナリ》。(2)桐箆筒、鏡台、鏡、衣紋掛、茶碗、箸、箸箱等ヲ求ム《之ハ現金ニテ支払フ》。大ニ疲労シテ芦屋ニ返ル。

五月十九日(月)晴 薄暑

○早朝、海岸ヲ散歩ス。

○明日、貴族院調査会準備委員会アルヲ以テ、小林書記官長ニ欠席ノ旨ヲ通シ、丸山鶴吉氏ヲ招カレンコトヲ電報ニテ依頼ス。

○黒崎幸吉氏ヲ訪ヒ明日ノコトヲ依頼ス。夫人ニ面会ス。

○三時過、要、直子ヲ伴ヒ、三島甫氏ヲ往訪ス。昨日求メタル贈品ヲ呈ス。両親及弟妹ニ面会シテ明日ノ打合せヲ為ス。又、要、直子ノ衣類附属品ヲ到着ノ荷物中ヨリ取出シ持帰ル。

○芦屋ヘノ帰途、松林内ニテ庵地淑子ニ出会フ。淑子ハ保彦氏出張ノ為、明日出席シ難キ旨ヲ断ル為、芦屋ニ来レルナリ。

○木村通氏夫人来訪セシモ不在ナリ、大野芳子氏面会ス。

五月二十日(火)晴 薄暑

○なほ子結婚ニ付、八時四十分芦屋出發。九時半新大阪ホテルニ至ル。

重友今朝芦屋ニ来著。直子、要、昇三郎、女中一人ト共ニ同行ス。日本室ニ入り一同休憩ス。なほ子ハ直ニ髪結及化粧ヲ為シ、又衣服ノ着付ヲ為ス。ホテル常務水野高之助氏美容師八木夫人大ニ世話ス。

○鈴木寛一兄十時半頃来著ス。又、庵地保彦氏モ来著ス。

○新郎三島甫氏、両親、弟淳三郎氏、妹那美子、伯父堀乾太氏、叔母三島尚枝子及友人藤田若雄氏ニ面会シ、予ハ予等ノ一同ヲ紹介ス。

○十一時、<sup>(黒崎)</sup>黒田幸吉氏同夫人ノ媒酌ニテ結婚式ヲ行ヒ、三十分ニシテ無滞終了ス。ソレヨリ撮影(全員ノモノ、兩人ノモノ)ス。

十二時ヨリ祝宴ヲ開ク。定食ニシテ酒ヲ用意ス。黒崎氏ノ紹介辞、藤田氏ノ祝辞アリ。一時半終了ス。

ソレヨリ新夫婦ハ衣服ヲ更メ容ヲ変ヘ、奈良ヘ旅行ス。

○予等ハ自動車ヲ雇ヒテ阪神ニ至リ芦屋ヘ帰ル。時二三時半ナリ。鈴木寛一氏ハ岐阜ヘ帰ル。

○夕食前、昇三郎ノ案内ニテ、重友ト共ニ魚崎ナル高等商船

校マテ散歩ス。

五月二十一日（水）晴 薄暑

○午前九時過、三島実氏来訪ス。依テ氏ト同車黒崎幸吉氏ヲ其邸ニ訪ヒ、厚ク媒酌ノ勞ヲ謝ス。謝金三百円ヲ呈ス（三島氏出金負担折半）。

○三島氏ニ同家ノ親戚ニ宛テ挨拶状發送ヲ要スルモノヲ問フ。

○重友ハ午前九時頃、帰京ノ途ニ就ク。

○一時過ヨリ昇三郎ノ案内ニテ、芦屋川筋山中ニ入り弁天祠ヲ経テ通称「ロックガーデン」ニ遊ブ。山骨露出シ細砂崩落シ歩行甚艱ナリ。屢々滑落匍匐ス。陵線ヲ渡リテ山顛ニ達シ山間ノ平地ニ出テ、住友有志ノ建テタル小屋ニ至リ、荒地山ヲ廻リテ芦屋川上流ニ出テ漸次下降シ、最近築造セル堰堤、築造中ノモノ、巨大ナル崩壊地等ヲ視察シ、六時過帰ル。甚面白ク且有益ナリキ。

○要ハ高子ト共ニ黒田吉郎氏ヲ訪問シ、直子ニ対スル祝儀ヲ謝シ且令嬢ノ結婚ヲ祝ス。

五月二十二日（木）晴 冷

○朝、要、高子ト共ニ山田ゆか子ヲ訪問ス。

○ソレヨリ庵地保彦氏ヲ訪フ。淑子在リ。双児甚健全ナリ。

十二時半頃帰宅ス。

○午後二時半頃、要ト共ニ本山村森宮川ニ岸名清次氏ノ宅ヲ訪フ。夫人ニ面会シテ大野芳子氏ニ世話ニナルコトヲ深謝ス。

〔欄外〕

○午前十時ヨリ宮城前広場ニ於テ青年訓練実施十五周年記念全国青年学校生徒親閲式ヲ行ハセラル。

五月二十三日（金）晴 薄暑

○早朝、海岸ヲ散歩ス。

○九時頃、庵地淑子来訪ス。

○十時過ヨリ要ト共ニ三島甫ヲ往訪ス。女中一人ヲ頼ミ革靴ヲ持行ク。三島御両親ヨリ大ニ歓待ヲ受ク。母上ノ料理ニ係ル中食ヲ喫ス。父上ニ対シ大ニ甘藷栽培ノコトヲ談話ス。

○二時頃辞去ス。甫及直子阪急西宮北口駅マテ見送ル。ソレヨリ特急ニテ大阪駅ニ至リ地下鉄ニテ難波ニ至リ、南海電車ニテ羽衣駅ニ赴キ浜寺海岸ナル富民協会ノ農業博物館ヲ見物ス。技師田中至孝氏案内説明セラル。

○四時半退出。南海電車、地下鉄、阪神電車ニテ六時過昇三郎方ニ帰ル。

○本日、貴族院調査会準備委員会（一時、議長室）及各派交



渉委員会（二時、同上）アリ。調査会ノコトヲ決定ス（不在ニ付欠席ス）。

○十時、貴族院議長官舎ニテ静岳公追悼会發起人会アリ。来月十日上野精養軒ニテ晚餐会ヲ開クニ決ス。予ハ不在ノ為欠席ス。

五月二十四日（土）晴夕曇 冷

○早起、帰京ノ用意ヲ為シ、荷物ヲ片付ク。其結果一箇ニ直子ノ衣類ヲ納レ、外装ト共ニ之ヲ昇三郎方ニ託ス。<sup>suitcase</sup>

○昇三郎及高子ニ対シ深甚ナル謝意ヲ表シ、女中ニモ金十円宛ヲ贈ル。又金千円ヲ昇三郎ニ託シ総テノ支払ヲ頼ミ、其残余ヲなほ子ニ渡スコトヲ託ス。

○八時半、自動車ニテ発ス。昇三郎モ同車シ、荷物ヲ持チテ世話ス。芦屋駅ヨリ省線電車ニテ大阪ニ向フ。

○九時二十分発急行ニ乗り、二時五十六分浜松ニ下車シ、四時六分発四時四十五分掛川著、大村留吉ノ出迎ヲ受ケ帰宅ス。

○夕刻石間たみ来訪ス。神谷文平氏令嬢調査ノ結果ニ付、詳細報告ヲ為ス。其結果明日午前、磯部中津川両氏ヲ訪問シテ問合セヲ為スニ決ス。

○大村芳次ヨリ飯郷（白）及赤六ノ苗各十七束ヲ提供セラル。依テ明日之ヲ携ヘテ上京シ東京女高師ヘ贈ルコトトス。

○三島ヨリ見送リタルモ面会セストノ詫電到著シアリ。是予カ急行列車ニ乗リタルニ由ルモノニシテ、却テ赤面ス。

五月二十五日（日）大雨 冷

○早朝ヨリ降雨アリ。次第ニ豪雨トナル。

○午前中、見附磯部氏中泉中津川氏ヲ訪ヒ、神谷文平氏令嬢ノコトヲ問ハント欲シタルモ、降雨烈シキ為中止シテ帰京ニ決ス。

○自動車ヲ呼ビ九時五十六分発ニテ東帰ス。石間たみト島田マテ同車ス。箱根以西降雨甚シ。以東漸ク歇ム。

○三時二十六分品川ニテ重友、興三兩人ノ出迎ヲ受ケ、渋谷ヨリバスニテ帰宅ス。

○館林三喜男来訪シ在リ。今夕、村上徳太郎氏方ニ伊澤多喜男氏来リ夕食ヲ為スヲ以テ同席スト云フ。

○甘藷苗ヲ東京女高師ヘ贈呈ニ決シ、下村校長ト打合セヲ為ス。明日学校ヨリ使者ヲ以テ之ヲ取寄スト云フ。

○明夕ノ末広会ノコトヲ調査シ其用意ヲ為ス。

○不在中ノ用件ヲ調査シ大体ノ処理ヲ了ル。

〔欄外〕  
○山崎昇二郎ヨリなほ子結婚ニ付賀状ヲ寄セ来リ、且近日南京市寧夏路五、華中棉産改進会ニ移ル由ヲ通シ来レリ（二十三日移転）。勤務関係左ノ如シ。

興亜院囑託ニテ大使館勤務ヲ命セラル。

国民政府ヨリ国民政府農鋁部顧問兼中央農業実験所技正ニ任用セラルト云フ。

五月二十六日(月)曇夕雨 冷

○静岳公追悼会開催ノ件ニ付、小林書記官長、田村主事ト電ス。又宇佐美中将トモ相談ス。其結果塩島金一郎氏ニ電話ニテ依頼ス。

○朝、山王ホテルニ榛葉孝平氏ヲ往訪ス。令嬢縁談ノ件ニ付相談ヲ受ク。

○日本放送協会ニ佐々講演部副部长ヲ往訪シ、甘藷栽培法ニ付丸山氏ヲシテ尚一回全国放送ヲ行ハシメラルルヤウ依頼ス。

○日本俱樂部ニ至リ昼食ス。

○日本国際協会ニ至リ小長谷綽氏ノ講演ヲ聴ク。瀬古氏ノ自動車ニ便乗ス。

○帝室林野局ニ高尾事務官ヲ訪問シテ謝意ヲ表ス。

旅行ノ写真十四枚ヲ恵与セラル。倉田業務部長ニ面会ス。三浦長官、野口部長ハ不在ナリ。

丸ノ内信用組合ニ立寄り配当金ヲ受領ス。

○六時ヨリ末広方ニテ第二回末広会アリ、出席ス。田口、田澤、江口、小原、澤田、岡、古島、大西、塚本、次田、

丸山諸氏出席ス(岩田、松村、赤池三氏欠席)。歓談九時過散会ス。次回ヲ六月二十日ト定ム。

〔欄外〕

○昇三郎ヨリ書状到着。直子結婚諸費明細書ヲ送ラレ、且之カ負担方法ヲ報告セラル。

五月二十七日(火)曇 冷

○朝、真島幸次郎氏来訪。高木友枝氏病氣入院中ニ付、見舞ノ件相談アリ。聖路加副院長飯田氏ニ容体ヲ問フ。

○朝、関屋令夫人来訪、直子結婚ニ付祝意ヲ表セラレ祝品ヲ贈ラル。正彦氏ノコト(三宿売払、東井沢ニ引越)、光彦氏ノコトヲ話サル。

○三輪修三氏夫人逝去シ、本日二時ヨリ月桂寺ニテ告別式アリトノコトナリシモ、焼香スル能ハス弔状ヲ呈ス。

○久保春海氏ヨリ電話ニテ身上ニ付相談シタシト申出アリ。

○遠州学友会例会アリシモ欠席ス。

○品川発二時三十分ニテ帰国ス。七時三十八分掛川著。大村留吉ニ迎ヘラレテ帰宅ス。

○夜、小柳直吉氏来訪、(1)去月二十八日丸山氏来村指導状況報告。(2)掛川町長申出ニ係ル模範農圃経営者トナルノ件。

(3)村明朗会員希望者ニ対スル取扱方ノ件等アリ。(2)(3)ハ積極的態度ニ出ツヘキヲ答フ。

五月二十八日(水)晴 薄暑

○早朝、石野元治郎氏来訪、起床面会ス。

○原田喜之助中尉帰還シアリ。本日帰任スト聞キシヲ以テ役場ニテ之ヲ確カメ、九時半頃、杉谷ノ神社ニ至リ送別ス。又原田家ニ至リ母堂ニ挨拶ス。一同ト共ニ停車場ニ至リ十時五十分發ヲ見送ル。

○三橋四郎次氏ニ邂逅シ駅前ニテ休憩ス。(1)中村円一郎氏ノ容体及三五問題ノ件、(2)次期代議士推薦方ノ件等ヲ相談ス。(3)三橋氏ヨリ大井川支流鮎淵ニ付、六月八日十五日ノ中ニテ徳川公ノ都合ヲ問フヤウ申出アリ。其詳細ヲ相談ス。

○十二時前報徳社ニ出席シ、一時ヨリ第四回新体制下自治振興常会指導者錬成会ニテ、四時半マテ時局ニ付講演ヲ為ス。ソレヨリ閉講式ニ臨ミ社長代理トシテ訓示ヲ為ス。夕食ヲ饗セラレ七時頃帰宅ス。一同ハ明早曉出發杉山、小田原、柏山へ赴クト云フ。

○袴田銀藏氏ヨリ東遠明朗会ノ事業ニ付、其後ノ状況報告アリ。又掛川町長ノ申出ニ係ル丸山式模範農場試作者決定ノ件、南郷村内ノ試作諸畑ニ東遠明朗会名ヲ与フルノ件ニ付、相談ヲ受ク。之ヲ賛成ス。

〔欄外〕

○左官職来リ大廊下先ノ便所ノ壁塗換ニ着手ス。

○徳川家正公本日麝香間祇候被仰付。

五月二十九日(木)晴 薄暑

○昨夜、村道喧囂ニシテ屢眠リヲ破ラル。

○早朝、石野元治郎氏来訪。苗代田ニ發生セシキリ蛆ヲ示サル。原田村長亦来訪、昨朝令息ノ出發見送ニ付謝意ヲ表セラル。

○掛川發九・三七ニテ中泉ニ至リバスニテ見付磯部英一氏ヲ訪問ス。氏不在、母堂ニ面会ス。具サニ中泉神谷文平氏ノ家庭及長田ニ付問悉ス。午餐ヲ饗セラル。英一氏モ歸来リ款待アリ。一時過ノバスニテ中泉ニ至リ中津川長治氏ヲ訪ヒ、氏夫妻及老母堂ニ面会ス。神谷家ノ家系其他ニ付、一層明確ナル説明ヲ与ヘラル。

次ニ角替文子ヨリ依頼セラレタル太田藤一郎氏子息ノコトニ付質問ス。四時二十五分中泉發四・四五掛川著ニテ帰宅ス。

○八時ヨリ南郷村明朗会員集合シ来リ出席ス。来会者十五名。西郷村松浦清三郎佐藤雅雄両氏モ特ニ来会セラル。主トシテ苗代田ノ害虫駆除方法ニ付熱心ニ研究ヲ為ス。十一時過散会ス。松浦氏ヨリ製茶二缶ヲ贈ラル。又、佐藤氏ヨリ諸苗多量ヲ会員ニ贈ラル。

〔欄外〕

○南郷村明朗会ハ害虫駆除ノ件ヲ研究ス。其外会員入会許諾ノ件（二名）、会費徴収ノ件及其月額、丸山氏へ贈呈スヘキ謝礼金額等、相談ヲ受ク。又常会ヲ頻繁ニ行ヒ定日ヲ定メ出席ヲ励行スルヤウ助言ス。

○大廊下先ノ便所壁ノ塗換成ル。

○夕、和田岡村萩田氏（武蔵高等工科学校出身）来訪シ、就職ノコトニ付相談アリ。杉谷合寺僧ノ紹介ニ依ル。

五月三十日（金）晴 薄暑

○まず枝ヨリ南郷村ニテ収納・米供出代金二八四、四〇銭ヲ受取ル。此中諸税三七、八八銭ヲ差引キ別ニ四十円ヲ交付シ諸払ニ充テシム。

○小笠郡農会事務所ニ至リ、苗代田キリウヂ駆除ノ為至急技術員ノ派遣ヲ希望ス。技手小野武氏ニ面会ス。小野氏ハ直ニ出勤スヘシト答フ。依テ午後掛川発駅ノ時、其事ヲ留吉ニ託シテ全員ニ通知セシム。

○十時ヨリ報徳社ニ於テ第十一回行幸記念会アリ、出席ス。熱心ナル幹部ノ集会ナリ。予ハ聖徳ニ関シ約一時間半ニ亘リ謹話ス。了テ 陛下ノ万歳ヲ三唱ス。ソレヨリ一同恩賜館ニ集マリテ中食ヲ共ニシ、座談会ヲ催ス。予ハ中途ニテ辞去帰京ス。

○掛川二時十三分発ニテ八時四十分頃帰宅ス。

○不在中多数ノ書状到著シアリ。之ヲ一見ス。

○土肥鈴木二平ヨリ改良枇杷結実セリトテ、在来種ト共ニ一箱ヲ贈ラル。改良種ハ甚佳味ナリ。

〔欄外〕

○東遠明朗会ニ付袴田氏ヨリ、(1)印刷物発行方法ノ件、(2)河城村支部設置ノ件、(3)志太明朗会設立ノ件、(4)東遠明朗会ノ客員トナルノ件ニ付相談アリ。又、掛川町長申出ニ依ル模範試作田畑ノ作物引受クルヤ否ヤノ件、(5)南郷村明朗会有志ノ試作畑ニ対シ東遠明朗会ノ名ノ与フヘキヤニ付相談アリ。

五月三十一日（土）晴 薄暑

○朝、電話ニテ徳川公爵ニ対シ、大井川方面鮎獵ノ日取ニ付伺フ。

早朝、片岡録朗氏ヨリ来月八日ハ不適當ナリトノ手紙到著ス。先是右ノ件ニ付、宇佐美中将ト電話ニテ相談ス。

○朝、町会長阿川昌朝氏来訪ス。清風会費ヲ町会費トシテ委譲センコトノ要求ヲ受ク。考慮ヲ約ス。

○泰治ヨリはかき到著。腕時計破壊ニ付新調ヲ求ム。依テ服部時計店ニ至リシニ、予約ナクシテ売却出来スト云フ。乃チ予約申込ヲ為ス。来月四日調達可能ナリト云フ。

○三時、赤坂三會堂ニ於テ帝國治山治水協會第一回總會アリ、出席ス。然ルニ會員ノ多數（各府県山林課長）ハ農林省ノ會議ニ出席中ナリシ為、委任状及出席員ノミニテ開會ス。時ニ四時半ナリ。予ハ五時過退出ス。

○五時半ヨリ帝國ホテルニ石黒忠恵子法要後ノ晚餐會ニ招カル。來會者二百名位、農相石黒氏ノ挨拶ニ對シ平沼內相答辭ヲ述フ。故子爵ノ遺書遺品ヲ展覽セラル。八時退出帰宅ス。

〔欄外〕

○甘藷苗頒与ノコトヲ治山治水協會ニテ發表シ、希望者及其數ノ表示ヲ求ム。而シテ來四日同會へ使者ヲ派シテ受取ランコトヲ求メ置ケリ。

○朝、内田重成氏ヨリ電話ニテ、丸山氏ノ山口県ニ於ケル甘藷栽培講習ニ付、深甚ナル謝意ヲ表セラル。

○佐々講演部副部長ニ對シ丸山氏ノ甘藷栽培続講ノ配慮ヲ重ネテ依頼ス。

六月一日（日）雨夕晴 冷

○諸方へ手紙ヲ認メ不在中ノ処用ヲ弁ス。

片岡録朗氏ヨリ鮎漁ニ付テノ報告アリシニ對シ返書ヲ發ス。又、大村留吉ニ對シ甘藷苗送付方速達便ヲ發ス。

○要ハ泰治ヲ訪問ス。

○九時半頃、金鷄学院理事東方籌氏來訪ス。引佐部内ニ學院設置ノ件ニ付相談アリ。御料地払下ハ不能ナルヲ以テ一応困難ナリ。意見相投合ス。

○午後三時頃ヨリ、要ト共ニ荏原已小山町ニ曾禰武氏ヲ訪問ス。氏及夫人ニ面會シ、直子結婚ニ付挨拶ヲ述フ。

○帰途東京中央郵便局ニ至リ、大村留吉へノ速達郵便ヲ發ス。○角替文子來訪、養子候補者太田藤一郎氏令息ノコトニ付、予力中津川氏ヨリ聴キタル所ヲ聞ク。又高尾亮一氏令弟ノコトニ付、岡本愛祐氏ニ電話ニテ依頼ス。

○夜、渡辺史郎氏及夫人來訪ス。直子結婚ニ付祝品ヲ贈ラル。

六月二日（月）快晴夜小雨 涼

○大井川支流鮎漁ノ件ニ付、朝、岡部子、小川端夫、出渕勝次、石渡莊太郎、大塚惟精、前田勇男ノ諸氏へ電話ス。

○來十日開會ノ故靜岳公追悼會ニ付、小林書記官長ト電話ニテ相談ス。其結果牧野伸顯伯ニ對シ、發起人ノ希望トシテ追憶談ヲ依頼スルコトトス。伯若シ差支アラハ一木男ニ依頼ノコトトス。

○午後、牧野伯ヲ訪ヒ久濶ヲ叙ス。時局ニ對シ適切ナル指導ヲ受ク。又徳川公追憶談ノコトヲ懇願ス。伯ノ健康力許サハトノ條件ニテ快諾セラル。對談二時間ニテ辭去ス。

○四時頃、一木男ヲ訪フ。約一週間計リ病氣ニテ臥床セラル

ト云フ。若夫人ニ面会シテ容体ヲ問フ。最早心配ナシト云フ。然ルニ男ノ求ニ依リ病床ニ至リテ面会ス。約二十分ニシテ退出ス。

○石黒農相邸ニ至リ、一昨夜ノ懇遇ヲ深謝ス。

○植村澄三郎氏未亡人ヲ訪ヒシニ、福岡へ旅行中ナリト云フ。依テ用件ヲ告ケ近々電話ニテ打合セタル上、訪問スルコトヲ告ケテ帰ル。

○夕、伊佐勇松氏来訪ス。夕食ヲ呈ス。幼児ヲ喪ヒシ由ニテ氣ノ毒ナリ。

〔欄外〕

○小坂梅吉氏ノ希望ニ依リ、鰻ノ直取引ノ為、氏及支配人伊坂留十氏ヲ久保田恭氏

及中村源左衛門氏ニ紹介シ、其旨小坂氏へ通知ス（紹介名刺ヲ与フ）。

○三島實氏ヨリ直子ヲ入籍セシメタキニ付、戸籍謄本ヲ送付スルヤウ申越サル。

○高子ヨリ、大丸ニテ買入レタル反物代ハ預置金ヨリ支出シ、残余ヲ直子ニ渡シタル由通知来ル。

六月三日（火）晴 薄暑

○朝、小林書記官長ニ電話ニテ牧野伯、一木男往訪ノ結果ヲ報告ス。其結果伊澤氏ノ意見ヲ問ヒ若槻男ニ追懷演説ヲ

願フコトトシ、書記官長及松平議長ノ同意ヲ得、明朝小林氏男ヲ往訪スル筈。

○帝国治山治水協会ヨリ理事ニ当選セシ由、通知ヲ受ク。依テ承諾書ヲ發送ス。又、須山圭温氏ニ甘藷苗ノコトヲ頼ム。

○九時半頃出發。鷹の台ニ至リゴルフヲ為ス。食後单独ニテplayス。結果59.57。五時半頃帰宅ス。

○戸田八重子午後來訪ス。榮養学校入学ノ為上京セリト云フ。夕食ヲ饗ス。

〔欄外〕

○三島甫及直子ヨリ手紙到著ス。兩人共甚満足スヘキ状態ナリ。

○直子へ貯金帳、印及其他諸品ヲ送ル。

○高子ヨリ直子ニ対シテ金員ヲ渡シタル由通知アリ。又三島兩人ノ状況ヲ報セラル。

○石間たみヨリ手紙到著。去三十日神谷文平氏磯部英一氏ヲ訪問セシ由ニテ、其状況ヲ報告アリ。

○川島悦郎氏ヨリ同氏神谷令嬢ヲ推薦セシ事由ニ付報告セラル。

六月四日（水）晴 薄暑

○三島甫及三島父上ニ対シ返書ヲ發ス。又三島父上ノ要求ニ

依リ、戸籍謄本ヲ村役場ニ依頼ス（大村留吉經由）。

○帝國治山治水協會須山溫圭氏ニ電話ニテ問合セタルニ、甘諸苗昨日到著シ諸戸博士助川代議士ノ外ハ既ニ昨日受取リタル由ヲ知ル。依テ十一時頃協會ニ出頭シ処理ス。

○赤木正雄氏ニ面会シ明後日那須行ノ計画内容ヲ問フ。其結果余ノ計画ヲ告ケ自由行動ヲ許サレンコトヲ求ム。又明後日早朝出發ノ時刻ニ付打合セヲ為ス。

○三會堂東洋軒ニテ中食ス。又白木屋食品部ニテ菓子ヲ求メ帰宅ス。

○服部時計店ニ至リ去月三十一日予約セシ腕時計ヲ求ム。代金巻革付ニテ十一円十五錢ナリ。

○五時、軍人会館ニ至リ静岡育英會理事会ニ出席ス。本年年貸費學生採用ノ件ヲ協議ス。県支部ヨリ五十川教育課長、飯田囑託來会ス。出席理事ハ山崎副會長、久保、飯田、伊藤、緒明、中島諸氏ナリ。晚餐ヲ共ニシ九時前散会ス。

六月五日（木）曇少雨 冷

○朝、小林書記官長ヨリ電話ニテ、昨日伊東ニ若槻男ヲ訪ヒ、頭徳院殿追悼会ニテ追悼演説ヲ依頼シタル件、報告アリ。

○九時前、上野寛永寺ニ至リ頭徳院殿御一周忌法会ニ列席ス。御代拝両宮家、親族多数、以下参列者多シ。式後墓参ヲ為ス。

瀬古賞勲局總裁ノ車ニ同乗シテ、日本俱樂部ニ來ル。

○日本俱樂部ニテ三橋四郎次氏宛書狀ヲ認ム。(1)静岡県下銀行合同促進方蔵相ニ交渉セシ件、(2)大井川支流鮎漁ニ付各方面交渉ノ結果報告ノ件ニ付テナリ。

○十二時、中央局ニ於ケル第二五〔空白〕回日本國際協會午餐會出席ス。食後香港總領事矢野征紀氏ノ香港ヨリ見タル支那事變觀ニ関スル講話ヲ聴ク。甚有益ナリ。

○小林書記官長ト同車貴族院ニ至リ、來十日ノ静岡岳公追悼會執行方法ニ付相談ス。

○夜、袋井町長高橋弘平、同町山本徹、横須賀町県會議員鈴木麻吉、町長鈴木一郎、同町林瞭一郎五氏來訪。菩提川、西大谷川砂防工事施行ノ件ニ付依頼アリ

〔欄外〕

○鮎漁ノ件、前田勇男ヨリ加入申込アリ。之ヲ諾ス。三橋氏ヘ右件報告ヲ為シ、且行程案ヲ作り、至急決定ヲ求ムルノ書狀ヲ認ム。

○昇三郎夜來リ一泊ス。

六月六日（金）大雨 冷

○那須、湯川砂防工事視察ノ為旅行ス。七時赤木正雄氏來訪出發。八時四十二分發白川行ニ乗ル。俵孫一、木檜三四郎、江口定條男、松平外與磨男、柴山昌生、真田〔空白〕

諸氏ト共ニス。宇都宮ニテ山縣知事来迎セラル。又土木課長小池啓吉氏同行ス。黒磯十二時十七分著。林野局技手北村竹治郎氏モ迎ヘラル。一同特発自動車ニ分乗シ、一時過那須温泉松川方ニ入ル。

○松川ニテ中食ス。風雨烈シ。二時、小堀技師及赤木技師ノ案内ニテ湯川砂防工事ノ概要ヲ視察シ、ソレヨリ北村技手ノ案内ニテ御料地ニ入り黒木谷栗、苦戸川沿胡桃ノ植栽成続ヲ視察シ、千条園ヲ通過シテ更ニ朝鮮松、内庭ノ栗ヲ見、御用邸ニテ小憩ス。ソレヨリ自動車ニ乗り途中ノ槻栽培ヲ視察シ、山葵田ヲ見テ四時半山樂ニ入ル。

○入浴、夕食ヲ為シ、一行ト別レテ自動車ニテ送ラレ黒磯駅ニ至ル。北村技手ニ別ル。六時九分発赤羽ニテ乗換ヘ十時二十分帰宅ス。

雨歇ミ雲収マリテ明月皓々タリ。

〔欄外〕

○昇三郎ハ本日大阪ヘ帰ル。

○木村恵直氏来訪。青木幸蔵氏ノコト依頼アリ。

○一杉藤平氏ヨリ来信。同氏今回忠清南道内務部長拝命ノ由通知アリ。

○貴族院午餐会アリ。支那滿洲方面軍事慰問報告アリシモ欠席ス。

○松岡外相ノ演説アリシモ欠席ス。

○北村竹治郎氏ヨリ蜂蜜一瓶ヲ、山樂ヨリアスパラガス一把ヲ贈ラル。

六月七日(土) 快晴 冷

○朝、町会長阿川昌朝氏大瀧靖氏ト共ニ来訪ス。従来町会費ノ中ヨリ六十銭ヲ清風会員ノ二丁目居住者ヨリ免除セシヲ、二十銭免除ト改メタレトノ件、督促アリ。至急取運フコトトシテ回答スヘキヲ約ス。

○十時三十分、貴族院議長官舎ニテ静岳公追悼会準備委員会アリ、出席ス。会ノ次第・招待セラルヘキ御方ノ範圍。墓参ノコト及其通知、御写真借用等ノコトヲ決シ、又招待状及發起人惣代ヲ定ム。十二時過散会ス。事務關係者ハ明日午後一時集会ノコトトス。

○貴族院事務局ニ至リ、右件ニ付小林書記官長ト相談ス。ソレヨリ招待状ヲ携ヘテ、徳川公爵家ヘ宇佐美中將ヲ訪ヒ、之ヲ呈出ス。又会ノ次第、墓参取扱方、御写真借用方等ニ付打合セヲナス。

○帰途、長谷川直敏氏ヲ訪ヒ町会費ノコトヲ相談ス。其結果真島幸次郎氏ヲ訪ヒシニ不在ナリキ。

○午後、那須ヨリ帰ラレタル赤木正雄氏ヨリ、土產品(用箋及封筒一箱)ヲ届ケラル。

○大谷五平氏ヨリ滿洲土産トシテ洋酒入チコレート一函ヲ



贈ラル。

〔欄外〕

○三島實氏ニ対シ直子入籍ノ為、戸籍抄本ヲ送付ス。

六月八日(日) 晴 冷

○朝、赤木正雄氏ヲ訪問ス。不在ナリ。

○ソレヨリ真島幸次郎氏ヲ訪ヒ、北沢二丁目居住ノ清風会員ニ対スル町会費割当ノ件ニ付報告シ、所見ヲ述ヘテ打合セヲ為ス。次ニ二見孝平氏ヲ訪ヒ、明夕七時半ヨリ新旧幹事ノ事務引継ヲ行フコトヲ打合ハス。木村康一郎氏ヲ訪ヒ其事ヲ告ケ、又宮崎堯氏、郷秀雄氏ニモ之ヲ通知ス。

○大村武雄氏来訪ス。

○一時半頃ヨリ要ト共ニ横浜ニ赴キ朝比奈方ヲ訪問ス。貞一ハ不在(松本へ行ケリト云フ)。アキ子ニ面会ス。由紀子麻疹ニ罹リ其他ハ健康ナリ。五時頃辞去、七時過帰宅ス。

○重友ハ箱根神山へ遠足ス。

○山崎正義氏浜松市助役退職ニ付挨拶状ヲ、一杉藤平氏忠清南道内務部長ニ転任ニ付祝詞ヲ、中村秀平氏ニ返書ヲ、萩田魁氏ニ就職口見当ラサルコトノ通知ヲ発ス。

○培本塾須原芳雄氏ニ金五円ヲ振替ニテ送ル。之ハ昨年末勝間田村増田中尉戦死ニ付、培本塾出身ノ縁故ヲ以テ香料立替アリシモノナリ。

六月九日(月) 晴 涼

○朝、大瀧靖氏ヲ訪ヒ清風会々費免除ノ件ニ付質問ス。大瀧氏ヨリ従来町会々務紊乱ノ事情ヲ話サル。

○赤木正雄氏ニ電話ニテ謝意ヲ表シ、且砂防視察ノ状況ヲ問フ。

○日本橋末広方ニ電話ニテ第三回末広会開催ノ打合セヲ為シタル上、会員十四名ニ対シ来廿日午後六時開会ノ通知ヲ発ス。

○十一時過、牧野伸顕伯ヲ訪問シ、明夕ノ徳川公追悼会ニ出席シ追憶談ヲ為サレンコトヲ請フ。伯ハ健康ノ工合宜シキヲ以テ之ヲ快諾セラル。其他種々談話ス。

○貴族院事務局ニ小林書記官長ヲ訪ヒ、明夕ノ追悼会執行方法ニ付打合セヲ為ス。宇佐美中将モ来リ好都合ナリ。五時退出ス。《卓上演説者ヲ水野、井出、宇野、添田、井上子、秋田諸氏ト定メ交渉セシニ、井上子(深夜)秋田拓相ヨリハ断ラル》。

○夕、曾祢武氏同夫人来訪ス。去三月三十日撮影セシ全家ノ写真ヲ呈ス。

○七時半ヨリ清風会役員会ヲ開ク。真島、二見、宮崎、木村康一郎、斉藤夫人、郷夫人来会ス。新幹事ノ担任ヲ別チテ引継ヲナシ各種ノ会務ヲ協定ス、十時散会ス。

〔欄外〕

○石間尚、夜十時頃来ル。農林省ニ於ケル會議ニ出席ノ為ナリ。

○片岡録朗氏ヨリ、書状ヲ以テ十五日鮎漁不能ノ旨ヲ通セラ。午後三橋氏ヨリモ同一ノ報告アリ。来七月上旬勿々ニ開催ノ意向ヲ伝ヘラル。

○右ノ趣宇佐美中將ヲ通シテ徳川公爵ヘ報告ス。

六月十日（火）半晴 薄暑

○七時、原武正氏ノ弟応召ニ付八幡神社ニ至リ見送ル。

○阿川町会長ニ面会シ町会費割当方承認ノ旨返事ス。

○大井川鮎漁延期ニ付、其旨岡部子、山川、関屋、出渕、前田男、柴田諸氏ヘ電話ス。又、徳川追悼会ニ於テ石渡、大塚両氏ト出會ヒタルニ付其旨ヲ談ス。

○午後一時半頃、聖路加病院内科病室ニ高木友枝博士ヲ訪問ス。頗快方ニ向ヘリトテ面會セラル。今日斬髪シ氣分爽快ト云フ。

○二時半頃、上野帝室博物館ニ渡部総長ヲ訪ヒシニ不在ナリ。依テ藤井事務官ニ面會ス。伊東卓治氏鑑査官任用ニ付深甚ナル謝意ヲ表ス。同氏ヲ誘引シテ静岳公ノ墓参ヲ為ス。

○三時半、上野精養軒ニ至リ徳川公爵追悼会ノ事務ニ参加ス。来會者二百六十名許リ、頗盛會ナリ。徳川家ヨリ家正公、

同母堂、同令夫人、同令嬢（順子）、松平繁子、松平一郎氏夫人、上杉司嗣及夫人来臨ス。松平伯ノ挨拶、近衛公、牧野伯、若槻男ノ追悼演説、徳川公ノ謝辞アリテ閉會シ食堂ニ入ル。卓上演説ハ水野鍊太郎、井出謙治、宇野哲人、関屋貞三郎、添田敬一郎氏之ヲ勤メ八時半散會ス

〔欄外〕

○東京ヲ中心トシ、四十キロノ各地ニ亘ル交通機關ニ依ル交通調査行ハル。

○栃木県知事山縣三郎氏、技師小池啓吉氏、林野局北村竹治郎氏ニ宛、謝状（絵はかき）ヲ呈ス。

○小柳直吉氏ヨリ書状到着、去七日午後三時半丸山方作氏来村、丸山会々員全員ノ田面ニ就キ視察シ、肥料ノ設計ヲ為シ夜十二時マテ座談會ヲ催サレタリトテ、一同大ニ感謝ストノ報告アリ。

○朝、山下寅雄氏来訪就職ニ付依頼アリ。

六月十一日（水）雨 冷

○十一時頃、牧野伸顯伯ヲ訪問シ、昨夕徳川公爵追悼会ニ出席シテ追悼談ヲ為サレタルヲ深謝シ、發起人惣代松平伯ニ代リテ挨拶ヲ述ヘ且健康ヲ問フ。

○甘藷増産運動ニ付其内容ヲ牧野伯爵ニ説明ス。

○大阪市武岡充忠氏ヨリ齋藤高行先生肖像ヲ贈ラルトノ書翰

ニ対シ謝意ヲ表シ、且其書状ヲ報徳社ニ送付シ更ニ写シヲ取りテ佐々井氏ニ送付スルヤウ依頼ス。

○中津川長治氏ニ対シ書状ヲ発シ神谷氏ノコト報告ヲ依頼ス。

之ハ磯部氏ヨリ石間へ宛「既ニ去四日報告シタリ」トノ報告アリシニ由ル。

○要ハ三越へ行ク。伊藤、塚本両女史ト出会フ。

○夜、篠田治策氏ヲ弔問ス。令息隆治君（三十五）逝去ノコトヲ聴キ同情ニ堪ヘス。

六月十二日（木）雨 冷

○十時、同成会例会ニ出席ス。次田、丸山、小坂（梅）、塩田諸氏来会ス。次田氏ヨリ貴族院調査会結成ニ至ルマテノ経過報告アリ。

○正午、幸俱樂部午餐会ニ出席ス。

○松本勝太郎氏ニ甘藷苗若干ヲ呈スルコトヲ約ス。又、名取和作氏ニモ約束ヲ為ス。

○午後在宅「アンドレー・モーロア」著仏蘭西敗れたりヲ読ム。

六月十三日（金）雨 冷

○朝、栃木県足利郡筑波村長前橋真八郎氏来訪ス。今般全国

篤農家トシテ首相官邸ニ開カルヘキ座談会ニ出席ノ為ナリト云フ。十一時頃外出ス。今夕一泊ノ筈ナリ。

○石間尚ハ昨日用務ヲ終リシヲ以テ今朝出發ス。下馬町ノ親戚ヲ訪ヒ、夕刻帰宅スト云フ。

○午後、草葉栄大尉著「ノロ高地」ヲ読ム。

○四時半出發。柴田善三郎氏ヲ訪フ。榛葉孝平氏モ来リ鄭重ナル晚餐ノ饗応ヲ受ク。九時辞去ス。

○夜、前橋真八郎氏来泊ス。十一時迄談話ス。

六月十四日（土）曇 冷

○昨日、中津川長治氏ヨリ神谷文平氏ノコトニ付、詳細ナル報告ヲ寄セラレタルヲ以テ謝状ヲ呈ス。

○第三回末広会通知書不着ノ虞アリシヲ以テ、未回答ノ諸氏ニ対シ念ノ為ニ通知ヲ發ス。

○午後二時、軍人会館ニ於テ静岡育英会評議員会開催セラレシヲ以テ出席ス。昭和十五年度決算ヲ議定ス。

三時ヨリ本年度貸費、奨学金等支給式アリ。山崎副会長ヨリ之ヲ授与ス。了テ徳川総裁訓辞アリ。四時過散会ス。

○早朝、出征兵士ヲ見送ル。

○前橋真八郎氏、報徳社ヨリ送付アリタル甘藷栽培法三十冊ヲ渡ス。氏ハ本日首相官邸ニ於テ開催セラルル篤農家座談会ニ出席シ、食糧増産ノ最良手段トシテ本書ヲ要路ノ

人々ニ配付スル筈ナリ。

六月十五日(日)曇 冷

○早朝、出征兵士ヲ見送ル。

○池之上国民学校副会長和田謙三氏来訪、役員会開会ノコトヲ相談セラル。

○午前中、高子、公ニヲ伴ヒ来訪ス。昼食ヲ呈ス。

○午後、木村通氏夫人来訪ス。五時前帰ル。木村氏ノ消息ヲ聞クニ、氏ハ今春肺炎ヲ患ヒ危篤ニ瀕シタルコトアリト云フ。

○三時頃、清風会幹事木村康一郎氏夫人来訪ス。森竹之助氏令息明朝七時出發。入營スルニ付、清風会トシテ如何ナル処置ヲ執ルヘキヤヲ問ハル。木村氏不在ナルヲ以テ予ハ森氏ヲ訪ヒ見舞ヲ述ヘ、真島氏ト相談ノ上、幹事ヲ以テ清風会ヲ代表シテ見送ラシムルコトトシ、回章ヲ全会員ニ發ス。

○夜、榛葉孝平氏来訪ス。夕食ヲ共ニス、十時半マテ快談ス。

六月十六日(月)晴 暑

○午前七時、森隆氏応召入營ニ付往訪見送ヲ為ス。

○大森健一郎ヨリ興三ニ宛、健康ヲ害シ絶望ニ陥リタルカ如キ葉書到著ス。依テ直ニしづ子夫人ニ電話シ、又其旨山

崎金五郎氏ニモ電話ス。健一郎ハ昨日日光ヘ赴キ滞在スト云フ。

○十一時頃要同伴、大森ニ角替吉平氏ヲ見舞フ。ソレヨリ白柳秀湖氏ヲ訪問シ十二時前辞去ス。

○品川ニテ要ト別レ、三会堂ナル帝国治山治水協会ニ出頭ス。偶マ大村芳次ヨリ甘藷赤六苗百四十本到著ス。依テ之ヲ植原悦二郎、松本勝太郎、三宅福馬、名取和作、柴田善三郎、本多静六諸氏ニ分配方ヲ定メ、夫々ヘ電話ニテ通知ス。

○東洋軒ニテ食事ス。協会ヨリ御馳走ニナル。三時過帰宅ス。

○四時半頃、久保春海氏ヲ訪問ス。夫人三十五日忌ニ付果物ヲ呈ス。

○五時過、丸ノ内会館ニ赴ク。久保氏ヨリ招待セラレシカ故ナリ。来会者約三十名。久保氏ノ挨拶ニ対シテ予ハ謝辞ヲ述ヘ故夫人ヲ追憶ス。外一氏ノ追悼演説アリ、晚餐会ヲ了ル。九時前散会ス。

〔欄外〕

○夕、森竹之助氏令息隆氏ト来訪。健康診断ヲ受ケタル結果、帰還ヲ命セラレタリト云フ。

六月十七日(火)曇 冷

○昨夜来大雨アリ。各地相当ニ出水ス。

○十時三十分東京駅発急行ニテ帰村ノ途ニ上ル。一時四十六分静岡著、一時五十一分同発、三時掛川ニ著ス。まさ出迎フ。又小柳直吉氏モ出迎フ。直ニ家ニ帰ル。

○四時頃、丸山方作氏来訪ス。去七日同氏来村、村内明朗会員ノ各自ノ苗代田検分ノ結果作成セル施肥方針其他ニ付、詳細ナル意見書ヲ携帯セラル。誠ニ得難キ好箇ノ指針ナリ。石野元治郎、小柳直吉、大村芳次三名来席、説明ヲ聴キ且意見書ヲ受ク。夕食ヲ一同ニ呈ス。丸山氏ハ六時三十八分發ニテ帰西ス。

○国民政府首席汪精衛氏来朝ニ付、歡迎方法ヲ協議スル為、午後一時議長官舎ニ於テ各派交渉委員会ヲ開カレシモ、予ハ欠席ス。

○汪精衛氏本日入京ス。

〔欄外〕

○大森健一郎ヨリ昨日興ニ宛テ葉書到著。沼津中学校ヲ休学ニ決シ、且死ノ決意ヲ為シタルカ如ク、遺物ノ分配ヲ申通シ来レリ。

依テ直ニ電話ニテ此事ヲ大森夫人ニ通セシニ、同人ハ昨日土肥ヨリ日光へ赴ケリト云フ。山崎金五郎氏ニ此事ヲ通ス。

○今朝再ヒ日光ヨリ寄書アリ。依テ矢田部方へ此事ヲ電話シ狀況ヲ問ヒ、保護ヲ依頼ス。

六月十八日（水）曇 薄暑

○午前八時前、掛川報徳社ニ出頭ス。東京商大教授上田博士来訪アリ、面会ス。

○八時ヨリ第五回戦時体制下国民指導常会指導者練成会ニ於テ、国際情勢ト帝国ノ使命ナル題下ニ講演ヲ為ス。十二時頃休憩ス。昼食ノ後講演ヲ継続シ三時終了ス。

○東京高師教授加藤〔空白〕氏来社ス。

○三時半ヨリ講習会終了式ヲ講堂ニテ挙行ス。各種ノ儀式ヲ経テ、予カ社長代理トシテ告辞ヲ為ス。加藤教授亦一場ノ告辞ヲ述へ、講習員総代ノ謝辞アリ。四時過散会ス。

○夜、松浦清三郎氏来訪ス。甘藷ノ苗ヲ頒タシコトヲ申出テラル。之ハ謝絶シ、其代リニ更ニ有効ナル方面ニ使用セラレンコトヲ求ム。

○要ハ午後四時十八分著ニテ来著ス。石間たみ子モ孫恒彦ヲ同伴来著ス。神谷文平氏令娘ト会見ノ件ニ付相談ス。

たみ子一泊ス。

六月十九日（木）風雨烈 冷

○石間多美子ノ勸ニ依リ要ト共ニ中泉へ赴ク。八・二九―八・五二、中泉駅ヨリバスニテ磯部英一氏方ニ至ル。母堂夫人款待<sup>マツ</sup>セラル。母堂ニ対シ神谷令嬢ヲ一見シタシト

述へ、配慮ヲ乞フ。母堂ハ既ニ神谷氏ト打合セアリシヲ以テ、直ニ往訪スルコトトナレリ。

○見付ヨリバスニテ中泉ニ赴ク。母堂同行セラル。予等ハ中津川氏ヲ訪ヒ長治氏及母堂ニ面会シテ謝意ヲ表シ、且本日ノコトヲ告ケテ辞去ス。中津川氏ノ心入ニテ、特ニ番頭ヲシテ神谷氏方マテ案内セシメラル。

○十時頃、神谷文平氏ヲ訪問ス。文平氏、夫人、文平氏娣、令嬢ニ面会ス。磯部母堂ハ中津川家ニ寄ラス、先着以テ斡旋セラル。会谈時余去ラントセシニ、昼食ノ用意アリトテ引留メラル。依テ御馳走ニナリ一時半頃マテ談話ス。神谷氏ニ送ラレテ自動車ニテ中泉駅ニ至リ、一時五十分発ニテ掛川ニ帰ル。神谷氏及磯部母堂ノ見送ヲ受ク。

○帰宅ノ上、石間たみ子ニ会见ノ模様及令嬢ニ対スル感想ヲ告ク。

たみ子一泊ス。

六月二十日(金) 雨曇 冷

○大野芳子女史ヨリ、重友本日大阪へ出張シ帰途立寄ルヤニ付、夫レマテ要ニ滞在ヲ求メ来ル。依テ要ハ滞在ニ決ス。

○八時五十五分発ニテ帰京ス。島田ニテ石間たみ子同車ス。三時頃帰宅ス。

○六時ヨリ日本橋区末広方ニテ、第三回末広会開会ス。岡、

古島、大西、岩田、江口、澤田、田口、田澤、松村、次田、丸山、河井十二名出席ス。例ニ依リテ談論風発ナリ。次回ハ九月下旬トシ、事態ニ依リテハ臨時開会セラルヘキコトヲ申合ハス。芳澤謙吉氏帰朝セハ会員トスルコトヲ決シ、伊澤多喜男氏、竹越與三郎氏ヲ客員トスハ未決ノママトナレリ。

小原、赤池、塚本三氏欠席ス。

○重友ハ都合ニ依リ、大阪へ出張セサルニ決シタリト云フ。而シテ詳細神谷氏ノ状況ヲ話シ、明日帰国スルコトトナル。依テ車中ヨリ芦屋昇三郎方氣付ニテ発シタル電報ニ対シ、重友出張中止ノ旨ヲ追電ス。又、重友ヲシテ要ニ対シテ、明夕帰国ストノ電報ヲ発セシム。

六月二十一日(土) 晴 薄暑

○朝、重友ト遠州行ニ付打合セヲ為シタル上、甘藷苗送付ノコトヲ依頼ス。重友ハ午後会社ノ用務ヲ了ヘ直ニ帰国ノ筈ナリ。

○江口定條氏ニ宛テ、甘藷苗植付方法ヲ指示スル書状ヲ発ス。  
○二十三日、日立製作所見学ニ付先決問題トシテ大政翼賛会総裁主催汪精衛氏招待晩餐会ニハ欠席、両院議長主催ノ歓迎茶会ニハ出席ニ決定シ、夫々返書ヲ発ス。

○八時半頃出発、鷹之台ニ至リゴルフヲ為ス。一周半ヲ試ム。  
天氣次第ニ好晴トナリ爽快窮リナシ。最後ノ半周ハ田口、  
次田両氏ト共ニス。五時半頃帰宅ス。

○七時半ヨリ池之上国民学校会評議員会ニ出席ス。本年度会  
費徴収ノ件、ピアノ購入費調達ノ為音楽舞踊会開催ノ件  
ヲ相談ス。殊ニ音楽舞踊会ニ付テハ郷氏ノ熱心ナル説明  
アリ。一同満足ス。十月三日夕、日比谷公開堂<sup>マヤ</sup>ニテ開催  
スルコトニ相談シ、実行委員トシテ幹事全員及各町ヨリ  
二名宛テ指名ス。十時散会ス。

〔欄外〕

○大森健一郎ノ安否ニ付、今日山崎金五郎氏沼津へ赴ク。同  
人ハ一昨日東京ノ音楽会ニ赴クトテ日光ヲ出テ沼津へ帰  
レリト云フ。

六月二十二日(日) 曇半晴 薄暑

○朝、赤木正雄氏ヲ往訪ス。小笠山諸流砂防ノコトヲ問フ。  
神宮特別都市計画ニ関聯スル砂防ニ付質問ス。

○泰治十時頃来ル。去十四日見習士官ヲ拝命セリト云フ。

○午後一時頃 高松宮家ヨリ 威仁親王行実別巻及有栖川宮  
総記ヲ下賜セラル。依テ三時宮邸ニ伺候シ、拝謝ノ為記  
帳ヲ為ス。

○東京駅遺失物係ヲ訪ヒ、万年筆及色鉛筆遺失ニ付取調ヲ依

頼セシニ、心当リナシト云フ。

○泰治ハ午後帰宅シ、入浴晚餐ノ上七時出発帰隊ス。

○鈴木とし来訪ス。此程要ヨリ喚出シアリシヲ以テナリト云  
フ。

○重友夜十一時半頃帰宅ス。

〔欄外〕

○独逸ハソ聯ニ対シテ宣戦ヲ布告ス。独逸側ニハ羅、芬諸国  
モ加担スヘシ。

○伊太利ハソ聯ニ対シテ戦争状態ニ入レルコトヲ宣言ス。

六月二十三日(月) 曇半晴 薄暑

○早朝、重友ヨリ中泉神谷氏方ニ赴キタル状況ヲ問フ。

○同遊会ノ日立製作所視察旅行ニ参加ス。七時四十八分上野  
行ニ乗り日立ニ向フ。本社常務池田亮次氏上野ヨリ同行  
案内セラル。十一時八分立著。直ニバスニテ本社ニ至  
ル。日立ニ於ケル常務森島貞一氏ヨリ同社ノ沿革、現状  
等ニ付詳細ナル説明ヲ聴ク。了テ陳列室ニ入り各種ノ製  
品及模型ニ付テ見学ス。ソレヨリ午餐ヲ饗セラル。食後  
屋上ニ登リテ現地各工場群ノ説明ヲ聴取ス。那須忠良氏  
(常務) 山本秋廣氏(副工場長)等大ニ斡旋ス。バスニ  
分乗タービン、ボイラー工場、電線工場、試験室、発電  
機械工場等ヲ見、次テ第一青年学校、病院ニ至リ、更ニ

多賀工場ヲ視察ス。遠心分離器、冷蔵庫、水揚唧筒、通信器等精巧ナルモノ多シ。

五時頃大甕ナルゴルフ場ニ著。同地クラブ、ハウスニ分宿ス。夕食ノ際森島常務ヨリ挨拶アリ。倉知幹事之ニ答へ、南、出渕、八代、柴山、柳澤、建部諸氏ノ演説アリ。洋食ノ粹ヲ味フ。

〔欄外〕

○大政翼賛会総裁近衛公ヨリ、七時帝國ホテルニ於ケル汪精衛氏招待晩餐会ニ招カレシモ欠席ス。

○同遊会同行者ハ前記ノ外、西尾子、大河内子、河井、東郷男、高崎男、山根男、近藤男、関男、杉溪男、竹下、赤池諸氏ニシテ総計十七名ナリ。

○要ハ夜遠州ヨリ帰来ル。本日静岡ニ下車シ八木氏ヲ訪ヒ、神谷氏ノ親戚堀田五一郎氏方ニ就キ調査セリト云フ。

六月二十四日（火）曇 薄暑

○五時覚眠ス。碾茶ヲ飲ム。食後約四十分間ゴルフ、コースヲ散歩ス。柳澤伯、柴山男ト同行ス。

○九時、一行ト別レテ出発、帰京ス。大甕発九時十七分水戸著九時四十三分ナリ。関男、建部氏、出渕氏ト同行ス。大甕迄ハ社員自動車ニテ見送ラル。水戸ニテ十時十三分発ノ急行列車ニ乗り十二時上野著、省線、地下鉄、バス

ニテ帰宅ス。

○要ヨリ神谷氏方往訪ノ様子ヲ聴ク。

○四時ヨリ四時半マテ両議院長ノ汪精衛氏歓迎茶会アリ。登院出席ス。

○夜、伊佐勇松氏来訪ス。出身村ノ戦死兵士ノ為ニ予ノ揮毫ヲ求メラル。之ヲ快諾ス。

六月二十五日（水）晴 薄暑

○朝、電話ヲ以テ昇三郎ニ対シ、重友ノ配トシテ神谷敏子ヲ迎フルノ件ニ付相談ス。又、館林三喜男ニモ電話ス。館林ハ不在ナリシヲ以テ、マス子ニ此事ヲ伝フ。

○皇太后陛下ノ御誕辰日ナルヲ以テ、朝大宮御所へ参賀ス。又宮城ナル皇后宮職ニ出頭シ、事務官ヲ經テ奉賀ス。

○岡本参事官ヲ訪ヒ(1)高尾氏令弟ノコトヲ問フ。(2)恩給ノコトヲ問フ。(3)旧奉仕者会ニ費金額ヲ問ヒ係員ニ支払フ。(4)御料農地開発ノ必要ヲ述ヘテ、之ヲ經營開始ヲ勧告ス。

○同成会例会ニ出席ス。次田、入江、丸山、柴田、下條、小坂梅、大谷、米山、建部、熊谷、片倉諸氏出席ス。独蘇開戦ノ件、貴族院調査会ニ対スル陸軍方面ノ意向ナト話題トナル。十一時過散会ス。

○柴田善三郎氏ニ対シ神谷令嬢ヲ迎フルノ件ニ付相談ス。

○二時半ヨリ要ト共二三越へ赴ク。直子結婚ニ付、祝品ヲ贈



ラレタル諸氏ニ対シ内祝品ヲ求メ、之カ發送ヲ依頼ス。  
右ニ付、夜、関屋、柴田、榛葉、小林、瀬古、庵地、本  
間七氏へ謝状ヲ認ム。

〔欄外〕

○汪精衛氏午前九時發ニテ帰途ニ就ク。今夕大阪ニ赴キ宿泊  
ス。

○独軍ハソ聯ノ全国境ヨリ侵入シ随所大捷ヲ博ス。

○山本幸雄氏ヨリ、香川県立高等女学校長拝命ノ通知アリ。  
直ニ賀状ヲ認ム。

○鳩居堂ニテ紅花墨ヲ求ム。代金二円七十五銭ナリ。近日揮  
毫ノコト多キヲ以テナリ。

六月二十六日（木）雨南風強 薄暑

○朝、昨日なほ子結婚内祝トシテ品物ヲ贈呈セシ角替利策、  
鈴木二平、鈴木寛一、山崎昇二郎、河井昇三郎、大森健  
一郎、山崎金五郎、田村角太郎、黒田吉郎、内田明、岸  
名清次、館林多久次、渡辺《八太郎、恒治》、渡辺守三、  
渡辺史郎諸氏ニ対シ案内状（葉書）ヲ認ム。

○午後二時、貴族院調査会第五部会ニ出席ス。食糧管理局長  
官湯河元威氏ノ「米ノ配給ニ付テ」ナル講話ヲ聴ク。出  
席議員六十名計リ。数名ヨリ質疑ヲ為ス。四時散会ス。

○帰途池之上駅附近ニテ斬髪ス。

○要ハ気分悪シキ由ニテ終日臥床ス。

六月二十七日（金）雨 蒸暑

○朝、見付磯部英一氏へ電報ヲ以テ、「先様御異存ナクバ御  
纏メ願フ委細文」ト依頼シ、同時ニ書状ニテ其事ヲ敷衍  
シ、且(1)新夫婦ハ父母ノ家ニ居住スルコト、(2)一家ノ収  
入ハ中等程度ノ生活ヲ営ムニ過キサルモ、予ノ従来ノ経  
歴上対外的ニハ相当ノ支出ヲ要スル故、簡素勤勉ヲ旨ト  
スルヲ要スルコト、(3)祖先伝来ノ農業経営ハ成ルヘク離  
脱セサルコトノ三点ニ付、十分了解セラレタシト申入レ  
タリ。又媒妁其他ノコトハ先方ノ承諾アリタル後、更ニ  
御相談致スヘシト附言シタリ。

○石間たみ子ニ対シ右ノ次第ヲ電報シ、且書面ヲ贈リタリ。

○十一時頃鈴木寛一氏来訪ス。獣医学校へ所用ノ為来レリト  
云フ。午餐ヲ呈ス。氏ハ夜行ニテ岐阜へ帰ル。

○二時ヨリ貴族院調査会アリ、出席ス。通信省管船局輸送課  
長米田富士雄氏ノ「最近ノ海運事情」ヲ聴ク。

調査課ニ立寄り、(1)大政翼賛会中央協力会議速記録、(2)  
甘藷栽培家座談会速記録、(3)県農会予算及決算ノ取寄ヲ  
依頼ス。

〔欄外〕

○六時、江口定條氏ヨリ招カレテ香頓寮ニ至ル。大塚、赤木

岡氏モ出席ス。食後木曾御料林視察旅行ノ活動写真ヲ見ル。快談九時散会ス。

○関屋貞三郎氏ヨリ、久次米邦藏氏ノ馬鈴薯ノ新研究ト食糧政策ノ根本的献策ナル書物ヲ贈ラル。

○中豆農学校長高木幸平氏ヨリ電話ニテ挨拶アリ。学校創設ノ内容ヲ問ヒ助言与フ。

○丸山方作氏ニ対シ、甘藷栽培試験ノ日時ハ適宜決定セラレシコトヲ電報ニテ返事ス。

六月二十八日(土) 雨 冷

○朝、要ト共ニ伊澤多喜男氏ヲ訪フ。夫人ニ面会シテ、直子結婚ニ関シ深甚ナル謝意ヲ表ス。

○伊澤夫人ノ案内ニテ伊澤元氏ヲ訪ヒ、過日母堂逝去ニ付哀悼ス。

○新宿三越ニ立寄り、大野芳子女史ニ托シテ贈ルヘキ半衿、ハンケチ等ヲ求ム。又三福ニテ食物ヲ求メテ帰宅ス。

○久邇宮附宮内事務官木戸来助氏、去二十五日逝去、本日二時ヨリ告別式ヲ行ハレタルニ付、往訪焼香ス。降雨甚シ。

○三時半出発、徳川公爵家ヘ赴ク。先ツ事務室ニ至リ、過日頭徳院殿御一周忌ニ付、奉進セシ供物料割当金十三円余ヲ支払フ。又郡山市橋本萬右衛門氏ヨリ依頼セラレタル書面帖ニ公爵ノ御揮毫ヲ願フ。其他味知瀬平氏ヨリノ書

状ヲ御伝記編纂所ヘ提出ス。

四時半ヨリ家政相談人会アリ。今後ノ家計整理方針ニ付、宇佐美氏ヨリ所案ヲ示サレ協議ス。次回ニ於テ更ニ大ニ検討スルニ決ス。

夕食ヲ饗セラレ九時マテ雑談ス。井出、土方、石渡、成田、井出諸氏出席ス(土方氏ハ晚餐ニ出テス)。

〔欄外〕

○昨日来、九州、中国、京畿、東海方面大雨アリ。各地出水甚シク鉄道杜絶シ被害アリ。

○三時ヨリ永村氏方ニテ隣組会合アリ。要出席ス。

○石間令吉氏ヨリ書状ヲ以テ黒田令嬢トノ縁談ニ付熱心ニ勧誘セラル。

○日光ニ荒山神社宝物中古筆盗難ニ罹フ。犯人発見セラレシ由新聞紙ニ掲載アリ。

六月二十九日(日) 曇 蒸暑

○朝、一木男爵ヲ訪問ス。去月末以来病臥セリト云フ。輒太郎氏ニ面会シテ容体ヲ問ヒシニ、気管支加答児ニ羅リ発熱三十九度ヲ超ユルコト数次、昨今少シク快方ニ赴ケルカ如シト云フ。肺炎予防薬ヲ服用スル為食欲不振ナリ。去十六日以来看護婦ヲ雇ヒ、専念加養中ナリト云フ。

○泰治九時半頃帰来ス。重友ト外出シ三時頃帰ル。夕食ノ後

七時発歸營ス。

○関屋氏ヨリ贈ラレタル、久次米邦藏氏著発芽抑制秋作馬鈴薯ノ新研究ト食糧政策ノ根本的献策ヲ読了ス。

○白根竹介氏ヨリ電話ニテ酒井伯、黒田岩倉両男ヨリ倉知氏ヲ経テ少数勅選議員ニ会见ヲ申込マレタルニ付、予ニモ同成会員トシテ出席セヨトノ相談アリ（七月四日正午）。塚本氏ヲ呼ハレタシト答フ。

○大阪府（住吉区阿倍野筋興亜明昭塾）武岡充忠氏ヨリ、齋藤高行先生画像ノ調製遅レタル為、贈呈亦遅延セリト挨拶アリ。

〔欄外〕

○宮内省内藏寮ニ対シ、六月受領スヘキ恩給請求書（六六〇円）ヲ發送ス。

○大野芳子女史、早朝雷へ行ク。

六月三十日（月）晴 蒸暑

○朝、中村藤兵衛氏ヲ訪フ。池之上国民学校後援ノ為演奏会開催ニ付、日比谷公会堂借用ノ件ヲ依頼ス。

○東京市教育局ニ出頭。主事石村真助氏ニ面会シテ、池之上校設備ノ不足ニ対シ、市ニ於テ調達スルコトヲ請求シ之カ予算ノ内示ヲ求メ、又其実況ヲ視察スル為、市視学ノ特派ヲ乞フ。

○帝室林野局ニ野口監理部長及高尾事務官ヲ訪問ス。野口氏ト一木先生病氣見舞品贈呈ノコトヲ相談ス。

○日本倶楽部ニ至リ中食ス。ソレヨリ岩田宙造、田口弼一両氏ニ面会ス。両院倶楽部設置計画ニ関シ意見ヲ交換ス。

○二時、貴族院調査会第四部会ニ出席ス。軍司部<sup>（命）</sup>出仕海軍大佐小川貫璽氏ノ太平洋方面ニ於ケル日英米關係ニ関スル講話ヲ聴ク。

○木村通氏夫人来訪ス。要、主トシテ面接ス

○七時半ヨリ池之上国民学校会幹事会ニ出席ス。呉泰次郎氏ヨリ、ピアノ購入ノ為音楽、舞踊、映画ノ会ヲ開催スルノ件ニ付、詳細所案ヲ発表セラル。各員熱心ニ之ヲ研究シテ成案ヲ得、十時散会ス。

〔以下欄外〕

○朝、磯部英一氏ヨリ速達郵便到著。去二十七日発ノ縁談ノ依頼ニ対シ、神谷家ノ承諾ヲ得タル旨ヲ報セラル。

○右件ニ付石間たみ子ヨリモ返事ヲ受ク。

○大森健一郎、昨夜来居所不明ナリトノ電話、下谷山崎氏ヨリ照会アリ。大二心配ス。然ルニ今夕沼津へ帰宅セリト報告アリ。

七月一日（火）曇 蒸暑 夕冷

○早朝、八幡神社ニ参詣ス。

○磯部英一氏ニ対シテ挨拶状ヲ認ム。又、中津川長治氏ニハ結婚約定成レル旨ヲ通知シ謝意ヲ表ス。

○要ハ磯部母堂、石間たみ及川島悦郎氏へ挨拶状ヲ発ス。

○昇三郎ヨリ三島等結婚記念写真成レルヲ報告アリ。且、其代金立替ノコトヲ通知セラル。依テ直ニ返書ヲ認メ、併セテ神谷家ノコトヲ詳報シ、又昇三郎ノ希望ニ依リ、静岡ノ土地価格ニ付徳川家ニ問合セタルモ不明ナリシコトヲ報告ス。

○石間令吉氏ニ対シ神谷氏トノ婚約成立セル旨ヲ告ケ、黒田氏令嬢ヲ紹介セラレタルヲ深謝シ、且、令嬢ノ写真ヲ書留郵便ニテ返送ス。本日往訪ノ予定ナリシモ旅行中ニ付郵送セシナリ。

○夕刻朝比奈アキ子、由起子同伴来訪ス。

○早朝、女中えいノ友人壺井ヨリ来ル。えいハ品川ニ出迎シモ行違トナル。

比娘夜十一時上野発ニテ郷里秋田県へ出発ス。

〔欄外〕

○六月分受領スヘキ恩給金六百三十一円八十銭ヲ受取ル。直ニ受領書ヲ郵送ス。

○下村海南博士ヨリ近著「来ルヘキ日本」ヲ贈ラル。書状ヲ以テ謝意ヲ表ス。

○独、伊、羅、スロバキア、クロアチア国民政府ヲ承認ス。

七月二日（水）曇 冷

○九時半頃、瀬古賞勲局総裁来訪ス。金鷄勲章年金制廃止ノ件等ニ付談話ヲ聴ク。

○二時ヨリ貴族院調査会第三部会ニ出席ス。児玉厚生次官ヨリ銃後ノ厚生政策トシテ、人口対策、保健対策、食糧対策、住居対策等ニ付講話アリ。四時散会ス。

○関屋貞三郎氏ヨリ朝鮮奨学会大竹十郎氏ニ関シ親切ナル注意アリ。又光永星郎氏ヨリ清風園内ノ土地ニ付依頼アリ。

○赤木正雄氏来訪。栃木県烏山産巻紙十本ヲ斡旋セラレテ、之ヲ持届ケラル。依テ直ニ往訪、代金二円五十銭ヲ呈ス。

○大瀧靖氏ニ面会シ、池之上国民学校ピアノ購入資金調達ノ為ニスル音楽舞踊映画ノ会ノ計理ハ、学校会会計トハ別箇ニ取扱フヲ可トスルノ意見ヲ提出ス。

○朝比奈子アキ子滞在。

○戸塚長四郎氏（西千頭分担区）ニ対シ報徳叢書ヲ呈ス。

〔欄外〕

○独蘇開戦ニ付帝国ノ態度ヲ決スル為、御前會議ヲ開キテ決定ス。

○西、匈、勃政府国民政府ヲ承認ス。

七月三日（木）晴 冷

○早朝、和田謙三氏来訪。池之上国民学校ピアノ購入資金調達ノ為、演芸会開催方法ニ付協議ス。

○昨日、佐藤助九郎氏ヨリノ来信、来九日夕、星ヶ岡茶寮ニ晚餐会ヲ催スニ付、農産増進ニ付権威者ヲ集メタシト云フ。依テ安藤廣大郎氏ヲ訪問シ此事ヲ相談シ、同氏出席ノ承諾ヲ得。岸農政局長、森農産課長、寺尾試験場長ヲ招クニ決シタリ。午後、岸局長ヲ訪ヒ快諾ヲ得。森氏ハ局長ヨリ伝言スルコトナリタリ。帰宅ノ上寺尾氏へ案内状ヲ発ス。寺尾氏へハ安藤氏ヨリ電話セラレタリ。

○朝鮮奨学会ニ大竹十郎氏ヲ訪ヒシニ不在ナリ。依テ秘書役某氏ニ来七日、日本俱樂部ニ来訪ヲ求ムルコトノ伝言ヲ依頼ス。昨日、関屋氏ヨリ注意アリシ件ニ付テナリ、今朝柴田氏ト相談セリ。

○新宿中村屋ニテ昼食ス。

○松山高四郎氏ヲ丸ビルニ訪ヒシニ不在ナリ。

○鈴木とし来ル。近日来住夜具衣類ノ修理ヲ為スト云フ。

○夜、徳田政信氏来訪ス。夏休トナリシニ付近々帰郷スト云フ。

#### 〔欄外〕

○京都市矢野仁一氏ニ対シ、清風園内ノ所有地売却ノ意ナキヤヲ問合ハス。光永星郎氏ノ依頼ニ由ル。矢野氏ハ左京区松ヶ崎三反長町九番地ニ居住ス。

○朝比奈子アキ子滞泊ス。

七月四日（金）快晴 大暑

○終日家居、疎懶ヲ極ム。

○朝、小林次郎氏夫人来訪ス。

○朝、吉田善佐氏来訪、甘藷栽培法ニ付質問ス。氏ノ求ニ依リ氏ヲ赤木技師ニ紹介スルノ名刺ヲ与フ。

○両院俱樂部結成ニ関シ、岩倉男ヨリ面会ヲ求メラル。依テ来七日貴族院ニ面会スルコトヲ約ス。

本日正午岩倉男ノ主催ニテ赤坂あかね方ニテ、松平子、八条子、（酒井伯欠席）、黒田男、岩倉男、三宅川男、<sup>〔水谷カ〕</sup>水野、塚本、倉知諸氏ノ会合アリ。両院俱樂部結成ニ関スル意見ノ交換アリ。依テ其状況ヲ塚本清治氏ヨリ電話ニテ聴ク。

○大野よし子女史、午後葛西ヨリ帰来ル。

○朝比奈あき子、夕刻横浜へ帰ル。

○直子結婚ノ時ノ写真（大四枚、小十一枚）到着ス。

○直子ヨリ来月二日甫ト共ニ上京スヘシトノ手紙アリ。

○館林三喜男ヨリ来十三日出発、尾瀬沼へ赴クニ付同行ヲ誘ハル。

#### 〔欄外〕

○夕七時半ヨリ池之上国民学校ニテ学校会顧問会議ヲ開ク。

黒田、中村、真島三氏出席ス。ピアノ購入費調達ノ為演芸会開催ノ計画ヲ受ケ、顧問ノ意見ヲ問フ。一同賛成シ且有益ナル助言ヲ与ヘラル。九時散会。

○泰治入営ニ付町会ヨリ贈ラレタル餞別金五円ハ、泰治ノ名義ヲ以テ池之上国民学校会ヘ寄附ス。

七月五日（土）曇 夕雷雨 蒸暑

○早朝京都矢野仁一氏夫人ヨリ電話ニテ矢野博士在京、赤坂区新坂町二十七下條氏方ニ滞在スト通セラル。依テ十時頃往訪面会ス。光永星郎氏ノ希望ヲ述ヘタルニ、所有地九十円ナラハ売却スヘシト答ヘラル。依テ一旦帰宅シ其旨ヲ光永氏ニ通セシニ、直ニ買入レノ交渉開始ヲ求メラル。然ルニ地形ヲ一見スルノ先要ヲ認め、其旨ヲ光永氏ニ電話セシニ、氏ハ直ニ来訪、実地ヲ検分ス。其結果、再ヒ往訪セシニ三百三十坪ヲ三万円ニテ売ルヘシト答ヘラル。依テ正確ナル坪数ノ報告ヲ求メ、光永氏ニ問合セタル上返事スルコトヲ約ス。

夕、光永氏ニ報告セシニ直ニ承諾ス。依テ書面ヲ認メ之ヲ京都ニ発送シ、又其内容ヲ光永氏ニ報告ス。

○塚本はま子女史ノ告別式アリ、要之ニ赴ク。予ハ名刺ヲ託ス。

○午後、松山高四郎氏来訪、中元ノ挨拶ヲ述ヘラル。中村氏

ノ病状ヲ問フ。又直子結婚ノコトヲ告ケ、従来ノ好意ヲ深謝ス。

○大野よし子、夕七時過去ル。今夕、雷ヘ赴キ一泊、明後日神戸ヘ赴キ、更ニ近ク大連ヘ渡ルト云フ。

〔欄外〕

○俊誉剛秀居士ノ命日ナリ。粗飯ヲ供ヘ恭シク居士ヲ祭ル。

○両院議員俱樂部ノ結成ニ付、伊澤多喜男氏ト電話ニテ意見ヲ交換ス。

○帝室林野局事務官高尾亮一氏ヨリ、宇都宮出張所管内御料田畑山林原野等貸付地二千二百余町歩ノ内容説明書及地図ヲ送付セラル。

○三橋四郎次氏ヨリ三日付書状到着、東亜製茶、日本紅茶兩会社關係被告事件、不起訴トナレル由、聞及ヒタリトノ報告アリ。

七月六日（日）晴 涼

○午前十時、森巖寺ニ於テ故陸軍中尉三島忠敏氏ノ町葬執行セラレタルヲ以テ九時其家ヲ弔問シ、葬列ニ加ハリテ式場ニ参列ス。十一時頃式畢リ家ニ還ル。

○午後、郷野正蔵氏其子息ト共ニ来訪ス。静岡育英会貸費生ニ採用セラレタルニ付深甚ナル感謝ヲ表ス。

○洋応接室并居間ノ貸戸ノ破レタルヲ修繕ス。

○台湾旅行中ノ杉本良氏ヨリ専売局氣付ニテ「丸山氏ノ本ノ要點ヲ印刷シ専売關係者ニ頒チタキ希望アリ。此地ニテ謄写ニ代ル印刷ヲ為スコト御許シ願上ク。」トノ電報アリ。之ニ對シテ「貴電拝諾ス。丸山氏ノ研究要領ナリト御記載願フ。」ト返電ス。

杉本氏ノ電報ハ予ノ返信ト共ニ之ヲ丸山氏ニ送付シ同意ヲ求ム。

○三橋四郎次氏へ返書、佐藤助九郎氏へ來九日晚餐会出席者報告書、館林三喜男へ返書、高尾亮一氏へ謝狀ヲ發ス。

○泰治六時頃帰宅。夕食ヲ為シ、七時過出發歸營ス。

七月七日(月)晴 暑

○朝、徳川家正公ヨリ明後九日、上海居留民団船団長(?)

岡本氏ヲ招キ晚餐会ヲ催サルルニ付、招待セラレシモ先約ノ為拝辞ス。

○十一時半頃日本俱樂部ニ赴キ、大竹十郎氏ノ來訪ヲ受ケ朝鮮獎学会ノコトニ付関屋貞三郎氏ノ心配ノコトヲ告ケ、大竹氏ノ決意ヲ問フ。氏ハ根本問題ニ付苦慮スル所アリ、衷情ヲ披瀝セラル。誠ニ同情ニ堪ヘス。依テ本件ニ付関屋氏ニ對スル件等ハ、柴田氏ト相談スヘキ旨ヲ告ケ、午餐ヲ呈ス。

○二時、貴族院ノ調査会ニ出席ス。村瀨法制局長官ノ官界新

体制ニ関スル講話アリ。三時半頃散会ス。

○岩倉道俱男ト貴族院ニテ会见ス。兩院俱樂部結成問題ニ付予ノ意見ヲ問ハル。率直ナル返答ヲ為ス。

○三橋四郎次氏ト会见ス。中村氏ノ病狀ヲ告ケラル。又、本日銀行合併問題ニ付、河田大藏大臣ニ面会セリトテ其概要ヲ内話セラル。

○要ハ午前、篠田治策氏方ヲ訪フ。夫人ニ面会ス。治策氏ハ來京セス。

○午前中、大森夫人來訪ス。夕刻去ル。健一郎ノ狀況ヲ聴キ所見ヲ告ク。

〔欄外〕

○鷲山恭平氏ヨリ一木社長ノ病狀ヲ問ハル。又眞岡方面視察期日ニ付、氏ノ都合ヲ通告セラル。依テ直ニ返書ヲ呈ス。

七月八日(火)晴 暑

○同成会京浜港視察ノ旅行アリ、参加ス。八時過出發、省線田町下車、バスニテ東京灣汽船会社發船所ニ至リ、日本郵船会社ランチ浜丸ニ乗船ス。九時四十分頃出發、羽田沖ニ出テ川崎、鶴見沿岸ヲ過ギ、特ニ京浜運河ニ入りテ各工場ヲ望見シテ横浜港ニ入り、ヨット港ヨリ出テ本牧沖ニ至リ、直路長浜檢疫所ニ達ス。時二十二時三十分ナリ。四十九名参加ス。市ヨリ午餐ヲ饗セラレ、有吉氏

ノ歡迎辭、黒木伯ノ謝辭、市長半井氏、知事松村氏ノ挨拶アリ。

一同ハ二時発ノバスニ分乗シテ横浜駅ニ向フ。然ルニ予等十名許リ浜丸ニ便乗シテ横浜港ニ上陸シ、郵船会社ノ好意ニ依リタクシーニテ横浜駅ニ至リ三時四分発ニテ帰東ス。

○五時ヨリ中央亭ニテ静岡県人会アリ、出席ス。来会者ハ八九十名、頗盛会ナリ。食後太田正孝博士ノ財政経済ノ現状ニ関スル有益ナル講話アリ。八時半散会ス。

〔欄外〕

○京都矢野仁一氏夫人ヨリ来書アリ。土地三百十二坪ヲ三万円ニテ売ラント云フ。光永氏ノ諾否ヲ問合セラル。

○佐藤助九郎氏富山ヨリ上京ス。明夕ノ晩餐会ノ来賓ニ付打合セヲナス。

○山崎健太郎氏ヨリ新茶ヲ贈ラル。

七月九日（水）晴 暑

○朝、伊澤氏ヨリ電話アリ。両院倶楽部設置ノ件ニ付、前田米蔵氏ニ面会スヘキ旨ヲ告ケラル。

○十時、同成会例会ニ出席ス。塚本、柴田、入江、下条、建部、三橋、塩田、佐藤諸氏出席ス。塚本氏ヨリ貴族院調査会世話人会ノ経過ニ付報告アリ。又、両院倶楽部設置

ニ付、松平、八条、黒田、岩倉、白根、倉知、水野、塚本諸氏、去四日会合ノ内容ニ付報告アリ。各員意見ヲ交換シ、十一時半散会ス。

○塚本氏ヨリ氏ト共ニ前田米蔵氏ト会見ノコトヲ申出テラル。明後日午後ト決ス。

○関屋貞三郎氏倶楽部ニ来訪。上野寛永寺座主ト会食ノコトヲ案内セラル。然ルニ今夕ノ予定アルヲ以テ厚意ヲ謝シテ之ヲ断ル。氏ニ対シ一昨日大竹氏ト会見ノ内容ヲ報告ス。

○柴田氏ニ対シ大竹氏ト会見ノ内容ヲ報告ス。

○三橋氏ヨリ本日銀行局普通銀行課長ト会見スヘキ由ヲ告ケラル。

○光永星郎氏ニ矢野仁一氏夫人ノ手紙ヲ示セシニ、三万円ニテ買入レノコトヲ諾セラル。

○正午、日本国際協会午餐会ニ出席ス。茂森唯士氏ヨリソ聯事情談アリ。甚有益ナリ。時節柄ニ付超満員ナリ。

〔欄外〕

○五時過、佐藤助九郎氏ヨリ招カレ、星ヶ岡茶寮ノ晩餐会ニ出席ス。来会者ハ安藤廣太郎氏、寺尾博氏、岸良一氏、森肆郎氏、岩村、一木男、坊城俊良男（伯爵）、塩田團平氏ナリ。食糧増産其他ニ付、隔意ナキ意見交換セラル。甚有益ナル会合ナリ。八時半散会ス。



○松村義一氏ヨリ両院有志ノ純正ナル会合ニ付相談アリ。氏ハ数日前、芦田均氏ノ来談ヲ受ケタリト云フ。右ニ付卑見ヲ述フ。其結果明日、田口、古島両氏ト会见センコトヲ計ル（日本倶楽部ニテ会见）。

七月十日（木）曇 蒸暑

○興三、早朝富士裾野ニ於ケル野外演習ニ赴ク。但シ昨夜ヨリ咽喉部ニ腫脹アリ。多少発熱セルヲ以テ単ニ見学トシテ出發ス。

○午後一時半ヨリ貴族院調査会第一部会ニ出席ス。大橋事務次官ノ独蘇開戦ニ関スル説明アリ。出席者多数ナリ。三時前散会ス。

○三時四十分頃、議院ニ於テ松村義一氏ト共ニ田口弼一氏ト会见ス。衆議院芦田均氏ヨリ両院ニテ志ヲ同ウスル純正ナル有志ノ結合申出アリタルニ対シ、態度ヲ決センカ為ナリ。協議ノ結果、最近芦田氏及氏ノ紹介スル代議士ト会见スルニ決シ、来十四日晚餐ニ招待スルコトト決定ス。其他時局ニ関シ所見ヲ交換ス。

○朝、古島一雄氏ト電話ニテ、右ノ件并両院議員倶楽部結成問題ニ付所見ヲ交換ス。

○夕食後頭痛アリ。気分悪シ。八時頃就褥ス。

〔欄外〕

○要ハ三越ニ至リ、三島実氏、黒崎幸吉氏へ贈呈スヘキ中元品ヲ求メ發送ス。又、線香三箱ヲ求ム。

○住友伸銅所ヨリ泰治五月分俸給金五十錢及養老保険証書（額面三千元）并第一回払込受取書ヲ送來ル。

七月十一日（金）大雨 冷

○七時半起床ス。頭痛鎮靖ス。

○臨時議會召集ノ要望大ニ興リ來ル。小林書記官長ニ対シ關聯事情ニ付電話ニテ問合セヲナス。

○松村義一氏ヨリ電話ニテ、来十四日待月荘ニ衆議院芦田均、安藤正純両氏ヲ招クニ決セシ由通知アリ。

○来十七日夕、高尾亮一、江口定條両氏ヲ星ヶ岡茶寮ニ招待スルニ決シタル旨、大塚惟精氏ヨリ電話ニ接ス。

○大島寛一氏本日入宮召集ノ通知ヲ受ケタル由、夫人來リテ諸方へ電話ス。

○三島実、黒崎幸吉両氏へ物品贈呈ニ付挨拶状ヲ發ス。

○三橋四郎次氏ノ鮎漁時期ニ付、徳川公ノ都合ヲ報告シテ返事ヲ求ム。

○三時半、日本倶楽部ニテ塚本清治氏ト共ニ前田米藏氏ニ面會ス。前田氏ヨリ両院議員倶楽部結成ノ趣旨ヲ述ヘテ協力ヲ求メラル。塚本氏ト共ニ所信ヲ披瀝ス。

〔欄外〕

○白松篤樹氏一昨日逝去、本日鎌倉ニテ告別式アリ。未亡人ニ対シ弔電ヲ呈ス。

七月十二日(土) 大雨 冷

○昨夜睡眠円カナラス。

○朝、伊澤多喜男氏ヨリ電話アリ。昨日、塚本氏ト共ニ前田米藏氏ト会见セシ内容ヲ問ハル。引續キ所見ヲ交換ス。

○午後二時ヨリ文部省第三会議室ニ於テ第五十回報徳経済学研究會アリ、出席ス。佐々井信太郎氏ヨリ経済生活ノ倫理性ニ関スル講話アリ。了テ諸人ヨリ質問出ツ。出席者十五六名、其寂寥ヲ憾ス。

○本日モ強雨アリ。東海道線ハ早川根府川間、函南三島間、蒲原由比間ニテ不通ナル。又、掛川豊橋間ノ新線ニモ、湖西方面ニテ二ヶ所ニテ不通ヲ生ス。

○十時半頃、世田谷警察署情報係「空白」氏来訪シ、臨時議會召集ニ付質問アリ。甘藷増産ノコトヲ談話ス。

○三橋四郎次氏ヨリ来信アリ。三五、遠州両銀行合併問題ハ、銀行局長ヨリ直接ニ中村円一郎氏ヲ説得スヘシト云フ。

○丸山方作氏ヨリ甘藷ノ根ノ研究ニ対スル京大学者加藤技師ノ意見ヲ報告セラル。

〔欄外〕

○岡山市門田西谷五七九、三島実氏ヨリ速達郵便(十一日付)

到着。直子等結婚届相済ミタリト通知アリ。又、子供教育ノ為同地ニ来居ル由ヲ報セラル。

七月十三日(日) 曇 冷

○京都矢野仁一氏ヨリ書状到着。土地売買契約成立ニ付、之カ手續ハ光永星郎氏ニ於テ進行セラレタシト求メラル。依テ之ヲ電話ニテ光永氏ニ告ケ同意ヲ得、直ニ其旨ヲ矢野氏ニ手紙ヲ発シ協力ヲ求ム。又光永氏ニハ該書状ヲ送付ス。

○大島寛一氏応召ニ付、其由ヲ隣組長佐藤雄氏及清風会幹事木村康一郎氏ニ報告シテ其方法ヲ講ス。

○関屋貞三郎氏ノ求ニ依リ、堺市七条通三ノ四二、久次米邦藏氏ノ馬鈴薯栽培方法ニ関スル印刷物ヲ岸農政局長ニ送ル。又、久次米氏ニハ丸山氏ノ甘藷栽培法ノ書物ヲ呈シ右ノコトヲ通知ス。馬鈴薯栽培方法ノ普及ハ水谷熊吉翁ヲ通シテ行ハントスル旨ヲモ通告ス。

○午後、要ト共ニ久保春海氏ヲ訪ヒ盆見舞ヲナス。ソレヨリ木原清氏方ヲ見舞フ。

○中村藤兵衛氏夫人ト共ニ来訪ス。不在中ナリ。大島氏ヲ訪ヒシト云フ。

○村田武氏来訪シ、行政科試験ヲ受ケタル由ヲ告ク。

〔欄外〕

○堀医師ニ就キ健康診断ヲ求メシニ心臟異常ナシ。少シク脚氣ノ氣味アリ。血圧百五十二ト云フ。尿ハ蛋白ナシ。含糖微量ニシテ百分ノ一二達セス。

○泰治帰休ス。七時出發帰隊ス。

○東海線鉄道ハ午後五時半ニ至リ全通ス。

○直子入籍手續完了ノ通告ニ対シ謝状ヲ呈ス。

七月十四日(月) 晴 冷

○静岡県下水害激甚ニ付、朝大村留吉、三橋、中村、河合、黒田、黒田、志田、宮澤、鷺山、角替、田辺、中村源、高平、藤田、吉岡、山崎好等諸氏へ見舞状ヲ発ス。

○戸川篤次氏母堂ノ初盆見舞ニ赴ク。要同伴ナリ。夫人ニ面会シ母堂ノコトヲ問フ。

○要ト別レテ田園調布ヲ経テ洗足ニ下車シ、大久保立子夫人ヲ訪ヒ盆見舞ヲ述フ。

○六時ヨリ待月荘ニ両院有志会合アリ。主催者側トシテ出席ス。貴族院ハ松村義一、田口弼一両氏及予ニシテ、衆議院ハ芦田均、安藤正純、名川侃市三氏ナリ。皇国ノ現勢ニ付両院有志ノ執ルヘキ態度ニ付協議ス。(1)両院有志緊密提携ノ方法。《数多キヲ欲セス。貴族院ニハ末広会アリ。之ニ対シ衆議院ニハ二十名計アリ。結束固シ、金鉄ノ質ヲ要ス。旧各党ニ亘ルヲ要ス。偏在ヲ好マス。》外部ノ漏

洩ヲ禁ス等、(2)両院倶楽部ニ対スル意見ノ交換《前田米蔵氏等ノ言辭ニ対スル批判ヲ聴ク。田口氏ノ報告、予ノ会見談ツキ合セ》等、(3)衆議院側ハ来十九日夕再会ヲ求メラル。当日ハ宮脇梅吉氏(長カ)ヲ加フル筈。会費割当十五円二十銭ヲ払フ。

〔欄外〕

○興三八午後四時頃、富士裾野演習地ヨリ無事帰来ル。

○福田武三氏ヨリ暑中手当(百三円) 拝戴ニ付、鄭重ナル謝状ヲ寄来ル。

七月十五日(火) 曇 霧雨 冷

○昨夜睡眠甚難シ。朝ヨリ下痢氣味アリ。午後下痢三回アリ。

○故榊原昇造中将ヲ弔問ス。將軍昨年九月九日長逝ス。其時徳川公ノ百日忌ニ丁リ会葬スルヲ得ス。竟ニ本日ノ挙トナリシナリ。九時頃小田急厚木駅下車、バスニテ小鮎村畑中ニ至リ訪問ス。独リ夫人ノミアリ。迎へ入レテ故將軍終焉ノ行実ヲ詳話セラル。夫人ノ心ヲ罩メタル野菜料理ニテ中食ヲ饗セラル。一時二十五分バスニ乗リ、厚木ヨリ小田急ニテ帰ル。甘藷増産ノ方法ニ付榊原夫人ニ説明ス。

○帰宅ノ後下痢アリ。甚タ懶シ。夕、発熱三十八度ニ近シ。

十一時頃堀先生ノ来診ヲ受ク。大腸カタルナリ。

七月十六日(水)曇 冷

○下痢止マリ、体温次第ニ平常ニ復ス。朝36.8 昼36.2 終日  
起臥ヲ自由ニシ、来客電話ヲ謝シテ静養ス。

○貴族院議長官舎ニ故静岳公記念事業發起人会アリシモ出席  
セス。

○新潟県東頸城郡牧村国民学校校長清水梧郎氏ヨリ八、九両月  
ノ中三日ヲ選シ、丸山方作氏ノ甘藷増産法講習会ヲ開キ  
タシトテ幹旋ヲ依頼セラル。乃チ其書状ヲ掛川報徳社ニ  
送りテ丸山氏ノ都合ヲ問ヒ、決定ノ上返事セシム。又丸  
山氏新潟県へ出張ノ序ヲ以テ、県内ニ二三ヶ所ニテ講習  
会ヲ開クヤウ県振興課渡辺平次郎氏へ交渉セラレンコト  
ヲ求ム。以上ヲ清水氏へ返書ス。

○向側ノ主人大島寛一氏召集ニ応シテ出発ス。朝、要往訪ス。  
〔欄外〕

○昨夜十一時頃、長野市附近ニ大地震アリ。人命家屋損害多  
シト云フ。電話ニテ小林次郎氏見舞フ。

○興三八成績佳良ナルモ2—26、物理ハ辛ウシテ及第点ヲ得  
タリトノ通知アリ。

又暑中休暇中旅行ヲ禁セラル。学校ニテ非常召集ニ応ス  
ルヤウ部署及連携方法ヲ決定セラル。

七月十七日(木)曇 細雨 甚冷

○病氣平癒ス。

○十時頃、光永星郎氏来訪ス。京都矢野仁一氏ニ対スル書簡  
ヲ持来リ示サル。即金三千円ヲ手附金トシテ小切手ニテ  
送り、土地ノ権利書、戸籍抄本及契約委任状送付ヲ求ム  
ルモノナリ。光永氏ハ登記料ハ氏ノ負担ト為サンコトヲ  
申出テラル。

○矢野氏ニ対シ借家法中改正ノ内容研究ノ概略ヲ報告シ、借  
家人ノ不当ニ対シテ要求ヲ為シ得ル途ノ存スルコトヲ以  
テス。

○大日本報徳社ヨリ、廿八日より開催ノ鍊成会ハ、時局切迫  
ニ関スル文部省社会教育局長ノ通牒ニ依リ中止ストノ報  
告ヲ受ク。又、中止ノ通知文ヲ送ラル。

○文部省社会教育局長瀨瀨氏ヲ訪ヒ、右ノ件ニ付説明ヲ求メ、  
且事態緩和次第直ニ解除ノ通牒ヲ發セラレンコトヲ求ム。

○一木男爵ヲ訪ヒ病氣ヲ見舞フ。右件ヲ報告シ又、丸山氏甘  
藷栽培法ニ付御下問アリシコトヲ報告ス。報徳実践方法  
ニ付所見ヲ述へ、又御料農地ノ経営ニ関シ希望的計画ヲ  
告ク。

〔欄外〕

○昨夜近衛内閣総辞職ヲ決定シ上奏セシ由、今朝新聞紙ニテ

承知ス。

○天皇皇后兩陛下、葉山ヨリ還幸啓遊ハサル。

○午後一時重臣會議宮中ニ開催セラル。

○夕、大命更ニ近衛公ニ降下ス。

○六時、星ヶ丘茶寮ニテ大塚氏ト共ニ高尾亮一、江口定條兩氏ヲ招キ、晚餐ヲ呈ス。代割当一八、四〇

○館林三喜男夕刻来ル。

○興三八千葉ヘ化石採集ノ為往復ス。

七月十八日（金）曇 冷

○昨夜、京都矢野博士夫人ヨリ土地面積ヲ三百十二坪ト訂正ノ手紙ヲ受ク。依テ光永氏ニ此事ヲ電話ス。氏ハソレニ拘ラス三万円ニテ買受クヘシト言ハル。此手紙ハ氏ノ許ヘ郵送ス。

○外務省ニ松田道一博士ヲ往訪ス。

○内務省ニ赤木技師ヲ往訪ス。ソレヨリ同道、全国治水砂防協會事務所ニ至リ、砂防予算ノコトヲ相談ス。俵孫一氏来合セ居リ。面会シ且中食ヲ共ニス。

○学士会館ニ至リ、来八月三日午後六時ヨリ三島夫妻ヲ双方ノ親戚ニ紹介シ、三島側親戚ト会合スルコトトス。

○二時半頃、千駄ヶ谷徳川公爵家ニ至リ、四時ヨリノ家政相談人会ニ出席ス。将来ノ家政整理方針ニ付相談ス。ソレ

ヨリ追加予算二件（福井神社建勸費寄附、順子様結婚費）ヲ可決シタリ。出席者井出、石渡、土方、成田、井出、宇佐美、河井ナリ。了テ井出、成田、宇佐美、井出四氏ト共ニ晚餐ヲ饗セラル。又静岳公御使用ノ杖ヲ贈ラル。服地料ヲモ給セラル。食後種々談話シ八時四十分頃退出ス。

〔欄外〕

○関屋正彦氏、朝要ヲ来訪ス。

○館林八九時過帰宅ス。

○大森健一郎午後来泊ス。

○要ハ午後小林次郎氏方ヲ訪問ス。

○午後九時 近衛内閣ノ親任式ヲ挙ケラル。左ノ如シ。

首相兼法相 近衛公

外務兼拓務 豊田貞次郎

内務 田辺治通

大蔵 小倉正恒

陸軍 東条英機

海軍 及川古志郎

文部 橋田邦彦

農林 井野碩哉

商工 左近司政三

通信兼鉄道 村田省蔵

厚生 小泉親彦

國務大臣 平沼男

〃 柳川平助

〃 兼企画院 鈴木貞一

内閣翰長 富田健治

情報局総才 伊藤述史

法制局長官 村瀬直養

七月十九日(土) 雨 寒冷

○来八月三日晚餐会ニ招待スヘキ範圍ヲ定メ、夫々へ招待状ヲ發ス。

○要ハ大森健一郎及興三ヲ伴ヒ故健三氏ノ墓參ヲ為ス。

○日暮硯(岩波文庫、恩田木工伝)ヲ読了ス。

○堺市久次米邦藏氏ヨリ書狀到著。同時ニ馬鈴薯栽培ニ関スル研究報告書二部ヲ贈ラル。依テ其内一部ヲ明朗会袴田

銀藏氏ニ送り、先以テ水谷、丸山両氏ノ閱讀ヲ乞ヒ、而

ル後洽ネク會員ニ普及スルヤウ取計方ヲ依頼ス。又久次米氏ニ対シ謝意ヲ表スルト共ニ右等ノ件ヲ報告ス(謝狀)。

○土肥町ノ水害激甚ナル由、新聞紙ニテ一見セシヲ以テ鈴木二平、城所元七両氏へ見舞狀ヲ發ス。

○袋井町長高橋氏、横須賀町長鈴木氏ニ対シ水害見舞狀ヲ發ス。

○六時、待月莊ニ衆議院安藤、芦田、名川三氏ニ招カレ、松村、田口両氏ト共ニ出席ス。時事問題ニ付所見ヲ交換ス。  
○安藤正純氏ヨリ發展日本ノ原理ト新体制ナル著書ヲ贈ラル。

七月二十日(日) 雨 冷

○新聞紙ニ就キ内閣更迭前後ノ経緯ヲ研究ス。(1)大命再降下奏請者、拝受者ノ責任、(2)改造ニ依ラス、総辭職ニ出テシ首相ノ責任、(3)閣員ノ顔触レハ果シテ強化更生内閣ト云フヘキカ、又親英米の性格ナキヤ、(4)初閣議席上「陸海軍大臣要請」ナルモノノ發表アリシハ如何。

○館林ハ九時三十分上野發ニテ帰任ス。

○午後、八木四郎氏來訪ス。

○泰治十時前帰宅ス。偕行社ニテ下着類ヲ求ム。夕食ノ上七時頃還ル。

七月二十一日(月) 雨 冷

○朝、清水弥三松氏昨朝逝去セシ由通知アリ。依テ同家ヲ弔問ス。十二時過帰宅ス。香料十円ヲ呈ス。

○午後二時ヨリ貴族院調査会第三部会アリ、出席ス。司法書記官太田耐造氏ノ最近ノ思想問題ニ関スル講演ヲ聴ク。有益ナリ。

○小林書記官長ニ面会ス。本日衆議院ノ両院俱樂部設立有志  
世話人諸氏ト会见セシ由ニテ、其内容ヲ告ケラル。

○帰途小坂順造氏ヲ訪ヒ、其後ノ経過ヲ聴ク。応接室ニ出テ  
テ面会セラル。約一時間許リ雑談ス。

○大森健一郎ハ午前中寛博士診察ヲ受クル為外出ス。夕刻、  
下谷山崎金五郎氏ニ電話セシニ、当方ニ来ルヘシトテ三  
時頃出行ケリト云フ。八時ニ至ルモ来ラサルヲ以テ再ヒ  
山崎氏ヘ問合ハス。

○和田謙三氏来訪。池之上国民学校児童ノ母姉会ヲ催シ、ピ  
アノ資金募集ノ件ヲ相談セラレシ結果ヲ報告セラル。

七月二十二日（火）強風大雨 暖

○昨夜来強烈ナル颱風小笠原島方面ニ在リテ、東海道ニ向テ  
進行ストノ警報アリ。終日大雨降ル。午後ヨリ風力次第  
ニ加ハル。

○田口弼一氏ヨリ両院俱樂部結成問題急速具体化ノ模様ア  
リ。研究会ニテハ三十一日勅選会ヲ開ニ付会见ヲ求メラ  
ル。依テ十一時二十分日本俱樂部ニ至リ会见ス。所見ヲ  
交換シ、近々末広会ヲ開クコトヲ決ス。

○正午、中央亭ニ於テ坂本欧亜局長ノ欧洲ノ情勢ニ付テノ講  
話アリ。日本国際協会ノ特別ノ会合ナリ。極メテ明瞭ナ  
ル説明ナリ。有益ナリキ。了テ最近ノ外交状勢ニ付各員

ノ間ニ談話ヲ交換ス。

○芦田均氏ノ求ニ依リ、同氏ト共ニ田澤義鋪氏ト会談ス。

○岡喜七郎氏ト相談ノ結果、来廿八日夕末広会開会ニ決シ、  
通知状ヲ發ス。

○松村義一氏ヨリ本日公正会總會ニ於ケル両院俱樂部設置ノ  
件ニ付協議ノ模様ヲ電話セラル。

○町会長阿川昌朝氏来訪。アパート居住者ニ町会費賦課ノ件  
ニ付所見ヲ求メラル。

七月二十三日（水）晴 暑

○颱風ハ伊豆以東関東地方ニ暴レ廻リ、各地ニ多大ノ損害ヲ  
与ヘタリ。朝来次第ニ晴レ、暑氣大ニ加ハレリ。

○朝、清風園内ヲ散歩シ、損害ノ有無ヲ取調フ。格別ノコト  
ナシ。

○十時ヨリ同成会例会アリ。出席ス。塚本、丸山、中川、入  
江、下条諸氏出席ス。内閣更迭ノ情報交換并批評、両院  
俱樂部結成ニ関スル塚本氏ノ報告及意見ノ交換アリ。

○幸俱樂部会費後半期分三十一円支払フ。

○日本俱樂部ニ至リ中食ス。食後海軍報道部長前田少将ノ太  
平洋ノ現勢ニ関スル講演ヲ聴ク。

○三時過帰宅。五時半錦水ニ米山梅吉氏ニ招カル。伊澤氏主  
賓タリ。主客大ニ碁戦ヲ鬥ハシ兼ネテ舌戦ニ耽ル。食時

大ニ時事ヲ談ス。九時散会。米山氏ノ車ニ送ラレテ帰宅ス。

七月二十四日(木) 晴 暑

○朝、古島一雄氏ヨリ電話アリ。明日開カルヘキ非公式各派交渉会ノ件ニ付打合セヲ為ス。其結果岩田宙造氏ニ電話セシニ、旅行中ナリシニ依テ小原直氏ト電話ニテ打合セヲ為ス。

○三島甫ヨリノ来信ニ依リ、来月三日ノ晚餐会ニ柚木久太氏及同夫人ヲ招待ス。柚木氏ハ田端町六〇九ニ居住ス。

○小林貴族院書記官長九時過來訪。十一時マテ要談ス。

○小林書記官長ノ車ニ同乗、貴族院ニ至リ更ニ同乗、中央亭ナル日本国際協会午餐会ニ出席ス。食後最近仏印、泰等ヲ巡視セル佐藤醇造氏《外務省調査官》ノ談話アリ。甚有益ナリ。

○日本俱樂部ニ立寄りシニ、柴田善三郎氏ト邂逅シ種々談話ス。

○磯部英一氏ヘ電報ニテ二十六、二十七両日ノ中ニ往訪スヘキニ付、何レヲ可トスルヤヲ照会セシニ、二十七日ヲ指定セル返電アリ。

○橋本織作氏ノ墓表文字、伊佐勇松氏申出ニ係ル。同氏郷里ノ戦没兵士ヘ贈呈スヘキ掛物六本、久保田得一郎氏依頼

ノ額ヲ揮毫ス。

○昇三郎ヨリ二十二日付葉書到著、同夕出發、別府市觀海寺杉の井(別府六五〇番)方ニ約一ヶ月滞在ノ予定ナル由ヲ通知セラル。

〔欄外〕

○大森夫人ヨリ電話アリ。健一郎氣分悪シト云フ。依テ興三ヲ沼津ニ遣シ、尾瀬行ニ誘引セシム。兩人九時頃來著ス。

○杉本良氏七時過來訪ス。氏四十余日ニ亘リ台湾各地旅行ニ付視察談アリ。甚有益ナリ。就中甘藷栽培方法ノ普及ニ努メラレシコト深謝ノ至ナリ。又報徳宣伝ニモ大ニ尽力セラレタリ。

○栃木県下御料地開發計画ニ付希望ヲ告ク。

七月二十五日(金) 晴 暑

○十時半ヨリ貴族院議長応接室ニ於テ非公式各派交渉会アリ、出席ス。小林書記官長ヨリ衆議院側有志力去二十一日來訪セラレタル内容及其後ノ取扱方ニ付報告シ、此会ヲ開キシ趣旨ヲ説明ス。ソレヨリ酒井伯ハ研究会カ主催者トナリシ理由ヲ弁明ス。次テ児玉伯ヲ座長ニ推シタル上、之カ取扱方ニ付隔意ナキ意見ヲ交換シ、結局各派ヨリ一名宛ノ代表者ヲ撰シ、衆議院側ノ説明ヲ聴クヘシトスル説、非公式交渉委員ノ集会ニ前田米蔵ヲ招キ説明ヲ



聴クヘシトスルノ説、其必要ナシ、衆議院側ニテ必要ヲ認ムルナラハ正式ノ交渉アルヘク、又貴族院側ニテ必要トスル者アラハ進ンテ説明ヲ為スヘキヲ以テ其上ニテ考慮スレハ足レリトノ説アリ。予ハ第三説ヲ主張ス。結局第三説ニ帰着ス。而シテ衆議院ニ対シテハ各派ニ此事ヲ報告シタル上、各派ニテ攻究スヘク其以後ニ交渉会ヲ非公式ニ開クナラント告クヘシト決シ、十二時過散会ス。

○新橋東洋軒ニテ中食シ、要ト出会ヒ、三越ニ至リ結納品ヲ求ム。木村夫人ニ出会ヒ喫茶室ニ入ル。

○興三及大森健一郎ハ三時十分上野發ニテ前橋館林方ヘ赴ク。

○泰治任官準備品費金三百円ヲ振替貯金ニテ航技中尉青山博次郎氏ニ送付ス。

〔欄外〕

○出光佐三氏ノ御両親八十八、八十七ノ長寿ニ連セラレタル趣ニテ、祝杯祝画ヲ贈ラル。

○武岡充忠氏ヨリ故齋藤高行先生ノ画像二葉ヲ贈ラル。依テ直ニ謝状ヲ呈シ、且其一葉ヲ大日本報徳社ヘ送付ス。

○徳川家正公ヨリ橋本万右衛門氏願ヲ容レラレ御揮毫ヲ届ケラル。依テ直ニ謝状ヲ呈シ、其事ヲ橋本氏ニ通知ス。書画帖ハ明日送付スヘシ。

○伊佐勇松氏来リ予ノ揮毫ヲ持帰ル。

○鈴木とし千住ヨリ来ル。当分滞在裁縫ヲ手伝フ筈ナリ。

七月二十六日（土）晴 午後雨 蒸暑

○朝ヨリ要ヲ促シテ帰国ノ用意ヲ為ス。

○十一時帝国ホテルニ開会ノ全国治水砂防協会役員会ニ出席ス。内務省東京土木出張所技師小川徳三氏ノ今回ノ関東方面出水状況説明アリ。次ニ中井代議士ハ神戸市長ノ代理トシテ同地ノ砂防ノ有効ナルヲ説明シ、当局ノ施設ヲ感謝シ、更ニ既定継続費削除、又ハ繰延ニ反対ノ意見ヲ陳述ス。

ソレヨリ昼食ヲ饗セラル。食後有益ナル意見交換アリシモ予ハ直ニ退出ス。

○一時七分新橋ヨリ乗車ス。要ハ既ニ乗車シ在リ。共ニ帰宅ス。小田原迄座席ナシ。已ムヲ得ス鞆ヲ腰掛トナス。小田原、湯ヶ原、熱海方面ヘ赴ク者ノ多キ驚クニ堪ヘタリ。六時三十八分掛川著。大村留吉ニ迎ヘラレ帰宅ス。石間たみ子ハ電報ニ依リ島田ヨリ乗車同行、一泊ス。

七月二十七日（日）大雨 蒸暑

○結納贈呈ノ件ニ付、要、たみト相談ス。

○九時三十七分發ニテ中泉ニ至リ、直ニ磯部氏ヲ訪フ。英一氏及母堂ニ面会シ、具サニ将来ノコトヲ告ケ、十分神谷

氏ニ伝達セラレンコトヲ乞ヒ、結納品ヲ交付セラレンコトヲ依頼ス。又其際、(1)媒酌人ヲ柴田氏同夫人ニ依頼ノ件、(2)結婚期日ハ十月下旬又ハ十一月上旬頃トスルコト、(3)儀式ハ東京ニテ行フコト、(4)親戚ヘノ贈呈品ハ之ヲ廃止スルコト、(5)両家ノ交際ハ最簡單ニ願ヒタキコト等ヲ告ケ、先方ノ返事ヲ得テ之ヲ郵便ニテ報告セラレンコトヲ求ム。

磯部氏方ニテ中食ヲ饗セラル。又、中泉駅マテ自動車ヲ給セラル。零時四十分中泉発一時七分着、掛川ニ出テ鯉一本ヲ求メテ帰宅ス。

夕刻其鯉ヲ以テ全員ヲ饗ス。たみ子ハ夙ク帰宅ス。

○夜、石野元治郎、小柳直吉、亀井恒吉三氏来訪ス。稲作柄ニ付熱心ナル報告アリ。亀井氏ニ無事凱旋セシヲ祝賀ス。

〔欄外〕

○泰治、本日帰宅ス。

七月二十八日(月) 遠州急雨 東京晴 蒸暑

○朝、要ト共ニ神宮寺ニ参詣ス。朝来大雨頻リニ至リタルモ晴間ヲ見計ヒ無事墓参ヲ了シタリ。

○大日本報徳社ニ出頭シ、(1)齋藤高行先生画像処理ノ件、(2)長谷川台湾総督ヘ甘藷栽培方法五部贈呈發送依頼ノ件等急務ヲ処理ス。鷺山、田辺両理事不在ノ為面会ヲ得ス。

○九時五十六分発ニテ要ト同車、帰京ス。四時過帰宅ス。

○六時ヨリ第四回末広会ニ出席ス。出席者ハ田口、田澤、松村、小原、江口、澤田、岡、大島、大西、芳澤、塚本、次田、丸山、河井十四名ニシテ未曾有ノ盛会ナリ。

○女中〔空白〕で以子ハ叔父今回召集セラレシヲ以テ、面会ノ為帰国セシム。

○鈴木としハて以子ヲ送りテ帰宅ス。家事ニ関シ解決ヲ為ス為ナリ。

〔欄外〕

○中村源左衛門氏ヨリ生鰻一籠ヲ贈ラル。午後四時頃到着。死鰻四本、其他大二弱ル。

○日本、仏印共同防衛条約、加藤大使トヴィシー政府ト締結セラレ、本日枢府ニテ可決シタリ。

七月二十九日(火) 雨 冷

○咽喉ヲ害シ、且腰痛甚シキヲ以テ終日臥床ス。大便不通三日ニ亘リシヲ以テ浣腸剤ヲ用ヒシニ排出アリ。

○重友ハ会社ヲ休ミ、小田原ノ禅寺ヘ行ク。同社員淡輪氏ノ案内シタルナリ。

七月三十日(水) 曇 小雨 冷

○咽喉部疼痛漸次消散セントス。然ルニ腰痛ハ尚盛ナリ。朝

夕二回入浴ス。

○石間たみ子ヨリ手紙到着。来八月五日結納品ヲ神谷氏へ送届クルコト、柴田氏ニ媒酌人ヲ依頼スルコト、就テハ同日同氏臨席セラレタキコト、其他調度ノ打合せ等ナリ。

○来月二日ヨリ多数ノ来客ニ備フル為、米及砂糖特配ノ手續ヲ隣組長ニ問ヒ、又巡查派出所ニテ問合ハス。

○館林マス子ヨリ電話ニテ興三、健一郎等本日尾瀬ヨリ帰還スルナラント告ケ来ル。

○鯨切包丁ノ柄ヲ作ル。

○来月四五両日、神奈川県下ノ水害地及砂防実施箇所ノ状況視察ノ案内ヲ全国治水砂防協会ヨリ受ケ出席ヲ約ス。

〔欄外〕

○昨日、多数ノ皇軍南部仏印ニ進駐ノ為上陸セントノ公報発表セラル。

七月三十一日(木) 雨 夜晴 冷 夕ヨリ暖

○十時、議長官舎ニ於ケル故徳川公爵記念事業計画小委員会ニ出席ス。松平伯、中川、添田、鈴木、宇佐美、齋藤、小林諸氏出席ス。各自意見ヲ提出シ十二時前散会ス。

○十二時過、小林氏ト同車。中央亭ナル日本国際協会午餐会ニ出席ス。同盟通信記者入江啓四郎氏ノ独蘇開戦事情ニ付テノ講話アリ。盛会ナリ。

○柴田善三郎氏ニ邂逅セシヲ以テ、非公式ナカラ媒酌人タラシコトヲ依頼ス。夫人ト相談ノ上通知スヘシト答ヘラル。

○帰宅ノ後、其事ヲ要ニ告ケ、見付磯部氏へ返書ヲ呈ス。来月六日結納ヲ送ルヘキニ付、同氏ノ帰郷ヲ乞ヘルニ対シ都合悪シキ旨ヲ附記ス。

○夜、杉本良氏来訪ス。台湾ニ於ケル甘藷栽培ニ付談話セラル。久次米邦藏氏ノ馬鈴薯栽培法ヲ貸与ス。杉本氏ハ十二日発行ノ台湾日々新聞ヲ持来ル。之ハ丸山式甘藷栽培法ヲ記載ス。依テ其一葉ヲ丸山方作氏ニ送ル。

〔欄外〕

○岡山市三島實氏ヨリカステーラ一箱ヲ贈ラル。

八月一日(金) 曇 暖

○昨夜ヨリ神経痛及咳発減少シ気分漸次爽快ナリ。

○九時頃、要ト共ニ八幡神社ニ参詣ス。

○斬髪ス。

○池之上先ノ魚店ニ鯉多数到着セシヲ発見セシニ依リ、明日以後ノ来客ニ備ヘ三尾ヲ求メシム。

要ハ米及砂糖増配手續ノ為、巡查派出所ニ赴キシニ、明日書面ヲ提出スヘシト命セラル。

○大森夫人ヨリ水蜜桃十数箇ヲ贈ラル。惜哉殆全顆破壊セラル。

○篠田治策氏夫人ニ出会フ。近状ヲ問フ。

○午後、麦産額、七月中降雨量等ニ付調査ヲ為ス。

○七時半ヨリ佐藤雄氏方ニテ開会セル常会ニ出席ス。高井、岩井（父子）、永村、金久保、郷諸氏出席ス。十時散会。

八月二日（土）半曇 半晴 薄暑

○昨夜不眠甚シク、本日気分重シ。

○朝、三浦安藏氏ヨリ電話アリ。加藤政之助氏、今早朝逝去スト。依テ同氏ヨリ直ニ塚本清治氏（当番幹事）ニ報告アランコトヲ求メ、先例ニ依リ諸般ノ手續ヲ行フコトヲ依頼ス。

○午後二時出発、加藤氏邸ニ至リ弔問焼香ス。令嗣及老夫人ニ面会ス。成増駅ヨリ往復自動車ヲ給セラル。

○朝、長澤久男氏来訪ス。将来ノ進路奈何ニ付相談アリ。氏ノ関係アル日向斎土原ノ開拓ニ邁進アランコトヲ勸メ、久連国民高等学校、培本塾ノコトヲ説明シ、又Y・M・C・A主事菅儀一氏ニ紹介ノ為名刺ヲ交付ス。

○午後木村通氏夫人来訪ス。要、主トシテ応対ス。五時過帰ル。

○五時半頃柴沼惣吉氏来訪ス。夕食ヲ共ニス。

○六時頃館林マス子、両児ヲ伴ヒ来宿ス。興三モ前橋ヨリ归来ル。大森健一郎ハ前橋ヨリ同車、上野ニ下車。山崎金

五郎氏方ニ投宿ス。

○山崎はま子ヨリ電話アリ。赴<sup>カ</sup>発病ノ為、昨夕ノ晚餐会ニ欠席スト云フ。

八月三日（日）曇 夕大雨 冷

○朝、応接室、居間、二階客室ヲ舗設ス（掛物、置物取換）。又鰻ヲ割ク。

○加藤政之助氏逝去ニ付塚本清治氏ト打合セヲ為ス。其結果三浦藏氏<sup>（安脱カ）</sup>ニ電話ニテ更ニ配慮ヲ乞フ。

○四五両日神奈川県下水害地視察旅行参加予定ナリシニ、加藤氏ノ葬儀告別式ニ出席ノ為、四日夕刻ヨリ参加スルトトシ赤木氏ト打合ハス。

○今夕ノ三島夫妻披露晚餐会ノ用意ヲ為ス。

○三島夫妻十一時頃来著ス。

○朝比奈アキ子ハ三児及女中ヲ伴ヒ十二時頃、矢田部夫人ハ二時頃、大森夫人ハ二時半頃沼津ヨリ、健一郎ハ二時頃下谷ヨリ来著ス。

○泰治ハ未任官ニ至ラス。九時半頃来著ス。任官ハ九日又ハ十日ナラント云フ。

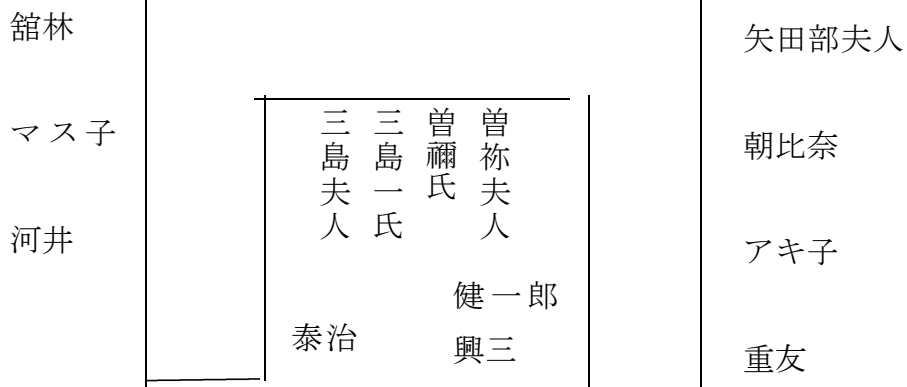
○四時、重友、泰治ヲ先発トシテ学士会館ニ至ラシメ、諸般ノ用意ヲ為サシム。三島夫妻、要、マス子、アキ子、昌子夫人ハ五時自動車ニテ発ス。予ハ同時興三、健一郎ト

電車ニテ発シ、五時四十五分学士会館ニ達ス。来会者ハ曾祢武氏夫妻。三島一氏夫妻。三島淳三郎氏。柚木久太氏。角替夫妻。舘林夫妻。朝比奈夫妻。鈴木二平氏。大森母子。矢田部夫人。予等五人及三島新夫妻計二十三名ナリ。食ニ先チ、簡單ナル挨拶ヲ述ヘタリ。食中食後和氣満堂、八時半ヨリ散会ス。

〔欄外〕

○晚餐席次

大森夫人  
鈴木二平氏  
淳三郎氏  
なほ  
三島甫  
柚木氏  
角替  
文子



○所要経費

一三五・四一 晚餐、麦酒、シトロン、税、煙草、飾花、心付

二〇・〇〇 室料

計一五五・四一― 支払済

八月四日(月) 曇 午後晴 蒸暑

○故加藤政之助氏ノ葬儀、午前九時ヨリ青山斎場ニテ行ハレシニ付参列焼香ス。了テ十時ヨリ告別式アリ。十一時終了。十一時半出棺ヲ見送リテ帰宅ス。氏ハ政界ノ大長老ニシテ後輩同志多数ナリシモ、余リニ長寿ナリシタメ此方面ヨリ来弔者少シ。反之十四人ノ子福者ニシテ、何レモ各方面ニ雄飛シ在リ。此方面ヨリノ来弔者甚多シ。

○二時三十八分下北沢ヨリ小田急小田原行ニ乗車シ、四時半頃小田原ニ著ス。車中ヨリ水害ノ状況ヲ視察ス。小田原駅ヨリ箱根登山電車ニテ塔之沢ニ至リ環翠楼ニ著ス。全国治水砂防協会ノ神奈川県治水并水害地実況視察者ノ一行十七名ハ、今朝横浜ヨリ厚木ニ出テ小鮎川、玉川、葛葉川ヲ視察シ、秦野町ニテ昼食、ソレヨリ松田ヲ経テ河内川ノ合流点ニ至リ、引返シテ酒匂川ヲ見、小田原市内早川ノ決潰箇所ヲ経テ六時過環翠楼ニ来ル。松村知事、栗山総務部長ニ来合ス。晚餐ヲ共ニス。予ハ柴山昌生男ト同室ニ泊ス。《野島功謹氏来訪ス。氏ハ小田原市会副議

長ナリ。市長益田氏》。

○午後三時頃、朝比奈アキ子ハ三児及女中ヲ同伴シテ横浜ヘ帰ル。

○三島夫妻、館林等三人、矢田部夫人、大森健一郎宿泊ス。

〔欄外〕

○三島甫夫妻ハ今朝ヨリ矢内原氏、山崎昇二郎宅、大橋祐之助氏、曾禰武氏、柴田善三郎氏、関屋貞三郎氏、小林次郎氏、渡部美代治氏ヲ歴訪ス。曾禰氏及大橋氏方ニテ昼晚餐ヲ饗セラル。

八月五日(火) 晴 暑

○早朝覚眠ス。柴山昌生男ハ六時頃出発帰京ス。食前、俵、大塚、西尾子、後藤伯等、予ノ室ニ集リ談話ス。甚有益ナリ。八時一同昼食、知事、総務部長等之ニ加ハル。九時出発。

函根国道ヲ上リ、大平台下及宮城野ニテ堰堤ノ効果ヲ視ル。ソレヨリ宮之下ニ戻リ、小涌谷、上強羅、姥子ヲ経テ元箱根上ノ国道ニ出テ順次降下、湯本ニテ須雲川ノ架橋上ヨリ護岸ノ破壊状況ヲ視察ス。十二時国府津国府館ニ著ス。

一時過出発、下中村小竹ニ於テ中村川破堤ヲ視察シ、更ニ国道ニ出テ、大磯ヨリ海岸車道ヲ駛リ、片瀬、藤沢、

戸塚、保土ヶ谷ヲ經テ三時三十分横浜駅ニ著。「アイスクリーム」ヲ食シ、三時四十九分發ニテ品川渋谷ヲ經テ四時半頃帰宅ス。

○国府津館ニテ中食ニ先チ、植原代議士ノ求ニ依リ、鈴木代議士、真鍋代議士、木桧代議士、真田博士、下中村長等ノ為ニ甘藷栽培法ノ説明ヲ為ス。一同大ニ悦ブ。

○知事総務部長ハ塔之沢ニテ、俵氏ハ小田原ニテ、江口氏ハ国府津ニテ、青木子ハ藤沢ニテ、植原、鈴木両氏ハ二ノ宮ニテ別ル。

〔欄外〕

○三島甫ハ午後一時三十五分發ニテ西之宮ニ帰ル。

○要ハ五時、武蔵高等学校ノ父兄会ニ出席ス。

○大森健三八母ト共ニ沼津ヘ帰ル。

○植木職来リ手入ヲ始ム。

○夜、遠州学友会幹事帝大経済科鈴木善重氏（長上村）来訪。

遠州学友会學術講演会ノコトニ付打合セヲナス。

○夜、榛葉孝平氏来訪ス。

○木村通氏ヨリ来書、満洲拓殖ノ実状ヲ報告セラル。

八月六日（水）晴 大暑

○朝、男爵岩倉道俱氏ヨリ電話ニテ会见ヲ申込マル。依テ十時昭和会館ニテ面会スヘキ旨ヲ答フ。会见ノ結果、両院

議員俱樂部結成ニ関シ、衆議院側全員一致ノ希望ニ非サルヤ否ヤ、其目的ハ社交以外ニ不純ノ企画ナキヤヲ問フ為、同男ノ斡旋ニテ衆議院側七八名ヲ招クニ付、同成会ニテモ二名位出席アリタシト申入レラル。予ハ出席セサル旨ヲ答ヘ、更ニ此事ヲ本日ノ例会ニ發表スヘキ旨ヲ告ク。

○十時ヨリ同成会例会アリ、十時半出席ス。塚本、次田、入江、下條、大谷、佐藤諸氏出席ス。塚本氏ヨリ去月二十五日ノ非公式交渉会ノ状況ヲ報告シ、更ニ次田氏及予モ今朝岩倉男ト会见ノ模様ヲ報告ス。ソレヨリ時局ニ付所見ヲ交換シ、十二時過散会ス。

○新橋東洋軒ニテ中食シタル後、横浜ヘ赴キ、バスニテ県庁ニ出頭シ、松村知事ヲ訪フ。甘藷栽培方法採用ノ希望ヲ述フ。知事ト会談一時間、其好意ニ依テ桜木町迄自動車ヲ供セラレ帰宅ス。

○矢田部昌子、急性大腸加答兒ニ羅ル。堀先生ヲ招キ診察ヲ受ク。

○夜八時頃、岐阜ヨリ鈴木寛一兄来訪ス。一泊。

〔欄外〕

○興三八今日登校ス。明後日ヨリ当分ノ間非常時作業ニ従事スト云フ。

○丸山方作氏ヨリ同氏此度香川県坂出町ヘ出張セリトノ通信

アリ。依テ鎌田勝太郎氏ニ挨拶状ヲ呈ス。

台湾総督長谷川大將及総務長官齋藤樹氏ニ書状ヲ呈シ、甘諸栽培方法ノ急速普及ヲ配慮セラレンコトヲ求ム。

○夕、曾根氏夫人来訪ス。一昨夕ノ晚餐ノ答礼ナリ。

八月七日(木) 晴 頗暑

○十時参内。天機并御機嫌ヲ奉伺ス。広幡大夫、小倉事務官、

黒田大膳頭、岡本官房主管等ニ面会ス。又、鈴木工務課長ヲ訪ヒ、家屋ノ修理ニ付配慮ヲ乞フ。十一時半退出ス。

坂下門外ニテ甘露寺侍従次長ニ出会フ。新宿御苑并生物学御研究室附属御畑ニ於ケル甘諸栽培成績ニ付談話アリ。

十二時二十分帰宅ス。

○鈴木寛一兄ハ朝出發ス。陸軍獣医学校、明治製菓会社ニテ用務ヲ弁シ、夕離京、静岡市八木氏方ニ一泊ノ上帰宅スト云フ。

○矢田部昌子病氣經過宜シ。

○午後出發、帰国ノ筈ナリシニ、要ノ希望ニ依テ明日出發ニ決ス。書齋ノ片付ケヲ為ス。

○夕、館林三喜男来泊ス。明日警察部長会議アリト云フ。朝夕二回鰻ヲ料理シテ、寛一兄及館林ヲ饗ス。

本日帰郷ノ予定ナリシニ一日延期ス。館林ノ来泊ニ会ヒ甚好都合ナリ。

八月八日(金) 晴 蒸暑

○朝、七時三十九分發品川乗車、帰郷ス。一時二十二分掛川著、大村芳次ノ出迎ヲ受ク。荷物ヲ芳次ニ託シテ持帰ラシメ報徳社ニ出頭ス。

○パンツ、白シャツ、チヨツキ、ゴルフ靴及靴下ヲ着用ス。ネクタイヲ用キス。夏季ノ国民服トシテ最適当ナリ。帽ハ ヘルメット トス。

八月九日(土) 晴曇半バス 蒸暑

○七時一分發バスニテ平田村役場ニ黒田節三氏ヲ訪フ。偶マ、氏ハ掛川ニ来ルヘクバスヲ待合中ナリ。乃同車シテ信用組合ニ至リ、平田村地方水害ノ状況及対策ヲ問フ。

ソレヨリ自動車ニテ帰宅シ、講演会所要雑誌等ヲ調整シ掛川駅ニ至ル。

○十一時十分掛川發、十二時十六分ニ侯著。直ニバス及徒歩ニテ光明村役場ニ至リ、水害ノ状況ヲ視察シ対策ヲ問フ。被害激甚ナリ。宮澤村長不在ニシテ助役某氏ヨリ説明ヲ聴ク。徒歩ニテバス發著所ニ歸リ、バスニテ西鹿島ニ出テ、更ニ遠州電気鉄道ニ依リ三時半頃浜松著、駅前花屋ニ入ル。

○花屋ニハ学友会講演部員来著シ在リ。講師杉森孝次郎、高



柳光寿両氏既ニ在リ。長谷川鉄雄氏亦来ル。四人ニテタ食ヲ喫シ、六時過講演会場ナル浜松市公会堂ニ至ル。長谷川氏開会ノ辞、河井挨拶、高柳浜松ノ歴史ヲ語ル。杉森独ソ戦争ト欧洲ノ情勢ニ付テ講演ス。聴衆四百名許、十時過帰宅ス。

〔欄外〕

○泰治、本日陸軍航技中尉ニ任セラル。

○女中て以、秋田県ヨリ帰来ル。

八月十日(日) 晴 大暑

○七時二十二分發ニテ見付ニ至リ、磯部英一氏ヲ訪ヒ、結納ニ付配慮セラレシヲ深謝シ、又柴田善三郎氏媒酌人依頼ノ経過ヲ報告ス。次ニ中津川氏ヲ訪ヒ、母堂ニ面会シテ配意ヲ謝ス。最後ニ神谷文平氏ヲ訪ヒ挨拶ヲ述へ、調度ノ質素ヲ希望ス。

○バスニテ浜松ニ至リ、更ニバスニテ気賀町ニ赴キ、森口淳三氏ヲ訪ヒシニ不在ナリ。父君ニ面会ス。藤田久蔵氏ヲ訪ハントセシモ中止ス。

○気賀發十二時十五分ニテ掛川ニ向フ。車中ヨリ中川村、都田村ノ水害ヲ視察シ西鹿島駅ニ下車ス。

○バスニテ富塚ニ至リ水害地ヲ視察ス。駅ニ帰り更ニ中泉ニ下車シバスニテ上浅羽村浅名ニ下車。ソレヨリ輕便鐵道

ニ乗換ヘ省線袋井ニ著ス。

○小閑ヲ利シテ戸倉惣兵衛氏ヲ訪フ。母堂ニモ面会ス。

○五時五十九分袋井發ニテ帰宅ス。

八月十一日(月) 晴 大暑

○昨夜熟眠ス。

○南郷村明朗會員八時過ヨリ続々来集ス。丸山方作氏九時頃来訪ス。藤田久蔵、山本福吉、服部源太郎、松浦清三郎、佐藤雅雄、松浦正造諸氏来集セラル。袴田銀蔵氏亦来加ハル。ソレヨリ一同ハ丸山氏ノ指導ヲ受クル為実地視察ヲ為ス。丸山氏一々之ヲ批評シテ更ニ手当ノ方法ヲ指示ス。上張分ノ矢先ヲ了リテ来リ中食ヲ為ス。丸山、藤田、服部、袴田、山本、石野諸氏ニ昼食ヲ呈ス(鶏料理)。食後一同ヲ集メ丸山氏ノ講評アリ。了テ再ヒ実地指導ヲ為ス。上張ノ残部ヨリ始メ、杉谷ニ至リテ終ル。時二三時半ナリ。丸山氏ハ西山口村ヘ赴ク。

○当日来会者ハ三十名ヲ超エ、河城、西南郷ノ有志モ来加ハル。甚有益ナリ。村明朗會員ノ意氣頗旺ナリ。

○丸山氏ト別レ、一同来集シ、藤田氏ノ講話ヲ聴ク。服部氏亦其意見ヲ述フ。會員大ニ満足ス。藤田、服部、松浦清三郎、松浦正造、佐藤雅雄、袴田、石野諸氏ニ晩食ヲ呈ス。

○藤田氏ニ令孫危篤ノ由返報来ル。氏ハ七時五十九分發ニテ帰ル。

八月十二日(火) 晴 暑

○朝、掛川警察署特高係勝山善樹氏来訪ス。

○十一時報徳社ニ出頭ス。

○十二時二分發ニテ浜松ニ至リ、バスニテ飯田村渡瀬ニ水谷熊吉氏ヲ訪ヒシニ氏ハ会マ畑ニ在リ。往イテ面会ス。水害ヲ見舞ヒ、善後策トシテ適當ナル作物ノ種類ヲ質問ス。又稗蒔ノ可否ニ付意見ヲ質ス。大ニ得ル所アリテ辞去ス。氏ノ案内ニ依リ、川流暴漲ノ実況ヲ視察ス。又当局カ工事違約ノ為、今回ノ大損害ヲ蒙リシ由ヲ聴ク。対策ヲ薦ム。

○浜松ヨリ汽車ニテ中泉ニ至リ、三時過ノバスニテ豊浜ニ至リテ乗換ヘ、四時半頃岡本三郎司氏ヲ訪ヒ盆見物ヲ為ス。五時四十分頃退出。徒歩ニテ石津ニ向フ。三郎司氏ノ二男自転車ニテ仏餅ヲ持来ル。石津ニテ別ル。袋井發七時廿四分ニテ帰ル。

○夜要ヨリ電報著。泰治来十五日小倉ヘ赴任ニ付、夜具出来サルモ東京ヘ持来レトノ要領ナリ。

〔欄外〕

○久連国民高等学校長大谷英一氏ノ需ニ依リ、知事宛紹介ノ

名刺ヲ送ル。

○藤田久蔵氏孫ノ病氣ヲ見舞ヒ昨日ノ来訪ヲ深謝スル為書状ヲ呈ス。

八月十三日(水) 曇 午後驟雨 蒸暑

○昨日大ニ疲労セシヲ以テ熟眠ス。但シ二時半頃覚眠読書シ、再ヒ睡ル。五時前起床ス。

○五時半、留吉ヲ綿屋ニ派シ、蒲団ノ出来上リヲ催促セシニ、九時頃出来スト云フ。

○六時前、掛川郵便局ニ至リ電話ニテ要ト打合セヲ為ス。其結果泰治ノ蒲団ハ本日小倉市楠目貞子夫人ニ送ルコトトス。

○朝、石野元治郎氏来訪ス。農産増進ニ付談話ス。

○朝、東日記者掛川在勤萩田誠一氏来訪ス。水害善後策ニ付質問アリ。種々説明ス。丸山氏ノ偉業ヲ談話ス。

○袴田銀藏氏予ノ求ニ依リ来訪ス。依テ今朝揮毫セル箱書ヲ渡ス。ソレヨリ水害善後策トシテ臨時講習会ヲ数ヶ所ニテ開催センコトヲ要求シ、其実行ヲ求ム。

○十一時五十七分發ニテ東京ニ帰ル。静岡ヨリ沼津迄戸塚重一郎氏ト同車ス。又熱海ヨリ三井清一郎氏ト同車ス。食糧増産ニ付談話ス。

○矢田部昌子、今夕日光ヘ帰ル。マス子之ヲ浅草駅ヘ送ル。

〔欄外〕

○まず枝病氣ノ處、起出テ、泰治ノ蒲団ヲ被布ス。

八月十四日(木) 雨 蒸暑

○九時半、一木男爵ヲ往訪ス。鷺山恭平氏既ニ在リ。種々談話ス。男ハ健康漸ク旧ニ復セルカ如キモ、憔悴尚甚シ。十一時頃辞去ス。

○鷺山氏ヲ学士会館ニ招キ種々要談ス。昼食ヲ呈ス。一時頃出發。氏ハ三田四国町ニ土方氏ヲ訪フト云フ。予ハ日比谷ニテ氏ト別レ、内務省ニ赤木正雄氏ヲ訪フ。

○関東方面出水ノ状況ヲ詳記セル地図ヲ与ヘラル。時務ニ関シ意見ヲ交換ス。

○泰治、荷作ヲ為ス。

○軽井沢伊澤氏ヨリ電話及電報アリ。鮎御下賜ニ対シ御礼方高辻枢府書記官ニ依頼ス。

○今朝、番犬ニ対シテ毒藥ヲ与ヘタル者アリ。赤木氏、高木氏ノ犬殺サル。高木氏ノハ手当ニ依リ蘇生ス。尚此附近ニ相当数ノ被害アルカ如シ。内務省ヨリノ帰途、巡查派出所ニ立寄り取調ヘヲ依頼ス。

〔欄外〕

○平沼無任所大臣ハ今朝八時過、来客西山道彦ナル者ト対談中、ピストルニテ狙撃セラレ頸部ニ負傷セリト云フ。

○颱風東海道方面ヲ襲ハントスルノ形勢アリト発表セラル。

八月十五日(金) 曇 午後晴 暑

○颱風、高知、高松、岡山、鳥取ノ各地ヲ通過ス。

○朝、運送屋来リ、泰治ノ荷物二箇ヲ作り、渋谷駅カラ發送ス。

○小倉市楠目氏ヨリ電報ニテ泰治ヲ待ツ旨申越サル。

○泰治ハ朝、八幡神社ヘ参拝シ、十一時昼食、十一時半自動車ニテ出發ス。予ハ要、マス子、なほ子ト同車、之ヲ送ル。渋谷ヨリ省線ニテ十二時十五分頃東京駅ニ著ス。小倉同行ノ航技少尉西本俊雄氏既ニ在リ。朝比奈アキ子ハ横浜ヨリ来ル。

一時三十分「桜」ニテ出發ス。切ニ平安ヲ祈ル。

○帰宅ノ後、靴下ヲ修繕シ、又ゴルフ靴ノ底ゴムヲ取換フ。

○興三八早朝ヨリ夕刻ニ亘リ、板橋ニテ特別作業ニ従事ス。明日モ続行ノ筈ナリ。

〔欄外〕

○米大統領ハ英首相ト大西洋<sup>マヤ</sup>ニテ会见セシカ、其結果「世界文明ノ危機ハ、ナチス政府及ソレト聯携セル其他ノ政府力開始シタル軍事的世界制覇政策ヨリ發生シタルモノト思惟シ、ナチス政治ノ崩壊後ニ於ケル世界平和ノ目標ニ関シ、英米兩國ノ八項目ノ共同宣言発表セラル。

○政府八十六年産米ヨリ管理米買上価格ヲ石当一円引上ケ、  
売渡価格ヲ据置トシ、生産奨励金ヲ石当五円トシ供出米  
ニ交付ス。但、小作米ニ対シテハ地主ニ引渡ス分ニ付テ  
モ交付スト發表ス。

八月十六日(土) 晴 蒸暑

○午後六時五十三分品川ヨリ乗車、十時四十八分静岡著下車、  
徒歩ニテ教育会館ナル静岡育英会静岡支部主催ノ役員学  
生懇話会ニ出席ス。車中増田次郎氏ト同乗、又沼津ヨリ  
ハ久連国民学校長大谷英一氏ト同乗、同校及近ク設立セ  
ラルヘキ乙種農学校ニ付意見ヲ交換ス。

十一時過懇話会開會。支部副長伊能学務部長開會ノ挨拶  
ヲ述ヘ、本部役員トシテ次ニ挨拶ヲ為シ、来賓挨拶三橋  
四郎次氏ヨリ述ヘラル。之ニテ休憩シテ中食ヲ為ス。次  
ニ元貸費学生比木村国民学校訓導中山きみ子表彰式アリ。  
久保理事同人ノ篤行及表彰ノ事由ヲ述ヘ、中島理事ヨリ  
証書ヲ呈ス。ソレヨリ学生ノ自己紹介及所感陳述アリ。  
之ニ交ヘテ榛葉理事、増田監事、静高校、浜高工両主事  
ノ演説アリ。最後ニ中島理事ハ極東海洋ノ形勢ニ付テ説  
明シタリ。四時過学生総代ノ謝辞、伊能支部副長ノ閉會  
ノ挨拶アリテ散會ス。此時来會者一同紀念ノ撮影ヲ為ス  
《出席学生三十六七名》。五時半静岡俱樂部ニテ本部支部

役員ノ会食アリ。七時四十九分發急行ニテ帰宅ス。中島  
理事ト同車ナリ。

〔欄外〕

出席者左ノ如シ

伊能部長、坂田課長、三橋、小田原、佐橋、《河合亮》各  
中学校長等晚餐会ニハ河井、久保、増田、三橋、中島、  
伊能、塩島、坂田、飯田出席ス。

○小田原培本塾長ニ面会シ、塾ノ近状ヲ問ヒ好都合ナリ。又  
増田次郎氏ニ紹介ス。

○大谷英一氏ヲ懇話会ニ伴ヒ、伊能部長ニ紹介シ、更ニ小田  
原塾長、増田氏、其他ニモ紹介ス。氏ハ二時過県庁ニ出  
頭ス。

○甘藷栽培ニ付増田次郎氏ニ説明ス。又服部源太郎氏ノコト  
ヲ談話ス。又西駿明朗會設立ノコトヲ依頼ス。

○甘藷栽培法ニ付中学校長数氏其他ニ説明ス。

八月十七日(日) 晴 暑

○昨夜睡眠完カラス。午前六時半起床ス。

○朝、光永星郎氏来訪。土地購入ニ付同氏及矢野氏ノ名ヲ以  
テ謝意ヲ表セラル。

○午後、榛葉孝平氏来訪ス。令嬢縁談ニ付取調方ヲ依頼セラ  
ル。堀一郎氏《東大理学士、文理大哲学科卒業 帝国女

子医專教授》(堀信次氏長男)

○東京市視学青木氏来訪ス。氏ハ元貴族院事務局ニ勤務セシト云フ。

○夕刻、朝比奈アキ子横浜へ帰ル。舘林マス子ハ二児ヲ伴ヒ横浜へ同行ス。

○終日ゴルフ靴修繕ノ為、底裏ノ釘ヲ抜き、杉箸ヲ削リテ其穴ヲウヅム。其数多キヲ以テ長時間ヲ費ス。

○夕、牛乳受箱破損セシヲ以テ之ヲ修繕ス。板腐朽ノ為甚不十分ナリ。

〔欄外〕

○午前中泰治ヨリ電報到著。

楠目氏方ニ止宿スル旨ヲ報ス。

八月十八日(月)晴 大暑

○五時起床。犬ノ蚤ヲ取ル。

○八時半、光永星郎氏ヲ訪問シ、昨日贈与セラレタル金千円ヲ返納ス。時事ニ付雑談ヲ為ス。バスマテ自動車ニテ送ラル。

○堀庫一氏ヲ訪ヒ、三島淳三郎氏ノ為ニ研究ト共ニ報酬ヲ得ル病院ニ転職ニ付配慮ヲ頼ス。但シ淳三郎氏ノ名ヲ告ケズ、淳三郎氏夜行ニテ西宮へ帰ルニ付、直子四時半新橋駅ニテ会见シ其事ヲ告ク。

○朝、内田明氏来訪ス。村松孝一氏トノ関係ニ付内話アリ。

内田氏ニH. Fordヨリ受ケル手紙ヲ渡シ返書ヲ依頼ス。

○佐藤雄氏来訪シ、隣組集会開催ニ付相談アリ。

○正午、中央亭ナル日本国際協会午餐会ニ出席ス。食後外務省通商局第一課長法華津孝太氏ノ、反枢軸国ノ資産凍結ト、我国へノ影響ニ付講話アリ。甚有益ナリ。

○井上通泰博士ノ告別式(二、〇〇—三、〇〇青山)ニ至リ拝礼ス。

○鈴木とし午後來ル。要ノ元氣甚宜シ。

〔欄外〕

○台湾総務長官齋藤樹氏ヨリ甘藷栽培法ノ普及勧誘ニ対シ返書ヲ受ク。依テ其写シヲ杉本良氏ニ送ル。

八月十九日(火)晴 大暑

○千葉県下ノ水害視察ノ為、県庁へ赴ク。七時前出発、九時過千葉著。自動車ニテ県庁ニ出頭。増田正直、土井久之両氏ニ面会シタル上、両氏ノ斡旋ニテ經濟部長織田智氏ニ面会ス。水害状況及現状ニ付テ説明セラレ、対案ニ付テ質問ス。若干ノ資料ヲ贈ラル。

○佐原方面出発ノ時間余裕アリシヲ以テ、医大ニ伊東博士ヲ訪ヒ、卓治氏ノコトヲ問フ。博士ハ近頃支那ヲ視察セラレシ由ニテ、対支所見ヲ問フ。応接室ニテ弁当ヲ食ヒ、

自動車ヲ給セラレテ千葉駅ニ到ル。

○千葉駅ニハ土井氏待居リ見送ラル。又、増田氏ハ同行案内セラル。十二時十二分発、車中ヨリ被害地ヲ眺メツ、一時四十二分佐原著。役場ニ至リ町長ヨリ説明ヲ聴キ、役場員ノ案内ニテ防空監視所ニ登リ、利根川堤内地ヲ眺望ス。

○三時九分佐原発、三時四十五分成田著、小憩。四時三十五分成田発、五時十分布佐著、渡船ニテ役場ニ至リ説明ヲ聴キ、役場員ノ案内ニテ利根川堤防ヲ視察シテ役場ニ歸リ、町長齋藤三郎氏ヨリ陳述ヲ聴取ス。再ヒ渡船ニ依リ停車場ニ至ル。町長同行、詳細説明アリ。六時三十四分布佐発、七時柏ニテ千葉へ歸ル。増田氏ト別レ、七時四十一分上野著。地下鉄帝都線ニテ九時前帰宅ス。

〔欄外〕

○夕、朝比奈貞一來訪ス。理学士堀一郎氏内調ノ結果ヲ報告ス。

八月二十日（水）晴 曇 驟雨 蒸暑

○早朝、赤木正雄氏ヲ訪ヒ砂防協会ノ用務ヲ聴ク。

○利根、渡良瀬両川沿岸地ノ水害視察ヲ為ス。

○八時五十八分赤羽ニテ乗車、九時五十分栗橋著。東京土木出張所栗橋出張所勤務技手塩脇六郎氏、自動車ニテ出迎

フ。氏ノ案内ニ依リ利根川堤防ヲ視タル上、事務所ニ入ル。説明ヲ聴キ更ニ藤岡町量水事務所ニ向フ。古河、三国橋、海老瀬堤防、藤岡ヲ経テ十一時事務所ニ達ス。説明ヲ聴キ、弁当ヲ喫シテ発ス。時二十二時二十分ナリ。田中翁ノ靈祠ニ詣ス。

○自動車ニテ藤岡町ヲ通過シ、筑波村役場ニ前橋村長ヲ訪ヒシニ不在ナリ。依テ水害及対策ノ概要ヲ問ヒ、足利市ニ出テ土木出張所事務所ニ至リ、技師本城信治氏ニ面会ス。本城氏ヨリ渡良瀬川改修工事計画ノ概要ヲ聴キ、更ニ自動車ニテ桐生市ニ至リ渡良瀬川ヲ視、停車場ニ至リテ氏及塩脇技手ト別ル。

○四時二十四分桐生発、五時五十分前橋著。館林ノ出迎ヲ受ケ同車、官舎ニ至リ夕食ヲ饗セラル。六時三十一分館林ニ見送ラレテ前橋発、高崎ニテ乗換へ、七時六分高崎発（十分遅著発）九時七分赤羽著乗換、十時過帰宅ス。

八月二十一日（木）曇 驟雨 冷

○終日家居ス。

○朝、和田謙三氏來訪ス。池之上国民学校会費徴収ノ件ニ付報告アリ。次テ音楽演芸会ノコトヲ相談ス。

○十時過、松本龜五郎氏來訪。居宅修繕、井戸ポンプ整備等ノコトニ付相談ス（雨漏。壁落。建附直シ。金網戸。水

道切換。ポンプ手押備附。雨樋取替。外装、屋根、樋ノ塗替等。

○泰治ヨリ手紙到着。楠目氏方二ヶ月計リ滞在ノ由ナリ。又、米ノ配給ヲ受クル為、転出証明書ヲ求メラル。依テ直ニ其証明書ヲ受ケ、速達便ニテ三時頃発送ス。楠目氏へ挨拶状ヲ呈ス。

○東京営林局石井氏ヨリ来廿六日、七日小根山試験地視察ノ件ニ付打合セアリ。依テ館林ニ計画書ヲ送り、同行者ヲ決定シテ報告ヲ求ム。

○千葉県庁、織田書記官、土井技師、増田囑託。内務省土木局東京出張所本城技師、塩脇技手ニ謝状ヲ呈ス（絵葉書）。

○榛葉氏依頼ニ係ル堀一郎理学士ノ調査概要報告（朝比奈調査）ヲ発送ス。

〔欄外〕

○要ハ午後横浜へ赴ク。清水氏弔問ヲ兼ヌ。~~今夜十時~~直子同行ス。夜帰ル。

○午後、関屋光彦氏来訪ス。教会解散届ニ要ノ調印ヲ求メラル。之ヲ渡ス。

○夜七時半ヨリ佐藤雄氏方ニ隣組常会アリ、出席ス。防空設備、方法等ニ付協議シ、又防護団員ノ選定ニ関シ協議ス。九時半散会ス。

○興三八朝、日光へ赴ク。

八月二十二日（金）曇 小雨 蒸暑

○朝、長谷川直敏將軍ヲ訪問シ、町内ノ情勢、警防団ノコト等ヲ問フ。其他種々談話ヲ交換ス。

○十一時過、阿川昌朝氏来訪ス。北沢二丁目青年有志ノ報徳社結成計画ヲ報告シ、予ニ会長タランコトヲ求ム。之ニ対シ会長ノ地位ヲ避ケ十分ノ賛助ヲ為サンコトヲ約ス。町会ト警防団トノ関係其他ニ付質問シ、又私見ヲ陳フ。

○岡山県藤井静一氏ヨリ水蜜桃一箱ヲ贈ラル。

○貴族院議員子爵米津政賢氏逝去、告別式ヲ行ハレシヲ以テ弔拜ス（神式）。

○午後、船津傳次平ナル小説ヲ読了ス。

○篠田次助氏ニ防毒マスクノコトヲ問フ。氏不在ニ付、村松敬太郎氏ヲ煩ハス。其返事ハ電話ニテ了承ス。

○夕、佐藤雄氏ヲ訪ヒ、警防団員選出ノ件、マスクノ件ヲ報告ス。

○中泉、神谷文平氏ヨリ、曩ニ翼賛会視察員小野武夫博士ニ提出シタル水害報告及対策希望書ヲ送ラル。

八月二十三日（土）晴 蒸暑

○早朝及夕刻、犬蚤ヲ捕ル。計三十二、通計百ナリ。

○朝、前橋真八郎氏ト談話ス。足利ノ機業家ノ暴利ヲ聴ク。

其農耕業ニ対スル影響甚深刻ナリ。氏九時半去ル。

○朝、西本少尉ノ母堂来訪ス。

○午後二時頃角替利策氏来訪ス。匡子ノ婿ヲ太田藤一郎氏ニ男「空白」氏ト選定ノ希望アリ。依テ中津川長治氏ニ書状ヲ以テ其事ヲ依頼ス。

○午後、小川やゑ女史来ル。

○七時頃、伊東卓治氏来訪ス。

○三橋四郎次氏ヨリ大井川鮎獵ハ片岡要氏病氣ニ付、本年ハ延期センコトヲ通シ来ル。

○直子、明後朝出發西之宮へ帰ルニ付、午後曾祢氏ヲ往訪ス。夜帰宅ス。

〔欄外〕

○昇三郎ヨリ二十日発信、二十二日芦屋ニ帰り二十五日ヨリ出勤スヘシト報セラル。大ニ健康ヲ回復シタル由ナリ。

八月二十四日(日) 晴 蒸暑

○早朝、犬蚤ヲ捕ル、十六。

○朝、赤木正雄氏ヲ訪問シテ、水害地視察ニ付便宜ヲ与ヘラレシヲ深謝ス。

○終日家居、読書ス。又、靴ノ修繕ヲ為ス。

○直子明日帰家スルヲ以テ、朝要ト共ニ買物ニ行ク。午後荷物ノ用意ヲ為ス。

○夕、館林マス子兩児ヲ伴ヒ横浜ヨリ帰来ル。

八月二十五日(月) 晴 大暑

○直子西之宮へ出發ニ付、手伝ヲ為ス。

七時四十分出發。重友ハ荷物二箇ヲ持チ、要、マス子ト共ニ東京駅ニ見送ル。朝比奈夫妻ハ横浜ヨリ来リ見送ル。直子ハ九時發燕号ニテ帰西ス。

○要、重友ト駅内食堂ニテサトウ、カルピスヲ飲ム。要ト丸ビル内菊屋ニ至リ、燻製鱒、葡萄液ヲ求ム。

○要ト共ニ柴田氏ヲ訪問シ、重友結婚ニ付媒酌人タランコトヲ依頼シ承諾ヲ得タリ。柴田氏ハ秋田県へ出張中ノ由ニテ夫人ニ面会ス。

○午後二時頃、朝比奈アキ子来訪ス。夕八時頃帰ル。

○松村神奈川県知事ヨリ九月四日神奈川県尊徳会ノ發会ヲ期トシ、丸山式甘諸栽培法講習会ノ指導村ヲ定メテ開催セントノ書状ヲ受ク。依テ其旨ヲ報徳社及丸山氏へ報告シ、且松村知事へ返書ヲ呈ス。

○藤田久蔵氏ニ対シ、今月中ハ農事視察旅行困難ナルヲ返書ス。

〔欄外〕

○館林三喜男ヨリ明日ノ林業試験ニハ沼田、須藤両技手参加スル由通知アリ。



○重友、夜十時四十五分發ニテ乗鞍登山ニ赴ク。

八月二十六日(火)晴 暑

○昨日戸塚重一郎氏代海野真岳氏ヨリ、天城山木材伐採ノ件ニ付報告アリシヲ以テ、早朝返書ヲ呈ス。

○河田杰博士ノ案内ニ依リ、小根山国有林ニ於ケル間伐試験見学ノ為旅行ス。八時半上野発、東京営林局経営部長山内倭文夫氏同行、同局技手石井氏世話セラル。高崎ニテ群馬県技手須藤良策、沼田清志両氏来加ハル。又高崎営林署長代理属金子年氏同行案内セラル。十一時十二分横川著、同所担当区員ノ案内ニテ自動車ニテ小根山ニ赴ク。下車ノ時河田博士ノ出迎ヲ受ケ、先ツ縦植栽林ヲ見、杜仲ノ造林、優良杉植栽地(但多数枯死ス)等ヲ視ツ、博士ノ説明ヲ聴キ、十二時過造林小屋ニ著、中食ス。

一時半頃出發、北米三葉松、カナダ樺、オレゴンパイン、ストローブ五葉松、独乙トウヒ、ヒマラヤトウヒ、等外国樹種植栽試験ヲ見ツ、第四十林班<sup>マ</sup>イナル杉植栽林間伐施行地ニ至リ、博士ノ命ニ依リ間伐木選定及三四本ノ倒伐状況、ブリ縄攀登枝打作業等ヲ見学ス。ソレヨリ杉カラマツ混淆林、老幼母樹遺伝試験林(赤松、黒松、杉)等ヲ見テ造林小屋ニ帰ル(五時)。一泊ス。

〔欄外〕

○大森夫人、久み子、鈴木二平長女洋子来訪ス。

○興三日光ヨリ帰京ス。

○伊佐勇松氏来訪、去月二十四日同氏ノ申出ニ依リ揮毫セシニ、受任者六名ヨリ謝礼トシテ栗守酒二升ヲ贈ラル。

○防毒マスク七個ヲ町会ヲ経テ注文ス。

八月二十七日(水)曇 冷

○昨夜枕固クシテ睡眠十分ナラス。

○朝、約四十分ニ亙リ丸山式甘藷栽培法ヲ諸員及従事員ノ為ニ説明ス。

○九時過、第四十林班<sup>マ</sup>イニ至リ間伐実施ノ蹟ヲ視察ス。博士ノ説明ニ依リテ大ニ要領ヲ得タリ。博士ハ間伐手直シノ有無ヲ檢セシニ之ニテ完全ナリトテ樹冠疎開ノ要領及樹幹距離ノ均衡ヲ説明セラル。ソレヨリカラマツ、ヒノキ混淆林、サワラ、ケヤキ混淆林、栗樺純林、栗雜二段林、樺雜二段林等ノ試験成績ヲ視テ、十一時頃小舎ニ帰リ中食ス。

食後山内部長布井技手ハ中之条ヘ向テ出發ス。予等ハ三時出發、樺ノ列狀植栽、点狀植栽、落葉松内ニ樺植栽、杉植栽、ヒノキ植栽、栗植栽等ヲ見、各種杉樹下植栽ノ成績比較、赤松巨離<sup>巨離</sup>比較試験地、杉ヒノキ混淆林及手入方法試験等ヲ視察ス。河田博士一々詳細ニ説明セラル。

○四時横川担当区事務所著。小憩ノ上停車場ニ至リ四時五十分發（三時三十三分ハ混雜スルヲ以テ之ヲ避ク）帰京ス。高崎ニテ金子属、須藤、沼田両技手ト別ル。省電目黒ニテ河田博士ト別レ、九時過帰宅ス。

〔欄外〕

○小根山造林小屋ニ対シ規定ニ従ヒ食料二円五十錢ヲ払フ

○シオジノ杖及三波石ノ小ナルモノ三箇ヲ贈ラル。

○又、河田博士ヨリ著書、間伐ト林内簡易統計ヲ贈ラレ、更ニ赤松カラマツ植栽ノ疎密力成林状態ニ及ス影響ナル報告書ヲ贈ラル。

○夕、前橋真八郎氏ノ案内ニテ、篤農家黒澤西蔵（札幌市）大植啓治（大阪三島郡見山村）來訪、篤農者ノ提出セル建白書ヲ与ヘラル。不在ノ為面会セス。

八月二十八日（木）曇 晴 冷

○九時過男爵関義寿氏ノ紹介ニ依リ、熱田修一郎氏來訪シ伊東卓治氏ノ性質ニ付質問ス。氏ハ故大森健三氏ノ親友ナリト云フ。印肉汁ヲ贈ラル。

○朝、黒澤西蔵氏ノ旅館ニ電話ヲ掛ケ黒澤氏ト談話シ、昨夕來訪ニ付挨拶ス。

○十一時頃金原善三郎氏來訪ス。爾來九年間全国二千余ヶ所ニテ報徳ノ講話ヲ為シタルコトヲ報告セラル。氏今病患

アリ、身体衰弱シ氣息奄々タリ。種々就職ノコトヲ相談セラレシモ奈何トモスル能ハス。日暮而道遠ノ感深シ。

○二時、貴族院ノ調査部会第二部会ニ出席ス。大使館参事官田代重徳氏ノ現時下ノ国際外交話題ナル講演ヲ聴ク。

○藤岡町所在渡瀬川量水事務所松崎十郎氏ヨリ、去七月二十四日洪水ノ谷中遊水池ニ満水ノ写真ヲ贈ラル。

○清水市上清水一三三河原井喜久雄氏ヨリ、明日來訪ノ旨速達郵便ヲ受ク。

〔欄外〕

○重友ヨリ今日下山、明日帰ルトノ上高地發電報ヲ受ク。

○居林順平氏ヨリ黒部西瓜一箇ヲ受ク。

○世田谷税務署ノ要求ニ依リ、恩給ニ関スル報告書ヲ提出ス。

○朝比奈貞一ヨリ堀一郎氏ニ関スル金沢寿吉氏ノ内報書ヲ受ク。

八月二十九日（金）晴 暑

○朝、林業試験場ニ至リ、河田技師ニ面会シテ過日ノ配慮ヲ深謝ス。

○東京営林局ニ至リ山内倭文夫経営部長ニ謝意ヲ表ス。部長不在ニ付林業課長藤岡英雄氏ヲ通シテ挨拶ス。又技手石井誠氏ニモ面会ス。

○正午、中央亭ニ於ケル第二六六回日本国際協会午餐会ニ出

席ス。賀川豊彦氏ノ苦煩セル米国ノ状況ニ付有益ナル講話ヲ聴ク。

○高崎宮林署金子年氏及藤岡町松崎十郎氏ニ謝状ヲ呈ス。

○朝比奈貞一ヨリ堀一郎氏ニ関スル報告ヲ受ケシヲ以テ、電話ニテ手数ヲ謝シタル上、昨日ノ分ト共ニ之ヲ榛葉孝平氏へ送ル。

○夜九時過、重友乗鞍登山ヲ了へ帰来ル。

八月三十日(土)曇 小雨 冷

○朝、小根山林業試験成績ヲ精査ス。

○十一時頃、清水市河原井喜久雄氏来訪ス。愚庵和尚伝記頒布会賛成人トナリテ署名ヲ与フ。

○十一時、晚翠軒ナル全国治水砂防協会午餐会ニ出席ス。来会者ハ貴族院側西尾子、柴山男、松平男、白根、江口、中川、澤田、唐澤、河井、衆議院側小泉、鈴木、及幹事赤木氏ナリ。治水ニ関スル経費各省分ノ報告アリテ後、明年度砂防費削減ニ対スル態度ニ付申合セヲナシ、近ク大蔵、内務両大臣往訪ニ決ス。

鈴木英雄氏ト丸山方作氏招致ノコトヲ相談ス。

○館林マス子、一時四十五分發ニテ前橋へ帰ルニ付、見送ノ為上野ニテ乗車ス。竟ニ出会フ能ハス。赤羽ニテ下車帰宅ス。マス子ハ赤羽ニテ乗車セシ由ヲ聞ク。

○高柳暉氏来訪ス。聾啞教育事業ニ付助力ヲ求メラル。之ヲ諾ス。

〔欄外〕

○夕、丸山方作氏ヨリ来四日神奈川県ノ招キニ応シ来講スルモ差支ナシト報セラル。依テ神奈川県社会教育課長ニ電話ニテ其旨ヲ通シ、直接交渉セシム。

○小根山林業試験ノ成績ハ大ニ尊重スヘキモノト認メシヲ以テ、報告書ヲ黒磯北村技手ニ送ル。

○内舍人伊部癸未一氏逝去ノ由ヲ聞ク。香料五円ヲ呈スルコトヲ約ス。

八月三十一日(日)雨 冷

○九時半頃横浜、神奈川県知事官舎ニ松村知事ヲ訪ヒ、甘藷増産講習ノ為丸山方作氏招聘ニ付相談ス。其他農業ノ発達ニ関シ、種々意見ヲ交換ス。甚有益ナリ。之カ為ニ計ラス長座シ、終ニニューグランドニ招カレ午餐ヲ饗セラ

ル。  
食後伊勢山ノ検事正官舎ニ一木検事正ヲ訪ヒシニ、未移転セサル由ニ付名刺ヲ置キテ去ル。横浜駅ニテ知事ト別

ル。  
○角替利策ヲ訪問セシニ匡子ノミ在リ。甘藷栽培ノ成績ヲ一見ス。三時十五分程ヶ谷駅發ニテ帰ル。車中米山梅吉氏

ト同席ス。

○三橋四郎次氏ノ書状ニ依リ、本年大井川ノ鮎獵ハ、片岡要氏腎臓炎ニ罹リシニ由リ、明年ニ延期セラレタシトノ申出ヲ、電話ニテ岡部子、前田男、山川、大塚、諸氏へ通ス。尚、出渕氏、関屋氏へハ葉書ヲ呈ス。

○来月五、六、七ノ三日ニ亙リ、神奈川県尊徳会主催、同県社会教育課ノ幹旋ニテ、甘藷栽培法講習会ヲ足柄上郡福沢村、中郡成瀬村、高座郡綾瀬村ニ開クニ決セシヲ以テ、其事ヲ鈴木代議士、榊原中将未亡人及名取和作氏へ通知ス。

九月一日(月)曇 冷

○興亜奉公日ニシテ又震災記念日ナリ。十九年前ノ此日ヲ回想シテ感慨更ニ新ナリ。

○朝、要ト共ニ八幡神社ニ参詣ス。帰途斬髪ス。

○杉本良氏ヨリ書状到著。片岡録朗氏報告ニ係ル堀信次氏家庭調査ヲ受領ス。依テ之ヲ京城榛葉孝平氏へ贈ル。又、杉本、片岡両氏へ謝状ヲ呈ス。

○榛葉孝平氏ニ対シ利根川水害所見ヲ述へ、北浦ト鹿島灘トヲ連結スル放水路開鑿方法ノ有無ヲ問フノ書状ヲ発ス。

○午後四時頃、前橋真八郎氏来訪ス。今夕中央公論社主催ノ食糧増産ニ関スル座談会ニ出席スト云フ。依テ甘藷増産

ノ写真(西郷村実況、一株二十貫、一坪七貫八百六十匁、実画)ヲ貸ス。

○夕、田村角太郎氏来訪ス。内田明氏近ク理事官ニ任セラルヘシトテ大ニ不平ヲ述フ。

○午前午後ニ亙リ各種調査記録ヲ整理記入ス。  
〔欄外〕

○途上ニテ和田謙三、田中〔空白〕、大瀧靖、三氏ニ出合ヒ、(1)死亡児香料贈呈吊問ノ件、(2)会費増徴ノ件、(3)演芸会延期ノ件等ヲ話ス。

○電話ニテ鈴木英雄氏ト交話シ、丸山氏来講ニ付打合せヲ為ス。

○恩給請求書ヲ發送ス。

九月二日(火)晴 冷涼

○昨夜胃痛ヲ覚エ、朝来本復ス。要ハ昨夜嘔吐アリ。又腹痛ス。重友ハ夜来胃痙攣ヲ発シ、終日臥床。堀先生来診ス。

○式部官伊丹寅治氏(元内舍人)ヲ弔問ス。

○篠田良二氏ヲ訪問シ、神宮神域并宮域ニ於ケル国土及森林保護方法ニ付意見ヲ述ヘテ批判ヲ求ム。神域内ノ樹木ニハ作業ヲ為サストスルノ点、意見ヲ異ニス。神路山内耕地関係ニ付明確ナルヲ得タリ。

○新宿三越ニ至リ線香一箱ヲ求メ、之ヲ伊林順平氏へ送ル(代

二円五十銭、包装費送料五十五銭)。帰宅後、伊林氏へ父君逝去ニ付弔状ヲ発ス。

○京都矢野仁一博士来訪。土地売渡ニ付謝意ヲ表セラル。予不在。

○神奈川県知事松村光磨氏ヨリ電話ニテ、丸山氏招聘講習会開催箇所増加ノ件ニ付相談アリ。同氏来県ノ上ニテ定メラレンコトヲ求ム。又、来県ノ時刻ヲ電報ニテ照会センコトヲ求ム。

○明日ノ東遠明朗会ニハ不参ノ旨ヲ小野副会長へ電報ス。

九月三日(水) 快晴 清涼

○朝、小林次郎氏来訪ス。貴族院調査会費要求ノ件、臨時議會開否ノ件、等ニ付談話ス。

○篠田良二氏来訪ス。神宮関係整備事業ニ付、補遺的説明アリ。

○十一時半頃、赤坂区表町下条氏方ニ矢野仁一氏ヲ訪問セシニ、昨日吉浜村別荘へ赴ケリト云フ。

○正午、治水砂防協会ニ出頭ス。木檜三四郎、鈴木英雄、男爵柴山昌生、諸氏アリ。中食ヲ為シツ、大蔵内務両大臣往訪ノ要旨ニ付相談ス。食後中井代議士、西尾子爵来会ス。二時、大蔵大臣官邸ニ小倉蔵相ヲ訪ヒ、十六年度砂防費ノ節減又ハ繰延ヲ為ササルコト、十七年度以降砂防

費ハ増加ノ必要アルモ減額スヘカラサルコトヲ实例ヲ挙ケテ力説ス。ソレヨリ一同内務次官ヲ官舎ニ訪問シ、萱場次官ニ面会シテ同様陳情シ、内務大臣ニ取次ヲ依頼ス。中井、鈴木両氏ハ赤木氏ヲ内務省ニ訪問ス。

○夜、熱田修一郎氏来訪ス。伊東卓治氏へ深津寿子ヲ嫁セシメタシトテ勸説方ヲ依頼セラル。

九月四日(木) 晴 夜小雨 暑

○神奈川県尊徳会発会式、及二宮神社祭典ニ列席ノ為小田原へ赴ク。

○六時三十五分出發、池ノ上ヨリ乗車、地下鉄ニテ新橋ニ至ル。池ノ上ヨリ赤木氏ト同車ス。内務省ニ国土局新設ノ結果、砂防課廃止ノコトヲ聞ク。

○七時十八分新橋發、八時五十三分小田原著、車中ニテ中川望、佐々井信太郎、小串清一、学務部長桃井直美諸氏ト出会フ。

小田原ヨリ小田急ニ乗換ヘ富水ニ下車、柳新田ナル二宮先生誕生ノ宅(渡辺善太郎氏住)ヲ見テ、徒歩先生ノ誕生地ナル会場ニ著ス。十時開式、儀礼ノ後、経過報告、知事式辞、文部大臣、日本報徳会、大日本報徳社、神奈川県會議長、横浜市長其他ノ祝詞、佐々井氏ノ祝詞アリテ散会ス。来会者六七百人、ソレヨリ徒歩、捨苗植栽地、

仙了堤、栢山駅、坂口ノ堤防、二宮総本家ヲ経テ善栄寺ニ著。正午赤飯ヲ饗セラル。食後、先生木像ニ焼香シ遺物ヲ拝見ス。一時半自動車ニテ小田原ニ向ヒ、二時前二宮神社ニ著ス。三時前祭典ヲ了リ、国民学校講堂ノ座談会ニ出席ス。中川望氏ニ次キ予ハ甘藷栽培ニ付簡単ナル講話ヲナシ、四時二十分退出ス。

○丸山氏四時四十四分著ノ予定ニテ出迎ヘシモ来ラス。五時七分発ニテ帰京ス。

〔欄外〕

○夜九時、読売新聞社員（社会部）熊倉一夫氏来訪。甘藷増産ノ事績ニ付質問ス。

○鈴木とし用務終了帰宅ス。

○篠田治策氏夫人来訪ス。

○三橋四郎次、河合亮之助両氏ヨリ夫々梨ヲ贈ラル。

九月五日（金）曇 小雨 冷

○朝、町会長阿川昌朝氏ヲ訪ヒ、町内有為ノ青年ヲ選ミ、来月一日開催セラルヘキ報徳講習会ニ参加セシムルヤウ勸誘シ、東京府総務部振興課米田主事（要吉氏）ノ名刺ヲ渡ス。

○九時頃、柴田善三郎氏ヲ訪ヒ、媒酌人タルコトヲ謝シ、結婚ノ仕度、日取、方法等ニ付希望ヲ述フ。又鈴木登氏令

嬢結婚ノコト、堀一郎氏ノコト、榛葉孝平氏居宅ノコト、静陵高女拡張資金募集ノコト、久連国民高等学校ノコト等ヲ談話ス。

○十一時三十分新宿発、小田急ニテ松田ヘ向フ。途中小便ヲ催シ、竟ニ伊勢原ニ下車ス。一時間遅刻ノ結果トナル。二時十三分頃松田ニ著。直ニバスニテ福沢村ニ至リ徒歩、役場ニ至ル。更ニ小学校ニテ開催ノ甘藷増産講習会ニ列席ス。丸山氏五時過マテ講演ス。予モ簡単ナル小話ヲ試ム。五時過散会ス。村長市川実太郎氏熱心ニ斡旋セラル。県社会教育主事補陶山千春氏、丸山氏ヲ案内スル為附添ハル。バスニテ松田ニ出テ、六時頃ノ急行ニテ帰ル。伊勢原ニテ丸山、陶山両氏ト別ル。八時帰宅ス。

〔欄外〕

○丸山氏ト左ノ件ヲ打合ハス。

(1) 新宿御苑、女高師ノ成績検査ノ件。

(2) 甘藷栽培方法ヲ確立スル為權威者ノ座談会開催ノ件。

(3) 豊橋方面甘藷栽培成績視察団結成ノ件。

○夜八時半頃、館林マス子ヨリ電話ニテ、館林ハ明日新潟ノ防空局業務課長ニ転任決定ノ由、通知アリ。

○瀬古夫人来訪ス。

○戸田八重子来訪ス。今夕京都ヘ還ルト云フ。病氣ニ羅リ修業ニ堪ヘサルカ故ナリ。

九月六日(土) 快晴 頗暑

○秋晴烈日、万物力ヲ発ス。

○朝、館林方へ送ルヘキ包装用カンバスノ類ノ荷物ヲ為ス。

○次田大三郎氏ヨリ電話ニテ、沖縄県選出多額議員仲村清栄氏ヲ同成会ニ勧誘方ニ付相談アリ。其結果、小林翰長、塚本清治両氏ニ問合セテ伊澤多喜男氏へ速達便ヲ発ス。又、小林一三氏勧誘ノ件ニ付、次田、柴田、塚本三氏ト相談ス。

○午後、男爵岩村一木氏ヨリ電話ニテ、来十日過大阪へ出張スヘキニ付帰途引佐郡ニ立寄り、藤田、樽井諸氏ノ実験ニ係ル稲藺ニ対スル硫酸性肥料ノ効果ヲ実見スヘシト通セラル。依テ日程決定ノ上ハ速ニ通知ヲ乞フコトトシ、其旨ヲ藤田久蔵氏へ通信ス。

○館林三喜男内務書記官ニ任セラレ、防空局業務課長ヲ命セラル。右ニ付柴田氏、小林次郎氏、柴沼惣吉氏ヨリ祝意ヲ表セラル。

○泰治へ住友生命保険会社ノ証書ヲ送ル。

○興三、本日ヨリ登校ス。

〔欄外〕

○朝、宮内省大蔵頭黒田長敬氏ニ電話ヲ以テ、丸山方作氏今回ハ新宿御苑ニ出頭セサルコトヲ告ク。

九月七日(日) 快晴 頗暑

○朝、赤木正雄氏ヲ訪ヒシニ不在ナリ。

○堀先生ヲ訪ヒシニ不在ナリ。三島淳三郎氏ノ為ニ奉職ノ途ヲ依頼セシニ、同氏未来訪セサルヲ以テ当分其儘差置カレンコトヲ乞フ。

○朝、伊東弥恵治氏へ電話シ、熱田修一郎氏依頼ニ係ル深津寿子嬢トノ縁談促進方ヲ勧告ス。右ニ対シ、本日伊東夫人ト卓治氏ト再ヒ寿子嬢ニ会见ノ為往訪スヘシト答ヘラル。

右ノコトヲ男爵関義壽ニ電話シ、熱田氏へ通告ヲ頼ム。

○要、午後一時四十五分発ニテ前橋へ赴ク。興三ヲシテ上野マテ送ラシム。予モ同道、渋谷駅ニテ荷物ヲ託送シ、又別ニ三島甫へ茶ヲ送り、ソレヨリ地下鉄ニテ上野ニ至リ、車中ニテ面会ス。赤羽ニテ下車シテ上野ニ戻リ、地下鉄及バスニテ帰宅ス。

○藤田久蔵、樽井虎一両氏ヨリ掛川ヨリノ電話アリ。東京農業教育専門学校教授山本狷吉氏ニ面会センコトヲ求メラル。

○夕、伊東弥恵治氏夫人及卓治氏来訪ス。本日深津寿子嬢ト会见シタリト云フ。切ニ良縁ノ成立ヲ勧ム。

九月八日(月)曇 冷

○終日家居。書齋ノ片付ヲ為ス。夜九時半ニ至リテ止ム。

○耳鳴リ烈シクシテ敏感ナルモ聴力鈍レルカ如シ。夜堀先生ヲ訪ヒ血圧ヲ計ル。最高一五六、最低七八ナリ。耳鼻科専門医ニ治療ヲ受クルコトヲ勸メラル。

三島淳三郎氏就職ノ件ニ付、堀先生ヨリ明夕心当リノ病院長ニ相談スヘシト告ケラル。依テ明日三島氏ノ意向ヲ問フヘキニ付、其上ニテ為サレンコトヲ乞フ。厚意深謝スヘシ。

九月九日(火)晴 暑

○十時、日本俱樂部ニテ松本亀五郎氏ト会見シ、井戸ヲ水道ト切替設計ノ件、手押ポンプ設備ノ件、桶修繕ノ件、壁塗換ノ件、家屋外部塗換ノ件等ニ付相談ス。其結果、水道設計申請書ニ調印セシモノヲ渡ス。又磯部組石間令吉氏宛紹介ノ名刺ヲ渡ス。

○十一時過、三樂病院ニ三島淳三郎氏ヲ訪ヒ、堀先生ノ配慮ヲ告ケテ所信ヲ問フ。内科医長ノ計ヒテ本月中ニ適當ナル仕事ヲ得ヘシトノコトナリ。軽挙ナキヤウ希望ヲ述フ。

○十二時過、磯部耳鼻咽喉科医院ニ至リ、耳ノ診療ヲ乞フ。咽喉腫脹セルモ耳ニハ異状ヲ認メスト云フ。通風ヲ試ミシニ左右共良ク通ス。聴力ハ今春ト異ラス。

○堀先生ヲ訪ヒ三島氏ノ現状ヲ告ケ、今暫ク相談ヲ見合セラレンコトヲ乞フ。

○伊佐勇松氏來訪ス。要見舞ノ為ナリ。好意忘ルヘカラス。

○夜、昇三郎ヨリ電話アリ。館林ノ榮転ヲ祝シ、直子ノコトヲ心配セラル。

○書齋ノ取片付ケヲ為ス。進捗鈍シ。

九月十日(水)雨 冷

○朝、前橋ナル要ヨリ電話アリ。館林ハ午前十時四十四分發ニテ上京シ、一同八十二日上京(又ハ十三日)ニ決セリト云フ。

○十時、同成会例会ニ出席ス。塚本、次田、中川、柴田、入江、下條、小坂梅、片倉、塩田、熊谷諸氏出席ス。当面ノ諸問題ニ付意見ヲ交換シタル上、沖縄県選出仲村清榮氏ヘ入会勧誘ノ件、小林一三氏ヘ入会勧誘ノ件ヲ決定シ、貴族院調査会費用ヲ政府ニ要求ノ件ニ付所見ヲ交換ス。十二時前散会ス。

○正午、晩翠軒ニテ全国治水砂防協会役員会アリ、出席ス。末次会長以下両院議員他二十数名出席ス。内務省ニ国土局設置ノ結果ニ付所見ヲ交換シ、結局俵、岡田忠、植原、大河内子、次田氏、河井ノ六名ヲ挙ケテ内務大臣ヲ訪問セシムルコトトナリ散会ス。委員ハ明日三時半、事務所



ニ集合シ、打合セノ上往訪ノ筈ナリ。

○堤康次郎氏ヨリ徳川公爵所有地売却ノ件ニ付会見ヲ求メラ  
ル。之ヲ承諾セシニ、氏ノ時間都合悪シキ由ニテ明日ヲ  
期スルコトナル。

○四時半徳川公爵家ノ家政相談人会ニ出席ス。夕食ヲ饗セラ  
レ、八時半散会ス。井出、土方、成田、石渡、井出席  
ス。

〔欄外〕

○館林三喜男、午後六時頃来著ス。

○故榊原昇造中将夫人香世子刀自ヨリ、將軍邸産ノ栗実ヲ贈  
ラル。

○男爵関義寿氏ヨリ伊東卓治氏ト深津寿子嬢トノ縁談進行ノ  
模様ヲ聞ク。結局予ニ媒酌ヲ求ムルノ意向アリト云フ。

九月十一日（木）雨 冷

○朝、伊澤多喜男氏ト沖縄県多額納税者議員仲村清栄氏同成  
会入会ノ件ニ付談話ス。

○十時前、塚本清治氏ト共ニ男爵伊江朝助氏ヲ訪問ス。其結  
果沼袋ニ竹越与三郎氏ヲ訪フ。不在ナリ。

○西武線ニテ塚本氏ト別レ、正午中央亭ニ於ケル日本国際協  
会午餐会ニ出席ス。泰大使館一等書記官内山清氏ノ「泰  
国ノ重要性ト最近ノ日泰関係」ナル講話ヲ聴ク。甚有益

ナリ。

○丸ビルニ至リ、磯部耳鼻科病院ニテ治療ヲ受ケントセシモ、  
磯部氏不在ノ為治療ヲ受ケス。

○二時四十分頃、全国治水砂防協会ニ到リシニ、赤木正雄氏  
ヨリ内務大臣ハ三時官邸ニテ面会スルニ決定セシ由ヲ聞  
ク。依テ直ニ官邸ニ赴ク。三時半頃、俵、岡田、植原、  
大河内子（次田氏不来）ト、(1)砂防ノ必要益々増加スル  
ニ拘ラス、内務省国土局ノ出現ハ之ヲ輕視スルノ虞ナキ  
ヤ、(2)地方庁ニテ砂防課廃止ノ氣運ヲ作ラスヤ、(3)既定  
継続費ノ節減繰延不可論ヲ詳細痛論ス。

〔欄外〕

○静岡市所在徳川公別邸附属地売却ニ付、買受希望ノ有無ヲ  
片山嘉太郎氏及昇三郎へ問合ハス。

○榊原將軍令夫人へ挨拶状ヲ發ス。

九月十二日（金）曇 冷

○東京聾啞技芸学園主高柳暉氏ノ事業ニ助成ヲ得ル為、朝、  
米山梅吉氏ヲ訪ハントセシニ病中ノ由ニテ中止ス。其代  
リニ同氏ヲ日本俱樂部ニ招キ、柴田善三郎氏ノ紹介ヲ得  
テ、山口安憲氏ヲ訪問スルコトヲ勸メ、柴田氏ニ同氏ヲ  
紹介ス。

○朝、磯部病院ニ至リ耳ノ診療ヲ受ク。

○十一時頃関屋夫人ヲ訪問ス。正彦氏、群馬合同銀行頭取秘書役トナル件ニ付、予ノ意見ヲ求メラル。関屋氏ハ反対ナリト云フ。

○十二時半頃、東京農業教育専門学校ニ山本狷吉教授ヲ訪問ス。硫專肥料ノ効力ニ関シ所見ヲ問フ。又、之カ供給ヲ受クル方法ナキヤニ付相談ス。二時帰宅ス。

○四時、日本倶楽部ニ至リ堤康次郎氏ニ面会ス。徳川公爵家ノ土地処分ヲ、箱根土地株式会社ニ経営セシメラレタシトノ趣旨ニテ談話アリ。其趣旨ヲ十分ニ聴取ス。又、氏ノ厚意ヲ謝ス。

○五時、丸ノ内会館ニ開会ノ林政研究会ニ出席ス。中央林業協力会設立ニ付加盟ノ件ヲ決定ス。後藤文夫氏会長トナル筈ナリ。

〔欄外〕

○途上中村藤兵衛氏ニ出会ヒシヲ以テ、池之上国民学校後援費寄附ニ付宮脇梅吉氏へ勧誘ヲ依頼ス。

九月十三日（土）晴 冷

○朝、経堂ニ古島一雄氏ヲ訪ヒシニ、未富士見ヨリ帰ラスト云フ。

○下北沢駅ニテ山口安憲氏ト邂逅ス。依テ高柳暉氏ノ聾哑技芸学園助成ノコトヲ依頼ス。

○神奈川県庁ニ松村知事ヲ訪問シ、尊徳会ニ招カレシ厚意ヲ深謝シ、且甘藷栽培法ノ講習会ニ付謝意ヲ表ス。尚右速記録ノ完成及普及ノコト、斯業ノ確立ニ至ルマテハ丸山氏ヲ招聘セラレンコトヲ希望ス。序ヲ以テ学務部長、社会教育課長及陶山主事補ニ面会ス。

○朝比奈貞一方ヲ訪フ。昼食ヲ饗セラル。

○二時過、文部省ニ開催ノ報徳経済学研究会ニ出席ス。稲垣正信氏ノ幕末ノ経済事情ト尊徳翁ナル講演アリ。中川副会長ヨリ促サレテ神奈川県ニ於ケル甘藷栽培運動ノコトヲ談話ス。

○四時半ヨリ軍人会館ニ開催ノ静岡育英会理事会ニ出席ス。今月末ヲ以テ任期満了トナルヘキ理事監事補任ニ付相談ス。

〔欄外〕

○中津川長治氏ヨリ角替家希望ニ係ル太田実氏ヲ養子ニ迎ヘタキ件、申入レシ事情ヲ報告アリ。依テ其事ヲ角替ヘ通知ス（郵送）。又中津川氏ヘ謝状ヲ呈ス。

○杉本良氏ヨリ堀一郎氏ノコトヲ報告セラル。依テ其報告書ヲ榛葉氏ニ送ル。

○重友夜行ニテ大月ヘ赴ク。三ッ峠方面ヘ旅行スト云フ。

○久保春海氏ヨリ結婚談アリトテ其次第ヲ報告アリ。候補者ニ関シ古澤秀弥氏ニ問合ハスコトヲ約ス。

九月十四日(日)曇 小雨 蒸暑

○塚本清治氏ヨリ電話アリ。共ニ竹越與三郎氏ヲ訪問ス。沖縄県多額納税者仲村清栄氏ヲ同成会ニ入会セシメントスルニ付、同意ヲ得タシト求ム。氏ハ之ニ対シ、既ニ昨日交友倶楽部ニ入会ノ手續ヲ了シタリト答フ。貴族院最近ノ状勢ニ付談話シ、十時半去ル。

○磯部病院ニ至リ耳ノ治療ヲ受ク。経過良好ナリ。

○赤池濃氏ヲ訪問シテ夫人ヲ迎ヘラレシヲ祝賀ス。氏ハ夫人ト共ニ郷里ヘ赴カレタリト云フ。

○帰宅ノ上、竹越氏訪問ノ状況ヲ電話ニテ伊澤氏ニ報告ス。

○朝、町会長阿川昌朝氏ヨリ、来月一日ヨリ横浜振興会館ニ開会ノ報徳講習会ニ参加希望者二名ノ氏名ヲ通知シ来ル。

○侯爵松平康昌氏、令嗣康愛君、徳川慶光公令妹久美子嬢、結婚披露茶会ニ出席《三時半、華族会館》。慶祝ノ意ヲ表ス。

○久保春海氏ノ結婚問題ニ付夫人候補者ノ人物、意向ニ関シ徳川家家扶古澤秀弥氏ニ質問ス。

〔欄外〕

○松村神奈川県知事ヨリ鄭重ナル挨拶状ヲ受ク。依テ之ヲ報徳社本社ヘ送付ス。

○重友夜九時前三ッ峠登攀ヲ了リ帰宅ス。

○前橋ナル要ヨリ、一同明日午前十時四十四分発ニテ来京ス

ヘク、又荷物ハ貨物自動車三台ニテ十二時前到着スヘシト電話ニテ報シ来ル。依テ貴族院田村属ニ依頼シ、小使三名ノ手伝ヲ得ルコトトス。

九月十五日(月)曇 小雨 冷

○朝、前橋ヨリ電話アリ。降雨ニ付荷物運搬ヲ中止スルコトトス。依テ其旨ヲ田村氏ニ通ス。

○館林等当分滞在ニ付、米配給量増加ノ手續ヲ為ス。

○町会事務所ニ至リ、右手続ヲ為スト共ニ、昨日阿川昌朝氏ヨリ推薦セラレシ報徳講習会参加ニ青年ノ氏名ヲ問フ。幸倶楽部ヨリ東京府総務部振興課米山要吉<sup>助</sup>氏ニ其旨ヲ報シ、便宜ヲ計ラレンコトヲ依頼ス。

○十時、貴族院議長応接室ニテ各派交渉会アリ、出席ス。北支中支皇軍慰問団派遣ノ件、本州中部以西傷病將兵慰問団派遣ノ件ヲ決定ス。幸倶楽部ヨリ同成会員ニ通知ス。

○男爵前田勇氏トアメリカンベーカー<sup>方</sup>ニ至リ昼食ス。

○第一銀行支店ニ至リ、預金百円ヲ引出ス。

○二時ヨリ貴族院調査部会第一部会ニ出席、大蔵省主税局長松隈秀雄氏ノ最近ノ租税問題ニ付テナル講話ヲ聴ク。

○要ハ三時頃館林一家(母堂、マス子、二児、女中)五名ト来著ス。

〔欄外〕

○阿川町会長ヨリ推薦セラレシ青年左ノ如シ。

四八番地 下平富士男 (21)

七八番地 澤田廣明 (22)

○交渉会ノ後、岡喜七郎氏ニ出会ヒ、(1)末広会開催ノコトヲ相談ス。(2)仲村清栄氏交友俱樂部入会ノ有無ヲ問フ。未入会セスト答フ。

○幸俱樂部ニ伊江男ト会见シ、去十一日ノ配慮ヲ謝ス。又、昨日竹越氏往訪ノ結果及本日岡氏ト会談ノ内容ヲ告ク。

竹越氏ノ談話ニハ少シク虚偽ノ点アルカ如キモ、之ヲ追窮セサル心得ニテ男爵ト対応ス。

○小林書記官長母堂昨日郷里ニ於テ逝去セラル。依テ帰途官舎ヲ訪ヒ、弔意ヲ表ス。

九月十六日(火)曇 小雨 冷

○館林ノ荷物十二時過到著ノ予定ニ付、物置ニ在ル簞笥其他ヲ撤去シ夫々ニ据置ク。

○貴族院ヨリ小使三名九時頃来援、大ニ整理ヲ為ス。

○十一時、磯部病院ニ至リ耳ノ治療ヲ受ク。左腕ニ付血压ヲ計リシニ二百八十アリ。依テタ五時過堀医師ヲ訪ヒ、血压ヲ測リシニ左百三十四。右百四十四ナリ。

○十二時過、新宿三越ニ至リ最上線香一束(二円)ヲ求メ、之ヲ持チテ子爵仙石久英氏ヲ新居ニ訪問シ、子爵ニ面会

シテ故政敬子ノ牌前ニ焼香ス。二時前帰宅ス。

○館林ノ荷物十二時半頃自動車三台ニ満載シテ到著ス。前橋ヨリ巡査部長及給仕各一名、防空局ヨリ係員一名来リ、貴族院ノ小使ト共ニ片付ヲ為ス。五時頃大体ヲ終了ス。乃チ一同ニ酒ヲ呈シ勞ヲ犒フ。又、謝金三円宛ヲ贈ル。

○八月十一日自宅ニテ撮影セル南郷村明朗会員写真到著ス。

九月十七日(水)雨 冷

○千駄ヶ谷公爵家ニテ東照宮例祭ヲ行ハルルニ付、十時二十分参邸拝礼ス。

○十二時前、日本俱樂部ニ至リ、食後伊澤多喜男氏ト会见ス。伊澤氏ヨリ中央林業協力会ノ理事長タルコトヲ勸説セラ。強ク之ヲ辞退ス。

○日本俱樂部ニ対シ、本年一月以来ノ会費及諸費総計五十七円五錢ヲ支払フ。

○二時ヨリ貴族院調査会第一部会ニ出席ス。内務省警保局村田五郎書記官ノ「思想問題概観」ナル講演ヲ聴ク。

○館林三喜男ハ昨夜十一時頃ヨリ腹痛及吐気アリ。軽症ナカラタ刻迄継続ス。依テ堀先生ノ診察ヲ受ケシメシニ軽度ノ盲腸炎ノ疑アリ。更ニ血液中ノ白血球数ヲ検査スル為、耳朶ヨリ血液ヲ採リ去ル。

手当トシテハ患部ヲ氷嚢ニテ冷却ス。

○小林次郎氏へ弔詞ヲ呈シ、香料金十円ヲ贈ル。

同成会ヨリ香料三十円ヲ呈シ、又会員へ死去ノ旨ヲ通知ス。

九月十八日(木) 雨 冷

○朝、後藤文夫氏来訪ス。林業中央協力会副会長(?)ニ就任交渉ヲ懇望セラル。甚困却ス。

○終日家居ス。河田博士著「間伐と林内簡易統計」ノ中、間伐ノ部分ヲ読ム。

○東京府庁振興課米山要助氏ヨリ報徳講習会要旨ヲ送り来リ、且下平、澤田両氏参加許可ノ取計ヲ為スヘキヲ通セラル。依テ其手紙ヲ阿川町会長ニ送り且手続ヲ指示ス。

○高尾帝室林野局事務官ヨリ、長谷川將軍ノ為問合セタル竹内敏男氏ニ関スル内調査ヲ送ラル。依テ直ニ之ヲ將軍ニ呈ス。

○午後、中泉神谷夫人来京セリトテ要ニ電話アリ。要ハ明日松坂屋ニ赴クヘキヲ約シ、且我家へ来訪ヲ求ム。

○午前中、堀先生来診ス。舘林ハ輕微ナル盲腸炎ト決定ス。之力為、明日山口県へ出張命令ヲ受ケタリシヲ取消ヲ申入ル。

○丸山方作氏ヨリ、十八日早朝出發高田市方面へ赴クコト、豊橋方面甘藷栽培状況視察団派出要求ヲ呈示セラル。

九月十九日(金) 雨 夜晴 冷

○朝強雨、午後ヨリ次第ニ歇ム。東北風強ク冷氣甚シ。

○岡喜七郎氏ヨリ電話ニテ、芳澤謙吉氏ハ十月八日ニ非サレハ末広会ニ出席スル能ハサル由ヲ告ケラル。又、末広ノ都合ハ宜シキ由ナルヲ以テ各員ニ案内状ヲ發ス。又、芳澤氏へハ鄭重ナル案内状ヲ出ス。

○磯部病院ニ至リ耳ノ治療ヲ受ク。

○帝室林野局ニ高尾事務官ヲ訪ヒ、戸塚重一郎氏ヨリノ申出ニ依リ、同氏ヲ天城出張所長ニ紹介スルノ名刺ヲ受ク。帰宅ノ上、戸塚氏へ速達便ニテ之ヲ送付ス。

○中泉神谷氏夫人、敏子嬢ト共ニ上野松坂屋ヨリ電話ニテ要ヲ呼フ。要ニ二時頃出發、七時頃帰ル。

○七時半ヨリ佐藤氏方ニ隣組常会アリ、出席ス。明後日特ニ行ハルヘキ町内防空演習ニ対スル打合せヲ為ス。

○夜、柴田善三郎氏ヨリ電話ニテ小林一三氏同成会勧誘ノ件、高柳暉氏ノ為明朝米山梅吉氏往訪ノ件ヲ相談ス。

〔欄外〕

○水谷熊吉氏ヨリ神奈川県ノ招聘ニ応シテ、同県主催ノ蔬菜栽培指導講習会ニ講師トシテ出席スヘキ旨ヲ返事アリ(十六日ノ發状ニ対ス)。

九月二十日(土) 晴 暖

○柴田善三郎氏ト打合セノ結果、午前九時渋谷駅ニテ出合ヒ同道、米山梅吉氏ヲ訪問ス。高柳暉氏ノ事業ニ対シ三井報恩会ヨリ助成ヲ得シカ為ナリ。米山氏病氣ノ為空シク帰ル。夜、同氏ニ対シ依頼状ヲ発ス。

○柴田氏ト日本俱樂部ニ至リ、(1)重友結婚式決定困難ナル事情ヲ告ケ、神谷氏ヘ取次ヲ乞フ。(2)林業中央協力会ヘ勧誘セラレシ件ヲ相談ス。(3)久連国民高等学校援助ノ件。(4)甘藷栽培成績視察團結ノ件等談話ス。

○十一時三十分農林省ニ農政局長岸良一氏ヲ訪フ。(1)甘藷貯蔵方法ノ必要ヲ説ク。(2)豊橋方面甘藷栽培地視察ヲ希望シ、局長ノ都合ニ依リテ日時ヲ決定スルコトトシ、人選ニ付局長ノ詮議ヲ求ム。

○鉄道省自動車課ニ至ル。右視察團ノ為専用バス運転ノ能否ヲ問フ。

○明日、町内ノ防空演習ニ付必要ナル諸品ノ用意ヲ為ス。

○夕、町会長阿川氏来訪。下平、澤田両氏ヲ報徳講習会ニ推薦ノ為区役所ヘ出頭、打合セタル結果ヲ報告アリ。

#### 〔欄外〕

○白須賀町田村勉作氏ヨリ神奈川県ノ招聘ニ応スヘシトノ返書アリ。

○水谷、田村両氏応諾ノ旨ヲ松村神奈川県知事ニ報告ス。

○鈴木梅太郎博士ノ令嬭文助氏ノ病氣ヲ見舞フ。博士夫人ニ

面会ス。

○丸山方作氏ニ対シ、本日農政局長ニ面会シタル件ニ付、詳細報告ノ為書状ヲ発ス。

○館林ハ盲腸炎全快ノ由、堀医師ノ診断アリ。

九月二十一日(日)晴 暖

○早朝ヨリ町内防空演習ノ用意ヲ為ス。

○九時、池之上国民学校創立第一周年記念式ニ出席ス。校長ノ訓示アリタル後、簡単ナル談話ヲ為ス。次ニ北沢三丁目校長ノ祝辞アリ。天皇陛下万歳三唱、池之上学校万歳三唱ノ上、散会ス。

○次ニ祝賀会アリ。サイダーノ盃ヲ挙ク。設備費寄附金ノ募集ノ件、退職教員ニ贈呈スヘキ餞別ノ件、死亡児童へ香料ノ件等ヲ相談。之ハ役員会ノ決定ニ非サルヲ以テ、最近ノ役員会ニテ承認ヲ求ムルコトトス。

○学校会ニ対シ金百円ノ寄附ヲ申入ル。年末払込ヲ条件トス。十一時ヨリ町内防空演習ヲ見学ス。

○三時頃、清風園内ニテ演習アリ。焼夷弾及毒瓦斯弾ノ投下アリシモノト仮定シテ之ヲ行フ。夜八時半マテ燈火ノ警戒管制行ハル。

#### 〔欄外〕

○午後、日蝕ヲ見ル。

○中泉中津川氏ヨリ書状到著。太田実氏ニ対スル角替ノ縁談ハ先順位ノ分進行ノ為、断念セラレタシトノ趣意ナリ。

九月二十二日(月)晴 暖

○朝、石間尚、腸チフスニテ隔離病舎ニ入リシ由、マスエヨリ報告アリ。依テたみ子ニ見舞状ヲ発ス。其序ヲ以テ結婚式日ノコトヲ申送ル。又、角替家縁談不成立ノコトヲモ告ク。

○中津川長治氏ニ対シ、角替ノ縁談ニ付配慮セラレシヲ深謝ス。

○角替へ中津川氏ヨリノ書状ヲ送り、謝状ヲ発セシ旨ヲ通知ス。

○磯部英一氏母堂へ結婚式日確定シ難キ事情ヲ通ス。

○磯部医院ニ至リ耳ノ治療ヲ受ク。

○同成会事務所ニ至リ、支那皇軍慰問団参加者及内地傷病将兵慰問団参加希望者ヲ取調フ。

○三会堂ニ佐藤銀五郎博士ヲ訪ヒ、林業中央協力会ノ事業及組織ニ付質問ス。偶マ本多静六博士ヨリ招カレ午餐ヲ饗セラル。席ニ九大教授植村恒三郎博士在リ。食後、本多博士ト談話ス。森林便覧林業家必携等ノ書物ヲ贈ラル。

○貴族院調査部会第三部会ニ出席ス。村田内務書記官ノ共產主義運動ノ現状ニ関スル講演ヲ聴ク。

〔欄外〕

○小林書記官長ニ面会シテ弔意ヲ表ス。

○鉄道省自動車課員小杉恒治氏ニ電話ヲ以テバス専用車運転ノコトヲ問フ。好都合ヲ得タリ。

○帰途、赤木正雄氏ヲ訪ヒ、林業中央協力会ニ勧誘セラレシコトヲ報告ス。赤木氏ヨリ鮎乾物ヲ贈ラル。

○夜、富山県知事町村金五氏来訪ス。甥鉞雄氏ヲ同伴。同氏住友銀へ入社志願ニ付、昇三郎へ取次ヲ頼マル。農産ノ談話ヲ為ス。

九月二十三日(火)晴 暖

○朝、昇三郎へ書状ヲ発ス。町村鉞雄氏紹介ノ為ナリ。又、町村氏ニ対シテハ、昇三郎往訪ノ為紹介名刺ヲ郵送ス。

○朝、高柳暉氏来訪ス。米山梅吉氏へ書状ヲ呈シタル旨ヲ告ケ、更ニ山口安憲氏ヲ往訪センコトヲ勸ム。

○植原悦二郎氏ヨリ石神井関町ニ於ケル氏ノ農園ノ甘藷作柄実見ノコトヲ求メラル。依テ十時半渋谷駅ニテ同氏ト出会ヒ荻窪下車、バスニテ関ニ至リ氏ノ令甥某氏経営ノ甘藷畑ヲ実見ス。成績良好ナラサルカ如キモ全然失敗セシニハ非ス。昼食ヲ饗セラレ一時過退去ス。西武電車ニテ帰途ニ就ク。

○植原氏ト高田馬場駅ニテ別レ、一木男ヲ往訪ス。林業中央

協力会へ加入ノ可否ヲ問ヒシニ、報徳ニ影響ナキ程度ナ  
ラバ可ナラント答フ。更ニ報徳社ノ将来ニ付所懐ヲ述ヘ  
ラル。

輒太郎氏モ来合セ居リ種々談話ス。

〔欄外〕

○早朝、大野よし子女史来訪ス。昨日要往訪セシニ由ル。

○午後、木村倭文子夫人来訪ス。本年ハ新京へ帰ラスト云フ。

九月二十四日（水）曇 冷

○朝、館林散歩シテ二丁目町内ニ空家アルヲ発見ス。食後館  
林ノ案内ニテ要ト共ニ一見ス。家賃不相応ニ高価ナリ。

○十時、同成会例会アリ、出席ス。塚本、次田、下条、大谷、  
平沼、片倉諸氏出席ス。沖縄県多額納税者議員仲村氏入  
会勧誘失敗ノ件ヲ報告ス。

○十二時過、伊澤多喜男氏ヲ訪フ。林業中央協力会就任ノコ  
トヲ一木男爵ニ相談セシ顛末ヲ報告ス。昼食ヲ饗セラル。

○二時半、貴族院ニ至リ、同盟通信社編輯長松本重治氏ノ最  
近ノ米国ノ態度ニ関スル講演ヲ聴ク。甚有益ナリ。

○四時、軍人会館ナル静岡育英会評議員会ニ出席ス。九月末  
日満期トナルヘキ理事監事補充ノ方法ヲ相談ス。又理事  
一名増員ノ件ヲ可決ス。了テ有志ノ晚餐会アリ。八時過  
帰宅ス。

○一木男ニ林業中央協力会ニ関係スルモ已ムヲ得ストノ了解  
ヲ受ク。但シ報徳社ノ為必要アル場合ハ之ヲ辞退スヘシ  
トノ条件付ナリ。要ハマス子ヲ伴ヒ田園調布ノ産科医ニ  
至リ、診察ヲ受ケシメ且入院ノ承諾ヲ受ク。

九月二十五日（木）雨 夕晴 冷

○八時、後藤文夫氏ヲ訪問ス。然ルニ氏ハ行違ヒニ予ヲ訪問  
セラル。待ツコト三十分ニテ帰ラル。林業中央協力会  
副会長受諾ノ旨ヲ告ケ、将来ノ指導ヲ俟ツ。又大日本報  
徳社々務ノ都合ニ依リテハ離任ヲ乞フヤモ知レサルコト、  
無報酬ナルコトヲ申出テ同意ヲ得タリ。

会ノ組織事業ノ綱要ニ付相談ヲ受ク。

○小坂順造氏ヲ見舞フ。氏ハ信州鹿教湯斎藤旅館ニ在リタリ。

○磯部医院ニ至リ耳ノ治療ヲ受ク。

○食後約一時間昼寐ス。心地宜シ。

○二時、貴族院ノ調査部会ニ出席ス。産業統制令ノ概要ニ付、  
商工省総務局長椎名悦三郎氏ノ講話ヲ聴ク。

○柴田善三郎氏ノ求ニ依リ、榛葉孝平氏令嬢縁談ニ付石河正  
徳氏ニ対シ、市川貫氏ノ素性ヲ問フノ書ヲ発ス。

九月二十六日（金）晴 冷

○岩村、一木男ニ藤田久蔵氏ノ送付セシ高酸性肥料試験ノ説



明書ヲ郵送ス。

○藤田久蔵氏へ岩村男ノ都合及山本狷吉教授往訪ノ内容ヲ報告ス。

○朝、農政局長岸良一氏ヨリ電話ニテ、新城豊橋方面甘藷栽培成績ノ視察ハ十月三日夜出發、四日五日両日ニ於テスヘキ由ヲ報告セラル。

○館林一也、葉子ヲ池之上国民学校ニ入学ノ手續ヲ了ス。依テ校長及主席訓導ヲ訪ヒ此事ヲ述テ依頼ス。

○一時半、農林大臣官舎ニ出頭ス。中央林業協力会結成ニ付テナリ。先ツ会則及会長ヲ決定シ、理事ノ選任、副会長ノ推薦ヲ会長指名トナスニ決シ、予ハ会長ノ指名ニ依リテ副会長トナリ、農林大臣ノ認可ヲ得タリ。ソレヨリ準會員ヲ決定ス。

次ニ正式理事会ヲ開キ、会長副会長ヨリ就任ノ挨拶ヲ述ヘ、更ニ会長ハ開会ニ付本会ノ抱負ヲ述ヘ、農相ノ祝辞、会長ノ謝辞アリテ議事ニ入ル。漆山理事ヲ常務理事ニ、藺部、佐藤、原三理事ニ専門理事ヲ囑託ス。

○五時ヨリ丸ノ内会館ニ内祝晚餐会アリ。会長（早退）、副会長、東久世、本多、佐藤、北村（赤木）、白澤、原、鈴木諸氏出席ス。

九月二十七日（土）晴 涼

○朝、町会長阿川昌朝氏ヲ訪問シ、来月一日ヨリ開会ノ報徳講習会ニ町内ヨリ出席スヘキ下平富士男、澤田廣明両氏ヲ佐々井副社長ニ紹介スル名刺ヲ渡ス。然ルニ澤田氏ハ昨夜感電ニテ即急死セリト云フ。

○八時五十分頃川崎市役所ニ出頭ス。水谷熊吉氏ノ蔬菜栽培講習会ニ出席シテ同氏ヲ紹介センカ為ナリ。偶マ市役所ニテ同氏ト出会フ。県經濟部農政課水谷重一氏案内セラル。市長村井八郎氏ニ面会シタル後、市民会館ニ送ラル。十時頃開講、聴衆百二三十名アリ。十一時過松村知事臨場セラレ挨拶ヲ述ヘラル。十二時過辭去、市長ノ自動車ニテ川崎駅ニ送ラル。

○十二時三十分頃三會堂帝國森林会事務所ニ至リ、中央林業協力会漆山理事長ニ面会シ、予算案ノ作成、顧問候補ノ内薦等ノ会務ニ関与ス。二時退出。アメリカンベーカー||方ニテパンヲ食フ。

○三時、日本甘藷馬鈴薯株式会社ニ副社長井上健彦氏ヲ訪問シ、豊橋方面視察ニ付打合セヲ為ス。社長岩瀬亮、常務藤巻雪生、常任監査役岡本正諸氏ニモ面会ス。

○四時半、赤木正雄氏ヲ全国治水砂防協会ニ訪問シ、甘藷視察ニ付案内スヘキ人選ニ付相談ス。

〔欄外〕

○要ハ柴田令夫人ト三越ニ至リ神谷敏子ノ為ニ婚衣ヲ求ム。

○要ハ夕刻横浜ニ赴ク。ミヤ子病氣ノ為ナリ。  
○館林一也、葉子ハ池之上国民学校ニ入学ス。  
○重友ハ会社有志ト共ニ伊豆網代ヘ一泊旅行ス。  
○田村勉作氏、午後來京ス。明朝会见ノ時ヲ九時ト定ム。  
○夜、伊佐勇松氏來訪ス。娘(十七)ヲ同伴ス。要ヲ見舞ヒ館林ノ來任ヲ祝セラル。

九月二十八日(日) 晴 冷

○朝、八時半頃田村勉作氏來訪ス。明日以後神奈川縣藤沢、横須賀、平塚三市ニ於ケル蔬菜栽培講習会ニ付打合セヲ為ス。次テ甘藷栽培状況実地視察計画ニ付細目ノ協議ヲ為ス。ソレヨリ日本甘藷馬鈴薯会社副社長井上健彦氏ノ來訪ヲ求メ、更ニ協議シテ成案ヲ作ル。

田村氏ニ昼食ヲ呈ス。

○午後、丸山方作氏ニ對シテ詳細ナル報告及計畫書ヲ認メ、七時過渋谷駅ニ至リテ速達郵便ニ付ス。

○澤田廣明氏急死ニ付、夜弔問ス。香料二円ヲ呈ス。

九月二十九日(月) 晴 冷

○朝、山崎昇二郎ヘ發狀ス。貴族院慰問團ヲ紹介シ、石黒前農相子息病氣加療中ニ付世話ヲ依頼ス。

○十時、林業協力会事務所ニ出頭ス。漆山専務理事及菌部理

事ト同車、農林省ニ至リ、次官、山林局長、各課長及監理局長ヲ訪問シテ謝意ヲ表ス。

○十一時三十分發ニテ藤沢ニ至ル。神奈川県農政課長〔空白〕氏及講師田村勉作氏ノ出迎ヲ受ケ、直ニ第四国民学校ニ赴ク。市長大野守衛氏ニ面会ス。一時四十分開講ス。予ハ簡單ニ田村氏ヲ紹介シ、又氏ヲ県ニ紹介セシ事由ヲ説明シテ退出ス。

○二時二十七分發ニテ歸京。直ニ日本甘藷馬鈴薯株式会社ニ井上健彦氏ヲ訪ヒ、視察團ニ付各種ノ打合セヲ為ス。

○六時頃読売新聞社ニ高橋雄豺氏ヲ訪ヒ、右計画ニ同社ノ参加ヲ求ム。次テ東日、東朝兩社ニ至リシモ面会ヲ得スシテ歸ル。

○夜、各方面ニ電話ヲ掛ケテ案内ヲ為ス。

九月三十日(火) 雨 冷

○甘藷栽培地実蹟見学ニ付、男関義寿、男矢吹省三、子大河内輝耕、子保科正昭四氏ヲ勧誘シテ同意ヲ得。子西尾忠方、男岩村一木兩氏ヨリハ断リアリタリ。

○十時頃、後藤文夫氏ヲ訪問シ、昨日ノ來訪ヲ深謝シ且予ノ怠慢ヲ詫ブ。而シテ予算案及顧問人選方ニ付相談ス。

○東京駅ヨリボロタクニ乗り宮内省ニ至リ、皇后宮職事務官ニ面会シテ孝宮殿下ノ御誕辰ヲ奉賀ス。

黒田大膳頭及岡本官房主管ヲ訪ヒ、甘藷栽培実績視察官ノ派遣ヲ乞フ。

○呉竹寮ニ藤井御養育掛長ヲ訪ヒ、孝宮殿下ノ御誕辰ヲ奉賀ス。帝室會計審査局ニ木下長官ヲ訪フ。次テ食堂ニ於テ高等官諸氏ニ面会ス。木下氏ニハ甘藷栽培ノ説明ヲ為ス。

○日本甘藷馬鈴薯会社ニ井上副社長ヲ訪ヒ、今朝迄ノ経過ヲ報告シ更ニ手配ヲ頼ム。又、寝台券九枚ノ調達ヲ求ム。

小林社員ヲ派遣セラル。

○住友銀行支店ニテ阪神電株券五株ノ払込ヲ為ス(百二十五円)。

#### 〔欄外〕

○東日副主幹西野入愛一氏、東朝緒方竹虎氏ヲ訪ヒ、甘藷視察団ニ加入ヲ求ム。

○三会堂ニ漆山氏ヲ訪フ。帰宅ノ後ナリ。赤木氏ニ出会ヒ談話ス。

○昇三郎夕刻来訪、夕食ヲ共ニス。

十月一日(水) 雨 冷

○甘藷栽培地視察ニ関シ、丸山氏ヨリ速達郵便ヲ以テ郡場博士、今村講師ト共ニ来会ストノ報告アリ。保科子、鈴木英雄氏ヨリ断アリ。真田秀吉博士、農事試験場技師某氏参加ス。専売局長官代國府種文氏《参事酒精課長》。宮内

省ハ福羽発三御用掛、女高師ハ中澤伊與吉教授参加ニ變更。又、前橋真八郎氏差支ニ付、代人ヲ出スノ可否問合セアリ。承諾ノ旨返電ヲ発ス。以上ノ結果ハ丸山氏へ書状ニテ通知ヲ出ス。

○甘藷会社員小林氏豊橋ヨリ帰来リ、バス、旅館、市役所ノ用意成リシ由ヲ報セラル。

又、丸山氏ヲモ訪ヒ打合セヲ為セリト云フ。

○緒方竹虎《東京朝日》。西野入愛一《東京日日》。高橋雄豹《読売》三氏へ案内状ヲ送ル(速達)。

○朝九時頃、漆山雅喜氏来訪ス。予算、顧問人選ニ付相談ス。

氏ト共ニ佐藤銀五郎氏ヲ訪ハントセシモ、既ニ出勤セリト聞キ中止ス。電車ニ偶然同車ス。

○十時頃、協力会ニ出頭ス。事務室ヲ整備シ開会トナル。後藤会長十二時過來会セラレ予算及顧問人選ニ付相談ス。

○東洋軒ニテ、漆山、佐藤両理事ト同卓昼食シ打合セヲ為ス。

○三時頃、根津美術館ニ三矢宮松氏ヲ訪ヒ、顧問ニ推薦ノコトヲ告ケ承諾ヲ求メシニ、固辞セラレシモ竟ニ快諾セラル。

○□□□□ハ日本電気会社へ、□□□□氏ハ住友へ採用確定ス。

#### 〔欄外〕

○寝台券ハ、俵、小山、柴田、大塚、大河内子、関男、矢吹男、保科子及予ニ送リ来ル(保科子ハ見合セニ付井上氏へ

返送《速達》ス。

○帰途、ロダン方ニテ斬髪ス。

和田謙三氏ヲ訪ヒ、隣家ノ畳屋ニ紹介ヲ乞フ。氏ノ案内ニテ畳ノ修繕ヲ依頼ス。

○柴田氏ヨリ小林一三氏ヲ同成会へ勧誘セシ内容ヲ報告セラル。竹越氏ヨリ山梨県多額議員当選者河西豊太郎氏勧誘、市内在館セラル。

○昇三郎ヨリ松茸ヲ贈ラル。

十月二日（木）快晴 南風暑

○昨夜来南風吹キ荒レ家屋戸障震動ス。三時頃、覚眠警戒ヲ為ス。朝ヨリ風威次第ニ衰ヘ天候快晴ト為ル。暑氣強シ。

○六時過、清風園内ヲ一巡シ、被害ノ箇所ヲ検査シ損害ナキヲ認ム。

○甘藷栽培成績視察ニ付、井上健彦氏ト打合セヲ為ス。氏ハ午後一時三十分發ニテ豊橋ヘ向ヘリ。鉄道省自動車課小杉恒治氏ニ電話ニテ配慮ヲ深謝ス。

○見学旅行ニ付、各方面ト電話ニテ打合セヲ為ス。

○岩村一木男十日夜十一時發ニテ浜松ニ至リ、翌日引佐郡ノ特殊肥料試験成績実見ニ付、大体ノ行動ヲ記シテ藤田久藏氏ニ報告ス。

○正午、貴族院ニ午餐会アリ、出席ス。食後、日独英ノ活動

写真ヲ見ル。

○四時過、中央林業協力会ニ出頭セシニ漆山氏ハ在ラス。依テ電話ニテ予算編成ニ付打合セヲ為シ、其結果後藤会長ヲ日本俱樂部ニ訪ヒテ決定ヲ為シ、又、顧問推戴ノコトヲ決定ス。後、漆山氏モ来会ス。同氏ヨリ農林省ノ招待ノコトヲ聴ク。品川迄同車帰宅ス。

〔欄外〕

○甘藷見学ニハ真田氏ノ取消、植原氏ノ不参加通知アリ。又静岡県知事ヨリ經濟部長外四名、富山県知事ヨリ農産課長外二名参加ノ通知ヲ受ク。

十月三日（金）晴 薄暑

○中支方面皇軍慰問団員トシテ三時出發ノ関屋貞三郎、佐藤助九郎両氏ニ電話ニテ告別シ平安ノ旅行ヲ祈ル。

○鈴木英雄氏ノ不参加通告ニ対シ、四日夜發車ヲ勸ムルノ書状ヲ呈ス。前橋氏ヨリ技師浅海三郎氏来ルコト、高橋雄豹氏ヨリ断リノ通告アリ。木曾、名古屋両支局長ヘ電報ニテ都合ヲ問フ。

○井上健彦氏ハ午後一時三十分發ニテ豊橋ニ向フ。

○十時ヨリ中央林業協合理事会アリ、出席ス。十六年度予算案ヲ議定シ、顧問四名ノ推薦ヲ決定ス。次ニ参加団体代表者力理事会ニ出席シ難キ場合ノ代理者ヲ決定ス。最後二本

理事会ニテ、急速著手スヘキ重要問題ノ取扱方ニ付意見ヲ交換シ、次回迄ニ政府及理事ヨリ会長ヘ申出アルコトニ決ス。最後ニ山林局林政課長中村直大氏ヨリ、森林組合ニ付説明アリ、十二時半散会ス。昼食ヲ共ニシ一時頃各員退出ス。

○夕、伊東卓治氏来訪、結婚ノ約束成立セシ由ヲ報セラル。

○七時過、三島甫ヨリ電話アリ。今朝上京、今夕九時四十分発ニテ帰任スト云フ。

〔欄外〕

○三笠宮殿下、高木百合子姫ト御結婚御納采ヲ行ハセラルルニ付、大宮御所及三笠宮殿下御殿（午前）并宮城（午後）ヘ参賀ス。

十月四日（土）曇、小雨、夕晴 蒸暑

○六時二分豊橋著、井上健彦氏等ノ出迎ヲ受ケ、岡田家旅館ニ入ル。先著ノ諸氏同車ノ諸氏ト挨拶ス。岸局長等ハ東朝東日ノ両氏ト六時四十九分著ニテ来ル。早速朝食ヲ為ス。丸山方作氏モ来ル。

○七時半吉田発ノ電車ニ乗ル。総員四十七名ナリ。八時八分東新町下車、直ニ丸山氏方ニ至ル。一同ハ室内ニテ研究ノ一班ヲ聴キ、直ニ圃場ニ出テテ実地ニ就キ説明ヲ聴キ見学ス。根ノ分化ノ研究甚有益ナリ。紀念ノ撮影ヲ為ス。

岸局長一場ノ挨拶ヲ為ス。十一時發、吉田ニ向フ。

○十一時三十七分著、岡田家ニテ昼食ス。一時、旅館前ニテ省営バス二輛ニ分乗シ飯村町ニ至リ下車、徒歩磯部幸一郎氏ヲ訪フ。氏ノ宅ニテ説明ヲ聴キ、又小澤豊氏ニ面会ス。終ニ圃場ニテ苗場造成方法ノ説明ヲ聴ク。次ニ各種試験成績ヲ視察ス。畜力使用ノ收穫法ハ時間乏シキヲ以テ行ハス。単ニ説明ニ止メタリ。

○三時五十分頃乗車、四時二十分頃岡田家ニ帰ル、一泊ス。

○大河内子、矢吹男及富山県農務課長西村寅雄氏ハ夕刻帰路ニ就ク。

十月五日（日）曇晴 暑

○八時過自動車二台ニテ出發、九時白須賀町境宿田村勉作方前ニ下車ス。町長農会長等多数有志出迎フ。直ニ田村氏ニ案内セラレテ發ス。徒歩十五分、氏ノ貯藏場ニ到ル。田村丸山両氏ヨリ、收穫時ノ取扱方及貯藏方法ノ説明ヲ受ク。

次ニ、大根加工場ニテ漬物切干ノ製法ヲ聴ク。

ソレヨリ圃場ニ出テ実地收穫ノ結果ヲ視察ス。了テ竹藪ニ戻リ、藪及黍ト諸粉ニテ製セル団子ヲ饗セラル。茲ニ岸局長ノ挨拶、惣代服部源太郎氏ノ謝辞、予ノ挨拶、岩瀬社長ノ謝辞、田村氏ノ挨拶アリ。十一時十分出發、同二

十分頃乗車、十一時三十分潮見坂公園ニ達シ下車ス。

昼食ヲ為シ、十二時十分出發、同四十分新居町駅ニ著、散会ス。

○十二時五十六分發ニテ歸東ス。丸山氏其他諸氏ト別ル。柴田氏ハ中泉ニテ、大塚氏ハ弁天島ニテ下車シ、予ハ掛川ニテ下車シ、直ニ報徳社ニ至リ明朗会ノ用務ヲ処弁ス（袴田、大村兩人出迎フ）。松浦清三郎、佐藤雅雄兩氏ヨリ馬鈴薯代金ノコトヲ聴取ス。

#### 〔欄外〕

○夜、石野元治郎、同福松、小柳直吉、松浦清三郎五氏來訪ス。

○神谷文平氏、同夫人ハ敏子同伴、柴田夫人ノ案内ニテ來訪ス。要ハ重友ト共ニ一同ヲ二葉ニ招キ午餐ヲ呈ス。

十月六日（月）晴 暑

○五時半起床。

○七時半、前山畑ニ登リ芳次ノ案内ニテ甘藷栽培ノ成績ヲ視ル、甚佳ナリ。八時前、村明朗會員試験薯畑ヲ見ル。更ニ、イラガヤナル松井三郎氏ノ栽培ニ係ル昭和旭種ノ稻ヲ見ル。《長四尺二寸穗長九寸四分、一房ノ最多粒数二百七十》アリ。

○一旦帰宅シテ出發ノ用意ヲ為ス。小柳氏等ノ採收シ來レル

試験薯ヲ一見シテ其説明ヲ聴ク。

○十一時前、鷺山恭平氏ノ病氣ヲ信用組合ニ見舞フ。又、報徳社ノ講習ニ付テ意見ヲ述フ。甘藷講師委嘱ノ件、甘藷貯藏方法宣伝ノ件。

○十一時頃、報徳社ニ出頭ス。明朗会務ヲ処理ス《會計監査二名指名》。鈴木町長ニ出会ヒ明朗会ノ事業タル甘藷栽培地ノ成績ヲ講習会及有志ニ公表ノ件ヲ相談ス。又、常会ニ於ケル急速普及ノ方法ヲ策ス。

○比木国民学校訓導中山きみ先生ヘ報徳叢書一部ヲ呈ス。

○掛川發十二時七分ニテ歸京ス。偶然、大塚惟精氏ト同車ス。品川ニ下車。一也及女中貞子ニ迎ヘラレ、荷物ヲ分担シテ歸ル。

○館林ハ防空ニ付放送ス。要ヨリ神谷親子來訪ノ狀況ヲ聴ク。

十月七日（火）曇 蒸暑

○九時四十分頃、中央林業協力会ニ出頭ス。十時ヨリ理事会ヲ開ク。後藤会長司会ス。(1)本会ニテ緊急問題トシテ研究スヘキ事項ニ付決定、(2)森林組合内容ニ付山林局長ノ説明ヲ聴ク。昼食ヲ共ニシ、一時頃散会ス。林政統一ノ意見取纏メノ為、特別委員ヲ会長指名ニテ決定ス。

○三時頃、伊澤多喜男氏ヲ往訪ス。

○五時、丸ノ内常盤家方ニ開会ノ中央林業協力会正副会長主

催、農林省次官山林局長及総務局長山林局各課長招待会  
ニ出席ス。八時半散会ス。

○重友ハ昨夜帰宅スルヲ得ス一泊ス。

〔欄外〕

○丸山方作氏ヨリ懇切ナル謝状ヲ寄セラル。又、去四日撮影  
ノ写真ヲ贈ラル。

十月八日（水）晴 暑

○朝、内田明氏来訪シ、Mrs. Fordニ送ルヘキ書翰原稿ヲ渡サル。

○九時四十分頃、幸俱樂部ニ至リ、岩村一木男ニ面会シ同男  
ノ引佐郡農事視察方ニ付打合せヲ為シ、前田、森口氏等  
ヘ通知ス。

○十時ヨリ同成会例会アリ。塚本、次田、中川、下条、大谷、  
小坂梅諸氏出席ス。

○中川氏ノ自動車ニ同乗シテ航空会社前ニ下車シ、日本倶楽  
部ニ至リ中食ス。

○鉄道省小杉恒治氏、日々西野入愛一氏、朝日緒方竹虎氏ヲ  
訪ヒ謝意ヲ表ス。又、農政局長ヲ訪ヒシニ面会ヲ得ス。

農政記者会ニ中村仲、伊藤清六氏ヲ訪ヒ謝意ヲ表ス。ソ  
レヨリ甘藷会社ニ至リシニ、社長副社長共ニ不在ナリシ  
カハ、謝意ノ伝達ヲ求め退出ス。

○三会堂ニ出勤、漆山理事ト事務ヲ協議ス。ソレヨリ三会堂

ナル各種事務所ヲ歴訪シテ挨拶ヲ述フ。

○吉田茂氏夫人逝去ニ付弔問ス。

○五時半、末広会第五回ニ出席ス。出席者十名、歓ヲ尽シ氣  
焰ヲ挙ク。

〔欄外〕

○第五回末広会出席者、田口、田澤、江口、澤田、古島、岡、  
芳澤、塚本、次田、河井ノ十名ナリ。

十月九日（木）晴 冷

○朝、和田謙三氏来訪ス。池之上国民学校ビヤノ資金募集ノ  
為ニスル演芸会延期ノ件ニ付、呉泰次郎氏ノ意見ヲ伝ヘ  
ラル。和田氏ニ返答ヲ為ス。

○朝、内田明氏来訪ス。予ノ為ニ、Mrs. Fordニ送ルヘキ写真ヲ撮  
影セラル。予ハ又、氏ノ昨朝齎セル英文書状ニ対シ、校  
正ヲ申入ル。樹下快淳氏来訪、静岡旧県会議事堂聖蹟保  
存ニ付、絨氈御下賜ノ件相談ヲ受ク。

○牧野伸顕伯ヲ訪問シ、吉田夫人逝去ニ付弔意ヲ表ス。伯ハ  
神経病甚シク十日許リ病床ニ在リ、容体輕カラスト云フ。  
夫人ニ面会ス。

○貴族院ニ至リ農林省山林局長ニ電話シテ、来十八、二十日  
両日ノ中ニ、協力会ノ午餐会ヲ催シタキニ付、大臣次官  
ノ都合ヲ問フ。其結果ヲ漆山氏ニ報告ス。

○貴族院ニテ昼食シ、書記官長ト会见ス。二時退出ス。

○一木男爵ヲ訪問シ健康ヲ問フ。甘藷栽培実見ノ件、牧野伯病氣ノ件、三矢氏ト会见ノ状況等ヲ談話ス。

○学士会館ニ至リ、十二月上旬ニ於ケル結婚式ノ都合ヲ問フ。

○夕、昇三郎来訪ス。夕食ヲ共ニス。九時廿五分ニテ西下ス。偶、朝比奈貞一來訪、夕食ヲ共ニス。

○大野よし子女史、昨日ヨリ滞泊ス。

十月十日（金）快晴 冷

○笠井町山下保治氏夫人（磯部英一氏姉）逝去ノ由、石間たみ子ヨリ来信アリシヲ以テ山下氏及磯部氏ヘ悔状ヲ発ス。

○森口淳三、田村勉作、服部源太郎諸氏ヘ挨拶状ヲ発ス。

○十一時、日本甘藷馬鈴薯株式会社ニ井上健治氏ヲ訪フ。同氏ヨリ来会者名簿、新聞紙等ヲ受領ス。又、立替払経費ノ請求方ニ付協議シ、之力取立ヲ同氏ニ依頼ス。

本年産藷ノ価格配給等ニ関スル各種ノ材料ヲ与ヘラル。

○日本橋区東洋軒ニテ昼食シ、日本木材株式会社ニ戸塚昌宏氏ヲ訪フ。不在ナリ。依テ日本俱樂部ニ至リ、丸山氏宛ノ書状ヲ認メ、戸塚氏ヲ待チテ面会ス。

○銀座ニ出ツルノ途、読売新聞社ニ高橋雄豺氏ヲ訪ヒ、甘藷視察ニ付謝意ヲ表ス。

○伊東屋ニテ手帖ヲ求ム。95。又、松屋ニテ蒙古写真展覧会

ヲ見ル。

○夜、清水重喜<sup>マ</sup>中將ノ紹介ニ依リ、石原常太郎少将来訪ス。甘藷栽培方ニ付説明ヲ為ス。氏ハ山水育英会<sup>ヤマミツ</sup>常務理事ナリ。

〔欄外〕

○地下鉄ニテ、偶然真野文二氏及同夫人ニ出会ヒ、渋谷ヨリ日本橋マテ同車ス。

十月十一日（土）快晴 冷

○午前中、食糧問題ニ付調査ヲ為ス。

○朝、運送屋ヲ頼ミ直子ノ荷物ノ荷作ヲ為サシメ、渋谷駅ヨリ發送ス。

○ゴルフ靴ノ修繕ヲ為ス。

○一時過、伊澤多喜男氏ヲ訪問ス。時務ニ関シ意見ヲ交換ス。

○要ハ小林次郎氏ヲ吊問ス。夫人不在ノ為直ニ辞去ス。

○大野芳子帰宅ス。

十月十二日（日）晴 冷

○朝、牧野伯爵ヲ訪ヒ病氣見舞ヲ為ス。北海道町村氏ヨリ贈ラレタル牛酪二箇ヲ呈ス。

○松田道一博士ヲ訪ヒシニ不在ナリ。

○久保春海氏ヲ訪フ。同氏結婚問題ハ不成立ニ終リシ由ヲ聞



ク。

○松浦永次郎氏ヲ訪フ。

○夜、隣組常会アリ。本日ヨリ二十五日マテ施行セラルヘキ防空演習ニ関スル報告及対策ヲ聴ク。

○木村通氏昨日上京セシ由電話アリ。

十月十三日(月)曇 冷

○九時半、中央林業協力会ニ出頭。漆山理事長ト会務ヲ処理ス。又、全国治水砂防協会赤木幹事ニ乞ヒ、氏ノ意見書「水害ノ正視ヲ要望ス」十部、外二昭和十一年八月二十一日ノ水害防止協議会決議一部ヲ頒与セラル(之ハ赤木氏自ラ宅ヘ持来ル)。

○正午、中央亭ニ於ケル第二七〇回日本国際協会午餐会ニ出席ス。食後、泰室事務局長宮原武雄氏ノ「英米包囲下ノタイ」ナル講演ヲ聴ク。甚憂慮スヘキ状態ナルヲ覚ユ。

○二時過、三菱経済研究所ニ所長岡徳治氏ヲ訪ヒ、来二十日貴族院調査部会ニ於ケル氏ノ講演ニ付、打合セヲ為ス。

○三時、Y. M. C. Aニ於ケル興農学園評議員会ニ出席ス。十六年度決算ヲ承認シ、十七年度予算案ヲ可決ス。又、

乙種農学校設立申請ノ手続進捗ノ件、法人ニ顧問ヲ置キ其人選ノ件等ヲ審議ス。五時散会。

○夜、黒田新平氏来訪ス。千葉県ニ於ケル材木払下ニ参加ノ

為上京セリト云フ。

○伊東弥恵治氏ヨリ令弟卓治氏結婚ニ付媒酌人ヲ頼マル。

十月十四日(火)曇 冷

○九時半中央林業協力会ニ出頭ス。

十時ヨリ理事会アリ。山林局長等ヨリ地方林業株式会社及中核体会社設置ノ件、最近数年間ノ木材需給数量ニ関スル説明アリ。又、木材需給機構ノ整備ニ関スル委員及森林組合組織ニ関スル委員会ノ委員ハ、会長ノ指名ニ決定ス。十二時過散会。中食ヲ共ニス。

○後藤会長ト最近ノ要務ニ付所見ヲ交換ス。

○三時半頃帰宅ス。木村通氏及夫人来訪アリ。久シ振ニテ愉快ニ談話ス。氏ハ網膜出血病ニ罹リシヲ以テ加療ノ為上京セリト云フ。伊東弥恵治氏ニ診療ヲ受クルコトヲ勸ム。五時過、二葉亭ニ招キ夕食ヲ共ニス。要モ同行ス。了テ渋谷駅マテ見送りテ帰宅ス。

○夜、伊東弥恵治博士ニ電話ニテ木村通氏ノ診療ヲ依頼ス。又、令弟卓治氏結婚媒酌人タルコトヲ承諾ス。

〔欄外〕

○戸塚重一郎氏代海野氏ヨリ速達郵便ニテ〔以下空白〕。

○山崎金五郎氏来訪ス。氏ハ補充兵トシテ召集ヲ受ケ、来十八日入隊スト云フ。

○金山栗林新吉氏ヨリ林檎一箱ヲ贈ラル。

十月十五日(水) 晴 冷

○朝、海野真岳氏ヨリ電話アリ。立木売却ニ付、代金受領方法ニ付意見ヲ求メラル。先方ト熟議ノ上無理ナラサルヤウ取計方ヲ望ミ置ケリ。

○九時半、林業協力会ニ出頭ス。漆山理事長ト打合セノ上、十時開会ノ林政機構統一ニ関スル委員会ニ出席ス。佐藤、白澤、村上、鈴木諸氏ノ外ニ山林局山口監理課長出席アリ。村上案ニ付審議、一旦休憩、農相官邸ニ赴キ二時再会、四時迄ニ大体ヲ議了ス。明日中ニ字句ノ練成ヲ為スニ決ス。

○正午、農林大臣官邸ニ於テ、協力会顧問、会長、副会長、理事ヲ招待セラレ出席ス。大臣ノ挨拶、会長ノ謝辞アリ。有益ナル会合ナリキ。

○赤木正雄氏ヲ砂防協会ニ訪問ス。種々打合セヲナス。土肥町内ニ砂防工事実施ノ決定ノ報告アリ。又、小笠山砂防工事施行ニ付考慮中ノ旨内談アリ。

○七時ヨリ、清風会幹事ノ事務打合及前期後期引継会アリ。全員出席ス。真島会長モ特ニ臨席セラル。九時散会ス。

〔欄外〕

○内閣改造又ハ総辞職ノ模様、緊迫ス。国家ノ前途憂慮ニ堪

ヘス。

○重友ノ結婚日ヲ十二月五日午後三時ト定メ、場所ヲ学士会館ニ撰定ス。

○品川磯部塗工店ヨリ二名ヲ派シ、家屋外板ノ塗替ヲ為ス。

十月十六日(木) 晴 冷

○十時、協力会ニ出頭ス。漆山、佐藤、藺部三氏ト林政機構ノ統一ニ関スル件ノ内容改変ニ付、意見ヲ交換ス。

○十二時、常盤家ニ於ケル日本甘藷馬鈴薯株式会社主催ノ座談会ニ出席ス。俵、小山両代議士、矢吹、関両男、柴田、大塚両議員、福羽宮内省御用掛出席ス。会社ヨリハ井上副社長、藤巻常務理事外一名出席ス。食前ニ藤巻氏ヨリ甘藷増産方策ニ付説明アリ。食後各自所見ヲ交換ス。二時半、散会ス。

○三時、農林大臣ヲ訪ヒ、会長、漆山、佐藤三氏ノ分ヲモ合セテ、昨日ノ厚遇ヲ謝ス。ソレヨリ山林局長ヲ訪ヒ、同様謝意ヲ表シタル上、府県森林聯合会ノ結成ニ至ラサルモノハ、協力会ニ於テ之力結成ヲ援助スヘキ旨ヲ申入ル。又、全国聯合会ノ役員ニ付テ相談ス。次テ、局長ノ室ニテ山口監理課長ニ面会シ謝意ヲ表ス。

○日本俱樂部ニ立寄り、丸山、磯部、田村三氏ヘ參觀者名簿ヲ發送ス。又、増田正直氏ヘ返書ヲ發送ス。

○夜、杉本良氏来訪ス。甘藷増産ノ件、報徳事業推進ノ件等ニ付談話ス。

〔欄外〕

○山崎金五郎氏応召入営ニ付、需ニ応シ、国旗へ揮毫シ武運長久ヲ祈ル。

要ハ午前同家ヲ往訪ス。

○中村円一郎氏ヨリ全快祝トシテ醬油一樽ヲ贈ラル。又、豊橋市飯村町小澤豊氏ヨリ甘藷一箱ヲ贈ラル。

○家屋外板ノ塗換ヲ続行ス。

○近衛内閣ハ午後五時過総辞職ヲ決行ス。

○興三八友人二名ト共ニ夕刻出發、日光へ赴ク。矢田部氏方へ宿泊ノ予定ナリ。

○モスクワ危機迫リ、十五日夕迄ニ日本大使館ハ移転ノ用意ヲ完了セラルヘキ旨、ソ聯政府ヨリ通告ヲ受ク。

十月十七日（金）快晴 冷

○午前中ハ北沢二丁目ニテ防空演習アリ。要ハ一同ヲ率キテ之ニ参加ス。

○神嘗祭ノ御儀ニ参列拝礼ス。天皇陛下ニハ、賢所御拝ノ後特ニ皇靈殿神殿ニ御拝遊ハサル。皇太后陛下賢所御拝礼アリ。皇族王族ヲ始メ奉リ各員拝礼ス。往路ハ桜田門ヨリ徒歩ス。帰路ハ途中ニテ堀江枢府書記官長ノ車ニ同乗

シ東京駅マテ送ラル。

○午後一時頃、秋山次郎氏母堂来訪ス。要応接ス。

○二時過、伊東弥恵治氏来訪ス。令弟卓治氏ト深津敏子嬢トノ結婚媒酌ニ付打合ヲ為ス。〔寿カ〕

○午後一時宮中ニ重臣会議開カル。木戸内大臣ハ後継内閣首班トシテ東條英機中將ヲ奏薦ス。

○新勅選議員村瀬直養、富田健治両氏ヲ同成会ニ勧誘ノ為塚本、柴田、次田、下条諸氏ニ電話ヲ以テ配慮ヲ乞フ。又、午前、三殿控所ニ於テ偶然村瀬氏ニ出会ヒ、熱心ニ勸説ス。

○袴田銀藏氏ヨリ、東遠明朗会ノ立稲品評会施行方ニ付報告ヲ受ク。

○小田原勇氏ヨリ来信。加藤弥一氏ノ凱旋ヲ報セラル。  
〔欄外〕

○近衛内閣総辞職ノ理由ハ「現下重大ナル国際政局ニ対処シ、確乎タル帝国ノ所信ヲ断行スル為、閣内一致最善ノ努力ヲ為シ来リタルガ、最近ニ至リ国策遂行ノ方途ニ関シ、遂ニ意見ノ一致ヲ見ルコト能ハサルニ至リシニ由リ、此際総辞職ヲ決行ス」トノ発表アリ。

○重友結婚ノ日時、場所等ノ決定ヲ神谷文平、磯部英一方へ通告ス。

○外圀ノ塗替ヲ続行ス。

十月十八日(土) 雨 冷

○靖国神社臨時大祭ニ参列ス。 天皇陛下御親拝遊ハサル。

次ニ、皇族殿下ノ御拝アリ。ソレヨリ参列員順次拝礼ス。  
十一時半帰宅ス。降雨扉々タリ。

○二時、青松寺ニ於テ故會計検査院長岡今朝雄氏ノ告別式アリ。焼香ノ後三時迄列立ス。二上兵治<sup>三</sup>氏ト浜松町銀座マテ同車ス。

○交詢社ニ漆山雅喜氏ヲ訪問ス。中央林業協力会事務ニ付、打合せヲ為ス。

○丸山方作氏ヨリ其後ノ動静ニ付、詳細ナル報告ヲ受ク。樽井虎一氏ヨリモ岩村男視察ノ結果ニ付報告アリ。

○森口淳三氏ヨリ治郎柿ヲ贈ラル。

○伊東弥恵治氏ヨリ夜電話アリ。来廿六日十一時学士会館ニテ、結納交換式挙行ノ旨ヲ通セラル。

○興三、日光ヨリ帰来ル。昨日女峰ニ登リ、晴天ニ乗シテ眺望ノ美ヲ極メタリト云フ。

○山崎金五郎氏応召入営シタルモ、四年前ニ胃潰瘍ヲ患ヒタル形跡アリ。直ニ帰還ヲ命セラレタル由電話アリ。

〔欄外〕

○東条内閣成リ、午後親任式ヲ挙ケサセラル。

首相、陸相、内相 東条大将

外相、拓相

東郷茂徳

海相

島田繁太郎大将

商工相

岸信介氏

鉄相、逓相

寺島健中将

蔵相

賀屋興宣氏

其他ハ留任ニ決ス。

十月十九日(日) 快晴 冷

○今市ナル報徳二宮神社例祭前日ニ付参拝ス。午前七時四十分発足、八時四十二分上野発車、十一時五十分今市著。

直ニ神社ニ至リ社務所ニ出頭ス。社司武内博雄氏、農会長平野喜一氏ノ案内ニテ神社ニ参拝ス。次ニ先生ノ御墓ヲ拝シ更ニ文庫ヲ見ル。社務所ニテ昼食ノ饗応ヲ受ケテ辞去ス。一時二十五分発、一時三十六分日光著、電車ニテ神橋著、二荒山神社職舎ニ矢田部氏ヲ訪フ。

○社務所ニテ矢田部氏ニ面会ス。氏ノ厚意ニテ正式参拝ヲ為ス。拝後御舞樂ヲ拝見ス。退出、矢田部氏ト職舎ニ歸リテ辞去ス。矢田部氏同道ニテ日光駅ニ見送ラル。徒歩ニテ停車場著。

○四時二十分発ノ準急ニ乗ル。矢田部氏ト別ル。六時四十二分上野著。地下鉄ニテ渋谷ニ出テ、帝都線ニ依リテ七時半帰宅ス。

○夜、二宮先生伝ノラジオヲ聴ク。

○内田明氏来訪、去九日撮影セラレシ予ノ写真ヲ贈ラル。

○山崎はま子来訪ス。

○朝比奈アキ子来訪ス。

〔欄外〕

○戸塚重一郎氏ヨリ清酒二本ヲ贈ラル。

十月二十日(月) 晴 寒冷

○十時ヨリ、中央林業協力会ノ林政統一ニ関スル委員会ヲ開ク。正午マテ鈴木氏起草ノ原案ニ基キ意見ヲ交換ス。之ニテ漆山常務理事ニ整理ヲ託シ、中食ヲ為シテ散会ス。

○朝、米山梅吉氏ヲ訪ヒ病氣見舞ヲ為ス。氏ハ昨今漸全快シ、昨日熱海ヨリ帰京セリト云フ。其序ヲ以テ、財団法人興農学園ノ顧問タランコトヲ乞ヒ内諾ヲ得タリ。

○江川英文氏ニ興農学園ノ顧問タルコトヲ電話ニテ依頼シ承諾ヲ受ク。

○貴族院ニテ岡部長景氏ニ面会シ、同上承諾ヲ受ク。

○十二時四十分頃、漆山雅喜氏ト共ニ青山斎場ニ赴キ、故須田卓爾氏ノ葬儀ニ列シ焼香ヲ為ス。告別式ニ列立スルコト三十分、一時半退出ス。

○貴族院調査部第一部会ニ出席ス。三菱経済研究所長岡徳治氏ノ東亜ノ経済ナル講演ヲ聴ク。調査広汎ニ互リ論断

正鵠ヲ得、甚有益ナリ。終了後議長応接室ニテ更ニ談話ヲ聴ク。

○五月一、二両日ノ甘藷栽培篤農家ノ研究発表会筆記録ヲ贈ラル(二部)。

○万年筆ノ先端ヲ破損シタルヲ以テパイロット会社ニ至リ修理ヲ託ス。

十月二十一日(火) 晴 寒冷

○十時ヨリ開会ノ中央林業協力会理事会ニ出席ス。各種ノ報告アリタル後、木材伐採税撤廃問題ニ付検討ス。十二時散会。

○一時二十分頃、日本農林新聞社長平野増吉氏来訪面会ス。後藤会長ハ所用ノ為臨席セラレス。平野氏ヨリ木材統制方法ノ危険ナル所以ヲ縷説セラル。又、此方法ニ依リテハ国家所要数量ノ供出不可能ナル所以ヲ詳述セラル。之ニ伴ヒテ軍部ノ無理押し、農林当局ノ無責任ヲ痛論ス。大体傾聴ニ値スト認メタリ。

○二時ヨリ全国聯合森林組合案ニ付特別委員会ヲ開キ、農林省山林局林政課長、岩崎事務官等ノ説明ヲ聴ク。漆山、佐藤、藺部、白澤、赤木、鈴木、檜森諸氏出席ス。最後に、府県森聯組合結成ノ状況ニ付説明ヲ聴ク。四時半散会ス。

○五時ヨリ陶々亭ニ於テ、農林記者三十余名ヲ招キ晚餐会ヲ催ス。会長差支アリテ欠席セラル。八時散会ス。

〔欄外〕

○西伊三次氏ヨリ、八代大将書翰集并伝記ヲ贈ラル。

○中津川長治、磯部英一両氏ヨリ治郎柿ヲ贈ラル。

○泰治へ書状ヲ発シ近状ヲ問フ。

十月二十二日（水） 晴午後曇 寒冷

○三笠宮殿下、高木百合子姫ト御結婚遊ハサレタルニ付、九時大宮御所へ、次二三笠宮へ、次二大奥へ参賀ス。十時二十分退出ス。

○同成会例会ニ出席ス。建部、下條、柴田、次田、小坂梅諸氏出席ス。最近ノ政変及今後政界ノ動向ニ付談話ヲ交換ス。

○十二時二十分頃帰宅。昼食ノ上一時十分発、三会堂へ赴ク。

○二時ヨリ協力会ニ於テ木材ノ生産配給機構調整ニ関スル委員会ヲ開ク。漆山理事長、佐藤、白澤、菌部、鈴木（代）、赤木（代）、原、二田原各委員、山口、矢部諸氏出席ス。各委員ノ間ニ質疑応答アリ。三時半散会ス。

四時ヨリ森林組合結成ニ関スル委員会アリ。以上理事ノ外ニ東久世、香坂、桧森、（原理事不参加）等出席。山口監理課長、岡崎事務官等出席ス。全森聯ノ為必要ナル出資

額ニ付検討ヲ遂クル為、林学士吉川哲氏ノ説明ヲ聴ク。六時過、晚餐ヲ共ニシ七時過散会ス。

〔欄外〕

○午前中、防空訓練アリ。要以下全員出勤ス。

○夜半ヨリ空襲管制下訓練ヲ行フ。

十月二十三日（木） 晴暖

○昨夜十二時ヲ期シテ空襲警戒ニ入ルヘシトノ群長ノ内示ニ依リ起キテ居タルモ、竟ニ其事ナシ。午前一時就褥ス。

○朝、群長佐藤雄氏来訪周密ナル指導ヲ与ヘラル。

○十時ヨリ協力会ニ於テ林政機構ノ統一ニ関スル建議案委員会ヲ開ク。漆山、佐藤、菌部、白澤、鈴木（代）各理事及山口監理課長出席ス。漆山常務ノ主案ニ就キ検討ヲ遂ケ成案ヲ得、次テ之カ実行方法ニ付協議ス。昼食ヲ共ニシ一時半散会ス。

後藤会長ハ来会執務セラレ十一時退出。

○午後二時ヨリ貴族院調査部第五部会ニ出席ス。食糧局柴野和喜夫氏ノ泰仏印ヨリ米穀買入ノ状況ニ付講話アリ。又、両国ノ我国ニ対スル感情等ニ付率直ナル所見ヲ聴ク。

○パイロット万年筆販売所（京橋）ニ至リ、修理成レルペンヲ受取ル。

〔欄外〕

○重友背部ニ神経痛類似ノ疼痛アリ。会社ノ医師ハ気管支炎ト診断ス。直ニ帰宅就褥ス。夕方、堀医師来診ス。肋膜炎ト化スル虞アリトシテ、当分ノ間静養ヲ勸メラル。

十月二十四日(金) 快晴 暖

○六時ヨリ七時十五分迄、空襲管制アリ。又、九時半ヨリ十時四十分マテ、二時半ヨリ三時五十分マテ、夜七時十分ヨリ空襲警報発セラル。

○館林ハ内務省ニ出勤シ宿直ス。

○九時過、千駄木林町ニ村瀬直養氏ヲ訪ヒ、同成会ニ入会ノコトヲ勧誘ス。

○十一時頃、一木男爵ヲ往訪ス。元氣宜シ。丸山氏著書ノ題詩ヲ示サル。

○十二時過、新勅選富田健治氏ヲ訪ヒシニ不在ナリキ。

○三時二十分頃、林業協力会ニ出席シ、漆山常務理事ト会務ヲ相談ス。四時五十分発、同氏ト後藤会長ヲ訪問セシニ不在ナリ。用件ハ漆山氏ヨリ電話ニテ弁スルコトトス。

○宮里源之丞氏ヨリ予カ誕生日ヲ祝賀スルノ懇書ヲ受ク。

〔欄外〕

○重友発熱下降シ、疼痛少シク軽シ。

○徳川宗敬伯ヨリ、江戸時代ニ於ケル造林技術ノ史的研究ナル著書ヲ贈ラル。

○臨時議會ヲ十一月十五日召集セラルルコト、閣議ニテ決定セシ由発表セラル。

十月二十五日(土) 快晴 暖

○三時、空襲警報アリ。半睡ヲ破ラレ、蹶起見張番ニ就ク。四時過解除、再寝ス。

○十時、協力会ニ出頭。森林組合結成ニ関スル委員会ニ出席ス。林政課長、清水技師出席審議ス。未得ル所ナシ。十一時半散会ス。

○正午会長ヨリ農林当局、帝室林野局、森林関係団体首脳部、試験場学校首脳部招待会アリ。帝国ホテルニ出頭ス。農林大臣、次官、山林局長、各方面ヨリ五十名計出席、盛会ナリ。後藤会長ヨリ本会ノ使命ヲ述ヘ各員ノ協力ヲ懇請ス。

○会后、協力会ニ帰り、漆山常務理事ト会務ヲ協議ス。

○少シク疲労ヲ覚エ、耳鳴甚シキヲ以テ夙ク寝ル。

〔欄外〕

○重友、経過甚佳良ナリ。病名ハ感冒及神経痛ト決定ス。但シ、肺尖部ニ異音高キヲ以テ十分静養ヲ必要トスト云フ(堀先生、夕来診ス)。

十月二十六日(日) 小雨十時ヨリ晴 暖

○十時前、伊東卓治氏へ来縁ノ深津敏子嬢<sup>〔寿カ〕</sup>、伯父角田正喬氏夫妻ト共ニ来訪ス。

○十時二十分頃、要ト出發、学士会館へ赴ク。伊東弥恵治氏夫妻、卓治氏及親族。深津氏側、令嬢敏子<sup>〔寿カ〕</sup>、角田、上島其他数氏ニ面会ス。控室ニテ両家ニ対シ結納ノ交換ヲ行フ。伊東氏ヨリ昼餐ヲ饗セラレ、角田氏ノ自動車ニ便乗シテ二時頃帰宅ス。

○三時頃、松井三郎氏来訪ス。甘藷増産見学団ヲ同氏ノ郷人ニ勧誘ス。甘藷栽培大家座談会速記録ヲ呈ス。

○清水喜重中将、男爵高崎弓彦氏ニ対シ、来六日ノ甘藷栽培法講習会ノ聴講及收穫実見ノコトヲ勧誘ス。高崎男ハ自身ニテ、清水中将ハ石原常太郎少将ヲ派セラルト云フ。

○伊藤保三郎、宮里源之丞両氏へ甘藷大家座談会誌ヲ呈ス。

十月二十七日(月) 晴 寒冷

○昨夜睡眠十分ナラス。

○十時過、徳川公爵家ニ至リ御伝記編纂所主任井野辺博士ニ面会ス。貴族院関係ノ記事編纂ノ方針ニ付所見ヲ述フ。

○公爵家順子嬢御結婚ニ付、祝品料及東照宮例祭神料金十八円七十五錢ヲ支払フ。

○二時ヨリ三時迄協力会ニ於テ執務ス。漆山常務理事ト打合セヲ為ス。

○四時五十分頃軍人会館ニ至リ、葬会懇親会ニ出席ス。千駄ヶ谷公爵家御一同来臨セラル(第六天公爵家御欠席)。会員七八十名参集ス。井出大将会長ニ、田口文太<sup>〔少〕</sup>中将副會長ニ就任ス。八時過散会ス。

○徳川公爵ニ、貴族院議員有志ヨリ故公爵御墓前ニ寄進スヘキ品物、御受納セラルヘキヤヲ内伺ス。

○山梨県有泉善三氏ヨリ甲州葡萄一籠ヲ贈ラル。

十月二十八日(火) 快晴 寒冷

○朝、柴田善三郎氏ニ電話ヲ以テ、磐田郡実行社ノ有志ニ対シ、来月六日ノ丸山氏甘藷栽培法講習会ニ聴講勧誘ノコトヲ申入ル。

○朝、白須賀町田村勉作氏ヨリ電話アリ。氏ハ二十九、三十両日千葉県庁増田正直氏ノ依頼ニ応シ、同県内甘藷作品評会審査及貯蔵法并栽培法ノ指導ノ為、丸山氏代理トシテ来京シ、現ニ新宿御苑ニ在リト云フ。依テ正午三会堂へ来訪ヲ求メ、又柴田善三郎氏ヲモ招キ午餐ヲ共ニシ、種々打合セヲ為ス。又、氏ノ為ニ日本甘藷会社副社長井上健彦氏ノ都合ヲ問合せ往訪セシム。

柴田氏ヨリ熊本県人黒井氏ノ栽培法ノ大要ヲ聴ク。

○中央林業協力会理事会ヲ開催ス。顧問三矢宮松氏モ出席ス。會長差支ノ為、代テ会議ヲ主宰ス。(1)山林伐採税撤廃ノ



件ハ特別委員ニ附託スルコト、(2)林業懇話会提出ノ二案ハ森林組合委員ニ付議スルコト、(3)農業報国聯盟ニ対シ常務理事一名ヲ出スコトヲ議決シ、(4)林政機構統一ノ件建議案ヲ審査決定シ之カ実行方法ヲ協議シ、正午散会ス。

○午後二時ヨリ、森林組合委員会ヲ開キ、山林局側ヨリ全森林ノ資金充実案ニ付説明アリ。各員ヨリ意見ヲ交換シ、更ニ林政懇話会提出ノ二案ニ付、赤木氏ノ説明ヲ聴キ質疑応答ヲナシ、四時半散会ス。

〔欄外〕

○重友、病氣全快シ本日ヨリ出勤ス。

○館林ハ官庁内ノ防空事務ニ付内務省ニ宿泊ス。

十月二十九日(水) 快晴 寒冷

○同成会入会勧誘ノ件ニ付、朝、建部遯吾氏ヨリ電話アリ。

○十時、同成会臨時例会アリ、出席ス。塚本、下條、中川、小坂(梅)諸氏出席ス。入会者勧誘ノ件ニ付交話ス。

○中央林業協力会ニ出頭、漆山常務理事ト打合セヲ為ス。

○第六回末広会開会ノ為岡氏ニ打合セタル上末広ノ都合ヲ問ヒ、十一月十日ト定メ、夜、会員ニ対スル案内状ヲ準備ス。

○帝室林野局高尾事務官ニ対シ、(1)本坂峠南方御料地内ノ砥石採掘払下許可ノ件、(2)上川根村所在森林鉄道ヲ附近銅

鉦搬出ノ為使用許可ノ件ニ付、出願手續ヲ問ヒ其結果ヲ手紙ニテ森口淳三氏へ報告ス。

○午後四時半ヨリ、徳川公爵家々政相談人会ニ出席ス。井出、石渡、土方、成田、井出勝諸氏出席ス。公爵モ臨席セラル。閉会后、井出、成田、井出勝、宇佐美諸氏ト共ニ晚餐ヲ饗セラル。

○公爵家ニ対シ烏龍茶二缶ヲ贈呈ス。其容器ハ先年予カ贈呈セシ茶缶ニシテ借用セシモノナリ。

〔欄外〕

○要、終日臥床ス。

○楠目貞子ニ対シ泰治ヲ世話セラレタルヲ深謝スルノ書状ヲ呈ス。

十月三十日(木) 快晴 冷

○午前十時二十分頃、防空協会ニ会長後藤文夫氏ヲ訪問ス。漆山雅喜氏モ来会ス。依テ農相往訪ノ問題タル林政機構統一ノ建議取扱方ニ付相談ス。

○十一時過、農林大臣ヲ官舎ニ訪問ス。後藤会長ニ同道ス。直ニ大臣ニ面会シテ所見ヲ交換ス。其結果、大臣ヨリ指示アルマテ当分待機スルニ決ス。十一時半退出。後藤會長ト別レ協力会ニ出頭ス。大臣ト会見ノ結果ニ基キ、秘密取扱ノ手續ヲ為ス。

○東洋軒ニテ漆山、佐藤両氏ト昼食ヲ共ニス。

○午後二時、日本映画協会ニニユース部編輯課長土屋齊氏ヲ訪問シ、来月六日ノ甘藷收穫実演撮影ノコトヲ相談シ、且、丸山式栽培及貯藏法ノ大要ニ付説明ス。ニユース部長伊東恭雄氏ニモ面会ス。右ハ総テ館林三喜男配慮ノ結果ナリ。

○協力会ニ帰り、右ノ件ヲ丸山方作、袴田銀藏両氏ニ通知ス。

○五時ヨリ星ヶ岡茶寮ニ伊澤氏招待会アリ出席ス。来会者四十余名、頗盛会ナリ。世話人鈴木信太郎氏。柴田善三郎氏ノ演説アリ。伊澤氏之ニ答フ。散会前次回幹事ヲ決定ス。

台拓副社長久宗董氏ト出会フ。甘藷栽培法指導ノ依頼ヲ受ク。

#### 〔欄外〕

○重友ハ朝、堀医学士ノ診察ヲ受ク。左右肺尖ニ故障アルモ、血液沈降速度ハ常体ニ異ラスト云フ。

十月三十一日（金）朝曇、午後晴 寒

○終日家居ス。

○小田原勇氏申越ニ係ル「白岩浅間神社」ノ額ヲ大書ス。杉山東一氏ノ為ニ額面一枚ヲ、三島甫等ノ為ニ軸物額面各一葉ヲ揮毫ス。

○十一時頃森口淳三氏来訪ス。御料地内所在砥石払下手続ノ件、寸又川森林鉄道使用手續ノ件ヲ報告ス。又、甘藷馬鈴薯価格等ニ付談話ス。中食ヲ呈ス。

○館林母堂及多久次氏夫人来訪ス。

○夕、要ト共ニ堀医師ヲ訪問シ、重友ノ病状及結婚ノ能否ニ付質問ス。

○夜、徳田政信氏来訪ス。

○夜、久保春海氏ノ紹介ニテ日本製鉄会社員前田武雄氏来訪ス。就職換ノコトニ付談話アリ。容易ニ職ヲ転スヘカラストノ所見ヲ述フ。

十一月一日（土）朝曇小雨 午後快晴 暖

○朝、田村勉作氏ヨリ電話ニテ千葉県香取郡神代村ニ於ケル丸山式甘藷栽培成績ニ付報告ス。穴沢式トノ比較研究ノ結果、優位ヲ得タリト云フ。

○十時ヨリ協力会ニ於ケル森林組合委員会ニ出席ス。

林業懇談会、赤木氏提出意見ニ付同氏ノ説明ヲ求メ、政府側ノ意見ヲ問フ。十二時過散会ス。

○一時八分新橋ヨリ乗車、掛川ニ帰ル。六時三十八分著、下車。大村留吉来迎フ。

○村明朗会ノ常会アリ。会員十四五名来集ス。松井六郎氏ノ稲昭和旭二株ヲ見ル。長五尺、穂長九寸二分、長大強幹

多産ナリ。一株ノ分蘖二十二乃至二十七本アリ、之ハ明日掛川報徳社ニ出品スト云フ。

○此稲ノ力ニテ土方村ニ明朗会員十三名ヲ得タリ。

十一月二日(日) 快晴 暖

○朝、七時四十分発ニテ静岡ニ至リ戸塚重一郎氏ヲ訪ヒ、天城山立木売却ノ件ニ付相談ス。海野真岳氏モ同席ス。

○小濱知事ヲ訪問ス。予算査定会議中ノ由ニテ、玄関ニテ立話ヲ為ス。大東館ニテ昼食ヲ為シ、一時二十二分掛川ニ帰ル。

○帝室林野局出張所ニ所長伊藤正氏ヲ訪問ス。甘藷講習会ニ出席ヲ勧誘ス。又、培本塾生ノ為ニ山林手伝ヲ頼ム。

○二時、報徳社ニ出頭ス。角皆近次郎氏来訪ス。家代山田家ニ対スル故伯父ノ遺言要求ノ内容ヲ聴取ス。民法上効力ナキヲ以テ、断然拒絶スヘキコトヲ勧告ス。

○佐々井信太郎氏ニ面会シ、林常夫氏令息ノ為ニ力強キ指導者タランコトヲ依頼ス。

○帰途、山崎常磐氏ヲ訪問ス。氏ハ小山正氏ニ打電シ、明日来訪セシムヘシト云フ。

○夜、石野元治郎、小柳直吉両氏来訪ス。九時マテ農談ニ耽ル。

○鈴木寛一兄来京ス。正夫氏四街道ナル〔空白〕ヨリ来訪シ

面会ス。

十一月三日(月) 快晴 暖

○八時頃掛川町、報徳社ニ出頭ス。

○第六回新体制下ニ於ケル自治振興常会指導者錬成会開会式ニ出席ス。儀礼、社長式辞等、佐々井副社長主掌ス。最後ニ来賓辞ニ代ヘテ一場ノ演説ヲ為ス。

○山崎常磐、小山正両氏ニ面会シ、内山真龍翁御贈位ノ請願起草方針ニ付相談ス。

○遠江農学社ニ入社ス。入社金十円ヲ納入ス。

○来五、六両日、甘藷栽培法指導会ノ順序ニ付書面ヲ認メ、袴田銀藏氏ノ参考ニ供ス。氏ハ上京セシ由ニテ未出社セス。

○帰宅ノ上、原田村長ノ病氣ヲ見舞フ。途中、池ノ上ノ旧道ニテ原田夫人ニ出会ヒ、病状ヲ聴ク。腎孟炎ニ罹リモ全快シ、明日出勤スト云フ。

大村芳次ノ作、甘藷一株ヲ見ル。六貫匁アリ。之ヲ撮影ス。○二時十三分発ニテ帰京ス。留吉停車場迄見送ル。車中混雑甚シク、暑氣強シ。上浦氏ト横浜迄同車ス。鈴木由郎氏夫妻興津ヨリ同車ス。

○鈴木寛一兄、昨日来訪セリトテ面会ス。

十一月四日(火)曇 暖

○鈴木寛一兄ハ午前九時二十五分品川ニテ乗車、土肥へ赴ク。  
明日、岐阜へ帰ル由。

○内田明氏来訪ス。桜クローム五本、同パンクロ一本ヲ贈ラル。後者ニ対シテ代金ヲ返ス。前者ハ内田氏佐藤氏ヨリ贈ラレシモノニテ不用品ナリト云フ。他日適當ナル品物ヲ返還スルヲ要ス。

○林業協力会へ出席ス。十時半過ヨリ理事会ヲ開ク。田中林務課長ヨリ政府ノ造林計画ニ関スル説明アリ。正午散会ス。

○理事会後、漆山、佐藤、藺部、白澤四氏ト全森聯ノ為スヘキ事業、資金額、等ニ付協議ス。

○二時、日本倶楽部ニ至リ木村通氏ト会见ス。氏ハ明日出発、新京へ還ルト云フ。又、富安健次氏ト同室談話ス。

○二時半、加藤弥一氏ト面会ス。氏ハ将来大ニ培本塾ノ為尽瘁スト云フ。

○石原常太郎少将、男爵高崎弓彦氏、日本映画社土屋氏等ト掛川行時刻ニ付打合セヲ為ス。其結果ヲ掛川袴田氏へ電信又ハ郵報ス。又、木檜三四郎氏ヨリモ参加ノ由ヲ電話セラル。

○夜五時ヨリ丸ノ内常磐家方ニテ晚餐会ヲ開キ、井出山林局長ヲ招キ全森聯ノ使命、資金、組織等ニ付、意見ヲ交換

ス。

〔欄外〕

○昨夜、田村勉作氏ヨリ電報ニテ侍従次長及皇太后宮大夫へ宛、甘藷ヲ発送セシ由ヲ通シ来ル。午後、書状ヲ以テ、侍従次長へ送付セシハ箇数百二十四、重量十五貫二百匁アリ、皇太后宮大夫へハ一貫五百匁程度ノモノ三株ヲ送りタル由通知アリ。

十一月五日(水)快晴 暖

○十時、中央林業協力会ノ立木伐採税撤廃委員会ニ出席ス。

政府側ヨリ出席ナシ。依テ各員自由ニ意見ヲ交換ス。其結果、内務省地方局ヨリ係官ノ出席ヲ求ムルコトトシ、地方局長ニ電話ヲ以テ漆山常務理事ヲ紹介シテ依頼ヲ為ス。

○一時七分新橋発ニテ帰郷ス。六時三十八分掛川著。大村留吉、袴田銀藏氏ノ出迎ヲ受ク。

帰宅ノ上、夕食ヲ為シ、来泊ノ丸山方作氏ニ面会ス。

○八時三十六分掛川著ノ列車ニ男爵高崎弓彦氏ヲ出迎フ。山口旅館へ同行案内ス。然ルニ室ノ用意ナシ。大ナル手違ヒナリ。漸クニシテ宴会室ニ入ルコトトナル。甚シキ粗忽ニシテ謝スルニ辞ナシ。

陸軍少将石原常太郎氏ニ出会フ。

又、日本映画社撮影班石井幸輔氏外四名ニ面会シタリ。  
孰レモ明日ノ行動ニ付打合セヲ為ス。

○九時半、富田方ニ大谷英一氏ヲ訪ヒシニ、就寝ノ模様ナリ  
シカハ其儘帰ル。

○帰宅ノ上、丸山氏ト種々打合セヲ為シ、スミヤノ階上ニ寝  
ヌ。

十一月六日(木) 快晴 暖

○木桧三四郎代議士午前五時十三分ニテ到着ニ付、掛川駅ニ  
出迎フ。氏ヲ招キテ休息セシメ、朝食ノ時丸山氏ニ紹介  
ス。七時半、掛川ヘ向フ。

○八時、大日本報徳社ニ出頭ス。八時十分開会、甘藷栽培法  
ノ特別講習会ニ於テ開催ノ趣旨ヲ演説ス。八時半ヨリ丸  
山講師ノ講話アリ。来賓ニハ高崎男、木桧氏、石原少将、  
大谷氏、伊藤正氏其他アリ。一般聴衆トシテハ静岡市西  
大谷有志、培本塾須原主事以下塾生十名許、天方村有志、  
磐田郡実行社員若干、徳山村長以下十余名アリ。同志ト  
シテハ、藤田久蔵、田村勉作、山本福吉、服部源太郎、  
水谷熊吉等諸氏アリ。頗盛会ナリ。十一時半終了。

○昼食ノ上、十二時三十分出發、南郷村試験地ニ向フ。一時  
前著。順序ニ從テ視察採取ノコトヲ行ヒ、一般視察者ニ  
視察セシメ、又撮影班ニ撮影セシム。三時前終了、散会

ス。頗盛会ニシテ又最有益ナリ。尚、南郷西郷兩村有志  
ノ出品ニ係ル一株植ノ成績ハ殊ニ注目ヲ惹キタリ。帰東  
者ハ三時四十一分ニ乗ル。

○丸山氏ハ報徳社ニ帰り、夜十時頃マテ座談会ヲ為ス。

〔欄外〕

○村明朗会員ノ懇親謝恩会アリ出席ス。来会者ハ藤田久蔵、  
服部源太郎外大谷組三名、西郷村松浦氏等三名等ノ外、  
村側約四十名ナリ。トロロ汁ヲ食ス。藤田、服部兩氏等  
ヨリ有益ナル談話アリ。十時散会ス。藤田氏ハ一泊ス。  
○本日帰京ノ筈ナリシモ都合ニ依リ明日ニ延期シ、其旨ヲ東  
京宅ニ打電ス。

十一月七日(金) 快晴 暖

○朝、藤田氏ト明朗会ノ将来、特ニ報徳結社ノコトヲ話ス。  
意見互ニ一致ス。石野元治郎、小柳直吉、松井六郎諸氏  
来訪ス。松井氏ハ予カ農事試験場ヘ持行クヘキ稻株ヲ持  
来ル。

○藤田氏ハ十一時十分發ニテ氣賀ニ向フニ付、停車場ニ見送  
ル。丸山氏及森口淳三氏モ同車ス。

○二時、氣賀町ニテ西遠明朗会ノ發会式ヲ挙行スト云フ。

○帰宅ノ上、中食シ荷物ヲ用意シテ出發、掛川報徳社ニ至リ  
直ニ甘藷栽培法試作地ニ赴キ、收穫ノ狀況ヲ視察ス。来

觀者ハ報徳講習員ニシテ一同ノ感銘甚深シ。

○報徳社ニ歸リ、袴田銀藏氏ト明朗会ノ用務ヲ相談ス。

○三時四十一分發ニ乘リ歸京ス。掛川ニテハ袴田氏及大村留吉ノ見送アリ。稻株及杉山八平氏所贈ノ芋ヲ携ヘシヲ以テ品川迄女中ヲ出迎ヘシム。十時帰宅ス。

○朝比奈アキ子来泊ス。

○重友病氣全快セス。要ノ心痛甚シ。

十一月八日(土) 曇 寒冷

○朝、伊澤、米山諸氏ヨリ中川氏ノ晚餐会招待状ニ付照会アリ。依テ柴田氏ニ其事由ヲ問ヒタル結果、中川氏ニ面会シテ取消ヲ求ムルコトトス。然ルニ氏ハ葉山ヘ旅行シ不在ナリ。三浦氏ニ所用ヲ依頼ス。

○十時、貴族院ニ出頭シ、調査部第五部会ニテ湯河食糧管理局長官ノ米穀対策トシテ臨時議會提出案ノ内容ヲ聴取ス。

○正午、議長主催ノ午餐会ニ出席ス。之ハ中北支軍隊慰問団及内地傷病兵慰問団議員慰勞ノ為ナリ。食後、関屋丸山両氏ヨリ、支那慰問ノ状況報告ヲ聴ク。

○二時半、農相官邸ニ至リ松井六郎氏作稻ヲ寺尾試験場長ニ渡し、性能調査ヲ依頼ス。鴻之巢<sup>マ</sup>稻作主任技師和田栄太郎氏、安藤博士モ来ル。寺尾博士ニ試験ノ結果報告ヲ依頼ス。

○日本映画社ニ土屋課長ヲ訪ヒ、撮影班差遣ノコトヲ深謝ス。

○四時半、軍人会館ナル静岡育英会理事会ニ出席ス。河田副会長出席。新任ノ挨拶ヲ述フ。会長副会長以下多数出席ス。陸海軍志望生徒貸費規定ノコトヲ相談ス。夕食ヲ共ニシテ八時過散会ス。加藤氏ヨリ徳田政信ノコトヲ、飯田氏ヨリ萩<sup>マ</sup>萩月ノコトヲ聴ク。

十一月九日(日) 曇 冷

○朝、岡田光治氏ヨリ電話アリ。片平信通翁来京、予ニ面会ヲ求ムル由ヲ告ク。依テ其用件ヲ問ヒシニ、翁ノ甥ノ子鈴木脩一氏郷土学ヲ研究スル為、出身校国学院ノ後援ヲ得テ東照宮三百年記念資金ノ補助ヲ受ケタキニ付、徳川公ニ面会ヲ希望スト云フ。依テ宇佐美中将ニ懇話スル旨ヲ告ケ翁ノ来訪ヲ謝絶ス。

○中村円一郎氏程ヶ谷ニ在リ、電話ニテ交話ス。氏ハ今回銀行合同問題ニテ大蔵省ヘ出頭セリト云フ。健康大二回復セリト聞ク。明春再会ヲ約ス。

○柴田善三郎氏来訪ス。重友結婚延期問題ヲ相談ス。其他種々談話ス。中食トシテ温<sup>温</sup>鮎<sup>鮎</sup>ヲ饗ス。

○田村勉作氏来訪ス。甘藷澱粉会社創設ニ付政府ノ意向ヲ問ヘリト云フ。献上藷ノ詳細ニ付説明ヲ聞ク。

○四時頃華族会館ニ至リ、保科子令嗣ト徳川順子姫トノ結婚

披露会ニ出席シ、慶賀ノ意ヲ表ス。

○夜、町会長阿川昌朝氏来訪ス。

〔欄外〕

○要ハ午後横浜へ赴ク。アキ子ト同道ス。楠目老婦人、逗子へ転居ノ為横浜へ来ルトノ電報、泰治ヨリ到著セシニ依リ出迎ヲ為ス筈ナリ。夜、横浜ニ泊ル。

○岡喜七郎へ明夕開会ノ末広会出欠者氏名ヲ速達ニテ発送ス。

○橋本織作氏未亡人へ一周年ニ付追憶ノ書状ヲ發シ、華料五円ヲ贈ル。

○錦華会へ金六円ヲ送付ス。

十一月十日(月)曇 寒冷

○来十七日、中川健蔵氏主催晩餐会ノ招待状ニ付、伊澤、菅原、米山、塚本、柴田諸氏ノ間ニ物議ヲ生セシヲ以テ、正誤書發送方ヲ同氏ニ申入ル。氏ハ柴田氏ト相談ノ結果、之ヲ容レ、案文ヲ電話ニテ報告セラル。

○要ハ九時過、横浜ヨリ帰宅ス。

○伊東卓治、深津寿子結婚ニ付、媒酌人トシテ一時学士会館ニ至ル。両家ノ人々ト祝詞ヲ交換シ、二時二十分ヨリ挙式アリ。了テ紀念ノ撮影ヲ為ス。

五時、両家ノ親戚ヲ主トシテ招待セル晩餐会ニ出席ス。

卓上予ノ紹介演説ニ対シ来賓惣代朝比奈策太郎氏ノ祝詞、佐々貫之博士(東大教授)ノ乾杯辞アリ。七時二十分解宴ス。

新郎新婦ハ七時五十分頃出發、東京駅へ向フ。八時十四分發ニテ熱海へ赴クト云フ。自動車ニテ送ラレ八時四十分頃帰宅ス。

○故太田峰三郎氏令息理学士廣太郎氏(大正九年理学士)急逝ノ通知ニ接ス。

〔欄外〕

○朝、堀先生ヲ訪ヒ、重友ノ病状ヲ問ヒ、診断書ノ交付ヲ求め。

○伊東家 浜松市名残町

父(亡) 安太郎 篠原村高柳氏 当主勲(従弟)

母(亡) みつ 河輪村鈴木氏 当主耕平(叔父)

当主 弥恵治

夫人 綾 鶴口町 父高石四郎平 母登代ノ二女

はな 松山文平夫人

里つ 村尾千之夫人

卓治

敏子 白井辰一夫人

高石四郎平 妹ノ夫渡辺昇吾

深津家 群馬県利根郡川田村下川田一四三八

父(亡) 亀三

母(亡) よし 利根郡沼須 (南田カ) □□氏

当主 静夫

夫人 重

兄 総一郎(亡)

郁枝 上島満信夫人 大連市松山町

満信父 慶篤 大連市南月旦ヶ丘、四 大葉興業、協和鉄山、社長

角田正喬 渋谷、代々木□ヶ谷 一、四一七□

十一月十一日(火) 曇 寒冷

○十時ヨリ中央林業協力会理事会アリ、出席ス。後藤会長旅行中ニ付、其職務ヲ代理ス。立木伐採税取扱ニ関シテ漆山常務理事ノ報告アリ。本件ハ次回ニ内務省当局ノ説明ヲ聴取スルニ決ス。次ニ田中林業課長ヨリ災害防止事業ニ関スル説明アリテ十一時四十分散会ス。

○全国治水砂防協会ニ赤木幹事ヲ訪フ。偶マ西原亀三氏ニ出会フ。氏ヨリ棉実分与ヲ申入レラレ、又甘藷栽培指導ヲ申入レラル。

○十二時十五分頃、小林準一郎氏ノ紹介ニテ朝鮮森林開発会社々長渡辺豊日子氏ヨリ星ヶ丘茶寮ニ招カレ、漆山、佐藤、白澤、本多、蘭部五氏ト同シク出席ス。社長ヨリ森

林開発ニ付説明ヲ聴ク。甚有益ナリ。午餐ヲ饗セラル。三時退出ス。

○三時四十分、柴田善三郎氏ヲ訪フ。要先着シ在リ。重友結婚延期ノコトヲ柴田氏ニ説明シ、神谷氏ヘ通知ヲ依頼ス。

○去六日ノ甘藷収穫状況并丸山氏ノ植栽方法ノ時事ニュース上映ニ付、案内通知状百五十枚ヲ印刷シ、夜悉ク発送ス。  
〔欄外〕

○小濱静岡県知事、久連国民高等学校ヲ視察セラレシニ付、理事田中氏、渡瀬氏及小坂夫人等、久連ヘ赴ク。

○阪谷芳郎男病氣危篤ノ由ニテ大島寛一夫人早朝ヨリ見舞フ。

○片平信通翁、来訪セシモ不在ナリ。夜、鈴木脩一氏ニ電話ニテ行違ヒヲ謝ス。蜜柑二箱ヲ贈ラル。

○久次米邦藏氏ヨリ馬鈴薯ノ研究ニ関スル冊子ヲ贈ラル。

十一月十二日(水) 快晴 寒

○十時、同成会例会アリ出席ス。塚本、次田、入江、柴田、建部、中川、米山、下條、熊谷、佐藤、小坂(梅)諸氏出席ス。

次田氏ヨリ山梨県多額納税者議員河西豊太郎氏ノ入会ヲ報告セラル。塚本氏ヨリ常任委員ノ選挙委員数割当等ニ付、他派トノ交渉ノ要点ヲ挙ケテ相談アリ。



柴田氏ヨリ帝室林野局試験場視察ノ希望アリ。野口監理部長ニ電話ニテ依頼ス。十二時前、散会ス。

○正午、首相官邸ニ各派交渉委員トシテ招カレ出席ス。午餐ノ時首相ヨリ国際危局突破ノ決意ヲ述ヘ協力ヲ求メ、臨時議會召集ノ趣旨ヲ強張セラル。松平議長之ニ答フ。一時過退散ス。

○一時半ヨリ研究会事務所ニ各派交渉委員ノ打合会アリ出席ス。

(1)交渉団体ノ資格ト無所属団取扱ノ件、(2)常任委員數割當、(3)特別委員數割當ニ付協議決定ス。次ニ児玉伯ヨリ施政方針ニ対スル質問自肅ニ付意見ヲ求メラレ、各員發言ス。二時過、散会ス。

○静岡県農事試験場長間瀬鉦太郎氏ヘ發狀。松井六郎氏ノ稻ノ試験ヲ頼ム。又、藤田久蔵、松井六郎両氏ヘ發狀。同上稻ノ経歴説明書ヲ農林省及県ノ試験場ヘ提出セラレンコトヲ求ム。

#### 〔欄外〕

○鳩居堂ニテ線香二把ヲ求メ鈴木男爵ヲ訪ヒ、明日ハ母堂命日ニ当ルヲ以テ焼香ヲ為ス。一把ヲ靈前ニ供ス。

○鈴木男爵及夫人ニ甘藷増産ノ成績ニ付説明シ、写真ヲ供覽ス。

○四時ヨリ晚翠軒ニ信遠三国鉄期成会ノ集会ニ出席ス。伊澤

会長ノ挨拶、伊東幹事ノ会務會計ノ報告アリ。将来ノ方針及予算ヲ相談シ晚餐ヲ喫ス。七時半散会。

○伊東弥恵治氏、上島慶徳氏來訪ス。結婚媒妁ニ付厚キ謝意ヲ表セラル。伊東氏ヨリ中川八郎氏画青島郊外ヲ、深津家ヨリ白羽二重、縮緬ヲ贈ラル。

十一月十三日(木) 曇夜雨 寒冷

○朝九時半、片平信通氏、鈴木脩一氏ヲ伴ヒ來訪ス。片平氏ハ老齡ニ達シタルヲ以テ東京ノ親戚知己ヲ歴訪スト云フ。昨朝、徳川公ニ拝面ヲ得タルヲ深ク感謝シタリ。甘藷増産ニ付談話ス。又、十六日ノ貴族院傍聴ヲ勸ム。

○十時半頃、伊東卓治、同夫人來訪ス。昨日伊東弥恵治氏ヨリ贈ラレタル中川画伯作青島郊外画ニ付説明セラル。要ハ新郎新婦ヲ二葉ニ招キ午餐ヲ呈ス。

○一時、議長応接室ニ開会ノ各派交渉委員会ニ出席ス。(1)開院式当日ノ議事及陸海軍ニ対スル感謝決議ニ関スル件、(2)外交ニ関スル決議、(3)首相ノ施政方針演説録音放送ニ関スル件ニ付協議ス。又、暖房出来サル件、皇族議員其他十一名ノ純無所屬室決定、自動車手配、バス利用、電話交換上ノ困難等ニ付、報告アリ。二時半散会ス。予ハ同成会ヨリ外交ニ関スル決議案起草委員ニ選定セラル。

○四時、太田廣太郎氏方ニ至リ焼香ス。夫人令嬢ニ面会、弔意ヲ述フ。

○五時、寛弘毅、山浦弥栄子結婚披露会アリ。帝国ホテルニ赴キ要ト出会フ。頗盛会ナリ。帰途、柴田氏ノ自動車ニ同乗ス。新宿ニテ別ル。

十一月十四日（金）午後晴 寒冷

○朝、松本亀五郎氏来訪シ、水道管付換ノコトニ付配慮ス。氏ヲ煩ハシテ水道会社ニ至リ工事施行ヲ依頼セシム。

○朝、台湾拓殖株式会社社員長谷川重栄氏来訪。甘藷増産ニ付、同社技師田中正穎氏ニ面会センコトヲ申出ツ。夕七時ヲ約ス。

八時頃両氏来訪。田中氏ヲ丸山方作、磯部幸一郎、田村勉作、服部源太郎四氏ニ紹介ノ為名刺ヲ交付ス。又、氏ノ需ニ依リ帝室林野局林業試験場長中村賢一郎氏ニ紹介名刺ヲ与フ。

○二時ヨリ三時迄、日本倶楽部ニテ松田道一博士ニ面会シ、最近ノ国際情勢ヲ問フ。

○東朝社協映画館ニ於テ南郷村ニ於ケル甘藷收穫及栽培法ノ時事ニュース画ヲ看ル。

○原田睦子、夜来訪。直子結婚ニ付、祝トシテ帯地ヲ贈ラル。

○夕、学士会館ニ電話ヲ以テ重友等結婚式延期ノ旨ヲ通シテ

同意ヲ得タリ。

○午前九時三十四分、阪谷芳郎子薨去ス。

〔欄外〕

○神谷文平氏ヨリ重友結婚延期同意ノ書状ヲ受ク。堀先生ヨリ診断書ヲ受領セシヲ以テ同封シテ事情ヲ説明シ、併セテ謝意ヲ表ス。

○戸塚重一郎氏ヨリ書状到著。天城山伐採跡地植林担当者ノ心当リナキヤヲ照会セラル。又、伐採ニ付、尽力者へ謝金増額贈与ノコトヲ報セラル。右ニ対シ異議ナキ旨、謝電ヲ発ス。

十一月十五日（土）晴 寒冷

○第七十七回議會召集日ナルヲ以テ、午前八時出發、登院ス。帝都線電車ニ故障アリシ為、下北沢ヨリ新宿市ヶ谷ヲ経テバスニテ九時過著。直ニ議場ニ出席ス。議長ヨリ部属継続ノ宣告アリ。九時十五分散会ス。

○散会后、控室ニテ例会ヲ開ク。山梨県多額議員河西豊太郎氏モ入会出席ス。塚本氏座長トナリ、予ハ一昨日ノ各派交渉会ノ内容ヲ報告ス。次テ塚本氏ヨリ特別委員ノ選定方ヲ諮リ、塚本、小坂順、河井三名ニ決定ス。

○十一時、議長応接室ニテ外交決議準備委員会アリ出席ス。出席者ハ正副議長ノ外ニ児玉伯、中御門侯、黒田男、倉知、

古島、瀧、河井ナリ。決議案文ヲ審議決定シ、説明者ノ選定ニ付所見ヲ交換セシ結果、島津公ヲ煩ハスコトトス。尚、明日議事散会后、演説原稿ニ付協議スルコトトシ十二時散会ス。

○小林書記官長ノ車ニ同乗シテ阪谷芳郎氏ヲ弔問。拝礼ス。  
〔欄外〕

○三時ヨリ藤岡防空局長ヨリ防空法中改正案ノ内容ニ付説明ヲ聴ク。

○田口弼一氏ヨリ決議案文ニ付異議アリ。書記官長ヲ訪ヒ字句修正トシテ適正ノ案文ヲ作ル。

○昨夜、藤田久蔵氏ヨリ一株作甘藷一株ヲ贈ラル。

○磯部英一氏ヘ重友ノ結婚延期ノ始末ヲ通知ス。

十一月十六日(日) 快晴 暖

○十一時、第七十七議會開院式ヲ举行セラルルニ付、十時登院ス。

天皇陛下親臨アラセラルレ優渥ナル勅語ヲ賜フ。玉音高莊、深ク身魂ニ徹ス。

○開院式後、勅語奉答書案ニ付、部長理事会アリシモ時機ヲ逸シ遂ニ欠席ス。

○一旦帰宅。中食ヲ為シ、一時三十分発車、貴族院ヘ赴ク。  
藤田久蔵氏所贈ノ甘藷ハ二日宛両院食堂ニ展示スルノ希

望ヲ以テ、先ツ貴族院近藤書記官ニ問ヒシニ同意ヲ得タルヲ以テ、貴族院ノ好意ニ依リテ迎ヘラレタル自動車ニ登載ス。

先ツ衆議院ニ至リ俵孫一氏ニ依頼シ同氏ノ名ヲ以テ出陳手續ノ進行ヲ乞ヒシニ、事務局ヨリ守衛ヲ派セラレ万事手配ヲ了ス(出陳方、出陳期間二日、説明書、参考写真等)。議事散会后、庶務課ニ至リ総テ手續ヲ完了ス。

○三時開会。勅語奉答書可決。全院委員長、常任委員選舉(休憩)。四時二十分開会。陸海兩相ヨリ戦況報告。陸海軍ニ対スル感謝決議(鷹司公説明)、兩大臣ノ謝辞アリ。五時三十分散会ス。

〔欄外〕

○議事散会后、外交決議準備委員会アリ。島津公ヲ加ヘテ開会ス。決議案文及演説原稿ヲ協議決定シ、六時半散会ス。

○甘藷展覽等ニ付、丸山、藤田、磯部、田村四氏ヘ報告書ヲ発ス。

○藤田氏ニ対シ、本日岩村男ヨリ談話アリタル特殊化成肥料配給ニ付報告ヲ為ス。

十一月十七日(月) 快晴 暖

○九時三十分登院。庶務課ニ於テ甘藷陳列ノ準備ヲ檢ス。衆議院ヨリノ申出ニ依リ貴族院二十七、十八両日展示スル

コトトス。

○本会議ハ定刻頃ヨリ始マル。東條首相、東郷外相ノ演説アリ。何レモ対米關係ノ緊迫セル狀況ヲ告ケ、最後ノ決心ヲ以テ外交ニ最善ヲ尽スヘキヲ述フ。茲ニ於テ国策遂行ニ關スル決議案ヲ緊急上程シ、島津忠重公ノ説明アリ。全会一致之ヲ可決ス。

次ニ日程ニ入り、防空法中改正案、兵役法改正ノ緊急勅令事後承諾案、臨時郵便法事後承諾案ヲ上程シ、委員附託ト為シテ十一時十分散会ス。

此日、内外異状ノ緊張ヲ示シ、傍聴人満員ナリ。片平信通、鈴木脩一、堀庫一、八木雅夫外一名ヲ紹介シ傍聴セシム。

○十一時五十分頃、阪谷芳郎子ノ告別式ニ参拝ス。

○帰宅昼食ノ上、登院。衆議院ノ議事ヲ傍聴ス。

○五時、錦水ニ中川健蔵氏ヨリ招カレ出席ス。同成会員及伊澤氏出席ス。帰途、柴田氏ト共ニ米山氏ノ車ニ同乗。銀座ニテ下車。地下鉄ニテ帰ル。

十一月十八日（火）快晴 夜雨 暖

○十一時、本会議アリ出席ス。議長ヨリ勅語奉答ノ報告アリ。更ニ優渥ナル 勅語ヲ賜リシニ付、一同起立拝聴ス。

大蔵大臣ノ予算案ノ説明及一般財政經濟ニ關スル演説ア

リ。緊急勅令事後承諾ノ件二件ヲ可決シテ休憩ス。

十一時三十分、本会議再開。臨時軍事費予算案ヲ全会一致ニテ可決ス。

午後零時三十分再会。防空法中改正案ヲ可決。一時散会ス。

○本日、貴族院ノ食堂ハ大満員ナリシカバ、諸員ノ注目ハ自ラ陳列ノ甘藷ニ移リ、異常ナル関心ヲ喚起シタリ。多数議員ヨリノ熱心ナル質問ヲ受ク。

○一時三十分、中央林業協力会ニ出席ス。全森聯関係事項委員會アリテ審議中ナリシヲ以テ其会ニ臨ム。後藤会長ニ時過出席ス。委員會ハ審議未了ノマ、延会ス。理事会ニ於テハ山林伐採税ニ対スル方法ニ付審議ス。其結果、内務省当局ノ出席ヲ求メ説明ヲ乞フコト、議案決定ノ上ハ本会ヲ組織スル会員ニ通知シテ町村組合ニ達セシムルコト、福島、山梨、長野、和歌山、徳島ノ諸県ヘ本会職員派遣ノコト等ヲ相談ス。

○夕、「亜細亜」方ニテ晚餐ヲ為ス。漆山、佐藤、白澤、藺部、鈴木、須山、鈴木、岩崎等諸氏出席ス。

〔欄外〕

○衆議院ハ国策完遂ニ關スル決議案ヲ可決ス。

○野村大使、来栖大使ハ米国大統領ト会談ス。

○本日、左ノ件ヲ行フ。

外務大臣カ外交上ノ報告ヲ議會ニテ行フ場合ハ、本会議

ニテセラルルヤウ政府ニ要望スルコト。

十一月十九日（水）小雨 冷

○建部遯吾氏ノ演説アルヘシトノ件ニ付、塚本次田両氏ト電話ニテ意見ヲ交換ス。

○次田氏ヨリ産業設備営団案ニ付、緊急末広会有志会合ノ申出アリ。午後一時半ヲ期シ、塚本、岩田、岡、松村、田口、田澤、次田諸氏ト第三内談室ニ集会協議ス。

○本会議ハ午後三時半開会。増税案、米穀増産関係法案二件ヲ上程シ、委員附託ト為ス。

○予算委員会ハ三時十分ヨリ開会ス。本会議終了後、傍聴ス。松村義一氏ノ防諜取締ニ関スル質疑。対米外交三原則ノ闡明ニ関スル出渕有田両氏ノ質疑アリ。大ニ緊張ス。

○甘藷ノ展示ハ本日ヨリ衆議院食堂ニテ行フコトトナリシヲ以テ、正午前、同食堂ニ至リテ陳列ノ模様ヲ見ル。偶マ牛鍋アルヲ見テ中食ス。食後、多数代議士ノ質問ニ答へ、説明ヲ為ス。各員ニ異常ノ感歎ヲ与ヘタルカ如シ。一時十五分頃倉卒引揚ク。

○六時、晚翠軒ニ元事務局有志ノ懇親会アリ出席ス。宮田、長、東久世、水谷川、長谷川諸氏出席ス。小林書記官長モ特ニ来会セラル。八時散会帰宅ス。

〔欄外〕

○マス子ハ本日堺田病院ニ至リシモ異状ナキ故帰宅ス。明日入院スト云フ。

○重友ハ午後ノ汽車ニテ遠州ヘ帰ル。

○畳屋来リ畳ヲ取替フ。

十一月二十日（木）曇夜雨 暖

○朝、産業設備営団法案ニ対スル各派ノ態度ニ付、電話ヲ以テ、岡、塚本、岩田、田口諸氏ト意見ヲ交換ス。

○十時前登院。昭和九年法第二九号中改正、台湾米穀移出管理特別会計法ノ特例法案委員会ニ至リ審議ヲ傍聴ス。午後、委員外議員トシテ甘藷増産力食糧政策ノ根幹ヲ為ス所以ヲ力説シテ政府ノ施策ヲ要望シ、次ニ買上価格ノ低廉ニ過クルコトヲ指摘シテ之力増加ヲ求め、更ニ民間篤農者ヲ重用スヘキコトヲ勧告ス。之ニ対シ農相及岸局長ノ弁明アリ。又、台湾ニ於ケル施設ヲ強行スルコトヲ求め、北支ニ於ケル増産計画ノ樹立ヲ要望ス。前段ニ対シテハ齋藤総務長官ノ答弁アリタリ。

○本会議ニテハ予算各案、増税案、米穀買上経理案、産業設備管理営団法案等ヲ可決ス。六時十五分散会ス。

○赤池濃氏ニ対シ甘藷ノ実物ヲ示ス。氏ハ成績ノ意外ナルニ驚嘆ス。

○錦水ニ米山梅吉氏アリ。招カレ出席ス。伊澤氏ヲ初メトシ

同成会員二十一名出席ス。

○柴田氏ノ求ニ依リ、帰途往訪ス。榛葉孝平氏及令嬢〔空白〕  
子ナリ、縁談進行ニ付打合せヲ為シ、十一時過帰宅ス。

〔欄外〕

○マス子ハ今朝、堺田病院ニ入院ス。

十一月二十一日（金）朝曇午後ヨリ雨 冷

○朝、伊澤多喜男氏ヨリ電話ニテ、故湯浅倉平氏追悼会發起  
人トシテ牧野伸顕伯ノ同意ヲ得ラレタシトノ申入アリ。  
之ヲ諾シ近日往訪ヲ約ス。

○中央林業協力会ニ出頭。事務ヲ処理シ、直ニ貴族院ニ登院  
ス。

○十一時閉院式ヲ行ハセラル。東條首相 勅語ヲ奉読ス。

○正午、各大臣ヨリ首相官邸ニ招カレ午餐ヲ饗セラル。首相  
ノ挨拶、松平議長ノ両院代表謝辞アリ。

○再、中央林業協力会ニ出頭ス。

○二時、華族会館ニ至リ、北白川宮多恵子女王殿下、徳川圀  
順公令嗣徳川圀禎氏ニ降嫁セラレシニ付、徳川家ノ披露  
ニ臨ミ祝意ヲ表ス。茶菓ヲ饗セラル。

北白川宮大妃殿下、寡妃殿下ニ拝謁ス。

○三時、日本甘藷馬鈴薯株式会社ニ出頭ス。首相官邸ニテ岩  
瀬社長ヨリ、衆議院議員有志、中川村井村豪氏往訪視察

ノ希望アリトノコトヲ聞キシヲ以テ、右計画実行方法ニ  
付具体案ヲ建テ指示ス。

○三タヒ、中央林業協力会ニ出頭、立木伐採税ニ付内務事務  
官荻田保氏ヨリ内務省及地方庁ノ取扱方ヲ聴取シ各員ヨ  
リ真摯ナル質疑ヲナス。五時散会。

〔欄外〕

○五時半、レーンボー方ニテ遠州学友会例会アリ、出席ス。

一木会長、伊藤、桜井、戸塚、長、松井、松下二郎、久  
保、村尾、石川、高柳、其他特別会員数氏ノ外、学生三  
十名計リ出席、盛会ナリ。伊藤氏会計兼講演部長ヲ辞任  
シ、戸塚氏後任ニ就ク。又、伊藤氏ハ顧問トナル。

一木男ノ熱誠、深謝ノ至リナリ。

○館林マス子ハ産氣付カサルヲ以テ退院ヲ命セラレ、午後帰  
宅ス。

○山崎昇二郎帰京。大ニ瘦セタリト聞ク。

十一月二十二日（土）雨 午後晴 寒冷

○館林三喜男ハ目黒区本郷町六十七番地ヘ転居ス。荷物ハ内  
務省及前橋ヨリノ来援ヲ得テタ刻迄ニ運去ル。マス子モ  
同家ニ赴ク。二児ノミ家ニ残ル。

○午後四時、台湾総督府出張所ニ齋藤総務長官ヲ訪問シ、甘  
藷栽培法ノ採用ニ付力説シ、同意ヲ得タリ。長官ハ何レ

丸山氏ヲ台湾ニ招クヘシト確言セラル。

○長官ヲ待合中、吉武源五郎氏ニ邂逅ス。珍シキコトナリ。

○丸山方作氏ヨリ長野県ニ於ケル講習会ノ状況ヲ詳報セラル。同氏来月内原訓練所ヘ出講ノ時、一日滞京シテ衆議院議員諸氏ノ為ニ講演セラレンコトヲ依頼スルノ書状ヲ発ス。又、両院ニ諸展示ノ実績ヲ報告ス。

○衆議院有志ノ中川村見学ハ、同地ニハ諸未收穫地ナキノ故ヲ以テ中止トナル。

○藤田久蔵、田村勉作、磯部幸一郎、井村豪、牧島忠夫、堀庭政平諸氏ニ対シ甘藷展覽ノコトヲ報告ス。照会ニ対シ返書ヲ発スルヲ依頼ス。

○伊藤保三郎氏ノ来信ニ対シ返書ヲ発ス。

十一月二十三日(日)晴 午後ヨリ曇ル 寒冷

○朝、赤木正雄氏ヲ訪ヒシニ不在ナリ。大谷五平氏ノ為ニ阿武隈川上流ノ砂防工事急施ヲ依頼センカ為ナリ。

○十時頃、光永星郎氏来訪ス。曩ニ宅地ノ売買ニ付世話シタル廉ヲ以テ贈与セラレタル金千円ヲ返上シタル(八月十八日)ニ対シ、更ニ七宝花瓶一對ヲ贈リ来ル。依テ好意ヲ謝シテ之ヲ受納ス。予ノ意思ニハ変ナキモ最早之ヲ謝絶スルノ途ナキヲ以テナリ。光永氏ニ甘藷増産ノ急要ト其方法トヲ説明ス。又、氏ノ需ニ依リテ小畑敏四郎中將

ヲ訪ヒ、氏ヲ中將ニ紹介ス。

○午後、書齋ニ於テ甘藷栽培関係ノ書状書類写真等ヲ整理ス。  
○三時半頃、榛葉孝平氏来訪ス。禮子嬢結婚ノコトニ付談話アリ。

○午前中、鈴木政夫氏(伍長)来訪ス。

○午前中、久保應助氏来訪ス。昼食トシテ「サンドウィッチ」ヲ呈ス。二時頃去ル。

○要ハ二時頃、一也、葉子ヲ伴ヒ本郷町ノ館林ノ新宅ヲ訪問ス。五時半頃帰来ル。

〔欄外〕

○森町佐藤泰一郎氏ヨリ椎実ヲ贈ラル。

○久連国民高等学校長大谷英一氏ヨリ蜜柑一箱ヲ贈ラル。

○戸塚昌宏氏ヘ遠州学友会雑誌ヲ贈ル。次号発刊ノ時、名簿ノ正確ヲ期センカ為ナリ。

○今朝一時、帝室林野局林業試験場長中村賢一郎氏逝去セラレシ由、七時過林野局当直ヨリ電話ニテ通知アリタリ。

十一月二十四日(月)雨 寒冷

○朝、在郷重友ニ対シ書状ヲ認メ、(1)掛川銀行清算未配当金受取方ヲ示シ、保証人依頼方ヲモ指示ス。而シテ株券、実印(父上分自分ノモノ)、証憑書類ヲ送ル。(2)山田家ニ対スル不当請求ノ件ノ調査ヲ命シ、角皆近次郎氏ヨリ送

ラレタル書類ヲ送付ス。

○正午、牧野伸顕伯ヲ訪問ス。伯ハ此頃大ニ健康ヲ回復セラレタリ。伊澤氏ノ依頼ニ係ル湯浅倉平氏追悼会發起人タランコトヲ依頼シ、同意ヲ得タリ。伯ハ甘藷増産ニ付大ニ加勢セラレ、来客ニ対シテ予ノ事業ヲ宣伝セラルト云フ。原鐵五郎氏モ其一人ナリ。

○途中ニテ赤木正雄氏ニ出会ヒ、全国治水砂防協会ニ至リ会務ニ付種々相談ス。

○中央林業協力会ニ出頭ス。会務ヲ処理ス。

○山崎昇二郎、六時半頃来訪ス。夕食ヲ共ニス。東遠明朗会ニ付、大ニ賛意ヲ表ス。夜十時頃帰ル。

○館林マス子来訪ス。夕刻本郷町へ帰ル。

○石河正徳氏ニ書状ヲ認メ、市川貫氏ニ結婚見合ヒヲ為ス為、上京ヲ命セラレンコトヲ乞フ。

〔欄外〕

○昨日、光永星郎氏ヨリ贈ラレタル七宝花瓶ノ価格ヲ安藤七宝店ニ就キ問ヒタルニ金千円ナリト云フ。

○日本甘藷馬鈴薯会社副社長井上健彦氏ヨリノ照会ニ依リ、丸山氏ヲ東京ニ呼ビ、衆議院農政研究会諸氏ノ為ニ講演ヲ乞フ為、同氏へ書状ヲ發ス。同時ニ再版書名ヲ一木男へ報告スヘキコト、及台湾へ赴キ講習ヲ為スヘキコト等ヲ申入ル。

○靴底用ゴム一揃(代二円)及巻紙、便箋ヲ求ム(代二円)。  
○興三八数日来頭痛アリ。本日午後少シク熱發ス。依テ堀先生ノ診察ヲ受ケシニ、感冒ナリト云フ。

十一月二十五日(火)曇 寒冷

○朝、岩田宙造氏ニ対シ、昨日牧野伯ヲ往訪、故湯浅倉平氏追悼会發起人タランコトヲ乞ヒ、承諾ヲ得タル旨ヲ報告ス。伊澤氏伊東へ赴キ不在ナルヲ以テナリ。

○大谷五平氏ト正午全国治水砂防協会へ赴クコトヲ約セシガ、十一時四十分ヨリ農相官舎ニ於ケル農業報国聯盟ノ農政記者招待会へ出席ノ為不能トナリシコトヲ報告シ、昨日赤木氏ト会見ノ内容ヲ告ケ单独出席ヲ乞フ。赤木氏へモ電話ス。

○十時、中央林業協力会へ出頭ス。漆山常務理事ト本日ノ理事会ノ議事ニ付打合セヲ為シ、十一時防空協会ニ後藤会長ヲ訪問シ説明ヲ為ス。

○十一時四十分、農相官舎ニ至ル。農業報国聯盟会理事長石黒忠篤、橋本清之助、田中長茂、上浦庄治各常務理事ニ挨拶ス。午餐ヲ農政記者ト共ニス。石黒理事長ヨリ本会ノ発端ヨリ改組ニ至リシ沿革、目的、事業等ヲ詳説シ、記者諸氏ノ助力ヲ乞フ。二時五十分散会ス。

○三時、中央林業協力会理事会ニ出席ス。全森聯ニ対スル態



度ヲ決定シ、之ヲ農林大臣ニ提出スルニ決ス。又、立木伐採税ニ付所見ヲ交換ス。散会后、予ハ新年門松廃止問題ヲ提出ス。結局之ヲ農林大臣及關係団体へ通知スルニ決ス。

山口監理課長ヨリ高級事務員ノ候補者ニ付相談アリ。

〔欄外〕

○三時半、青山斎場ニ於テ、故帝室林野局林業試験場長中村賢一郎氏ノ告別式アリ、参拝ス。

○須原芳雄氏ヨリ培本塾ヲ辞シテ帰郷セラレシニ付、鄭重ナル挨拶状ヲ寄セ来ル。

十一月二十六日（水）曇 寒冷

○朝、丸山方作氏ヨリ返書ヲ受領ス。其結果、来月四日又ハ五日、内原訓練所へ往復ノ途次講演スヘシト云フ。依テ其旨ヲ井上甘藷会社副社長ニ相談セシニ、通知ニ必要ナル期間乏キヲ以テ十一、十二、十三、十五日ノ中ニテ特ニ来講ヲ求メラレタシト云フ。夕五時、中央電信局ニ至リ其事ヲ打電シテ返事ヲ求ム。

夕、岩瀬社長日本俱樂部ニ来訪シ、来九日両院議員ヲ招キ試験場、澱粉及酒精工場ノ視察ヲ行ヒ兼ねテ同社ヲ紹介スルノ企ニ付、予ノ意見ヲ求メラル。

○十時、同成会例会アリ出席ス。塚本、次田、柴田、入江、

中川、下條、大谷、塩田諸氏出席ス。

○十二時頃、中央林業協力会ニ出頭ス。(1)大日本山林会編輯寺尾辰之助氏ニ新年号ノ原稿ヲ渡ス。同氏ニ午餐ヲ呈ス。林業懇話会総会ニ至リ来会諸氏ト会見ス。漆山常務ヨリ来月五日全森聯結成準備会開催ノ通牒アリシ由ヲ告ケラレ、昨日ノ理事会ニテ決定セシ要項提出ノ為、明日農林次官往訪ヲ求メラル。之ヲ諾ス。

○二時、外務次官々舎ニ至リ故小村侯爵三十年祭ニ参拝ス。

○二時半、日本俱樂部ニ於ケル故湯浅倉平氏追悼会及記念事業会發起人会ニ出席ス。一木男ヲ會長トシ、伊澤氏岩田氏其他ヨリ發言アリ。追悼会ノコトハ決定セシモ記念事業ハ委員ヲ選ミ研究スルコトナル。

〔欄外〕

○賀陽宮大妃殿下今朝六時三十分、紀尾井町三御仮寓ニテ薨去セラレシ由發表アリシヲ聞ク。

○五時半、林業懇話会ヨリ同会ノ総会ヲ機トシテ開会セル晚餐会ニ招待ヲ受ケ、陶々方ニ出席ス。開宴ノ時、北村會長ノ挨拶アリ。之ニ対シテ予ハ總代トシテ謝辞ヲ述フ。八時散会ス。

十一月二十七日（木）曇 寒冷

○朝九時三十分、賀陽宮邸ニ伺候シ敬悼ノ意ヲ表シ来ル。正

午過侍從職皇后宮職ニ参入。 天機并御機嫌ヲ奉伺ス。

○十時、中央林業協力会ニ出頭ス。 漆山常務及佐藤理事ト打合せヲ為シ、農林省ニ同道、山林局長ヲ訪ヒ、(1)全森聯結成ニ対スル理事会ノ意見書ヲ提出ス。(2)来月六日全森聯結成準備会ニ上京セル人々招待ノコトヲ相談ス。山口監理課長ヲ訪ヒテ退出シ、更ニ佐藤理事ト共ニ三浦次官ヲ訪ヒテ意見書提出ノコトヲ述フ。

○十二時過、天機并御機嫌奉伺ノ席ヲ以テ黒田大膳頭ヲ訪問ス。 甘藷増産ノ時事ニユースノコトヲ話サル。 依テ其内容ヲ説明ス。 此時甘露寺侍医次長来リ成績ノ偉大ナルヲ称揚ス。 又新宿御苑ニ栽培ノ甘藷收穫ノ写真ヲ頒タルヘキヲ約ス。

○一時五十分帰宅ス。 朝比奈貞一ノ紹介ニテ、妹泰子ト結婚スヘキ中込香苗氏及氏ノ従兄弟中込浩次氏及夫人来訪ス。

○五時頃、昇三郎来訪ス。 次ニ山崎昇二郎来リ種々談話ス。 昇二郎ヨリ、武見太郎氏ニ就キ診察ヲ受ケタル由ニテ、其見解及養生法ヲ聴ク。 夕食ヲ始メシトキ角替利策来訪ス。 四人ニテ晚餐ヲ喫ス。 甚愉快ナリ。 昇二郎ヨリ油脂原料植物烏柏(ナンキンハゼ)種若干ヲ与ヘラル。 十時前、一同退散ス。

〔欄外〕

○館林マス子ハ産氣アリトテ午前中ニ堺田病院ニ入院ス。

十一月二十八日(金) 午前強風雨 夕曇 暖

○昨夜二時頃マテ雑誌山林ニ投スヘキ原稿ヲ草ス。 七時起床、之ヲ検閲ス。

○十時、中央林業協力会ニ出頭ス。「山林」編輯寺尾辰之助氏ニ原稿ヲ渡ス。

○十一時過、漆山常務理事ト会務ノ打合せヲ為ス。

○十一時半、東京駅ニ下車。 タクシーヲ求メテ北御車寄脇内廷東口ヨリ参内。 義宮殿下御誕辰ニ付、謹テ奉賀ス。 事務官ニ面会シ記帳ヲ為シテ還ル。 御菓子ヲ頂戴ス。

○東京会館ナル大政翼賛会ニ後藤文夫氏ヲ訪フ。 氏ハ恰モ会議中ニテ十二時四十分頃面会スルヲ得タリ。 林業協力会ノ事務、(1)来月六日全森聯結成ノ為来京スル道府県協議員一同ヲ招キ、農林当局ノ臨席ヲ乞ヒ、五時上野精養軒ニ晚餐会開催ノ件、(2)全森聯組織ニ関スル大臣ノ意向、(3)林政機構統一ノ建議其後ノ取扱方等ヲ協議ス。(1)ノ結果ハ電話ニテ漆山常務理事ニ報告ス。 後藤氏秘書森氏ノ配慮ニ依リ弁當ヲ饗セラル。 一時退去ス。

○帰途、日本勸業銀行ニ監査役大野栄三氏ヲ訪フ。 本日ハ出勤日ニ非スト云フ。

○池ノ上駅脇ニテ斬髪ス。

〔欄外〕

○館林マス子、午後二時前男児ヲ分娩ス。 兩人共ニ健全ナリ

(目方七百廿匁)。

○午前中、南風強烈ニシテ雨漏リアリ。松本亀五郎氏ヲ喚ヒ其箇所ヲ実見セシメシニ、戸袋ノ上蓋ノ箇所ヨリ漏ルコトヲ発見ス。

○五時、片倉兼太郎氏ヨリ象潟町一ノ四、ふじた方ニ招カル。主賓伊澤多喜男氏ノ外、次田大三郎、大谷五平両氏モ出席ス。浅草芸界第一人者ヲ集メ来リ至芸ヲ見セラル。近來脱俗(俗中ニテ)ノ傑作ナリ。料理亦佳良。主客大ニ歓フ。自動車ニテ送ラレ大塚駅ヨリ省線ニテ帰宅ス。

十一月二十九日(土) 曇 寒冷

○重友ヨリ掛川銀行清算配当金受領方ニ付報告ニ接ス。依テ報告ノ通り実行スヘキコトヲ命ス。山田家ヲ訪問シ、山田まさヨリノ要求ニ接シタル件ノ民事調停進行状況ヲ報告シ、関係書類ヲ送付アリ。

○中込香苗氏ノ弟健氏(大日本麦酒会社北支出張所長、天津住)来訪ス。香苗氏及一家ノコトヲ説明セラル。

○千葉県社会事業協会主事増田正直氏来訪、来月七日保田町ニ開催セラルヘキ報徳社講習会ニ出席シ講演ヲ為スノ件ニ付、打合セアリ。甘藷増産ニ関シ説明ヲ為シ千葉県ノ成績報告ヲ頼ム。

○小林次郎氏夫人来訪ス。林檎及洋菓子ヲ贈ラル。

○貴族院議員若林資藏氏薨去ニ付弔問焼香ス。

○要ハ三越ヘ赴キ、明日ノ中込香苗氏ト朝比奈泰子トノ結婚ニ付、中込氏ヘ贈ルヘキ祝儀切手ノ調達ヲナス。

○館林ノ二児ハ堺田病院ヲ見舞フ。昨日拝戴ノ御菓子ヲ頒ツ。兩人夕刻帰来ル。

○東朝社ノ招待ニ係ル「赤穂忠臣蔵」ノ活動写真ヲ看ル(東京劇場)。

十一月三十日(日) 曇 寒冷

○朝、井上健彦氏ト打合セタル結果、丸山氏来講ノ日取りヲ先ヘ廻スコトトシ、電報ニテ十五、十六、十七ノ中ニテ都合セラレタシト依頼ス。又、別ニ速達書状ヲ発ス。

右ニ対シ午後二時頃返電アリ。何レニテモヨシトアリ。

○十時過、財団法人根津美術館ニ至リ第一回展覧会ヲ看覧ス。箇人ノ蒐集トシテハ実ニ驚嘆ニ値ス。河西豊太郎、三矢宮松両氏ニ謝意ヲ表ス。

○朝比奈アキ子美弥子同伴来訪ス。衣装ヲ整ヘ要モ同道、二時四十五分飯田町大神宮ニ至ル。中込、朝比奈両家及親戚ノ者待居タリ。

○三時過、中込香苗氏ト朝比奈泰子ト神前結婚ヲ為ス。予等ハ媒妁人トシテ参加ス。了テ親戚ノ紹介アリ。又、記念ノ撮影ヲ為ス。

○五時半ヨリ披露会アリ。予ハ媒妁人トシテ挨拶ヲ述フ。長谷川太郎吉外二氏祝辞ヲ述ヘ、更ニ一氏乾盃ヲ為ス。九時帰宅ス。

○小田原勇、加藤弥一両氏来訪ス。山林買収ノ希望アリト云フ。玄関ニテ面会ス。

○館林三喜男来訪ス。夕食ヲ為シ帰宅ス。予等不在ナリ。

○福井精平氏来訪ス。予不在ノ為面会セス。

〔欄外〕

○中込氏、中巨摩郡鏡中条村

父(亡) 團次郎 四四才ニテ逝(明治四四年)

母(亡) 秀治 昭・一三年夏享年六三・

当主・《周藏 四六歳 昭・一二年吉林省樺由県(一行判

読不能》

本人 香苗《甲府商業卒業 □□北京□煙草取締役(青島)》

健《同文書院卒業 大日本麦酒会社北支出張所長》

みつ《井上文藏氏夫人 国民学校長》

友美《大日本産業報国会生活指導部 杉並・下高井

戸四―八五七》

弟(亡)

しま 太田氏(亡)ニ嫁ス 二児アリ

本家中込尚也 亡父ノ生家当主・甥

弟中込浩次《東京瓦斯会社横浜所長 世田谷・松沢四ノ

四〇》

亡母ノ兄

小宮山勤次郎《竜王村名家 明治天皇御休所アリ 甲府市

尼住》

亡母ノ妹 雪枝 佐藤元重夫人

○朝比奈氏

父(亡) 貞英 <sup>ヒデ</sup> 米國貿易

当主 貞一

節子 平山担夫人

貞二 滿洲煙草会社員

ミサ子 長谷川勇之助夫人

泰子 中込香苗へ嫁

貞世《三菱重工業名古屋飛行機製作所》

貞八郎 慶應ボーイ

十二月一日(月) 晴 寒冷

○朝、要ト共ニ八幡神社ニ赴キシモ、多勢整列シ、儀式中ナリシニ依リ其儘帰宅ス。

○福井精平氏来訪ス。防毒マスク用炭素粒製造方法ヲ發明セシモ、依頼者名古屋市寛氏応召不在トナリ、之力発令者菰田中将亦征途ニ上レリトテ、適當ナル方法ヲ相談アリ。依テ篠田中将ノ配慮ヲ乞フヘシト告ケ、電話ニテ依頼シ

且紹介名刺ヲ渡ス。

福井氏ニ対シ天城山立木伐採跡地ニ植栽ヲナスヘキ適當ナル人ノ推薦ヲ依頼セシニ、持越鈴木房吉氏ヲ推薦ス。依テ同氏ニ極力勧誘ヲ依頼ス。福井氏ヨリ持越部落報徳社ノコトヲ聞ク。又橋本一家無事隆昌ノ由ヲ知ル。夜、海野真岳氏宛植栽者ノコトヲ報告スル為手紙ヲ認ム。

○午後二時過、荻屋高子來訪ス。

○四時過、中込新夫妻、中込浩次夫人、朝比奈ミサ子ト來訪、謝意ヲ表ス。

○夕、協力会大内武氏來訪ス。鮮鯛一尾ヲ贈ラル。

〔欄外〕

○重友ヨリ手紙到著、(1)掛川銀行清算金受領ノ由ヲ知ル、(2)平野忠五郎氏山林売却ノ結果、隣接長久院山、林木侵伐ヲ受ケタリトノ報告アリ。之カ処置ニ付回答ス。

○丸山方作氏ニ対シ十五日午後講演ヲ乞フコトトシ、井上日本甘藷会社副社長ニ対シ之カ処理ヲ依頼ス。

○野口林野局監理部長ニ対シ、來八日林業試験場視察ノ許可ヲ求メ、之カ回答ハ明日幸俱樂部佐伯氏ヘ電話セラレンコトヲ乞フ。

十二月二日(火)晴 寒冷

○六時四十五分出發。上野駅七時四十八分二乗リ、福島県石

城郡川部村所在目兼<sup>〔国有林〕</sup>國林有ノ視察ニ赴ク。後藤會長、漆

山常務、佐藤理事、赤木理事、岩崎書記ノ一行ナリ。東京営林局長中尾桂一郎氏、經營部長山内倭文夫氏、本省管理局事務官〔空白〕氏等同行幹旋セラル。十一時五十分、勿來駅著下車。自動車二分乗シテ小川土場ニ至リ、ソレヨリ馬トロ三台ニ乗リ目的地ニ達ス。植田町営林署長宮田綱男氏以下案内世話セラル。檜植栽林ヲ視察シ、枝打、間伐ヲ見、次ニ杉植栽林ヲ視察ス。三時四十分トロニテ發シ下降、小川ヨリ自動車ニテ湯本町松柏館ニ投ス。一同ニテ夕食ス。川部村長ヨリ酒ヲ贈ラル。又署長ハ一行ノ為木炭ヲ旅館ニ供給セラル。

〔三行抹消。翌日の記述〕

○楠目貞子夫人來訪ス。夕刻不快トナリ堀先生ヲ招キ治療ス。一泊ス。

〔欄外〕

○静岡渡辺八太郎氏ヨリ蜜柑ヲ贈ラル。

○大島寛一氏除隊トナリ、帰休ストテ來訪。挨拶ヲ述フ。

十二月三日(水)曇 寒冷

○昨夜快眠ス。

○九時二十二分湯本發ニテ歸ル。植田町営林署長宮田氏ヨリ山藪、雉子雌雄二羽ヲ、中尾局長ヨリシオジノ杖ヲ贈ラ

ル。又往復共車中ニテ蜜柑林檎等ヲ饗セラル。一時五十分上野著。営林局ノ自動車ニテ送ラレ帰宅ス。

○要ハ午後、楠目貞子夫人ヲ送リテ逗子へ赴ク。帰途、横浜へ一泊ス。

○夜来、十五日丸山氏ノ講習会ニ招待セラルヘキ人名ヲ整理ス。

〔欄外〕

○徳川公爵ヨリ令嬢順子姫御結婚ニ付、祝品御返シトシテ金二十円ヲ贈ラル。

十二月四日（木）晴 寒冷

○朝八時過、丸山方作氏来訪ス。甘藷栽培方法ヲ全国ニ普及スル方法ニ付協議ス。即(1)指導者ノ決定、(2)種藷用意ニ関スル方針ニ付意見一致ス。又生理応用甘藷栽培法改版出版ニ関シテ相談ス。丸山氏ヨリ柿及蜜柑ヲ贈ラル。又、対馬産甘藷ヲ種用トシテ贈ル。午餐（温飩）ヲ共ニス。其他新宿御苑ニ植付クヘキ品種ノ件、明年度献上ノ甘藷栽培者ヲ藤田久蔵氏ノ選定ニ任カスコト等ヲ決定ス。

○福井精平氏来訪ス。防毒マスク用粒状炭製造ニ付、篠田中将ノ紹介ニテ陸軍技術本部第八部陸軍技師山田櫻氏ニ面会セシ結果ヲ報告シ、更ニ海軍方面へ紹介ヲ申出ツ。依テ海軍中将中島資朋氏ニ対スル紹介名刺ヲ与フ。

○大谷英一氏来訪ス。乙種農学校設置願ハ静岡県庁ヲ通過セシヲ以テ文部省実業学務局長ニ紹介ヲ求メラル。局長トハ面識ナキヲ以テ柴田善三郎氏ヲ煩ハシ専門局長〔学務脱力〕社会教育局長ニ電話シタル上、両局長及実業局長へ宛テタル紹介名刺ヲ与フ。

○矢田部盛枝氏、十時半頃来訪。十一時半頃去ル。神職会ノ為滞京中ナリト云フ。

○昼食後、丸山氏ノ内原へ赴クヲ送リテ上野駅ニ至リ、ソレヨリ東京営林局長ヲ訪ヒ謝意ヲ表ス。局長ノ求ニ依リ、山内部長、計画部長大泉勝吉氏ノ為ニ甘藷栽培法ニ付説明ヲ為ス。局長ヨリ明年一月丸山氏講演ヲ求メラル。

〔欄外〕

○日本甘藷馬鈴薯会社ニ岩瀬社長、井上副社長ヲ訪問シ、来十五日開催ノ丸山氏ノ甘藷栽培法談話会ニ貴族院側ヨリノ案内状發送者氏名ヲ託ス。

○中央林業協力会ニ出頭ス。別段用事ナシ。次ニ全国治水砂防協会ニ赤木幹事長ヲ訪問ス。

○中央林業協力会ヨリ林檎二箱ヲ贈ラル（青森大鰐産）。

○館林ノ二男ヲ成也ト命名スル由、三喜男ヨリ電話アリ。要ハ横浜ヨリノ帰途、病院ニ立寄りテ六時過帰ル。

十二月五日（金）晴 漸次曇 冷

○朝、東京聾啞技芸学園主高柳暉氏来訪ス。宮内省ニ於ケル同園設園特別御助成詮議進行ノ状況報告アリ。依テ岡本参事官ニ電話ニテ依頼ス。

○朝、志田収氏来訪ス。北海道ヨリ帰途ニ在リト云フ。令娘明年三月静高女卒業後ノ方針ニ付相談アリ。依テ児玉九十氏ノ意見ヲ問フ為紹介名刺ヲ与フ。

○志賀信秀氏夫人来訪ス。歳末ニ付挨拶ヲ述フ。佃煮ヲ贈ラル。

○瀬古保次氏夫人来訪ス。歳末ノ挨拶ヲ述ヘ鮮魚ヲ贈ラル。

○一時、中央林業協力会ニ出頭シ、事務ノ打合せヲ為ス。

○二時、日本勸業銀行ニ總裁西野元氏ヲ訪ヒ、植林事業遂行ノ為必要ナル資金融通機関ノ必要ヲ述ヘ、同行員ニシテ此方面ノ權威者ノ意見ヲ開示セラレンコトヲ求ム。總裁ハ会ノ性質ヲ明ニシ急速理事ト相談シテ返答スヘキコトヲ約セラル。

○文部省ニ関口実業学務局長ヲ訪ヒ、昨日大谷英一氏ヲ紹介セシ挨拶ヲ述ヘントセシニ不在ナリ。依テ実業学務局ニ執務中ノ文部省囑託中原信義氏ニ面会シテ局長ヘノ伝言ヲ依頼シ、且急速進行セラレンコトヲ求ム。《主任ハ杉山属ト云フ。》

○六時二十分頃重友遠州ヨリ帰来ル。元氣宜シ。

〔欄外〕

○昨夜睡眠不十分ナリ。日米会談ノコトヲ憂懼ス。

○静岡市服部源太郎氏ヨリ蜜柑一箱ヲ贈ラル。

○榛葉孝平氏ヨリ朝鮮金剛山饅頭一箱ヲ贈ラル。

○中村円一郎氏ヘ渡辺氏所贈ノ鮭ヲ、戸塚重一郎氏ヘ青森林檜一箱ヲ贈ルコトトス。

○夕、戸塚重一郎氏ヨリ電報ヲ以テ明日海野氏ヲ伊豆ヘ出張セシムヘキ由ヲ通知アリ。依テ夜電話ヲ以テ打合せヲ為ス。

十二月六日(土) 曇 寒冷

○後藤文夫氏ノ求ニ依リ九時往訪ス。同氏ヨリ全国森林組合联合会々長ノ選定ニ付、山林局長ト相談ノ結果ヲ報告セラレ予ニ受諾ヲ勧誘セラル。之ヲ固辞ス。而シ右組織ノ方法ニ付所見ヲ交換シ、其結果山林局長ニ内話スルコトトス。

○十時過、内廷東口ヨリ参内。照宮殿下御誕辰ニ付事務官室ニ至リ奉賀ス。帰途岡本参事官ヲ訪ヒ、高柳氏ノ東京聾啞技芸学園御助成ノコトヲ乞フ。

○呉竹寮ヘ参賀ス。藤井御養育掛長病氣ニテ不参ナリ。

○十一時二十分頃、農林省会議室ニ於ケル全国森林組合联合会結成打合会ニ出席傍聴ス。昼食ヲ饗セラル。休憩中、組織ニ関シ後藤会長ノ意見ヲ内報ス。局長ヨリモ会長受

諾ヲ求メラル。之ヲ辞退ス。一時半再会。三時三十分議事終了ス。

○自動車ニテ上野精養軒ニ於ケル農林省及結成打合会参集者ノ招待会ニ臨ム。出席者百余名。後藤会長ノ挨拶ニ対シ小山邦太郎氏謝辞ヲ述へ、七時過散会ス。

○漆山常務理事ヨリ手当金決定ニ付相談アリ。予ノ見解ヲ述ヘテ原案作成ヲ依頼ス。宴後会長ニ報告シ同意ヲ得タリ。

〔欄外〕

○要ハ角替文子ト柴田善三郎氏ヲ訪問ス。角替家養子問題ニ関シテナリ。

○要ハ堺田病院ニ館林マス子ヲ往訪ス。明日退院スト云フ。夜、清水自動車店ニ明日出迎ノコトヲ依頼ス。

○榛葉孝平氏ヨリ林檎一箱ヲ贈ラル。

○角替太郎衛氏ヨリ蜜柑一箱ヲ贈ラル。

十二月七日(日) 晴 寒

○千葉県社会事業協会主事増田正直氏ノ求ニ依リ、同県保田町市井原徳報社<sup>(報徳)</sup>ノ幹部会ヘ赴ク。八時七分両国発日本甘諸株式会社副社長井上健彦氏令息ト共ニ同行ス。十一時保田著。社長川名貞治郎、増田正直、佐藤猪三郎三氏ノ出迎ヲ受ケ、川名氏方ニ至ル。幹部七八名ト市井原部落更生方法ニ付意見ノ交換ヲ為ス。川名氏ヨリ午餐ヲ饗セ

ラル。

二時、同町国民学校ニ至リ、町長戸田治助氏、学校長、前町長、其他有力者ト会见シ、直ニ講堂ニ於テ時局ト食糧ナル題目ニ付、一時間半ニ亘リ講演ヲ為ス。之ヨリ先井上氏ハ予ヲ紹介スルノ演説ヲ為ス。四時終講。川名氏方ニ立寄り、夫人ニ謝意ヲ表シ、川名、戸田其他有志ニ送ラレテ四時二十五分発ニテ帰京ス。東千葉ニテ増田、佐藤両氏ト別レ、代々木ニテ井上氏ト別レ、八時二十分帰宅ス。

○館林マス子退院ス。夕、館林三喜男来訪シ在リ。和氣堂ニ満ツ。

マス子ノ退院ニ際シテハ清水自動車店主ニ世話ニナル。

○保田ヨリ鮮魚、蝶螺及蜜柑ヲ贈ラル。

〔欄外〕

○青木正己〔已?〕氏来訪ス。鶏卵ヲ贈ラル。

○渡辺史郎氏夫人小児ト来訪ス。

○榛葉良男氏ヨリ甘藷ノ葉柄ノ佃煮ヲ贈ラル。

十二月八日(月) 快晴 暖

○今早晩ヨリ対米英戦争勃発ス。

布哇ニ於ケル大空襲ハ偉大ナル戦果ヲ収メ、戦艦二隻、航空母艦一隻ヲ撃沈シ、戦艦四隻大型巡洋艦四隻ヲ大破



シ、同地ノ軍事施設ニ大損傷ヲ与フ。又グワム島、ウェーク島ヲ急襲シ、グワムノ損害多大ニシテ軍艦一隻撃沈、汽船数隻ヲ鹵獲ス。馬來半島ニ陸兵上陸、英軍ヲ泰国境ヨリ撃攘、菲島及ダバオヲ空襲シ飛行機百ヲ撃墜、香港ヲ空襲シ飛行機十数ヲ破壊シ、上海ニテハ英艦一隻ヲ撃沈、米艦一隻ヲ降伏セシメ、泰国ニ進駐、上海共同租界天津英租界ニ進駐等ノ報告アリ。

○天皇陛下ニハ対米英宣戰ノ大詔ヲ渙發アラセラル。

臨時帝國議會ヲ來十五日召集シ、会期ヲ二日トスルノ詔書ヲ發セラル。

○十時二十五分新宿發ニテ浅川ニ至リ、直ニ大正天皇陵ニ参拝ス。一行二十人ニシテソレヨリ林業試験場ニテ中食シ、引續キ代用燃料油ノ製造方、ソーダパルプ製法、各種針葉樹油ノ製造、強力木製造及害虫驅除法等ノ説明ヲ聴キ、二時四十七分發ニテ帰京ス。

○帝室林野局ニ野口監理部長ヲ訪ヒ、右見學ニ付謝意ヲ表ス。  
〔欄外〕

○五時半ヨリ錦水ニテ三七会ヲ開ク。出席者、三上、池尾、片山、大塚、今井、山本、池田、岡田、村井、山内、田中、ノ十二名ナリ。一同記念スヘキ会合ナリシヲ喜ビ、歡ヲ尽シテ散会ス。

十二月九日（火）曇夕雨 寒冷

○昨夜殆ト不眠。

○朝、清風会幹事齋藤氏ヲ訪ヒ、会務ノ相談ヲ受ク。其結果真島会長、木村幹事ヲ訪問ス。

○十時前、中央林業協力会ニ出頭ス。佐藤理事ヨリ全森聯会長就任勧誘ヲ受ケタルニ付、諾否如何スヘキヤノ相談ヲ受ク。切ニ氏ノ受諾ヲ勧メ、且其組織ヲ十分ニ強化スヘキヲ求ム。

○十一時、議長応接室ノ各派交渉委員会ニ出席ス。臨時議會ニ於ケル貴族院ノ行動ニ関シテ協議アリ。十一時四十五分散会ス。

○江口定條氏ノ厚意ニ依リ氏ノ自動車ニ同乗シ、三会堂ナル全国治水砂防協會ニ出頭ス。

○十二時十分頃、協力会ニ出頭ス。昼食ノ後一時ヨリ理事会ヲ開ク。挙国造林ノ件ヲ議題トシ本多理事ノ説明アリ。委員附託ト為ス。ソレヨリ全森聯ニ対スル理事会決定ノ意見提出ノ報告、山林伐採税問題取扱ノ現状報告アリ。次ニ（空白）理事提出ノ開戦ニ対スル協會ノ態度ニ關スル宣言ヲ決定ス。最後ニ本年及明年ノ理事会日ニ付決定シ三時散会ス。

〔欄外〕

○井出理事ト、年末手当ヲ山口課長其他ヘ贈呈スヘキヤニ付

相談ス。

○四時、農相ノ要求ニ依リ官邸ニ赴ク。理事七名出席ス。農相ヨリ開戦ニ至ルマテノ経過及農林水産事業推進ノ要求アリ。三浦次官ヨリ本日閣議ニテ決定セシ明年度一般会計農林省所管ノ部中決定ノ大綱ヲ報告アリ。五時過散会ス。

農林水産等各団体ノ代表者出席ス。

○重友ハ遠州ヘ赴ク。

十二月十日（水）雨午後歇 寒冷

○昨夜安眠ス。

○朝、小林次郎氏来訪、林檎ヲ贈ラル。又、舘林小児出生ニ付祝品ヲ贈ラル。小林氏ノ自動車ニ同乗、幸俱樂部ニ至ル。

○例会アリ出席ス。柴田、下條、中川、丸山、米山、建部、大谷、小坂梅諸氏出席ス。予ハ昨日ノ各派交渉会決定ノ内容ヲ報告ス。又、村瀬、富田、小林三氏ヘ入会勧誘強化ノコトヲ發議ス。尚、茨城県多額納税者議員選挙ノ模様ニ付、次田伊澤両氏ヨリ聴ク所ヲ報告ス。

○米山氏ノ自動車ニ同乗。日本俱樂部ニ至ル。中食後〔空白〕氏ノ蘭印ノ石油ニ付テノ講話ヲ聴ク。

○村瀬直養氏ヲ訪問ス。不在ナリ。

○一木男ヲ訪問ス。時局ニ関シ所信ヲ述ヘテ教ヲ乞フ。甘藷増産方法ノ普及ニ関シ報徳社トノ関係ヲ如何ニスヘキヤヲ相談ス。切ニ先生ノ自愛ヲ祈リテ辞去ス。

○夜、佐藤雄氏方ニ常会アリ、要出席ス。

○夜、榛葉孝平氏来訪ス。令嬢結婚ニ付見合ヒノ状況ヲ報告セラル。

榛葉氏ヨリ米洲ノ産米二升及砂糖五斤ヲ贈ラル。

〔欄外〕

○皇軍比島ニ上陸ス。米ノ空軍母艦ヲ撃沈ス。軍用船一隻ヲ撃沈ス。

○グワム島上陸、米潜水艦一隻ヲ雷沈ス。

○馬來東南海上ニテ英艦プリンス・オフ・ウエールス及リナウンノ二隻ヲ撃沈ス。主力艦悉ク沈没。

○聖上、海軍ノ偉功ヲ嘉賞アラセラル。

十二月十一日（木）曇午後晴 寒冷

○朝、村瀬直養氏ニ電話ヲ以テ往訪ニ付都合ヲ問フ。都合悪シト云フ。依テ他日ヲ期ス。又、下條康麿氏ニ電話ニテ其事ヲ告ケ、富田健治氏ノ訪問ヲ依頼ス。後、下條氏ヨリ往訪ノ結果ヲ電話セラル。

右ノコトヲ伊澤氏ニ報告ス。

○要ハ早昼食ニテ逗子ニ楠目氏ヲ見舞ヒ、泰治ヲ世話セラレ

シニ付謝礼ス。ソレヨリ横浜ニ清水氏ヲ訪ヒ、今夕朝比奈方ニ宿泊ノ予定ナリ。

○一時半、農林省ニ井出山林局長ヲ訪ヒ、山林局課長ニ対シ年末謝礼若干ヲ呈スルニ付局長ノ意向ヲ問フ。

○次ニ岸農政局長ニ面会シ、甘藷増産実行方法トシテノ計画ノ内容ヲ告ケ、之カ為ニ必要ナル経費金一万円ヲ大日本報徳社ニ補助セラレンコトヲ求メ、大体ニ於テ局長ノ同意ヲ得タリ。

○中央林業協力会ニ出頭。漆山常務理事ニ面会シ山林局長往訪ノ結果ヲ告ケ、之カ実行ヲ求ム。理事以下年末謝礼ノコトヲ決定ス。

#### 〔欄外〕

○朝、柴田善三郎氏へ電話ニテ昨夜榛葉孝平氏来訪ノ内容ヲ告ケ、予ノ意見トシテ柴田氏ノ配慮ヲ乞フ。

○柴田氏ヨリ熊本県黒川漸氏ノ「甘藷増産に就て」ナル印刷物五部ヲ贈ラル。

十二月十二日（金）晴 寒

○六時起床、七時七分<sup>（八カ）</sup>両国発ニテ千葉ニ赴ク。駅ヨリ自動車ニ乗合ヒ県立農事試験場ニ至ル。日本甘藷馬鈴薯株式会社主催ノ農政研究会所属有志代議士ノ視察団ニ参加セシナリ。知事、場長ノ挨拶、甘藷品種改良主任技師及病害

虫害駆除主任技師ノ説明アリ。試験室ヲ巡覧ス。

○一行ト別レ、經濟部長ノ好意ニ依リ自動車ニ同乗、千葉駅ニ送ラレ電車ニテ帰京ス。日本倶楽部ニテ昼食ス。

○一時、食糧管理局ナル農業報國聯盟常務理事会ニ出席ス。各地ニ於ケル増産推進隊活躍ノ状況報告ヲ聴キ、更ニ道府県ノ下部組織要綱ヲ決定シ、三時散会ス。石黒理事長、三浦次官、岸局長、後藤、田中、安藤、千石各常務出席ス。

○三時半、軍人会館ナル静岡育英会理事会ニ出席ス。右了テ卒業学生送別会アリ。徳川総裁、河田副会長ノ祝詞告辞ス。次キ予モ祝辞ヲ述フ。一同会食ノ後會員大会ニ移リ、梅澤研究所長、松下二郎氏ノ戦時体制下ニ於ケル南方問題ナル講演ヲ聴ク。八時散会ス。

#### 〔欄外〕

○日独伊攻守同盟条約成リ、其全文ヲ発表セラル。

○呂宋島南部ニモ上陸ス。

○グワム島首都ヲ占領ス。

十二月十三日（土）曇 寒冷

○朝、岸農政局長ニ、甘藷増産方法普及ノ為政府ヨリ大日本報徳社ニ対シ補助金下付ノ件決定如何ヲ電話ニテ問合シタルニ、未其運ヒニ至ラスト答ヘラル。

○丸山方作氏ヨリ甘藷増産方法ニ付十五日ノ講演ノ原稿ヲ受ク。之ヲ貴族院事務局ニ持行キ甘藷会社井上副社長ニ渡ス。

○十時、貴族院調査部会第四部会ニ於ケル平出英夫海軍大佐ノ日米英海戦ノ状況ニ付キ講演ヲ聴ク。甚有益ナリ。

○長谷川赳夫氏ノ招ニ応シ、帝国ホテルニ至リ昼食ス。同氏ヨリ真崎大将ノ二、二六事件ニ於ケル誤解ヲ除ク方法ナキヤヲ相談セラル。

○一時貴族院議長ノ招集ニ係ル各派交渉委員会ニ出席ス。書記官長ヨリ今期臨時議會ニ提出セラルヘキ予算及法律案ニ付報告アリ。政府側発言者ハ首相ノ外、外務陸軍海軍大藏ノ四大臣ナルコト、勅語奉答書案起草方法等ニ付相談アリ。又、(1)国務大臣ノ演説ヲ衆議院ヨリ後ニ聴クヘキヤニ付措置ヲ議長ニ一任ス。(2)陸海軍ニ対スル感謝ノ決議ニ付相談ノ結果、文案ニ付相談セシモ之力纏メ方ヲ事務局ニ一任シ、更ニ相談スルコトトス。發議者、賛成者ノ範圍ヲ決シ、又説明者ヲ火曜會員トスルニ決定。二時散会ス。

#### 〔欄外〕

○二時四十分頃、文部省ニ於ケル第五回報徳経済学研究会ニ出席ス。法学士岩田松太郎氏ノ国民組織再編成ト部落会町内会ナル研究報告ヲ聴ク。會員ヨリ議會否認ノ如キ

發言アリシニ対シ正確ナル意見ヲ發表ス。

○佐々井氏ニ対シ、甘藷増産方法普及ニ付農政局長ニ交渉シタル大略ヲ告ケ、予算編製上ニ考慮アランコトヲ求ム。

○夕、福井精平氏來訪ス。先ニ氏ヲ中島資朋氏ニ紹介セシニ転居ノ為面会ヲ得サリシ由報告アリ。依テ更ニ電話ニテ中島氏ニ紹介ス。

○夜、後藤協力会長ヨリ全森聯会幹部組織ニ付困難發生シタル旨内話アリ。

#### 〔欄外上〕

○夜八時過、関東東都ハ西部静岡地区及横須賀鎮守府地区ニ警戒警報發令ノ放送ヲ聴ク。多分敵側ノ惡戯ナラン。

十二月十四日(日) 曇 寒冷

○朝、赤木正雄氏ヲ訪問シ砂防事業ニ付意見ヲ聴ク。

○朝、大村武雄氏來訪ス。清水ニ於ケル日発ノ状況ヲ報告アリ。

○夕刻、榛葉孝平氏來訪ス。令嬢縁談ニ付談話アリ。

十二月十五日(月) 氷雨 寒冷

○朝、福井精平氏來訪ス。中島資朋氏往訪ノ結果ヲ報告□□氏ノ希望に應シ

○第七十八回議會召集ニ付、氷雨ヲ衝イテ九時登院ス。

九時開会。議事規則ニ依リ前回ノ部属継続ノ旨ヲ宣告セラレ、直ニ貴族院成立ス。

○各派交渉会アリ。陸海軍ニ対スル感謝決議案文ヲ決定ス。

○又、議事散会後同成会例会アリ。一昨日ノ各派交渉委員会ノ経過ヲ報告ス。又、本期中特別委員ノ選定ハ前回同様ニ塚本、河井、小坂三名ニ委任スルコトヲ決定ス。

○中央林業協力会事務所ニ至リ漆山理事ト相談執務ス。又、同理事ト東洋軒ニテ中食ス。又、三時マテ今夕会合ノ用意ヲ為ス。

○渋谷宮益坂ナル写真店ニ至リ、引伸シ写真三種十五枚ヲ受取ル。

○三時三十八分、東京駅著ノ丸山方作氏ヲ出迎フ。日本甘藷会社井上健彦氏ト共ニ三信ビル東洋軒ニ同氏ヲ伴ヒ、衆議院農政研究会、貴族院議員、大政翼賛会其他諸氏八九十名ニ丸山方作氏ヲ紹介ス。夕食ノ上、丸山氏ノ講演アリ。八時過散会ス。

○九時過丸山氏ヲ伴ヒ帰宅ス。深町経蔵氏、菅〔空白〕氏ト来訪シ在リ。丸山氏ト会见シ氏ノ甘藷栽培法ヲ教ヘラレ十一時辞去ス。丸山氏一泊ス。

十二月十六日（火）快晴 寒冷

○丸山方作氏六時四十分出發静岡へ赴ク。池之上駅へ見送ル。

○十一時第七十八回議會開院式アリ、出席。勅語ヲ拝聴ス。○開院式還幸直後議長室ニ開ケル部長理事及各派交渉委員聯合会ニ出席ス。勅語奉答書案ニ付審議決定ス。

○二時、本會議ヲ開ク。勅語奉答會議。全院委員長常任委員ノ選舉ハ議場ニ於ケル決議ヲ以テス。次ニ東條首相、東郷外相ノ演說アリ。更ニ陸相海相ノ戰況報告アリテ之ニ對シ感謝決議文ヲ上程。島津忠重公ノ説明アリ。全会一致可決ス。陸相海相交モ之ニ答フ。次ニ敵産管理法案、戰時犯罪処罰ノ特例ニ關スル法律案各第一讀会ヲ開キ、夫々委員附託ト為シ三時休憩ス。

○四時再會。赤字公債案ヲ附議シ、大藏大臣ノ予算及本案ノ説明アリ。特別委員ニ附託休憩ス。

○六時三十分マテノ休憩時ヲ利用シテ第一ホテルニ赴キ、平沼氏ノ配慮ニテ晚餐ヲ食フ。入江、次田、中川、塚本、柴田、下条、熊谷、塩田、平沼、河井同席ナリ。質量共ニ甚佳ナリ。

○六時三十分開會。勅語奉答ノ報告アリ。更ニ優渥ナル勅語ヲ拝ス。次テ予算三案及赤字公債法案ヲ可決ス。又、敵産管理法案、戰時犯罪処罰特例案ヲ可決シ、戦争保険臨時措置法案ヲ上程、委員附託トシ休憩ス。

○九時半、各派交渉会ヲ開キ今夕ノ議事ニ付協議シ其結果十時開會散会ス。

〔欄外〕

○早朝、福井精平氏来訪ス。氏ノ希望ニ依リ氏ヲ朝比奈貞一ニ紹介ス。又、本日ノ貴族院傍聴券ヲ与フ。

十二月十七日（水）晴 寒冷

○朝、久次米邦藏氏ヨリ甘藷栽培法映画見物ノ報告アリ。返書ヲ呈ス。

○十時、貴族院ニ登院ス。十一時過本会議アリ。言論出版集會結社等臨時取締法案ヲ上程シ委員附託ト為シ休憩ス。

○二時過開會。戦争保険臨時措置法案ヲ可決シテ休憩ス。四時四十五分再會、言論出版集會結社等臨時取締法案ヲ可決シ五時十五分散會ス。

○午前ハ衆議院本會議ヲ傍聴シ衆議院食堂ニテ寿司ヲ食ヒ、午後ハ貴族院ノ言論出版集會結社等臨時取締法案委員會ヲ傍聴ス。

十二月十八日（木）晴 寒

○朝、千葉県庁増田正直氏ヨリ千葉県ニ於ケル甘藷栽培成績ノ報告ヲ受ク。之ニ対シ直ニ謝状ヲ發ス。

○第七十八回議會閉院式ニ参列ス。十一時、東條首相 勅語ヲ奉読ス。

○日本俱樂部ニ至リ昼食ス。入江氏ノ自動車ニ同乗参内ス。

○二時三十分、正殿ニ於テ拝謁ノ光榮ヲ賜フ。御煙草及御紋菓ヲ頂戴ス。

○侍從職及皇后宮職務事務官室ニ至リ天機并御機嫌ヲ奉伺ス。

○黒田大膳頭ヲ訪問ス。偶在室ノ甘露寺侍從次長ヨリ新宿御苑ニ於ケル甘藷收穫ノ写真三種（六葉）ヲ贈ラル。夜、新宿御苑官舎福羽御用掛ニ対シ諸ノ種類及目方ヲ電話ニテ問フ。

○九時四十分頃、山王ホテルニ榛葉孝平氏ヲ訪問ス。令嬢結婚ノ件ニ付テナリ。

○海軍ヨリ去八日布哇真珠灣攻撃ノ結果ヲ發表セラル。之ニ依レハ主力艦撃沈五隻ヲ初メトシ全艦隊ヲ殲滅セシモノナリ。

十二月十九日（金）快晴 暖

○午前七時三十九分、品川ニテ乗車。一時二十二分、掛川著。大日本報徳社ニ出頭シ理事会ニ出席ス。駅ニハ大村芳次氏出迎フ。

理事会ニ於テ、甘藷増産方法全国普及計画ニ付、農政局長ト打合セタル事項ノ内容ヲ發表シ、大日本報徳社ノ態度ノ決定ヲ求ム。一同之ヲ受諾スヘシト決定シタルヲ以テ、之力実施方法要領ヲ示シ、予算案ノ編成、講師ノ選定及打合、受持地方別等ヲ提議ス。五時頃帰宅ス。

○夜、村明朗会長松井六郎氏来訪。氏ノ栽培ニ係ル「昭和旭」  
稻ノ成績ヲ報告ス。石野福松、小柳直吉両氏モ来リ、九  
時頃マテ要談ス。

○重友健康大ニ回復シ頗元氣ナリ。此頃ハ毎日相当ノ労働ヲ  
為スモ疲労セス。睡眠食量共ニ十分ナリト云フ。  
小作米取立テ其他ニ付打合セヲ為ス。

〔欄外〕

○皇軍香港ノ敵前上陸ニ成功ス。

十二月二十日（土）曇 寒

○朝、袴田銀蔵氏来訪。東遠明朗会ノ事務ニ付打合セヲ為ス。  
同氏ト同道、掛川ニ至リ信用組合ニテ別ル。

○鷺山恭平氏ヲ信用組合ニ訪問シ、山田家ニ対スル不当請求  
調停事件ニ付、山田家ノ為ニ説明ヲ為シ裁判所ヘ説明ヲ  
依頼ス。

○鷺山氏ト報徳社ニ出頭シ、(1)東遠明朗会ヘ百円寄附ノ件ヲ  
通告シ、(2)本日ノ役員会ニ提出セラルヘキ甘藷栽培法全  
国講習ノ件ヲ相談ス。(3)丸山氏著書出版期限及部数ヲ問  
フ。

十時役員会ニ出頭ス。佐々井副社長ノ開会ノ辞ニ次ギ簡単  
ニ甘藷栽培法普及計画ニ付報告ヲ為シ、十時三十分退出  
ス。

○十時五十分掛川発ニテ帰京ス。五時帰宅。

○大野よし子来訪一泊ス。

○六時半頃昇三郎来訪ス。夕食ヲ共ニス。夜九時二十五分発  
ニテ大阪ヘ還ル。

○電話ニテ山崎昇二郎ノ病状ヲ問フ。本月一日胆石痛甚シカ  
リシモ静養十余日ニテ軽快トナリ後、京都ニ赴キ診断ヲ受  
ケタリト云フ。

〔欄外〕

○伊藤保三郎氏、久能山東照宮々司ヨリ興津鯛ヲ贈ラル。

○浅野長光氏ヨリ鮭燻製二本ヲ贈ラル。

○西原亀三氏ヨリ大江山鬼蕎麦ヲ贈ラル。

十二月二十一日（日）曇 タヨリ雨 寒冷

○朝、電話ヲ以テ山王ホテル榛葉孝平氏ニ対シ兔唇ハ遺伝性  
アリヤニ付堀医師ノ不遺伝説ヲ報告ス。

○十時発急行ニ乗り静岡ヘ赴ク。小濱知事ヲ訪ヒシニ不在ナ  
リ。戸塚重一郎、海野真岳両氏ヲ訪問セシニ亦不在ナリ。  
伊藤保三郎氏ヲ訪ヒ、同氏ノ案内ニテ服部源太郎氏ヲ田圃  
ニ訪フ。五時二十分静岡発急行ニテ帰ル。九時前帰宅ス。

○興三感冒ニ罹リ臥床ス。堀先生ノ来診ヲ受ク。

○熊谷三太郎氏ヨリ三国産ノ蟹ヲ贈ラル。感謝ニ堪ヘス。

○静岡ヘノ車中、日比野海軍中将ト対座シ、甘藷栽培法ノコ

トヲ説明ス。亦横浜駅ヨリ偶然中込泰子ノ青島へ赴クタメ  
門司へ向フト同車ス。朝比奈貞八郎氏同行世話ス。

十二月二十二日(月) 雨 寒冷

○八時半頃、東京聾啞学園主高柳暉氏来訪シ、恩賜金拝受ノ  
コトヲ告ク。至誠神ニ通スト云フヘシ。歎嘆名状シ難シ。  
岡本参事官及米山梅吉氏宛紹介名刺ヲ与フ。

十二月二十三日(火) 曇 暖

○八時過出發。東京駅ヨリ自動車ニテ宮城ニ赴キ、皇太子殿  
下ノ御誕辰ヲ奉賀ス。廣幡大夫ニ面会シ御近状ヲ拝聞ス。

○十時、議長室ニ於ケル各派交渉委員会ニ出席ス。今期議會  
ノ年末年始議事取扱方ニ付協議ス。

○塚本清治氏ト交渉委員改選ノ件常任委員予選ノコトヲ議  
ス。

○後藤文夫氏ニ面会ス。中央林業協力会副会長ノ報酬問題ニ  
付相談ヲ受ク。予算面ノ金額ハ会務ノ必要ニ流用セラル  
ヘキ旨ヲ答フ。全森林組織ノコト確定セシ由報告アリ。  
所見ヲ述フ。又、勅選中心ノ各派ノ糾合ノ件ニ付意見ヲ  
交換ス。

○中央林業協力会ニ出頭ス。ソレヨリ自動車ヲ雇ヒ東宮御所  
ニ参賀ス。

○十二時、協力会理事集会シ、午餐ヲ共ニス。一時ヨリ拓務  
省ニ瓶平二氏ノ南洋資源ノ説明ヲ聴ク。次テ全国造林ニ  
関スル件ヲ議題トシ、白澤委員長ノ報告ヲ聴キ十三項ヲ  
可決ス。

〔欄外〕

○五時ヨリ星ヶ丘茶寮ニテ開催ノ中央林業協力会ノ顧問理事  
懇親会ニ出席ス。顧問ハ伊澤、三矢両氏出席ス。

○伊澤氏ヨリ二十日近衛公ヲ訪ヒシ際、新勅選議員ノ同成会  
入会勧誘ヲ依頼セシ由ヲ告ケラル。

十二月二十四日(水) 晴 暖

○朝、次田大三郎氏ト電話ニテ、勅選議員同成会誘引ノコト  
ニ付、意見ヲ交換ス。

○第七十九回議會召集ニ付、登院ス。九時開議、部属ヲ分チ  
部長理事ヲ選舉シテ散会ス。

○散会后、控室ニテ總會開会。昨日ノ交渉委員会ノ内容ヲ報  
告ス。

又、各派交渉委員、幹事ノ改選ヲ行ヒ、常任委員特別委  
員選定委員ヲ議決ス。予ハ塚本小坂両氏ト共ニ委員選定  
ヲ託セラル。之ニ依リテ直ニ常任委員ヲ選定シテ発表ス。

○十一時幸俱樂部總會アリ、出席ス。庶務會計ノ報告アリ。  
明年度會計予算ヲ決定ス。了テ午餐会アリ。



○一時過、中央林業協力会事務所ニ出頭ス。

○三時、一木男ヲ往訪ス。週日来感冒ニテ臥床セラル。甘藷栽培ヲ報徳社ニテ行フノ件経過ヲ報告ス。

男爵ヨリ吉田増藏氏トノ関係ヲ聴キ感動ス。

○五時、学士会館ニ於ケル故湯浅男爵年忌晚餐会ニ出席ス。出席者約百余、盛会ナリ。

〔欄外〕

○昨夜ヨリ左顔面上部ニ疼痛アリ。夕刻益々劇シ、八田侍医頭ニ問ヒシニ感冒ナラント云フ。

○世田谷税務署ノ求ニ依リ、宅地賃貸料取調ノ為重友ニ電報ヲ発シ、芦屋ヨリノ帰途南郷宅ヘ立寄ルコトヲ求ム。

○夕、昇三郎来訪セシモ竟ニ面会セス。昇三郎ハ重友ノ給料及賞与ヲ持来ル。

○三会堂ニテ愛知県農事試験場長堀江浩氏ト邂逅セシニ、明年甘藷増産計画ノ内容ヲ告ケラル。之ニ対シテ予ノ計画ヲ述ヘ助力セラレンコトヲ乞フ。又、相川知事ヘ伝言ヲ依頼ス。

十二月二十五日(木) 晴 冷

○小林書記官長ノ厚意ニ依リ、貴族院ノ自動車ニ同乗シ大正天皇御祭典ニ参列ス。聖上、皇后宮御親拝、皇太后宮御代拝(清閑寺事務官)アリ。三笠宮同妃、閑院宮兩殿下、

朝香宮、東久邇宮妃、同若宮、北白川宮大妃、竹田宮大妃若宮、李王、同妃、李鍵公、各殿下ノ御拝礼アリ。

○大宮御所ニ伺候、御機嫌奉伺ヲ為ス。

○衆議院議長田子一民氏ヲ訪ヒ、小林書記官長ト別レテ帰宅ス。

○午後二時頃、村松孝一氏来訪。歳末ニ付挨拶ヲ述ヘラル。

○三時頃、栗田徳次郎氏相続人昇一氏来訪ス。氏ハ徳次郎氏ノ末弟ニシテ徳次郎氏未亡人逝去ニ付相談セリト云フ。

○神奈川県知事、使トシテ事務官小野昂三氏(農政課長)属小澤倉造氏(農政課首席)来訪。本年予カ同県ノ為農産増進ニ尽力セリトテ鄭重ナル挨拶ヲ述ヘラル。又、香山作ノ花瓶ヲ贈ラル。知事ニ対シテ明年度甘藷栽培法普及計画及助力依頼ヲ伝言ス。

○夜、杉本良氏来訪ス。先月下旬母堂逝去セリト云フ。将来ノコトヲ相談セラル。

〔欄外〕

午後五時、香港島英軍降服ス。

十二月二十六日(金) 雨 冷

○午前十一時第七十九回帝国議会開院式ヲ行ハセラル

車駕親臨優渥ナル 勅語ヲ賜フ。一同拝聴、感激ニ堪ヘス。

○十一時四十分頃農林省ニ岸農政局長ヲ訪フ。不在ナリ。依

テ坂田特産課長ニ面会シテ、甘藷増産方法指導講師派遣ニ関シ報徳社側ノ意向ヲ説明シ、実行計画ヲ述ヘ、経費下付ノコトヲ求ム。次テ局長ニ面会シ陳述ス。

○帰途、日本倶楽部ニテ中食ス。

○二時、貴族院調査会第二部会ニ出席。〔空白〕氏ノ蘇聯經濟事情ノ講話ヲ聴ク。

○松村真一郎氏ノ求ニ応シ、甘藷栽培法ノ効果ヲ説明ス。

○五時、長谷川赳夫氏ニ招カレ、日本橋音きく方ノ晚餐会ニ出席ス。此会ハ真崎大将ヲ予ニ紹介スル為ナリ。大将及加藤辰弥氏出席ス。九時半散会ス。

〔欄外〕

○戸塚重一郎氏ヨリ天城山林木売却ニ付清算残余金五千〔空白〕ヲ送来ル。又本年度収支計算報告書ヲ受ク。

十二月二十七日（土）晴 冷

○早朝起床。来一月十九日開催ノ末広会案内状ヲ認ム。

○十時本会議アリ、登院ス。全院委員長常任委員ノ選挙ノ日程ナリ。先ツ勅語奉答書案ヲ可決シテ日程ニ入ル。右終了後、陸海軍大臣ヨリ夫々最近ノ戦争進行状態ヲ説明セラル。之ニ対シ八條隆正子ノ發議ニテ感謝ノ電報ヲ發セラルニ決ス。

○一時ヨリ予算委員会室ニテ大東亞戰ニュース映画ヲ看ル。

○三時四十分頃、神奈川県庁ニ松村光麿知事ヲ訪ヒ、過日ノ贈品ニ付感謝シ且明春勿々ニ著手セラルヘキ甘藷栽培方法ノ普及ニ関シ協力ヲ乞フ。大ニ賛同セラル。四時半辞去。知事ノ自動車ニ送ラレテ横浜駅ヨリ帰ル。

○柴田善三郎氏ヨリ角替匡子ニ対スル大竹氏縁談ノコトニ付、馬渕氏ノ意向ヲ伝ヘラル。夜、電話ニテ之ヲ角替方ヘ通ス。

十二月二十八日（日）曇 冷

○七時三十九分品川発ニ乗込ミ静岡ヘ赴ク。戸塚重一郎氏ヲ訪ヒ、天城山林経営ニ付長年ノ尽力ヲ深謝シ、且其立木代金処分方并謝礼方ニ付相談ス。

三時、小濱知事ヲ訪ヒ、久連国民高等学校ノ指導ニ付謝意ヲ述フ。又、甘藷栽培法普及ニ付助力ヲ乞フ。

○大東館ニテ中食ノ時、鱸正太郎氏夫人及二児ト出会フ。昼食ヲ饗ス。鱸氏ハ予ト同行、戸塚氏ヲ訪フ。知事官舎ニテ別ル。

○三橋四郎次氏ヲ訪フ。氏不在。夫人ニ面シ年内ノ厚誼ヲ謝ス。

○五時二十分静岡ヨリ急行列車ニ乗リテ帰ル。九時過帰宅。

十二月二十九日（月）晴 寒冷

○朝、戸塚重一郎氏へ書状ヲ呈ス。昨日ノコトニ付謝意ヲ表シ送金受領証ヲ送ル。

○十時三十分、食糧局ニ湯河長官ヲ訪問ス。内地食糧需給確保方策ニ付長官ノ所見ヲ質シ、甘藷食普及徹底ノ件、買上価格増加ノ件、栽培方法普及ニ付協力ヲ求ムル件等ヲ具陳シ同意ヲ得タリ。

○中央林業協力会ニ出頭ス。漆山常務理事ト会見。当面ノ用務ヲ処弁ス。中食ヲ共ニス。

○一時三十分、農事試験場ニ場長寺尾博氏ヲ訪問ス。(1)松井六郎氏栽培稻ノ性能調査ヲ依頼シ意見ヲ交換ス、(2)甘藷栽培方法普及ニ関シ府県技術官ノ協力ヲ求ム、(3)大谷義雄氏ノ稻ノ研究ヲ紹介セラル。又、科学ニ依ル農村改善事業計画ヲ聴取ス。

○中央林業協力会ノ配慮ニ依リ、元旦参内ノ為自動車ヲ供与セラレシヲ以テ長谷川直敏將軍ニ同車ヲ乞フコトトシ往訪、其旨ヲ申入ル。

○赤木正雄氏ヲ訪フ。氏ハ本日午後長岡へ赴キ各般ノ調査ヲ完了スト云フ。

○甘藷増産問題ニ付、夜丸山方作氏及台拓副社長久宗薫氏へ発状ス。

○夕、斬髪ス。

十二月三十日(火) 晴 頗寒

○昨夜睡眠不足ス。

○朝、長谷川直敏氏ヲ訪ヒ、新年拝賀参内ニ付打合セヲ為ス。

○十時二十分頃千葉医科大学ニ伊東弥恵治博士ヲ訪フ。年内ノ厚情ヲ謝ス。ソレヨリ同道、伊東氏ヲ訪ヒ夫人及卓治氏夫人ニ面会ス。卓治氏ハ感冒ニテ臥床中ナリ。昼食ヲ饗セラル。

○伊東氏ノ配慮ニテ人力車ニ乗り、知事官舎ニ藤原孝夫氏ヲ訪フ。甘藷増産方法普及ニ付今後ノ配慮ヲ乞フ。帰途、千葉駅マテ自動車ヲ供セラル。

○駅構内売店ニテ浅蜷ヲ求ム。又、伊東氏ヨリ鶏卵十五個ヲ贈ラル。二時五十六分千葉発四時半頃帰宅ス。

○ゴルフ靴ヲ修繕シ底ニゴム片ヲ附ク。又ケンパノ寝巢ヲ作ル。

○中村茂氏、大野よし子、岸名文子子供二人、山崎はま来訪ス。

十二月三十一日(水) 晴 頗寒

○週日家居。書斎ノ片付ケヲ為ス。又、篠田治策総長記念会(十円)、日泰協会費(十円)、静岡県人会雑誌代(三円)、鷹の台ゴルフ倶楽部使用人へ心付(三円)等ヲ贈ル。

千葉県庁社会課勤務増田正直氏へ、昨日藤原知事訪問ノ

コトヲ報告シ、曩ニ送付セラレタル各種甘藷栽培方法実  
施成績報告書ヲ返送ス。

○福田四郎氏夫人逝去ノ由、高尾亮一氏内報アリ。弔辞ヲ呈  
ス。

○朝、東京聾啞技芸学園主高柳暉氏来訪シ、年内微力ヲ尽シ  
タルニ対シ謝意ヲ表セラル。

○午後、石橋徳作氏来訪ス。

○夜、丸山方作氏著甘藷栽培法ノ新版ニ対シ、序文ヲ起草ス。

## 1 9 4 1 年日記 人名録

## 人名録凡例

- 1 配列は、五十音を基本とした。苗字のみで名前が不明の場合には、その苗字の最初とした。
- 2 アルファベット名は、全体の末尾にまとめた。
- 3 「記載月日」は、日記記載月日であり、2桁で示した。
- 4 人名字体は、日記記載に準じた字体を使用した。

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
相川 勝六	12.24	愛知県知事 官僚・政治家
青木 幸蔵	03.13 06.06	兵庫県経済部米穀課勤務兵庫県技手
青木 信光	08.05	貴族院議員（子）研究会
青木 勝	01.26	
青木 正己	12.07	正己は正巳カ
青木	08.17	東京視学
青柳 一郎	04.28	軍事保護院総務課長
青柳 正雄	01.16	栃木県上都賀郡日光町助役
青山 士	02.20	土木技術者 パナマ運河建設従事
青山 博次郎	07.25	陸軍航空技術中尉
赤池 濃	01.27 02.05 02.06 04.10 05.15 05.26 06.20 06.23 09.14 11.20	貴族院議員（勅）同和会 元静岡県知事
赤池濃夫人	09.14	
赤木 正雄	01.04 01.13 01.16 01.17 01.26 01.28 01.31 02.05 02.20 02.28 03.01 03.13 03.20 03.26 03.28 04.09 04.11 05.13 06.04 06.06 06.07 06.08 06.09 06.22 06.27 07.02 07.04 07.18 08.03 08.14 08.20 08.24 08.30 09.03 09.04 09.07 09.11 09.22 09.26 09.27 09.30 10.13 10.15 10.21 10.22 10.28 11.01 11.11 11.23 11.24 11.25 12.02 12.04 12.14 12.29	国内砂防技術の基礎築く 砂防の父
阿川 丑太郎	03.08	池之上小学校会顧問会幹事
阿川 昌朝	01.03 03.08 05.31 06.07 06.10 07.22 08.22 09.05 09.14 09.15 09.18 09.20 09.27 11.09	北沢二丁目町会副会長 池之上小学校会顧問
秋田 清	06.09	第2次近衛内閣拓相
秋山次郎母	10.17	
秋山 高彦	04.06	静岡地方裁判所長
浅井 熊太郎	03.24	元静岡県立榛原中学校長
浅海 三郎	10.03	技師
浅田 雄次	05.08 05.09 05.10	宮内省林野局木曾支局伊奈出張所長
浅野 長光	03.30 12.20	宮内省警衛局課長
朝比奈 アキ子	01.06 02.10 03.19 03.30 04.09 04.10 04.18 04.19 05.14 05.15 05.16 06.08 07.01 07.02 07.03 07.04 08.03 08.04 08.15 08.17 08.25 10.19 11.07 11.09 11.30	弥八娘、朝比奈貞一妻
朝比奈 瑛子	03.19 08.03 08.04	朝比奈貞一の家族
朝比奈 策太郎	11.10	静岡育英会理事候補
朝比奈 貞一	01.12 01.14 01.24 02.08 02.17 02.21 02.24 03.01 03.05 04.11 05.03 06.08 08.03 08.19 08.25 08.28 08.29 09.13 10.09 11.27 11.30 12.11 12.16	弥八の娘婿 朝比奈氏当主
朝比奈 貞二	11.30	朝比奈貞一の家族 満洲煙草会社員
朝比奈 貞英	11.30	朝比奈貞一父
朝比奈 貞八郎	11.30 12.21	朝比奈貞一の家族 慶応学生
朝比奈 貞世	11.30	一の家族
朝比奈 美弥子	08.03 08.04 09.27 11.30	ミヤ子 朝比奈貞一の家族 ミサ子の誤記カ
朝比奈 ミサ子	11.30 12.01	朝比奈貞一の家族 長谷川勇之助妻
朝比奈 泰子	11.27 11.29 11.30 12.01	中込香苗妻 朝比奈貞一の家族
朝比奈 由紀子	04.10 04.11 04.17 04.19 06.08 07.01	朝比奈貞一の家族
芦田 均	07.09 07.10 07.11 07.14 07.19 07.22	衆議院議員
芦屋 高子	03.14 12.01	
東 光	03.19	外務省南洋課長
熱田 修一郎	08.28 09.03 09.07	
阿南 惟幾	01.23	第2次近衛内閣陸軍次官
阿部 ゆひ子	03.09	静岡英和女学校復活ノ為委員

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
天野尹夫人	01.12	
天羽 英二	03.10	特命全権大使(イタリア)
荒木 丑平	02.27 03.03 03.28	静岡県立焼津水産学校長
有泉 善三	10.27	山梨県
有田 八郎	02.04 02.05 11.19	貴族院議員（勅）研究会 元外相
有吉	07.08	
淡輪	07.29	重友会社同僚
安藤 広太郎	07.03 07.09 11.08 12.12	農林省茶業試験場長 博士
安藤 正純	07.11 07.14 07.19	衆議院議員 ジャーナリスト
伊井 松蔵	03.02	東京府立第六高等女学校長(都立三田高校)
飯田 英作	03.02 03.11 04.09 05.27 06.04	静岡育英会理事 聖路加病院副院長
飯田 栄太郎	04.19	
飯田	06.04 08.16 11.08	静岡県育英会関係 囑託
伊江 朝助	09.11 09.15	貴族院議員（男）公正会
庵地 淑子	01.14 05.19 05.22 05.23	
庵地 保彦	05.19 05.20 05.22 06.25	
池尾 芳蔵	03.14	日本電力社長 日本放送電総裁
池尾	12.08	三七会
池田 亮次	06.23	日立製作所本社常務
池田	12.08	三七会
伊佐 勇松	03.01 03.28 04.03 04.30 05.15 06.02 06.24 07.24 07.25 08.26 09.09 09.27	要の知人
伊佐勇松父	04.03	
伊佐勇松娘	09.27	
伊坂 留十	06.02	
伊澤 多喜男	01.09 01.14 01.21 01.22 01.23 01.24 01.26 01.28 01.29 02.16 02.18 02.26 03.01 03.05 03.25 03.28 04.02 04.30 05.01 05.02 05.03 05.15 05.25 06.03 06.20 06.28 07.05 07.09 07.12 07.23 08.14 09.06 09.11 09.14 09.17 09.24 10.07 10.11 10.30 11.08 11.10 11.12 11.17 11.20 11.21 11.24 11.25 11.26 11.28 12.10 12.11 12.23	1941年1月まで貴族院議員（勅）同成会、 その後枢密顧問官
伊澤夫人	06.28	
伊澤 元	06.28	
伊澤元母	06.28	
石井 幸輔	11.05	日本映画社撮影班
石井 忠晴	04.11	浜松在住
石井 敏晴	04.11	石井忠晴の息子
石井 誠	08.21 08.26 08.29	農林省東京営林局技手
石川 郁郎	11.21	遠州学友会（役員普通幹事）
石川 貞四郎	01.16 01.28 02.23	栃木県経済部長
石河 正徳	09.25 11.24	
石黒 忠篤	02.04 02.06 03.04 05.31 06.02 09.29 11.25 12.12	第2次近衛内閣農相 農業報国聯盟理事長
石黒 忠憲	04.28 05.31	貴族院議員（勅）子爵 石黒忠篤の父
石黒忠篤息子	09.29	
石野 元治郎	01.04 02.02 03.17 03.24 04.05 04.16 05.28 05.29 06.17 07.27 08.11 08.13 10.05 11.02 11.07	
石野 福松	02.02 04.05 10.05 12.19	
石野 聡	04.05	



氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
石橋 徳作	12.31	貴族院事務局議事課長
石原 常太郎	10.10 10.26 11.04 11.05 11.06	陸軍少将 山水育英会常務理事
石原 民次郎	03.21	技手 気賀駅在
石間 尚	04.01 04.10 06.09 06.13 09.22	静岡県志太郡島田町の資産家、弥八の甥
石間 たみ	03.24 03.28 04.16 04.17 05.24 05.25 06.03 06.11 06.18 06.19 06.20 06.27 06.30 07.01 07.26 07.27 07.30 09.22 10.10	民子(04.17) 多美子(06.19)
石間 壬生弥	04.01 04.02	盛岡高等農林学校
石間 恒彦	06.18	石間たみの孫
石間 令吉	06.28 07.01 09.09	
石村 真助	06.30	東京府教育局主事
石渡 荘太郎	02.05 02.06 02.08 03.15 04.30 05.14 06.02 06.10 06.28 07.18 09.10 10.29	貴族院議員(勅)研究会
石渡 功	05.07	日本発送電常盤発電所長
磯貝 浩	03.25	貴族院議員(多)同成会
五十川捨造	01.02 02.27 06.04	静岡県学務部教育課長
磯部 英一	05.24 05.25 05.29 06.03 06.11 06.19 06.27 06.30 07.01 07.24 07.27 07.31 08.10 10.17 10.21 11.15 11.16	静岡県磐田郡磐田町在住
磯部英一夫人	06.19	
磯部英一母	05.29 06.19 07.01 07.27 09.22	
磯部 幸一郎	03.21 03.25 05.02 10.04 11.14 11.22	丸山会会員 愛知県豊橋市
磯部	09.11	磯部耳鼻科病院
磯部	10.16	日本倶楽部
伊丹 寅治	09.02	宮内省式部職式部官
市川 紀元二	02.20	陸軍中尉
市川 貫	09.25 11.24	
市川 実太郎	09.05	神奈川県足柄上郡福沢村長
一條 實孝	01.24 01.26 01.27	貴族院議員(公)火曜会
一木 喜徳郎	01.06 01.20 02.20 03.02 03.09 03.31 06.02 06.03 06.29 06.30 07.07 07.09 07.17 08.14 09.23 09.24 10.09 10.24 11.08 11.21 11.24 11.26 12.10 12.24	元枢密院議長 男爵 大日本報徳社社長 静岡県育英会会長
一木喜徳郎亡夫人	03.22 03.31	
一木喜徳郎若夫人	06.02	
一木 輅太郎	06.29 08.31 09.23	一木喜徳郎の実子、検事 静岡県育英会理事
井出 勝	02.19 06.28 07.18 09.10 10.29	徳川家政相談人
井出 謙治	02.19 05.14 06.09 06.10 06.28 07.18 09.10 10.27 10.29	徳川宗家財政顧問・家政相談人 元海軍大将 葵会会長
井出 正孝	09.29 10.07 10.09 10.14 10.16 10.25 11.04 11.27 12.06 12.11	農林省山林局長
井出	12.09	中央林業協力会理事
出光 佐三	07.25	出光興産の創業者。貴族院議員(多)交友倶楽部
出光佐三父	07.25	
出光佐三母	07.25	
伊東 綾	09.07 10.26 11.10 12.30	伊東弥恵治妻
伊東 卓治	03.09 03.13 03.29 03.31 05.05 06.10 08.19 08.23 08.28 09.03 09.07 09.10 10.03 10.13 10.14 10.17 10.26 11.10 11.13 12.30	美術史家 宮内省東京帝室博物館 北京大学教授 弥恵治弟
伊東 寿子	11.13 12.30	伊東卓治妻
伊東 みつ	11.10	伊東弥恵治母
伊東 弥恵治	08.19 09.07 10.13 10.14 10.17 10.18 10.26 11.10 11.12 11.13 12.30	千葉医科大教授 医学博士
伊東 恭雄	10.30	日本映画協会ニュース部長

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
伊東 安太郎	11.10	伊東弥恵治父
伊東	11.12	信遠三国鉄期成会幹事
伊藤 悦夫	05.08	宮内省帝室林野局木曾支局妻籠出張所長
伊藤 祐信	12.12	千葉県立農事試験場長
伊藤 清六	10.08	農政記者
伊藤 正	11.02 11.06	宮内省帝室林野局名古屋支局掛川出張所長
伊藤 述史	03.12 07.18	貴族院議員(勅) 無所属倶楽部 第2次近衛内閣情報局総裁
伊藤 文一郎	04.07	
伊藤 保三郎	10.26 11.22 12.20 12.21	元静岡県立韮山中学校長
伊藤 和三郎	03.11 06.04 11.21	静岡育英会 遠州学友会 (会計兼講演部顧問)
伊藤	06.11	女性
稲垣 正信	09.13	
犬塚 勝太郎	01.18	貴族院議員(勅) 交友倶楽部
井野 碩哉	03.04 07.18 09.26 10.15 10.16 10.25 10.30 11.08 11.20 11.25 11.28 12.09	第2次近衛内閣農林次官 (~41.6.11) 第3次近衛・東條内閣農相
伊能 芳雄	01.17 01.28 03.22 05.04 08.16	静岡県学務部長
井上 健彦	09.27 09.28 09.29 09.30 10.01 10.02 10.03 10.04 10.10 10.16 10.28 11.24 11.26 11.30 12.01 12.04 12.07 12.13 12.15	日本甘藷馬鈴薯株式会社副社長
井上健彦息子	12.07	
井上 匡四郎	02.19 03.01 05.02 05.03 06.09	貴族院議員(子) 研究会
井上 寿徳	02.16	
井上寿徳夫人	02.16	
井上 通泰	08.18	貴族院議員(勅) 宮中顧問官
井野邊 茂雄	05.15 10.27	徳川公伝記編纂所長 国学院大学教授
伊(居)林 順平	08.28 09.02	
伊林順平父	09.02	
伊林 初次郎	01.19 03.11	内閣興亜院連絡部 北京赴任
伊林 房江	01.19 02.21	伊林初次郎妻 旧姓館林
伊部 癸未一	08.30	内舎人
今井	12.08	三七会
今村 駿一郎	10.01	京都帝大理学部講師
今村 新次郎	03.14 03.25 03.28	宮内省皇族附 秩父宮別当 海軍中将
井村 豪	11.21 11.22	
入江 貫一	02.24 04.27 06.25 07.09 07.23 08.06 09.10 11.12 11.26 12.16 12.18	貴族院議員(勅) 同成会
入江 啓四郎	07.31	同盟通信記者
岩井	08.01	清風会幹事
岩井の子	08.01	
岩井	03.08	法学士(法政大学)
岩倉 具徳	01.30	男爵 公視孫
岩倉 道俱	01.29 06.29 07.04 07.07 07.09 08.06	貴族院議員(男) 公正会
岩崎 保治	01.04	久能山東照宮宮司
岩崎	11.18 12.02	中央林業協力会書記
岩崎	10.21	農林省事務官
磐瀬	02.26	医師
岩瀬 亮	09.27 10.05 11.21 11.26 12.04	日本甘藷馬鈴薯株式会社社長
岩田 宙蔵	01.21 01.23 01.24 01.26 01.28 01.31 02.06 02.09 02.21 02.24 02.25 02.26 03.15 03.25 04.10 04.18 05.15 05.26 06.20 06.30 07.24 11.19 11.20 11.25 11.26	貴族院議員(勅) 同和会
岩田 松太郎	12.13	法学士

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
岩村 一木	09.06 09.26 09.30 10.02 10.08 10.18 11.16	貴族院議員 (男) 公正会
岩村	07.09	
岩本 信行	09.04	神奈川県会議長
上島 慶篤	11.10 11.12	上島満信父 大葉興業・協和鉄山社長
上島 郁枝	11.10	上島満信妻
上島 満信	10.26 11.10	
上杉 司嗣	06.10	徳川宗家縁者
上杉司嗣夫人	06.10	徳川宗家縁者
上杉 隆憲	01.15 01.25	
上杉(徳川)敏子	01.15 01.25	
上田 辰之助	06.18	東京商科大教授
上田 若松	09.21 09.26	池上国民学校校長
植原 悦二郎	01.16 01.27 02.07 03.20 05.13 06.16 03.13 08.05 09.10 09.11 09.23 10.02	衆議院議員 元政友会 (久原派)
植原悦二郎甥	09.23	農園経営
植村 甲午郎	04.12 04.18	植村澄三郎の子 官僚
植村 澄三郎	01.17 01.18 01.20 01.21 02.18 03.15 03.16 04.18	実業家
植村 恒三郎	09.22	九州帝大教授 博士
植村澄三郎夫人	01.18 04.19 06.02	
宇川 濟	03.25	宮内省皇族附 久邇宮別当 海軍中将
宇佐美 興屋	01.15 02.08 02.18 02.19 03.02 03.11 03.19 03.26 05.14 05.26 05.31 06.07 06.09 06.28 07.18 07.31 10.29 11.09	陸軍中将 徳川家家政相談人 静岡育英会理事
内田 明	01.03 04.20 05.05 06.26 08.18 09.01 10.08 10.09 10.19 11.04	貴族院庶務課 理事官
内田 重成	01.23 01.26 02.24 02.25 02.28 03.26 04.17 04.18 04.27 05.31	貴族院議員 (勅) 交友倶楽部 司法官 海軍中将
内山 清	09.11	タイ大使館一等書記官
内山 真龍	02.18 11.03	遠江国豊田郡大谷村名主 国学者
内山 三男	03.21 03.29	篤農家
内山 隆次	08.09	静岡県磐田郡光明村助役
宇野 哲人	03.09 06.09 06.10	東京帝大名譽教授 東洋学
宇野	04.30	清風会囑託
梅澤	12.12	研究所長
漆山 雅喜	09.26 09.27 09.29 09.30 10.01 10.02 10.08 10.09 10.13 10.15 10.16 10.18 10.20 10.21 10.22 10.23 10.24 10.25 10.27 10.29 10.30 11.04 11.05 11.11 11.18 11.25 11.26 11.27 11.28 12.02 12.06 12.11 12.15 12.29	中央林業協力会 常務理事 理事長
海野 真岳	08.26 10.14 10.15 11.02 12.01 12.05 12.21	
江口 定條	01.08 01.16 01.21 01.23 01.24 01.28 01.31 02.06 02.24 02.25 03.01 03.07 03.13 03.15 04.02 04.10 04.27 04.28 05.01 05.02 05.03 05.06 05.08 05.09 05.10 05.11 05.12 05.13 05.15 05.26 06.06 06.20 06.21 06.27 07.11 07.17 07.28 08.05 08.30 10.08 12.09	貴族院議員 (勅) 同和会 実業家
枝村 藤次郎	04.19	中報徳社長
江藤 得三	03.11	静岡育英会評議員
江原 素六	05.04	旧幕臣 政治家 沼津
遠藤 守一	01.16	
緒明 太郎	03.11 06.04	実業家 静岡県育英会副会長・理事
及川 古志郎	01.15 01.21 03.15 07.18	第2・3次近衛内閣海相
汪 精衛	06.17 06.21 06.23 06.24 06.25	汪兆銘
大井 成元	01.29	男爵
大泉 勝吉	12.04	農林省東京営林局計画部長

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
大岩 武夫	03.01	
大植 啓治	08.27	大阪府三島郡見山村
大内 武	12.01	中央林業協力会
大金 益次郎	04.01	宮内省総務課長
大木 操	01.15	衆議院書記官長
大久保 立	01.23 02.04 02.05 02.07	貴族院議員（子）研究会 海軍中將
大久保 寛一	02.05	大久保立息子
大久保立夫人	02.05 07.14	
大河内 輝耕	02.21 02.25 03.07 05.13 09.30	貴族院議員（子）研究会 全国治水砂防協会
大河内 正敏	01.29 02.06 03.13 03.20 04.02 06.23 09.10 09.11 10.01 10.04	貴族院議員（子）研究会
大澤 万治	05.10 05.11	宮内省帝室林野局木曾支局飯田出張所長
大塩 義男	05.10 05.11	宮内省帝室林野局計画課長
大島 寛一	07.11 07.13 07.16 12.02	弥八東京宅向居主人
大島寛一夫人	07.11 11.11	
大島 健一	07.28	貴族院議員（勅）同和会
大杓 才作	04.06	東遠明朗会
大角 岑生	02.10	海軍大將
大田 しま	11.30	中込香苗姉妹
太田藤一郎息子	05.29 06.01 08.23	
太田 耐造	07.21	司法書記官
太田 正孝	07.08	大政翼賛会政策局長 衆議院議員 経済学博士
太田 実	09.13 09.21	
太田 峰三郎	11.10	元貴族院書記官長
太田 廣太郎	11.10 11.13	故太田峰三郎息子 理学士
太田廣太郎夫人	11.13	
太田廣太郎娘	11.13	
大滝 靖	03.02 03.06 03.08 04.08 04.10 04.30 06.07 06.09 07.02 09.01	池之上小学校会顧問
大竹 十郎	03.11 03.25 04.12 04.17 07.02 07.03 07.07 07.09 12.27	朝鮮総督府内務局長
大竹 民陟	04.12 04.17 12.27	大竹十郎息子
大谷 英一	08.12 08.16 11.05 11.06 11.23 12.04 12.05	久連国民高等学校長
大谷 五平	01.30 03.01 03.25 06.07 06.25 08.06 09.24 10.08 11.23 11.25 11.28 12.10	貴族院議員（多）同成会 川柳作家 俳画会会長
大谷 忠四郎	01.04	
大谷 正男	11.04	宮内省皇太后宮職 大夫
大谷 義雄	12.29	農林省農事試験場種芸部技師兼報告課長
大谷	04.05	農事振興催し参加者
大塚 惟精	01.16 02.05 04.27 05.06 05.09 05.10 05.12 06.02 06.10 06.27 07.11 07.17 08.05 08.31 10.01 10.05 10.06 10.16 11.26	貴族院議員（勅）研究会
大塚 理	05.07	日本発送電常盤発電所事務所員
大塚	03.29	泰治の学友
大塚	12.08	三七会
大坪 又三郎	04.22	富山県下新川郡桜井町有力報徳家
大西 虎之介	01.23 01.24 02.21 02.24 05.15 05.26 06.20 07.28	貴族院議員（多）交友倶楽部 琴平電鉄創立
大野 栄三	11.28	日本勧業銀行監査役
大野 春子	02.12	
大野 守衛	09.29	神奈川県藤沢市長
大野 芳子	04.02 04.08 04.17 04.30 05.14 05.16 05.19 05.22 06.20 06.28 06.29 07.04 07.05 09.23 10.09 10.11 12.20 12.30	

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
大橋 忠一	03.15 07.10	第2次近衛内閣外務次官
大橋 祐之助	08.04	学者カ
大村 武雄	06.08 12.14	日本放送電社員
大村 留吉	02.01 02.12 02.27 04.15 05.16 05.17 05.24 05.27 05.30 06.01 06.04 07.14 07.26 08.13 10.05 11.01 11.03 11.05 11.07	河井家使用人
大村 まさ	05.17 06.17	大村留吉の家族
大村 ますえ	04.17 05.17 05.30 08.13 09.22	大村留吉の妻
大村 八重	05.17	大村留吉の家族
大村 芳次	02.02 03.16 03.18 03.20 03.21 04.28 05.24 06.16 06.17 08.08 10.06 11.03 12.19	掛川報徳社 大村留吉息子
大森 くみ子	01.05 08.26	
大森 健三	01.31 07.19 08.05 08.28	
大森 しづ子	01.05 02.09 02.16 03.03 03.04 03.06 06.16 06.17 07.07 07.24 08.01 08.03 08.05	故大森健三妻、健一郎の母
大森 健一郎	02.27 02.28 03.01 03.03 03.04 03.06 05.05 06.16 06.17 06.21 06.26 06.30 07.07 07.18 07.19 07.21 07.24 07.25 07.30 08.02 08.03 08.04	要の甥
岡 喜七郎	01.08 01.21 01.23 01.24 02.06 02.20 02.21 02.24 02.26 03.12 03.15 03.25 04.01 04.02 04.10 05.15 05.26 06.20 07.22 07.28 09.15 09.19 10.08 10.29 11.09 11.19 11.20	貴族院議員（勅）交友倶楽部
岡 今朝雄	10.18	会計検査院長
岡 敬純	01.23	海軍省軍務局長
岡崎 文士	10.22	農林省山林局林政課事務官
岡田	12.08	三七会
岡田 忠彦	09.10 09.11	衆議院議員 元政友会
岡田 分平	04.13	岡田良平養子
岡田 光治	11.09	
緒方 竹虎	09.30 10.01 10.04 10.08	東京朝日
岡部 長景	06.02 06.10 08.31 10.20	貴族院議員（子）研究会 国民精神総動員運動中央連盟事務局総長
岡元 傳一	03.17	宮内省帝室林野局名古屋支局掛川出張所長
岡本 愛祐	02.23 03.27 04.09 04.28 06.01 06.25 08.07 09.30 12.05 12.06 12.22	宮内省帝室林野局監理部長 官房主務・大臣参事官
岡本 三郎司	01.29 02.02 08.12	
岡本 正	09.27	日本甘藷馬鈴薯株式会社常任監査役
岡本 実	01.04	
岡本保次	01.28 02.02	
岡本祖夫人	02.02	
岡本 春子	03.13	岡本保次未亡人
岡本	07.07	上海居留民団船団長（？）
小川 貫璽	06.30	大本営海軍部報道部二課長 海軍大佐
小川 徳三	07.26	内務省東京土木出張所技師
小川 端夫	06.02	大井川支流鮎漁
小川 やゑ	08.23	
荻田 保	11.21	内務事務官 内務省地方局
荻野 湛	05.06 05.07 05.08	宮内省帝室林野局木曾支局上松運輸事務所長
小串 清一	09.04	
小椋 顕	05.08	宮内省帝室林野局木曾支局砂防技手
小倉 庫次	08.07	宮内省侍従兼皇后宮職事務官 家達葬儀皇后宮使

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
小倉 正恒	07.18 08.30 09.03	貴族院議員（勅）研究会 第2次近衛内閣 閣内務相 第3次近衛内閣蔵相
尾崎 元次郎	03.22	元静岡市長
小澤 倉造	12.25	神奈川県農政課首席属
小澤 豊	10.04 10.16	愛知県豊橋市飯村町住
小澤	04.17	読売新聞社
織田 智	08.19 08.21 12.12	千葉県経済部長
織田 萬	01.21	貴族院議員（勅）同和会 法学博士
小田原 勇	03.26 08.16 10.17 10.31 11.30	静岡県立榛原中学校長 培本塾長
落合 伊作	05.12	朝鮮総督府 技手
落合 銀平	04.28	
落合 顕	04.09	読売新聞社会部
小野 昂三	09.29 12.25	神奈川県農政課長
小野 武夫	08.22	法政大学教授 農学博士
小野 武	05.30	静岡県小笠郡農会 技手
小野 仁輔	01.06 01.08 02.17 02.22 04.06 04.28 09.02	大日本報徳社副社長 教学部長 東遠明朗 会副会長
尾上 栄太郎	04.26	第一信託専務
小畑 敏四郎	11.23	清風会幹事 陸軍中將
小濱 八弥	01.30 03.22 04.06 08.12 10.02 11.02 11.11 12.21 12.28	静岡県知事
小原 直	02.25 02.26 02.27 04.25 05.15 05.26 06.20 07.24 07.28	貴族院議員（勅）
小原直氏夫人	04.25	
恩田 木工	07.19	信州松代藩家老 著書『日暮硯』
海江田 一郎	02.08	
賀川 豊彦	08.29	キリスト教社会運動家
角銅	04.06	静岡県官吏
笥 繁	02.28 03.03 05.05 07.21	医師 博士
笥 弘毅	11.13	
笥	12.01	名古屋市
河西 豊太郎	10.01 11.12 11.15 11.30	貴族院議員（多）同成会
片岡 要	08.23 08.31	
片岡 録朗	05.31 06.01 06.09 09.01	
片折 十次郎	04.23	富山県議
片倉 兼太郎	01.10 01.22 03.25 06.25 09.10 09.24 11.28	貴族院議員（多）同成会 片倉製糸紡績 会長
片平 信通	04.06 04.16 11.09 11.11 11.13 11.17	駿河東報徳社（庵原村）
片山 嘉太郎	09.11	
片山	12.08	三七会
勝田 銀次郎	07.26	兵庫県神戸市長
勝山 善樹	08.12	掛川警察署特高係
勝山 平四郎	11.06	静岡県志太郡徳山村長
桂 広太郎	01.23 03.12	貴族院議員（公）火曜会 太郎の孫
加藤 いと	03.22	静岡英和女学校同窓会長
加藤五十造	03.11	朝鮮無煙炭会社常務取締役
加藤 進	04.02	宮内省大臣官房総務課参事官
加藤 省三	03.21	静岡県農会技師 農学士
加藤 外松	07.28	特命全権大使（フランス、ヴィシー政 権）
加藤 辰弥	12.26	
加藤 政之助	01.22 01.28 02.18 08.02 08.03 08.04	貴族院議員（勅）同成会 1941年8月2日 死去
加藤政之助夫人	08.02	
加藤政之助息子	08.02	

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
加藤 虎之亮	03.11 04.29 11.08	東洋大教授 中国哲学 漢詩人 静岡育英会理事
加藤 弥一	10.17 11.04 11.30	培本塾出身
加藤 安吉	03.23	海軍軍医少将
加藤	04.01	女性
加藤	04.09	宮内省の甘藷栽培法説明会参加
加藤	06.18	東京高等師範学校教授
加藤	07.12	京都帝大 技師
金岡 又左衛門	04.21 04.22 04.27	
金久保 栄次郎	08.01	弥八東京住居町内副組長
金沢 寿吉	08.28	
金子 年	08.26 08.27	農林省東京営林局高崎営林署属 署長代理
鎌田 勝太郎	08.06	
上浦 庄治	11.25	農業報国聯盟会常務理事
上浦	11.03	
神野 傳蔵	01.18	神戸商業大 事務官
神谷 文平	05.24 05.25 05.29 06.03 06.11 06.14 06.19 06.20 06.23 06.24 07.01 07.27 07.30 08.10 08.22 09.20 10.05 10.06 10.17 11.11 11.14	静岡県磐田郡中泉町長
神谷文平夫人	06.19 09.18 09.19 10.05 10.06	
神谷文平娣	06.19	
神谷 敏子	05.24 05.25 06.03 06.18 06.19 06.25 09.19 09.27 10.05 10.06	神谷文平の娘
紙谷 春男	04.22 04.23 04.27	富山県下新川郡桜井町有力報徳家
亀井 恒吉	07.27	
加茂 善治	04.23	富山県立福野農学校長
賀屋 興宣	10.18 11.18 12.13 12.16	東條内閣蔵相 貴族院議員（勅）研究会
萱場 軍蔵	09.03	
辛木 宣夫	05.06 05.07 05.08 05.17 10.03	宮内省帝室林野局木曽支局長
唐澤	08.30	全国治水砂防協会
河合 亮	08.16	静岡県育英会関係
河合 亮之助	03.04 03.26 03.28 07.14 09.04	報徳社関係
河井 一也	03.09 03.25 10.06	
河井 要	01.03 01.04 01.05 01.06 01.07 01.08 01.09 01.10 01.11 01.12 01.13 01.14 01.20 01.24 02.08 02.09 02.10 02.12 02.17 02.21 02.24 03.01 03.03 03.05 03.06 03.07 03.30 04.02 04.08 04.10 04.13 04.14 04.15 04.16 04.17 04.18 04.26 04.27 05.03 05.04 05.05 05.14 05.15 05.16 05.17 05.18 05.19 05.20 05.21 05.22 05.23 06.01 06.08 06.11 06.16 06.18 06.19 06.20 06.22 06.23 06.24 06.25 06.26 06.28 06.30 07.01 07.05 07.07 07.10 07.13 07.14 07.16 07.18 07.19 07.25 07.26 07.27 07.28 07.31 08.01 08.02 08.03 08.05 08.07 08.12 08.15 08.18 08.21 08.24 08.25 09.01 09.02 09.07 09.09 09.10 09.14 09.15 09.18 09.19 09.23 09.24 09.27 10.05 10.06 10.11 10.14 10.16 10.17 10.22 10.26 10.29 10.31 11.07 11.09 11.10 11.11 11.13 11.23 11.29 11.30 12.01 12.03 12.04 12.06 12.10 12.11	弥八妻
河井 公二	06.15	河井昇三郎息子
河井 興三	01.13 01.19 02.15 04.02 04.13 04.27 05.05 05.16 05.25 06.16 06.17 07.10 07.14 07.16 07.17 07.19 07.24 07.25 07.30 08.02 08.03 08.06 08.15 08.21 08.26 09.06 09.07 10.16 10.18 11.24 12.21	弥八の息子

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
河井 重友	01.03 01.04 01.06 01.07 01.08 01.12 01.13 01.15 01.19 01.21 02.03 02.09 02.19 02.22 02.24 02.25 02.26 03.06 03.08 03.19 03.30 03.31 04.02 04.10 04.13 04.16 04.17 05.20 05.21 05.25 06.08 06.20 06.21 06.22 06.23 06.25 06.29 07.29 08.03 08.25 08.28 08.29 09.02 09.13 09.14 09.20 09.27 10.05 10.07 10.15 10.17 10.23 10.24 10.25 10.28 10.30 10.31 11.07 11.09 11.10 11.11 11.14 11.19 11.24 11.29 12.01 12.05 12.09 12.19 12.24	弥八次男 のち日本航空電子工業社長
河井 昇三郎	01.05 01.14 02.15 02.16 02.18 02.22 03.06 03.07 03.14 03.24 03.28 03.31 04.01 04.13 04.14 04.15 04.24 05.04 05.13 05.14 05.15 05.17 05.18 05.20 05.21 05.23 05.24 05.26 06.05 06.06 06.20 06.25 06.26 07.01 07.24 08.23 09.09 09.11 09.22 09.23 09.30 10.01 10.09 11.27 12.20 12.24	弥八弟 大阪建物社長 住友各社役員
河井 志朗	04.13	
河井 重蔵	01.19	弥八父
河井 高	01.29 01.30 03.14 04.13 04.14 05.18 05.21 05.22 05.24 06.02 06.03 06.15 12.01	河井昇三郎妻 伊澤多喜男娘 高子
河井 なほ	01.06 01.14 01.19 01.24 01.30 01.31 02.10 02.12 02.13 02.14 02.15 02.16 02.21 02.22 02.26 03.03 03.05 03.06 03.07 03.11 03.14 03.24 03.28 03.30 03.31 04.01 04.09 04.10 04.13 04.14 04.15 04.17 04.24 05.03 05.04 05.05 05.14 05.15 05.16 05.17 05.18 05.19	弥八の娘 直子 5月20日以降三島甫妻
河井 泰治	01.03 01.04 01.05 01.09 01.14 01.19 01.21 01.27 01.29 01.31 02.06 02.10 02.11 02.13 02.15 02.17 03.10 03.29 03.30 03.31 04.01 04.02 04.03 04.06 04.07 04.08 04.09 04.10 04.11 04.13 04.18 04.25 04.26 04.27 04.29 05.31 06.01 06.22 06.29 07.04 07.06 07.10 07.13 07.20 07.25 07.27 08.03 08.09 08.12 08.13 08.14 08.15 08.17 08.21 09.06 10.21 10.29 11.09 12.11	弥八の息子 住友金属付属研究所陸軍航空技術将校候補生
河井 弥八	01.21 01.22 01.23 01.24 01.26 01.27 01.31 02.04 02.19 02.21 02.28 03.01 03.12 03.13 03.15 03.19 03.25 04.06 04.08 04.10 04.30 06.20 06.23 07.18 07.28 08.09 08.16 08.30 09.10 10.08 10.15 11.15 12.15	徳川家家政相談人 中央林業協力会副会長
河井 ふき	01.19	弥八母
河井 ちる	01.19	弥八祖母
川上 八三郎	05.07 05.08	宮内省帝室林野局木曾支局三浦出張所長
川島 悦郎	06.03 07.01	
河田 烈	01.23 03.12 06.05 07.07 11.08 12.12	貴族院議員（勅）第2次近衛内閣蔵相 静岡育英会理事
河田 杰	08.26 08.27 08.29 09.18	農林省林業試験場主席技師 博士
河戸 芳雄	03.08	池之上小学校会顧問
川名 貞治郎	12.07	千葉県保田町市井原報徳社長
川名貞治郎夫人	12.07	
川端 潔	04.22 04.23	富山県下新川郡桜井町浜区長
川本 義成	08.05	神奈川県足柄下郡下中村長
河原井 喜久雄	08.28 08.30	静岡県清水市在住
甘露寺 受長	03.07 03.27 04.09 08.07 11.04 11.27 12.18	宮内省侍従職侍従次長
岸 信介	10.18	東條内閣商工相
岸 良一	03.04 03.05 03.06 07.03 07.09 07.13 09.20 09.26 10.04 10.05 10.08 11.20 12.11 12.12 12.13 12.19 12.26	農林省農政局長



氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
岸上 京三	03.08 04.01 09.21 09.26	池之上国民学校校長
岸名 清次	05.22 06.26	兵庫県後武庫郡本山村
岸名清次夫人	05.22	
岸名 文子	12.30	岸名清次妻カ
岸野 佐吉	01.16	古河日光精銅所長
北浦 正造	02.02	
北河 豊次郎	03.30	北河製品所社長 静岡県多額納税者
北村 竹治郎	06.06 06.10 08.30	宮内省帝室林野局東京営林署宇都宮出張所 技手
北村	09.26 11.26	林業懇話会会長
吉川 晴十	03.31	東京帝大教授 冶金学
木戸 幸一	10.17	侯爵 内大臣
木戸 来助	06.28	宮内省皇族附久邇宮附 事務官
城所 元七	07.19	
木下 道雄	09.30	宮内省帝室会計審査局長官
樹下 快淳	10.09	宮内省図書寮編修官
木原 清	07.13	南満州鉄道株式会社顧問 徳川家家令
木村 恵直	03.13 06.06	
木村 康一郎	04.30 06.08 06.09 07.13 12.09	清風会幹事
木村康一郎夫人	06.15 07.25	
木村 進	04.30	清風会会長
木村 通	08.05 10.12 10.14 11.04	
木村通夫人	06.15 06.30 10.14	
木村倭文子夫人	09.23	
京極 高鋭	04.20 04.25 04.26	貴族院議員（子）研究会
金原 善三郎	08.28	
草野 徳義	08.30 09.13	神奈川県学務部社会教育課長
草葉 栄	06.13	『ノロ高地』の著者
久次米 邦蔵	06.27 06.29 07.13 07.19 07.31 11.11 12.17	馬鈴薯研究
楠目 貞子	08.13 10.29 11.09 12.02 12.03	「楠目老婦人」を含む
楠目	08.15 08.17 08.21 12.11	
國枝 益二	03.06 03.10 03.15 03.20 03.30 04.02	農林省農政局農産課 技師
久保 應助	01.03 03.06 11.23	三菱経済研究所
久保 春海	01.03 01.04 03.02 05.27 06.04 06.16 07.13 08.16 09.13 09.14 10.12 10.31 11.21	徳川家家政相談人 遠州学友会 東京商科大教授 静岡育英会理事
久保 春海夫人	05.13 05.15 06.16	
久保田 敬一	02.24	貴族院議員（男）公正会
久保田 得一郎	05.10 05.11 07.24	宮内省帝室林野局木曾支局飯田出張所
久保田 恭	06.02	榛原魚田組合長
熊谷 三太郎	01.30 03.01 06.25 09.10 11.12 12.16 12.21	貴族院議員（多）同成会 熊谷組創立者
熊倉 一夫	09.04	読売新聞社社会部
倉田 吉雄	05.26	宮内省帝室林野局業務部長 技師
倉知 鉄吉	01.18 01.23 01.24 01.26 01.29 04.18 06.23 06.29 07.04 07.09 11.15	貴族院議員（勅）同和会
栗田 徳次郎	12.25	
栗田徳次郎夫人	12.25	
栗田 昇一	12.25	栗田徳次郎末弟
栗林 新吉	10.14	
来栖 三郎	11.18	特命全權大使(アメリカ)
呉 泰次郎	06.30 10.09	池之上小学校会関係
黒井	10.28	熊本県人
黒川 漸	12.11	熊本県 「甘藷増産に就て」 著者
黒木 三次	07.08	貴族院議員（伯）
黒崎 幸吉	03.11 03.14 03.28 04.13 04.14 05.19 05.20 05.21 07.10 07.11	直子媒酌人 聖書学者

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
黒崎幸吉夫人	04.13 04.14 05.19 05.20	
黒澤 西蔵	08.27 08.28	北海道興農公社（後の雪印乳業）創設社長
黒田 清秀	03.08 07.04	池之上小学校会顧問
黒田 新平	01.26 02.20 10.13	農林官僚 住友本社林業所
黒田 節三	07.14 08.09	現静岡県菊川市平田村長
黒田 長敬	03.07 03.12 03.18 03.20 03.25 03.27 04.01 04.09 05.02 08.07 09.06 09.30 11.27 12.18	子爵 宮内省大膳寮頭
黒田 長和	06.29 07.04 11.15	貴族院議員（男）公正会
黒田 長礼	01.23	貴族院議員（侯）火曜会
黒田 芳松	03.24	
黒田 吉郎	05 21 06.26	
黒田吉郎娘	05.21	
黒田娘	06.28 07.01	
黒田	07.09	貴族院議員 長和または長礼
黒田	07.14	静岡県人
小池 啓吉	01.16 01.17 06.06 06.10	栃木県土木課長 技師
小池	04.30	清風会
小泉 親彦	07.18	第3次近衛内閣・東條内閣厚相
小泉 又次郎	01.27 08.30	衆議院議員
郷 秀雄	04.30 06.08 06.21 08.01	清風会幹事
郷秀雄夫人	06.09	
瀨瀨 彌三	07.17 12.04	文部省社会教育局長
香坂 高宗	05.11	信濃国大河原城主 南朝の忠臣
香坂 昌康	02.28	元内務官僚 国民精神総動員中央聯盟理事
香坂 宗重	05.11	香坂高宗の子
香坂	03.28 10.22	帝国林政会 昌康カ
上月 正一	05.09 05.10	三峰川森林軌道建設事務所長
河野 博通	02.05 02.21 03.03	
郷野 正蔵	04.19 07.06	
郷野 中彦	04.19 07.06	気象学校 静岡育英会貸費生 正蔵息子
郡場 寛	10.01	京都帝大理学部長
國府 種文	10.01	大蔵省専売局酒精部酒精課長
木檜 三四郎	01.27 01.31 06.06 08.05 09.03 11.04 11.06	衆議院議員 木桧表記あり
小坂夫人	11.11	
小坂 梅吉	03.25 06.02 06.12 06.25 09.10 10.08 10.22 10.29 11.12 12.10	貴族院議員（勅）同成会 実業家
小坂 順造	01.10 01.15 01.21 01.22 01.23 01.24 03.01 03.05 03.28 07.21 09.25 11.15 12.15 12.24	貴族院議員（勅）同成会
小坂順造夫人	03.05	
古島 一雄	01.23 01.24 01.26 01.28 01.31 02.06 02.19 02.20 02.21 02.22 02.24 03.15 03.25 04.10 05.15 05.26 06.20 07.09 07.10 07.24 09.13 10.08 11.15	貴族院議員（勅）交友倶楽部
小杉 恒治	09.22 10.02 10.08	鉄道省運輸局自動車課員
児玉 九一	07.02	厚生次官 内務官僚
児玉 九十	02.21 03.05 12.05	明星学苑創立者 静岡育英会理事 明星中学校長
児玉 秀雄	02.15 03.01 07.25 11.12 11.15	貴族院議員（伯）研究会
児玉 由太郎	04.06	東遠明朗会関係
後藤 一蔵	08.05	貴族院議員（伯）研究会
後藤 文夫	03.28 05.01 09.12 09.18 09.25 09.26 09.30 10.01 10.02 10.07 10.14 10.15 10.16 10.21 10.23 10.24 10.25 10.28 10.30 11.11 11.18 11.25 11.28 12.02 12.06 12.12 12.13 12.23	貴族院議員（勅）無所属倶楽部 大政翼賛会中央協力会議長 防空協会会長 中央林業協力会長 農業報国聯盟常務理事

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
小長谷 綽	05.26	外務省アメリカ局第三課長
近衛 文麿	01.11 01.15 01.21 01.27 02.06 03.15 03.26 06.10 06.23 07.17 07.18 07.20 10.16 10.17 12.23	公爵 第2・3次近衛内閣首相
小林 一三	05.03 09.06 09.10 09.19 10.01 12.10	第2次近衛内閣商工相(～41.4.4) 貴族院議員(勅) 無所属倶楽部
小林 嘉平次	01.04	元貴族院議員
小林 準一郎	11.11	王子製紙副社長
小林 次郎	01.02 01.09 01.15 01.18 01.19 01.22 01.23 01.24 01.26 01.29 01.30 02.04 02.09 02.19 03.10 03.11 03.12 03.24 03.27 04.03 04.08 04.18 04.20 04.27 04.28 05.05 05.19 05.26 06.02 06.03 06.05 06.07 06.09 06.25 07.11 07.16 07.18 07.21 07.24 07.25 07.31 08.04 09.03 09.06 09.15 09.17 09.22 10.09 10.11 11.15 11.19 12.10 12.13 12.25	貴族院書記官、書記官長(瀬古の後任)
小林次郎夫人	01.09 05.05 07.04 10.11 11.29	
小林次郎母	09.15	
小林 誠一	01.04	
小林	09.30 10.01	日本馬鈴薯甘藷株式会社員
小堀	06.06	技師
駒村 正太郎	05.07	日本発送電常盤発電所員
小宮山 勤次郎	11.30	中込香苗母の兄 山梨県竜王村名家
小村 寿太郎	11.26	外交官 公爵
菰田 康一	12.01	陸軍中將
薦野 孝卿	05.03	元貴族院速記士
小柳 直吉	02.01 02.02 02.03 02.17 03.16 03.17 03.18 03.20 03.21 03.23 04.04 04.05 04.06 04.17 05.03 05.27 06.10 06.17 07.27 10.05 10.06 11.02 11.07 12.19	報徳社農事講師 静岡県小笠郡掛川町杉谷 東遠明朗会
小山 邦太郎	12.06	衆議院議員
小山 松壽	01.15 01.29 01.31 03.26 06.21 06.24	衆議院議長(～41. 12. 22)
小山 正	11.02 11.03	
小山 谷蔵	03.13 03.20 10.01	衆議院議員 和歌山 全国治水砂防協会
小山 豊作	04.20 04.21 04.27	報徳社上越出張所主事
小山 松吉	3.30	貴族院議員(勅) 無所属倶楽部
小山	10.01 10.16	衆議院議員
近藤 英明	02.23 11.16	貴族院書記官庶務課長
近藤 慈弥	06.23	貴族院議員(男) 公正会
西郷	02.02	
齋藤 三郎	08.19	千葉県東葛郡布佐町長
斎藤 勝次郎	04.30 12.09	清風園幹事
斎藤勝次郎夫人	06.09	
齋藤 高行	06.11 06.29 07.25 07.28	二宮尊徳四大門人の一人
齋藤 樹	08.06 08.18 11.20 11.22	台湾総督府総務長官
齋藤 英夫	01.16	日光東照宮宮司
齋藤 洋	05.06	宮内省帝室林野局木曾支局野尻出張所
齋藤 雄一	05.07	宮内省帝室林野局木曾支局大滝出張所長
齋藤	07.31	故徳川公爵記念事業計画小委員会
佐伯	12.01	幸倶楽部
酒井 忠正	01.23 01.26 02.19 03.12 06.29 07.04 07.25	貴族院議員(伯) 研究会
榊原 昇造	07.15 09.10	陸軍中將
榊原 香世子	07.15 08.31 09.10 09.11	榊原昇造妻
坂田 英一	03.04 04.18 12.26	農林省農政局特産課長 技師
坂田 喜一郎	03.22 10.02	静岡県経済部長
坂田	08.16	課長

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
阪谷 芳郎	11.11 11.14 11.15 11.17	貴族院議員（男）公正会
坂本 喜作	01.18	東京府世田谷区教育課長主事
坂本 俊篤	03.19	貴族院議員（男）公正会
阪本 瑞男	07.22	外務省欧亜局長
桜井 榮一	11.21	遠州学友会（役員）
桜井 鐵太郎	02.21	
桜井 文平	05.04	
左近司 政三	01.29 07.18	第3次近衛内閣商工相
佐々 健治	02.22 03.01 03.03 03.04 03.05 03.06 03.10 03.15 03.16 03.18 03.20 03.28 05.26 05.31	中央放送局講演部副部長
佐々 貫之	11.10	東京帝大医学部教授 医学博士
佐々井 信太郎	01.08 02.02 04.06 06.11 07.12 09.04 09.27 11.02 11.03 12.13 12.20	報徳社理事 一円融合会理事長
笹川 吉雄	05.18	宮内省皇族附梨本宮附 属
佐々木 行忠	02.12 03.12 03.26 11.15	貴族院副議長（侯）火曜会
笹本 浅吉	04.07 04.08	静岡県小笠郡南郷村国民学校兼青年学校
笹本 五郎馬	04.07	静岡県小笠郡西郷村
佐治 秀太郎	05.08 05.09 05.11	宮内省帝室林野局木曾出張所計画課長
佐藤 猪三郎	12.07	
佐藤 銀五郎	03.01 03.28 09.22 09.26 10.01 10.15 10.16 10.21 10.22 10.23 10.30 11.04 11.11 11.18 11.27 12.02 12.09	林学博士 大日本山林会会長 中央林業協 力会委員会専門理事
佐藤 助九郎	02.06 02.25 03.01 03.25 04.21 04.23 04.27 07.03 07.06 07.08 07.09 08.06 10.03 11.12	貴族院議員（多）同成会
佐藤助九郎夫人	04.23	
佐藤助九郎弟	04.21	
佐藤 醇造	07.24	外務省調査官
佐藤 泰一郎	11.23	静岡県周智郡森町
佐藤 信淵	04.06	江戸時代の思想家
佐藤 宏	05.09 05.10	宮内省帝室林野局木曾支局伊那出張所 技 手
佐藤 雅雄	05.29 08.11 10.05	静岡県小笠郡西郷村 精農
佐藤 秀雄	04.08 11.04	貴族院書記官 庶務課長
佐藤 政雄	02.02 03.21	東遠報徳社
佐藤元重夫人	11.30	中込香苗母の妹雪枝
佐藤 雄	07.13 08.01 08.18 08.21 08.22 09.19 10.23 12.10	隣組長
佐藤 雪枝	11.30	中込香苗母の妹 佐藤元重妻
佐藤	04.30	清風会
佐藤	03.20	千葉県社会課増田氏代理
真田 秀吉	06.06 08.05 10.01 10.02	土木学会第21代会長 博士
佐橋	08.16	静岡倶楽部 静岡育英会関係
澤田 牛麿	01.21 02.25 04.10 05.15 05.26 06.20 07.28 08.30 10.08	貴族院議員（勅）同和会
澤田 廣明	09.15 09.18 09.20 09.27 09.28	町内青年
椎名 悦三郎	09.25	商工省総務局長
塩島 金一郎	02.07 05.26 08.16	静岡育英会主事
塩田 團平	01.30 02.19 02.24 03.25 06.12 07.09 09.10 11.26 12.16	貴族院議員（多）同成会
塩脇 六郎	08.20 08.21	東京土木出張所栗橋出張所 技手
志賀 ヤス	12.05	志賀信秀妻 平福百穂娘
重政 誠之	10.07	農林省総務局長
重光 簇	03.14 04.02 04.30	清風会 浦賀船渠会社
茂森 唯士	07.09	ジャーナリスト、評論家

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
志田 収	12.05	のち静岡県庵原郡由比町治山関係対策委員
志田	07.14	
篠田 治策	06.11 07.07 12.31	宮内省李王職長官（～41.3.9） 京城帝大総長
篠田治策夫人	07.07 08.01 09.04	
篠田 次助	02.20 03.11 05.03 08.22 12.01 12.04	陸軍中将 培本塾理事 静岡育英会関係
篠田 隆治	06.11	篠田治策息子、35歳で死去
篠田 良二	09.02 09.03	
柴田 善三郎	01.04 01.18 01.21 02.18 02.19 02.20 02.21 02.23 02.24 03.11 03.25 03.26 04.17 06.10 06.13 06.16 06.25 07.03 07.07 07.09 07.24 07.27 07.30 07.31 08.04 08.10 08.25 09.05 09.06 09.10 09.12 09.19 09.20 09.25 10.01 10.05 10.16 10.17 10.22 10.28 10.30 11.08 11.09 11.10 11.11 11.12 11.13 11.17 11.20 11.26 12.04 12.06 12.10 12.11 12.16 12.27	貴族院議員（勅） 同成会 静岡県出身 培本塾理事長
柴田善三郎夫人	01.31 07.27 07.31 08.25 09.27 10.05	
柴田 彦平	03.25	実業家、朝鮮に海倉酒造場、精米所設置
柴田 兵一郎	02.25	貴族院議員（多）同和会
柴沼 惣吉	08.02 09.06	
柴沼惣吉夫人	01.12	
柴野 和喜夫	10.23	農林省食糧管理局
柴山 博	08.04 08.05	神奈川県総務部長
柴山 昌生	01.29 06.06 06.23 06.24 08.04 08.05 08.30 09.03	貴族院議員（男）公正会
島	12.09	清風会会長
嶋田 繁太郎	10.18 11.16 12.13 12.16 12.27	海軍大将 東條内閣海相
島田 七郎右衛門	04.23	富山県西砺波郡福岡町 報徳家
島田 民治	05.04	
島田 俊雄	01.26	衆議院議員
島津 忠重	01.29 11.15 11.16 11.17 12.16	貴族院議員（公）火曜会 島津氏30代当主
島津	03.02	少佐
清水 梧郎	07.16	新潟県東頸城郡牧村国民学校長
清水 喜重	10.10 10.26	陸軍中将 山水中学校長
清水 錠之助	03.08	池之上小学校会顧問
清水 元	10.25	農林省山林局林政課 技師
清水 弥三松	07.21	
清水	03.02	中佐
清水	08.21	
清水	12.11	横浜
下條 康磨	02.25 02.26 03.04 03.25 06.25 07.09 07.23 08.06 09.10 09.24 10.08 10.17 10.22 10.29 11.12 11.26 12.10 12.11 12.16	貴族院議員（勅）同成会 元賞勲局総裁
下条	03.09 07.05 09.03	
下平 富士男	09.15 09.18 09.20 09.27	町内青年
下村 寿一	03.15 03.16 03.18 04.09 05.25	東京女子高等師範学校長
下村 宏（海南）	01.18 01.27 07.01	貴族院議員（勅）研究会 法学博士 ジャーナリスト
俊誉剛秀居士	07.05	河井弥八郎（祖父）
白井 演	05.04	小笠神社宮司
白井 敏子	11.10	白井辰一妻
白澤 保美	03.16 09.26 10.15 10.21 10.22 10.23 11.04 11.11 11.18 12.23	林学博士 中央林業協力会委員会

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
白根 竹介	01.09 01.26 02.25 03.22 03.27 04.01 04.18 06.29 07.09 08.30	貴族院議員（勅）研究会
白根 松介	04.29	宮内省次官
白松 篤樹	07.11	元内務官僚
白松篤樹未亡人	07.11	
白柳 秀湖	06.16	社会評論家 浜松出身
進藤	01.29	
榛葉 謙吉	03.23	大日本報徳社関係
榛葉 孝平	01.03 01.04 01.28 05.12 05.26 06.13 06.15 06.25 08.05 08.17 08.21 08.29 09.01 09.05 09.13 11.20 11.23 12.05 12.06 12.10 12.11 12.14 12.18 12.21	大日本報徳社関係
榛葉 良男	03.04 04.26 08.16 12.07	静岡県育英会理事 培本塾理事 大日本報徳社関係
榛葉 禮子	05.26 8.17 09.25 11.20 11.23 12.10 12.14 12.18	榛葉孝平娘
末次 信正	03.01 04.02 09.10	全国治水砂防協会会長 海軍大将 元内務大臣
末松 直次	03.08	池之上小学校会顧問
須賀 彦次郎	02.10	海軍少将
菅 儀一	05.04 08.02	YMCA主事
菅	12.15	
菅原 通敬	11.10	枢密顧問官
杉溪 由言	06.23	貴族院議員（男）公正会
杉本 良	01.19 03.18 03.20 05.04 07.06 07.24 07.31 08.18 09.01 09.13 10.16 12.25	元静岡県榛原郡金谷町長 培本塾評議員・監事
杉本良母	12.25	
杉森 孝次郎	04.11 08.09	早稲田大学教授
杉山 遠征郎	04.07	
杉山 東一	10.31	農林事務官
杉山東一夫人	01.28	
杉山 八平	11.07	
杉山 彌三郎	12.05	文部省実業学務局属
助川 啓四郎	06.04	衆議院議員
鈴木 麻吉	06.05	静岡県議 小笠郡横須賀町
鈴木 一郎	06.05 07.19	静岡県小笠郡横須賀町長
鈴木 梅太郎	09.20	ビタミンの発見
鈴木 文助	09.20	鈴木梅太郎の娘婿
鈴木梅太郎夫人	09.20	
鈴木 寛一	03.14 05.04 05.20 06.26 06.27 08.06 08.07 11.02 11.03 11.04	要の兄 陸軍獣医学校勤務
鈴木 貫太郎	01.26 11.12	枢密院副議長 男爵 海軍大将
鈴木 吉五郎	03.08	池之上小学校会顧問
鈴木 久太郎	01.16	栃木県会議員
鈴木 耕平	11.10	伊東卓治叔父
鈴木 脩一	11.09 11.11 11.13 11.17	片平信通の甥の子
鈴木 信太郎	05.14 07.31 10.30	徳川静岳公追悼会相談会
鈴木 たか	11.12	鈴木貫太郎妻
鈴木 貞一	07.18	第2・3次近衛内閣国務大臣兼企画院総裁
鈴木 とし	06.22 07.03 07.25 07.28 08.18 09.04	
鈴木 二平	05.04 05.30 06.26 07.19 08.03	要の甥 静岡県田方郡土肥町
鈴木登娘	09.05	青森県知事鈴木登娘

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
鈴木 英雄	08.30 09.01 09.03 09.26 10.01 10.03 10.15 11.18	全国治水砂防協会 中央林業協力会委員会
鈴木 房吉	12.01	静岡県田方郡上狩野村持越
鈴木 政夫	11.23	
〔鈴木カ〕 正夫	11.02	
鈴木 洋子	08.26	鈴木二平の長女
鈴木 善重	08.05	東京帝大経済科 遠州学友会（役員 常任幹事）
鈴木 由郎	11.03	
鈴木 与（與）平	03.14 03.25 03.28	6代目与平 鈴与社長 貴族院議員（多）研究会
鈴木 与（與）平	03.14 03.15 03.16 03.25 03.28	7代目与平
鈴木 理一郎	10.06	静岡県小笠郡掛川町長
鈴木	03.02	中佐
鈴木	05.16	東亜経済調査部員
鈴木	03.23	静岡県小笠郡西山口村成滝 鈴木夫人
鈴木	08.05 08.30 08.31	衆議院議員
鈴木	08.07	宮内省工務課長
鈴木	09.26 10.15 10.20 10.21 10.22 10.23 11.18	中央林業協力会
鱸 正太郎	12.28	静岡高等学校（旧制）教授
鱸正太郎夫人	12.28	
須田 卓爾	10.20	眼科医カ
須藤 良策	08.25 08.26 08.27	群馬県技手（林業）
砂田 重政	02.05 02.06 05.13	衆議院議員 全国治水砂防協会
須原 芳雄	03.26 06.08 11.06 11.25	培本塾主事
須山 温圭	04.02 06.03 06.04 11.18	帝国治山治水会幹事 帝国治山治水協会理事
陶山 千春	09.05 09.13	静岡県社会教育主事補
清閑寺 良貞	12.25	宮内省事務官 伯爵
関 義寿	06.23 06.24 08.28 09.07 09.10 09.30 10.01 10.16	貴族院議員（男爵）公正会
関口 勲	12.04 12.05	文部省実業学務局長
関口 慈真	01.16	輪王寺門跡（座主）大僧正
関屋 貞三郎	01.18 02.05 02.06 02.07 03.12 03.22 03.25 04.29 05.05 06.10 06.25 06.27 06.29 07.02 07.03 07.07 07.09 07.13 08.04 08.31 09.12 10.03 11.08	貴族院議員（勅）研究会
関屋貞三郎夫人	03.12 05.05 05.27 09.12	
関屋 正彦	01.14 01.17 03.12 05.27 07.18 9.12	日本聖公会牧師
関屋 光彦	05.27 08.21	
瀬古 保次	01.03 02.04 02.19 02.23 05.26 06.05 06.25 07.02	賞勲局総裁 前貴族院書記官長
瀬古保次夫人	02.21 09.05 12.05	
千石 興太郎	12.12	貴族院議員（勅）無所属倶楽部 農業報告聯盟常務理事
仙石 久英	09.16	貴族院議員（子）研究会
仙石 政敬	09.16	元貴族院議員 故人
添田 敬一郎	05.14 06.09 06.10 07.31	衆議院議員 徳川静岳公追悼会相談会
曾禰 武	06.01 06.09 08.03 08.04 08.23	
曾禰武夫人	06.01 06.09 08.03 08.06	
藪部 一郎	01.28 03.01 03.28 09.26 09.29 10.16 10.21 10.22 10.23 11.04 11.11 11.18	帝国林政会 東京帝大教授 林学博士 中央林業協力会理事
高井 孝蔵	08.01	清風会幹事 高井幸蔵と同一人物か
高石 四郎平	11.10	伊東綾の父

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
高石 登代	11.10	伊東綾の母
高尾 亮一	01.04 03.27 04.27 04.28 05.01 05.03 05.05 05.06 05.09 05.10 05.11 05.26 06.30 07.05 07.06 07.11 07.17 09.18 09.19 10.29 12.31	宮内省帝室林野局庶務課 事務官
高尾亮一弟	06.01 06.25	
高木 勝義	04.19	高木幸平長男
高木 幸平	04.01 04.19 06.27	静岡県立中泉農学校長 「中豆農学校 長」
高木 友枚	05.27 06.10	博士 友枚は友枝カ 聖路加病院
高木 正得	03.30	子爵
高木 百合子	03.30 10.03 10.22	高木正得娘 三笠宮崇仁妻
高木	08.14	近隣住人
高崎 弓彦	06.23 10.26 11.04 11.05 11.06	貴族院議員 (男) 公正会
高島 開作	04.23	富山県西礪波松沢村 報徳家
鷹司 信輔	11.16	貴族院議員 (公) 火曜会 神社庁理事長 鳥類学者
高辻	08.14	枢密院書記官
高野 源進	04.18	山梨県知事
高橋 弘平	06.04 07.19	静岡県磐田郡袋井町長
高橋 藤太郎	01.28	
高橋 雄豹	01.19 01.20 01.23 04.03 04.18 09.29 10.01 10.03 10.10	読売新聞社記者
高橋 良一郎	01.17 01.26	静岡県小笠郡曾我村長
高平 勇	02.17 02.23 03.11 03.18 03.21 07.14	静岡県引佐郡三ヶ日町
高柳 勲	11.10	静岡県浜名郡篠原村
高柳 貞逸	04.27	弁護士
高柳 暉	08.30 09.12 09.13 09.19 09.20 09.23 12.05 12.06 12.22 12.31	東京聾唖技芸学園主
高柳 光寿	08.09 11.21	遠州学友会 東大資料編纂官 国学院大 教授
瀧 正雄	11.15	貴族院議員 (勅) 無所属倶楽部
田口 弼一	01.18 01.19 01.28 01.30 01.31 02.05 02.06 02.20 02.21 02.22 02.26 03.10 04.10 05.15 05.26 06.20 06.21 06.30 07.09 07.10 07.14 07.19 07.22 07.28 10.08 11.15 11.19 11.20	貴族院議員 (勅) 元衆議院書記官長
田口 文太	10.27	葵会副会長 陸軍薬剤少将
竹内 敏男	09.18	
武内 博雄	10.19	報徳二宮神社社司
武岡 充忠	06.11 06.29 07.25	大阪府住吉区阿倍野筋 興亜明昭塾
竹越 與三郎	06.20 09.11 09.14 09.15 10.01	貴族院議員 (勅) 交友倶楽部
竹下 融	05.06	宮内省帝室林野局木曾支局諏訪出張所長
竹下	06.23	同遊会
武部 九郎	05.07	日本発送電常盤発電所員
建部 遯吾	02.15 02.25 03.25 06.23 06.24 06.25 07.09 10.22 10.29 11.12 11.19 12.10	貴族院議員 (勅) 同成会 社会学者
武見 太郎	11.27	医師
竹屋 志計子	04.29	旧女官長
田子 一民	12.25	衆議院議長
田澤 義鋪	02.28 04.10 05.14 05.15 05.26 06.20 07.22 07.28 10.08 11.19	貴族院議員 (勅) 無所属倶楽部
田代 重徳	08.28	大使館参事官
田代 訂	03.12 04.02	静岡県豊田郡二俣町出身
館林 多久次	06.26	
館林多久次夫人	02.21 10.31	



氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
館林 三喜男	01.06 01.07 01.08 01.19 02.03 02.05 03.09 04.19 04.24 05.25 06.25 07.04 07.06 07.17 07.18 07.20 07.25 08.03 08.04 08.07 08.20 08.21 08.25 09.05 09.06 09.09 09.10 09.15 09.16 09.17 09.18 09.20 09.24 09.27 10.06 10.24 10.28 10.30 11.22 11.23 11.30 12.04 12.07 12.10	河井弥八女婿 内務事務官 群馬県警察部 長(4.10～) 防空局業務課長(9.6～)
館林 マス	02.04 02.09 02.10 02.12 02.13 02.14 02.16 02.17 02.19 02.20 02.21 02.24 02.26 02.27 03.08 03.30 04.08 04.09 04.10 04.17 05.15 05.16 06.25 07.30 08.02 08.03 08.13 08.15 08.17 08.24 08.25 08.30 09.05 09.15 09.24 11.19 11.20 11.21 11.22 11.24 11.27 11.28 12.06 12.07	弥八娘 館林三喜男妻 マス子
館林 葉子	02.04 02.27 03.30 03.31 04.02 04.03 04.08 08.02 08.17 08.24 09.15 09.26 09.27 11.22 11.23 11.29	館林三喜男マスの子
館林 一也	04.02 08.02 08.17 08.24 09.15 09.26 09.27 11.22 11.23 11.29	館林三喜男マスの子
館林 成也	11.28 12.04	館林三喜男マスの子
館林三喜男母	09.15 10.31	
田所 美治	02.25	貴族院議員(勅) 同和会
田中 穂積	04.30 05.01	貴族院議員(勅) 無所属倶楽部
田中 至孝	05.23	富民協会の農業博物館技師
田中 清文	04.23 04.27	
田中 正造	08.20	政治家 足尾鉍毒問題の指導者
田中 猛	03.08 04.08 04.10 09.01	池之上小学校会顧問
田中 長茂	11.25 12.12	農業報国聯盟常務理事 農林官僚
田中 正穎	11.14	台湾拓殖株式会社 技師
田中 八百八	10.07 11.04 11.11	農林省山林局林務課長
田中	04.28	静岡県志太郡
田中	11.11	久連国民高等学校理事
田中	12.08	三七会
田中館 愛橘	01.28 01.31	貴族院議員(学士) 無所属倶楽部 地球物 理学者 元東京帝大教授
田中丸	01.29	
田辺 三郎平	01.06 01.08 02.17 03.17 04.04 04.16 07.14 07.28	大日本報徳社常務理事
田辺 俊介	03.06	三井物産倫敦支店長
田辺 治通	07.18 08.30 09.03 09.10 09.11	貴族院議員(勅) 無所属倶楽部 第3次近 衛内閣内務相
谷口	01.27 01.28	技監
田村 角太郎	02.17 04.08 05.26 06.26 09.01 09.14 09.15	貴族院の属官 守衛長
田村 勉作	03.21 09.20 09.27 09.28 09.29 10.05 10.10 10.16 10.28 11.01 11.04 11.06 11.09 11.14 11.16 11.22	静岡県浜名郡白須賀町の篤農家
樽井 虎一	04.05 09.06 09.07 10.18	静岡県引佐郡中川村
俵 孫一	01.16 01.27 01.30 02.05 02.06 02.08 03.13 04.02 05.13 06.06 07.18 08.05 09.10 09.11 10.01 10.16 11.16	衆議院議員
千秋 季隆	05.14	故人 男爵
長 延連	11.21	遠州学友会
長 世吉	02.04 11.19	貴族院議員(勅) 元貴族院書記官長

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
塚本 清治	01.08 01.21 01.22 01.23 01.24 01.26 01.28 01.31 02.06 02.07 02.19 02.25 03.01 03.19 03.25 04.01 04.10 04.18 05.01 05.03 05.15 05.26 06.20 06.29 07.04 07.09 07.11 07.12 07.23 07.28 08.02 08.03 08.06 09.06 09.10 09.11 09.14 09.24 10.08 10.17 10.29 11.10 11.12 11.15 11.19 11.20 11.26 12.15 12.16 12.23 12.24	貴族院議員（勅）同成会
塚本 はま子	07.05	
塚本 常雄	04.29	
塚本	06.11	女性
次田 大三郎	01.20 01.27 01.28 02.22 02.24 02.25 02.28 03.13 03.19 03.25 04.10 05.01 05.02 05.03 05.15 05.26 06.12 06.20 06.21 06.25 07.28 08.06 09.06 09.10 09.11 09.24 10.08 10.17 10.22 11.12 11.19 11.26 11.28 12.10 12.16 12.24	貴族院議員（勅）同成会
堤 康次郎	09.10 09.12	
土屋 齊	10.30 11.04 11.08	日本映画協会ニュース部編集部課長
角皆 近次郎	11.02 11.24	
角替 文子	01.06 03.03 03.05 03.13 04.08 05.29 06.01 08.03 12.06	弥八の妹 角替利策妻
角替 恭子	04.08	
角替 太郎衛	12.06	
角替 匡子	08.23 08.31 12.27	
角替 佑子	02.20	
角替 吉平	02.16 06.16	
角替 利策	03.13 05.03 06.26 07.14 08.03 08.23 08.31 09.21 09.22 11.27 12.27	弥八の妹文の夫
角田 正喬	10.26 11.10	深津敏子の伯父
角田正喬夫人	10.26	
出淵 勝次	01.21 02.24 06.02 06.10 06.23 06.24 08.31 11.19	貴族院議員（勅）
壺井 ヨリ	07.01	女中えいの友人
寺尾 辰之助	11.26 11.28	大日本山林会編輯
寺尾 博	07.03 07.09 11.08 12.29	農林省農事試験場長
寺島 健	10.18	海軍中将 東條内閣鉄相通相
寺田 美佐久	04.06	東遠明朗会
寺田 密次郎	01.13	
土井 久之	08.19 08.21	千葉県農林技師
東郷 安	02.25 06.23	貴族院議員(男)公正会
東郷 茂徳	10.18 11.17 12.13 12.16	東條内閣外相拓相
東條 英機	01.15 01.21 01.27 03.15 07.18 10.17 10.18 11.12 11.13 11.16 11.17 11.21 12.13 12.16 12.18 12.27	第2・3次近衛内閣陸相 東條内閣首相陸相 内相
戸川 篤次	07.14	東京慈恵医大小児科学教室初代教授
戸川篤次母親	07.14	
戸川篤次夫人	07.14	
土岐 嘉平	03.20	
土岐 政夫	04.01	宮内省 内匠頭 大臣官房秘書課長
徳川 家達	01.25 05.14 05.15 05.23 05.26 06.02 06.05 06.07 06.09 06.10 06.11 06.28 07.15 07.16 07.18 07.31 10.27	徳川宗家第16代当主（故人） 戒名顯徳院 殿 号静岳
徳川 泰子	06.10	徳川家達妻 家正の母

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
徳川 家正	01.25 02.06 02.07 02.18 03.02 03.09 03.15 03.16 03.19 03.24 03.26 04.09 05.14 05.15 05.28 05.31 06.07 06.09 06.10 06.14 06.28 07.01 07.07 07.11 07.18 07.25 09.10 09.11 09.12 09.14 09.17 10.27 10.29 11.09 11.13 12.03 12.12	貴族院議員（公）火曜会 静岡育英会総裁
徳川 圀順	02.12	貴族院議員（公）火曜会 日本赤十字社長
徳川 圀禎	11.21	徳川圀順嗣 北白川宮多恵子と結婚
徳川 達孝	02.18 02.19 02.22	伯爵
徳川 正子	06.10	家正妻 島津正子
徳川 宗敬	10.24	伯爵 林学者
徳川 慶光	09.14 10.27	徳川慶久長男 第六天公爵
徳川 久美子	09.14	徳川慶光の妹
徳川 順子	01.25 06.10 07.18 10.27 11.09 12.03	徳川家正の娘 保科光正妻
徳田 政信	01.12 03.15 04.18 04.19 05.02 07.03 10.31 11.08	東洋大学学生
徳田 悦	05.02	
戸倉 儀作	02.17 04.06	東遠明朗会
戸倉 惣兵衛	08.10 04.19	
戸倉惣兵衛母	08.10	
戸田 治助	12.07	千葉県安房郡保田町長
戸田 八重子	06.03 09.05	栄養学校入学
戸塚 九一郎	11.21	戸塚重一郎兄 官僚 北海道長官 遠州学友会
戸塚 重一郎	08.13 08.26 09.19 10.14 10.19 11.02 11.14 12.05 12.21 12.26 12.28 12.29	酒造業、平喜初代会長 九一郎弟
戸塚 長四郎	07.02	
戸塚 八郎	01.13	
戸塚 昌宏	10.10 11.23	西武電鉄専務取締役
富田 健治	03.12 07.18 10.17 10.24 11.19 12.10 12.11	第2・3次近衛内閣内閣幹長（41.10～） 貴族院議員（勅）無所属倶楽部
富田 正吉	04.22	大尉
富田 良太	05.06 05.07 05.08	宮内省帝室林野局木曾支局業務課 技師 神宮御用材伐出主任
富田	11.05	
富安 健次	11.04	
豊田 貞次郎	01.23 07.18	第2次近衛内閣海軍次官 第3次近衛内閣外相拓相
鳥居 清一	01.13	
中井 一夫	07.26 09.03	弁護士 衆議院議員 懲罰委員長
永井 浩	12.04	文部省専門学務局長
中尾 桂一郎	12.02 12.03 12.04	農林省東京営林局長
長尾 啓	03.29	泰治の学友
長尾啓弟	03.29	長尾啓の弟
長岡 徳治	10.13 10.20	三菱経済研究所長
中川 健藏	03.25 03.28 07.23 07.31 08.30 09.10 10.08 10.29 11.08 11.10 11.12 11.17 11.26 12.10 12.16	貴族院議員（勅）同成会
中川 望	05.14 09.04 09.13	貴族院議員（勅）同和会 赤十字社副社長
中川 八郎	11.12 11.13	洋画家
中川	03.28	帝国林政会 健藏カ
中込 香苗	11.27 11.29 11.30 12.01	北京口煙草取締役(青島)
中込 浩次	11.27 11.30	中込香苗の従兄弟 東京瓦斯会社横浜所長
中込浩次夫人	11.27 12.01	
中込 周藏	11.30	中込氏当主

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
中込 健	11.29	香苗弟 大日本麦酒会社北支出張所長 天津住
中込 團次郎	11.30	中込香苗父
中込 友美	11.30	大日本産業報国会生活指導部
中込 尚也	11.30	中込團次郎本家当主
中込 秀治	11.30	中込香苗母
中込 泰子	11.30 12.01 12.21	中込香苗妻 旧姓朝比奈
中澤 伊與吉	03.20 10.01	東京女子高等師範学校教授 「長澤」
長澤 徳玄	07.09	上野寛永寺座主(住職が正式、座主は誤)
長澤 久男	05.16 08.02	
中島	06.04 08.16	静岡県育英会関係者 理事
中島	04.09	技師
中島 資朋	12.04 12.13	海軍中將
中田 賢照	04.21 04.22 04.23 04.27	富山県学務部社会教育課主事
長津 久雄	04.10	
中津川 長治	05.24 05.25 05.29 06.01 06.11 06.14 06.19 07.01 08.10 08.23 09.13 09.21 09.22 10.21	静岡県磐田郡磐田町
中津川長治夫人	05.29	
中津川長治母	05.29 06.19 08.10	
中野 敏雄	02.25	貴族院議員 (多) 交友倶楽部
中原 信義	12.05	文部省嘱託
中御門 経恭	01.23 03.12 11.15	貴族院議員 (侯) 火曜会
中村 円一郎	02.03 03.21 03.22 03.24 04.26 05.28 07.05 07.07 07.12 07.14 10.16 11.09 12.05	静岡三十五銀行頭取、茶業振興、元貴族院議員 (多) 研究会 (1918~1939) 初代円一郎
中村 賢一郎	11.14 11.23 11.25	宮内省帝室林野局林業試験場長
中村 源	07.14	静岡県人
中村 源左衛門	06.02 07.28	静岡県人カ
中村 茂	12.30	衆議院議員議院倶楽部
中村 政蔵	02.06 02.07 02.16	日本石油労務課
中村 藤兵衛	03.08 06.30 07.04 07.13 09.12	池之上小学校会顧問
中村藤兵衛夫人	07.13	
中村 直大	10.03 10.21 10.25	農林省山林局林政課長
中村 伸	10.08	
中村 秀平	02.03 04.26 06.08	円一郎の子 後に円一郎襲名
中村	01.23	貴族院議員 謙一または純九郎
仲村 清栄	09.06 09.10 09.11 09.14 09.15 09.24	貴族院議員 (多) 交友倶楽部 沖縄県
永村 清	05.01 06.28 08.01	弥八東京宅隣組組長
中山 きみ子	08.16 10.06	元静岡育英会貸費学生、小笠郡比木村国民学校訓導
半井 清	02.18 02.20 03.03 07.08 09.04	神奈川県横浜市長
名川 侃市	07.14 07.19	衆議院議員
名倉 貫一	02.02	静岡県磐田郡袋井町
名倉 彦一郎	04.06	東遠明朗会評議員
名倉	04.28	東遠明朗会 磐田郡
那須 忠良	06.23	日立製作所常務
名取 和作	02.13 06.12 06.16 08.31	富士電機製造社長
奈良 武次	04.28	陸軍大將 枢密顧問官
成田 勝郎	02.19 05.14 06.28 07.18 09.10 10.29	徳川家家政相談人 海軍少将
成瀬 達	01.13	日本生命社長
仁井田 益太郎	01.23	貴族院議員 (勅) 同和会 東京帝大教授
西 伊三次	10.21	
西 春彦	11.26	東條内閣外務次官
西尾 忠方	06.23 08.05 08.30 09.03 09.30	貴族院議員 (子) 研究会
西ヶ谷 正巳	01.14	駿河東報徳社

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
西澤 善三郎	03.12 03.13	弥八東京宅向隣
西野 元	12.05	日本勸業銀行総裁
西野入 愛一	09.30 10.01 10.04 10.08	東京日日新聞副主幹
西原 亀三	02.05 03.10 05.02 05.13 11.11 12.20	京都府与謝郡雲原村村長
西村 恒雄	03.03	静岡県立沼津中学校長
西村 虎雄	04.22 04.27 10.02 10.04	富山県経済部農産課長 職員録は「寅雄」
西本 俊雄	08.15	陸軍航空技術少尉
西本俊雄母	08.23	
西山 道彦	08.14	平沼騏一郎を襲った人物
二田原	10.22	中央林業協力会委員
二宮 尊徳	09.04 10.19	
二瓶 平二	12.23	拓務省拓南局 技師 職員録は「仁瓶」
根尾 宗四郎	04.23 04.27	富山県東砺波郡有志会長
沼田 清志	08.25 08.26 08.27	群馬県 技手（林業）
野口 明	01.30 05.01 05.26 06.30 11.12 12.01 12.06	宮内省宗秩寮宗親課々長 帝室林野局監理部長
野島 功謹	08.04	神奈川県小田原市会副議長
能登 繁次郎	04.22	富山県下新川郡桜井町石田区 富農 報徳家
野村 吉三郎	02.25 11.18	特命全権大使（アメリカ） 海軍大将
野村 利吉	03.20	宮内省主膳監
袴田 銀蔵	02.01 02.02 02.13 02.17 02.19 02.22 02.26 03.16 03.21 03.24 03.30 04.04 04.06 05.03 05.28 05.30 07.19 08.11 08.13 10.05 10.17 10.30 11.03 11.04 11.05 11.07 12.20	静岡県小笠郡西南郷村元村長 東遠明朗会
萩田 魁	05.29 06.08	静岡県小笠郡和田岡村出身 武蔵高等工科学学校卒
萩田 誠一	08.13	東京日日新聞記者
橋田 邦彦	01.27 07.18 09.04	第2・3次近衛内閣・東條内閣文相
橋本 織作	03.23 07.24 11.09 12.01	故人 天城開墾地関係
橋本織作未亡人	11.09	
橋本 紀平	03.23	橋本織作親族
橋本 圭三郎	01.18	貴族院議員（勅）交友倶楽部 帝国石油社長
橋本 清吉	02.04 02.06	内務省警保局長
橋本 清之助	11.25	農業報国聯盟常務理事 後藤文夫秘書官
橋本 正武	05.06 05.07 05.08	宮内省帝室林野局木曾支局上松出張所長
橋本 萬右衛門	03.16 06.28 07.25	実業家
長谷川 喜一郎	04.23	富山県東砺波郡 農会技師
長谷川 清	07.28 08.06 09.18	台湾総督 海軍大将
長谷川 重榮	11.14	台湾拓殖株式会社員
長谷川 赳夫	02.04 11.19 12.13 12.26	貴族院議員（多）無所属倶楽部
長谷川 太郎吉	11.30	満洲煙草股份有限公司社長
長谷川 鉄雄	03.23 08.09	遠州学友会
長谷川 直敏	01.09 03.08 03.19 03.20 06.07 08.22 12.29 12.30	陸軍中将 池之上小学校会顧問
長谷川 ミサ子	11.30	長谷川勇之助妻 旧姓朝比奈
長谷川 勇之助	11.30	
長谷川	04.30	清風会
八條 隆正	01.29 02.28 07.04 07.09 12.27	貴族院議員（子）研究会
八田 善之進	04.09 12.24	宮内省侍医寮頭
服部 源太郎	02.27 02.28 08.11 08.16 10.05 10.10 11.06 11.14 12.05 12.21	静岡市 丸山会々員
服部	04.09	博士 甘藷栽培
花房 崎太郎	02.23 02.25	貴族院囑託
花房崎太郎夫人	02.23	

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
濱田 徳海	07.09	大蔵省銀行局普通銀行課長
濱松 与三左衛門	04.22	富山県下新川郡桜井町石田区 報徳家
濱松 あい	04.22	富山県下新川郡桜井町石田区 報徳家
林 常夫	11.02	元北海道庁林務課長
林常夫息子	11.02	
林 瞭一郎	06.05	静岡県小笠郡横須賀町
原	09.26 10.22	中央林業協力会 理事
原 鐵五郎	11.24	農政団体聯合会長
原武正兄弟	06.10	弥八東京宅町内住人
原口 享	10.03	宮内省帝室林野局名古屋支局長
原田 九郎左衛門	02.03 03.17 04.07 04.08 04.17 05.29 11.03	静岡県小笠郡南郷村長
原田 喜之助	05.28 05.29	原田九郎左衛門息子 中尉
原田喜之助母	05.28 11.03	原田九郎左衛門妻
原田 清次郎	04.17	
原田 睦子	11.14	
東方 籌	06.01	金鶏学園理事
東久世 秀雄	02.04 04.11 09.26 10.22 11.19	貴族院議員（男）公正会
彦坂 倉蔵	10.05	静岡県浜名郡白須賀町長
久宗 董	10.30 12.29	台湾拓殖株式会社副社長
土方 久徴	02.05 02.19 05.14 06.28 07.18 08.14 09.10 10.29	貴族院議員（勅）同和会 徳川家家政相談人
一杉 藤平	03.07 06.06 06.08	弁護士 朝鮮忠清南道内務部長
人見 次郎	03.11	元台湾総督府総務長官
日比野正治	12.21	海軍中将 軍事参議官
檜森 鎌蔵	10.21 10.22	中央林業協力会 日本外材協力会連合会会長
平出 英夫	12.13	海軍大佐 大本営報道部第一課長
平賀 譲	03.31	東京帝大総長
平田	04.30	清風会
平沼 騏一郎	02.06 05.31 07.18 08.14	第2・3次近衛内閣内務大臣、国務大臣
平沼 亮三	03.25 04.30 05.01 05.03 09.24 12.16	貴族院議員（多）同成会
平野 喜一	10.19	栃木県今市農会長
平野 忠五郎	12.01	農友会員
平野 増吉	10.21	日本農林新聞社長
平山 節子	11.30	平山担妻 朝比奈節子
平山 担	11.30	朝比奈節子と結婚
平山 泰	02.20	
廣尾	04.28	
廣幡 忠隆	05.07 08.07 12.23	皇后宮大夫 侯爵
馮 國光	04.11	
馮 國相	04.11	馮國光の弟
馮 廣民	04.11	馮國光の父 中国東北部の政治家・教育者
深津 亀三	11.10	深津寿子父
深津 重	11.10	深津静夫妻
深津 静夫	11.10	深津家当主
深津 総一郎	11.10	深津静夫兄
深津 寿子	09.03 09.07 09.10 10.17 10.26 11.10	伊東卓治妻 「敏子」と誤記した場合あり
深津 よし	11.10	深津寿子母
深町 経蔵	12.15	財）育心会理事長
福井 精平	11.30 12.01 12.04 12.13 12.16	防毒マスク用炭素粒製造方法発明
福井 孫吉	04.06	東遠明朗会評議員
福田四郎夫人	12.31	
福田 武三	04.03 07.14	

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
福田武三母	04.03	
福羽 発三	10.01 10.16 12.18	宮内省大膳寮主膳課御用係
福羽	04.09	技師 甘藷栽培
房前 卓	04.20 04.28	貴族院事務局属
藤井 宇多治郎	06.10	宮内省東京帝室博物館事務官
藤井 静一	08.22	社会事業家 報徳思想 岡山県
藤井 種太郎	03.07 04.29 05.07 09.30 12.06	皇子御養育掛長 宮中顧問官
藤岡 英雄	08.29	農林省東京営林局林業課長
藤岡 長敏	11.15	内務省防空局長 中央防空委員会計画局長
藤岡 光長	01.28	農林省林業試験場長 東大農学部教授
富士川 金二	04.09	宮内省大臣官房秘書課属
藤沢 六馬	03.15 03.16	東京女高師教諭
藤田 一男	04.05	静岡県小笠郡岩滑村国民学校長 元南郷村小学校長
藤田 久蔵	04.04 04.05 04.19 04.21 04.27 07.14 08.10 08.11 08.25 09.06 09.07 09.26 10.02 11.06 11.07 11.12 11.15 11.16 11.22 12.04	静岡県引佐郡中川村 献上甘藷栽培
藤田久蔵孫	08.11 08.12	
藤田 訓二	04.07 04.16 04.28	報徳関係
藤田 若雄	05.20	三島甫の友人
藤野 宗次	05.06 05.10 05.11	宮内省帝室林野局木曾支局監理課長
藤波 得二	05.04	
藤巻 雪生	09.27 10.16	日本甘藷馬鈴薯株式会社常務
藤原 孝夫	12.12 12.30 12.31	千葉県知事
二上 兵一	03.08 10.18	宮内省豊島岡部陵墓守長
二見 孝平	04.12 04.30 06.08 06.09	清風会幹事
二荒 芳徳	02.28	貴族院議員（伯）研究会 大日本少年団聯盟副団長
古澤 秀弥	09.13 09.14	徳川慶喜家家令
古丸	04.30	清風園
坊城俊良	07.09	宮内省儀式課式部官 伯爵
法華津 孝太	08.18	外務省通商局第一課長
星野 直樹	01.23 02.04 03.12	第2次近衛内閣企画院総裁・国務相
保科 正昭	09.30 10.01	貴族院議員（子）研究会
保科 光正	11.09	保科正昭息子
保科 順子	12.03	保科光正妻 徳川順子
堀田 五一郎	06.23	神谷家親戚
堀田 正恒	03.25	貴族院議員（伯）研究会 貴族院請願委員長
堀 一郎	08.17 08.19 08.21 08.28 08.29 09.05 09.13	帝国女子医専教授 堀信次長男
堀 乾太	05.20	三島甫伯父
堀 庫一	01.12 03.19 08.18 11.17	医師
堀 信次	08.17 09.01	堀一郎父
堀	04.30	清風会
堀	01.01 01.02 01.03 01.05 01.07 01.09 02.07 02.08 02.09 02.10 02.11 02.12 02.13 02.14 02.15 02.16 02.17 02.18 03.30 03.31 04.03 04.10 04.11 07.13 07.15 08.06 09.02 09.07 09.08 09.09 09.16 09.18 09.20 10.23 10.25 10.30 10.31 11.10 11.14 11.24 12.02 12.21	医師 堀庫一カ
堀江 季雄	10.17	枢府書記官長
堀江 浩	12.24	愛知県農事試験場長
堀庭 政平	11.22	
本庄 繁	04.28	軍事保護院総裁 陸軍大将
本城 信治	08.20 08.21	内務省土木局東京土木出張所技師

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
本多 静六	03.28 06.16 09.22 09.26 11.11 12.09	中央林業協力会理事 帝国林政会 林学博士
本波 栄太郎	04.22 04.23	富山県桜井町石田校長 報徳家
本間 俊平	05.05 05.18 06.25	医者カ
前田 勇	06.02 06.05 06.10 08.31 09.15	貴族院議員（男）公正会
前田 武雄	10.31	日本製鉄会社員
前田 稔	07.23	軍令部第三部長 海軍少将
前田 米蔵	07.09 07.11 07.12 07.14 07.25	衆議院議員
前田	10.08	
前橋 眞八郎	02.22 03.03 06.13 06.14 08.20 08.23 08.27 09.01 10.01 10.03	栃木県足利郡筑波村長
前橋 半兵衛	05.03 05.05 05.06 05.08	如水会館
榎 有恒	03.05	塩水港製糖会社東京支店
牧島 忠夫	11.22	
牧野 伸顕	04.09 06.02 06.03 06.09 06.10 06.11 10.09 10.12 11.21 11.24 11.25	伯爵 元内大臣 元宮内大臣
牧野伸顕夫人	10.09	
牧野 宝一	05.18	
真崎 甚三郎	12.13 12.26	陸軍大将 皇道派
真島 幸次郎	03.03 03.08 04.12 04.30 05.27 06.07 06.08 06.09 06.15 07.04 10.15	池之上小学校会顧問 清風会長
増田 正直	03.20 08.19 08.21 10.16 10.28 11.29 12.07 12.18 12.31	千葉県庁嘱託 千葉県社会事業協会主事
増田 次郎	01.25 03.02 08.16	日本放送電会社総裁 静岡育英会監事 静岡県志太郡稲川村出身
増田	06.08	静岡県榛原郡勝間田村 中尉 戦死
益田 信也	08.04	神奈川県小田原市長
間瀬 鉦太郎	11.12	静岡県農事試験場長
町村 金五	04.18 04.21 04.22 04.27 09.22 10.02	富山県知事
町村	10.12	北海道在住
松井 五郎	05.03	
松井 三郎	10.06 10.26 11.21	明治生命 遠州学友会
松井 茂	02.25	貴族院議員（勅） 中央教化団体聯合会
松井 六郎	04.05 04.06 11.01 11.07 11.08 11.12 12.19 12.29	東遠明朗会評議員 農事座談会参加
松浦 永次郎	01.03 01.04 04.02 10.12	海軍艦政本部第六部長 海軍少将 掛川 出身
松浦 正造	08.11	
松浦 清三郎	02.02 02.17 03.21 04.04 05.29 06.18 08.11 10.05 11.06	東遠明朗会役員 静岡県小笠郡西郷村
松尾 長造	01.31	文部省図書局長 政府委員
松尾	04.30	清風会
松尾	01.27	衆議院議員 三蔵または四郎
松岡 洋右	01.21 01.27 02.04 02.05 02.25 03.11 06.06	第2次近衛内閣外相
松隈 秀雄	09.15	大蔵省主税局長
松崎 十郎	08.28 08.29	渡良瀬川量水事務所（栃木県下都賀郡藤岡町）
松下 二郎	11.21 12.12	遠州学友会 南亜工業（株）専務
松田 正之	01.29	貴族院議員（男）公正会
松田 道一	01.23 07.18 10.12 11.14	元外交官
松田	03.02	中将
松平一郎夫人	06.10	
松平 繁子	06.10	徳川家達娘
松平 次郎	01.25	松平恒雄次男
松平 恒雄	01.25 04.29	宮内大臣
松平 外與麿	03.13 04.11 05.14 06.06 08.30	貴族院議員（男）公正会
松平 康愛	09.14	松平康昌息子



氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
松平 康春	01.23 03.12 07.04	貴族院議員（子）研究会
松平 康昌	09.14	貴族院議員（侯）火曜会 内大臣秘書官長
松平 頼寿	01.15 02.12 02.19 03.01 03.12 04.18 05.01 05.14 05.23 06.03 06.10 06.11 06.21 06.24 07.31 11.08 11.12 11.15 11.18 11.21 12.13	貴族院議長（伯）研究会
松平	07.09	貴族院議員
松平	03.20	行政機構統一案委員
松村 義一	02.27 07.09 07.10 07.11 07.14 07.22	貴族院議員（勅）公正会
松村 真一郎	02.06 02.25 03.01 03.07 04.10 05.15 05.26 06.20 07.19 07.28 11.19 12.26	貴族院議員（勅）元農林官僚
松村 光磨	07.08 08.04 08.05 08.06 08.25 08.31 09.02 09.04 09.13 09.14 09.20 09.27 12.25 12.27	神奈川県知事
松本 勝太郎	02.07 02.09 06.12 06.16	甘藷栽培
松本 亀五郎	08.21 09.09 11.14 11.28	
松本 喜作	02.26 03.03	「農家経営ノ要領」著者
松本 重治	09.24	同盟通信社編集長
松本 丞治	02.26	商法学者 貴族院議員（勅）無所属倶楽部
松本 俊男	03.03	静岡県小笠郡小笠村 故松本喜作息子
松本 学	03.22	貴族院議員（勅）研究会 元内務官僚
松山 高四郎	07.03 07.05	
松山 はな	11.10	松山文平妻
松山 文平	11.10	
真鍋 勝	08.05	衆議院議員
真野 文二	02.19 03.15 03.25 10.10	枢密顧問官 徳川家家政相談人 真野とも表記
真野文二夫人	10.10	
馬淵	12.27	
丸山 丈作	03.02	元東京府立第六高等女学校長
丸山 鶴吉	01.21 02.06 02.20 02.21 02.22 02.24 02.25 03.01 03.25 04.10 05.01 05.03 05.15 05.19 05.26 06.12 06.20 06.25 07.23 07.28 11.08 12.10	貴族院議員（勅）同成会
丸山 秀夫	02.22 03.20	丸山方作息子
丸山 方作	01.28 02.01 02.02 02.07 02.08 02.09 02.14 02.17 02.22 02.23 02.26 02.27 02.28 03.01 03.04 03.05 03.06 03.07 03.10 03.11 03.14 03.16 03.17 03.18 03.20 03.21 03.25 03.26 03.27 03.28 03.30 04.01 04.02 04.03 04.06 04.07 04.08 04.09 04.10 04.11 04.12 04.16 04.17 04.18 04.19 04.22 04.27 04.28 04.29 05.02 05.03 05.26 05.27 05.29 05.31 06.10 06.17 06.27 07.06 07.12 07.13 07.16 07.17 07.19 07.31 08.06 08.11 08.13 08.25 08.30 08.31 09.01 09.02 09.04 09.05 09.06 09.13 09.18 09.20 09.28 10.01 10.04 10.05 10.07 10.10 10.16 10.18 10.24 10.28 10.30 11.05 11.06 11.07 11.11 11.14 11.16 11.22 11.24 11.26 11.30 12.01 12.03 12.04 12.13 12.15 12.16 12.20 12.29 12.31	農業技術の普及指導、さつまいも増産技術 大日本報徳社農事講師
三浦 篤	05.26	宮内省帝室林野局長官
三浦 一雄	09.29 10.07 10.09 10.25 11.26 11.27 12.09 12.12	農林次官（41.6.11～）
三浦 義男	04.09	宮内省大臣官房秘書課属
三浦 安藏	01.06 02.18 02.25 03.27 08.02 08.03 11.08	同成会事務員
三上	12.08	三七会
三島 忠敏	07.06	故陸軍中尉

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
三島 徳七	03.31	東京帝大冶金学教授
三島 なほ	05.20 05.21 05.23 05.24 05.26 05.27 06.01 06.02 06.03 06.07 06.25 06.26 06.28 07.01 07.04 07.05 07.12 07.13 07.18 08.03 08.04 08.15 08.18 08.23 08.24 08.25 09.09 10.11 11.14	弥八の娘 三島甫妻 直子
三島 甫	01.14 03.11 03.24 04.13 04.14 05.19 05.20 05.23 05.24 06.03 06.04 07.01 07.04 07.18 07.24 08.03 08.04 08.05 09.07 10.03 10.31	河井直子と結婚
三島 一	08.03	
三島一夫人	08.03	
三島 実	01.14 03.11 05.18 05.19 05.20 05.21 05.23 06.02 06.04 06.07 07.01 07.10 07.11 07.12 07.31	三島甫父
三島甫母	05.18 05.19 05.20 05.23 07.01	
三島 淳三郎	05.18 05.19 05.20 07.01 08.03 08.18 09.07 09.08 09.09	三島甫弟
三島 那美子	05.18 05.19 05.20 07.01	三島甫妹
三島 尚枝子	05.20 07.01	三島甫叔母
水谷 熊吉	03.16 07.13 07.19 08.12 09.19 09.20 09.27 11.06	報徳社講師
水谷 重一	09.27	神奈川県経済部農政課
水野 高之助	05.20	新大阪ホテル常務
水野 錬太郎	01.18 01.21 04.18 06.09 06.10 07.04 07.09	貴族院議員（勅）交友倶楽部
溝口 正	04.16	
味知 瀬平	06.28	
三井	01.29	
三井 清一郎	08.13	貴族院議員（勅）研究会
光永 星郎	02.11 07.02 07.03 07.05 07.08 07.09 07.13 07.17 07.18 08.17 08.18 11.23 11.24	日本広告・日本電報通信社創業者
三橋 四郎次	01.25 02.06 03.22 03.25 04.20 04.25 05.28 06.05 06.09 07.05 07.06 07.07 07.09 07.11 07.12 07.14 08.16 08.23 08.31 09.04 12.28	貴族院議員（多）同成会
三橋四郎次夫人	12.28	
三矢 宮松	10.01 10.09 10.15 10.28 11.30 12.23	中央林業協力会顧問 元宮内省帝室林野 局長官
南	06.23	弘（元貴族院議員）カ
水谷川 忠麿	02.04 11.19	貴族院議員（男）公正会
三宅川	07.04	水谷川忠麿の誤記カ
宮川 香山	12.25	陶芸家
三宅 正太郎	01.31	司法次官 貴族院議員（勅）
三宅 福馬	02.08 02.23 06.16	満洲国国务院法制局長
宮崎 堯	06.08 06.09	清風会幹事
宮里 源之丞	10.24 10.26	
宮澤 崑	07.14 08.09	静岡県磐田郡光明村長
宮田 綱男	12.02 12.03	農林省東京営林局植田町営林署長
宮田 光雄	02.04 11.19	貴族院議員（勅）研究会
宮原 武雄	10.13	泰室事務局長
宮本 九平	01.30	
宮脇 梅吉	09.12	元内務官僚
宮脇 長吉	07.14	衆議院議員
三輪修三夫人	05.27	
武藤 章	01.23	陸軍省軍務局長
武藤 弘	04.19	西南郷村 東京工大機械科学生
村井 八郎	09.27	神奈川県川崎市長
村井	12.08	三七会
村尾 圭介	11.21	医学博士 遠州学友会評議員

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
村尾 千之	11.10	医学博士 遠州学友会
村尾 里つ	11.10	村尾千之妻
村垣 一夫	05.07	間組
村上徳太郎	05.25	
村上	10.15	中央林業協力会
村瀬 直養	01.23 03.12 07.07 07.18 10.17 10.24 12.10 12.11	第2・3次近衛内閣法制局長官 1941年10 月より貴族院議員（勅）研究会
村田 五郎	09.17 09.22	内務省警保局書記官
村田 省蔵	01.23 03.12 07.18	第2・3次近衛内閣逋相兼鉄相
村田 武	03.29 07.13	会計検査院
村松 敬太郎	08.22	
村松 孝一	08.18 12.25	
室田 有	02.09 02.28 03.22	静岡静陵高女校長(静岡英和女学院)
持木 熊男	03.05	世田谷警察署情報部係
桃井 直美	09.04 09.13	神奈川県学務部長
森 肆郎	03.04 07.03 07.09	農林省農政局農産課長
森 隆	06.15 06.16	森竹之助息子
森 竹之助	06.15	清風会
森	11.28	後藤文夫秘書
森口 淳三	03.21 03.23 03.24 08.10 10.08 10.10 10.18 10.29 10.31 11.07	静岡県引佐郡気賀町 篤農家
森口淳三父	08.10	
森下	03.19	静岡英和女学校基金募集員
森島 貞一	06.23	日立製作所常務
森村 開作	04.12	森村組社長 男爵
諸戸 北郎	06.04	東大名誉教授 林学博士
八木 四郎	01.04 02.16 07.20	
八木 雅夫	04.03 06.23 08.07 11.17	
八木雅夫夫人	04.02 04.03	
八木雅夫女兒	04.02 04.03	
八木夫人	05.20	芦屋 美容師
八代 五郎造	02.24 06.23	貴族院議員（男）公正会
安河内 次雄	03.02	東京府立第六高等女学校教頭
矢田部 昌子	02.15 02.16 02.17 02.21 02.26 03.01 03.03 03.06 05.15 05.16 08.03 08.04 08.06 08.07 08.13	要の姪 矢田部盛枝妻
矢田部 盛枝	01.13 01.16 06.17 10.16 10.19 12.04	二荒山神社宮司
矢内原	08.04	
柳川 平助	07.18	第2次近衛内閣法相 大政翼賛会副総裁 第3次近衛内閣国務相
柳澤 保承	02.24 06.23 06.24	貴族院議員（伯）研究会
柳原 博光	01.29	商工省燃料局第二部長 海軍少将
矢野 征紀	06.05	香港総領事
矢野 仁一	07.03 07.05 07.08 07.13 07.17 08.17 09.02 09.03	京都帝大名誉教授
矢野仁一夫人	07.05 07.09 07.18	
矢吹 省三	01.26 03.12 04.13 09.30 10.01 10.04 10.16	貴族院議員（男）公正会
矢部	10.22	中央林業協力会
山内 しほ子	04.17	山内氏長女 大竹妻
山内 倭文夫	08.26 08.27 08.29 12.02 12.04	農林省東京営林局経営部長
山内	12.08	三七会
山浦 弥栄子	11.13	寛弘毅妻
山岡 萬之助	04.18	貴族院議員（勅）研究会
山縣 三郎	01.16 01.17 06.06 06.10	栃木県知事
山川 端夫	06.10 08.31	貴族院議員（勅）研究会
山岸 義夫	01.30	

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
山口 忠五郎	01.25	衆議院議員 静岡県志太郡藤枝町
山口 安憲	09.12 09.13 09.23	元内務官僚 社会福祉関係
山口 立	10.15 10.16 10.22 10.23 11.25 11.27 12.09	農林省山林局監理課長
山崎 寛次郎	01.03 02.20 03.26 04.26 06.04 06.14	静岡育英会副会長 元東京帝大教授
山崎 金五郎	06.16 06.17 06.21 06.26 06.30 07.21 08.02 10.14 10.16 10.18	下谷住
山崎 健太郎	03.26 04.26 07.08	資産家 地主 山崎寛次郎親族
山崎 昇二郎	01.03 01.24 05.03 05.25 06.26 08.04 09.29 11.21 11.24 11.27 12.20	弥八弟 河井家より山崎家養子 興亜院 嘱託 華中棉産改進黨
山崎 赳	8.02	山崎はま家族
山崎 常磐	11.02 11.03	井伊谷宮宮司 『遠州報国隊略歴』編
山崎 はま	03.25 04.08 04.10 05.05 08.02 10.19 12.30	山崎昇二郎妻 はま子
山崎 正義	06.08	静岡県浜松市元助役
山崎 好知	03.23 07.14	大日本報徳社関係
山下 寅雄	06.10	京都帝大法卒
山下 保治	10.10	静岡県浜名郡笠井町
山下保治夫人	10.10	
山田 惇元	02.12	静岡県小笠郡桜木村家代
山田 櫻	12.04	陸軍技術本部第八部陸軍技師
山田 平四郎	02.03	藤相鉄道
山田 まさ	11.29	
山田 ゆか子	05.22	
山田	11.02 11.24 11.29 12.20	静岡県小笠郡桜木村家代
山根 健男	06.23	貴族院議員（男）公正会
山本 秋廣	06.23	日立製作所副工場長
山本 狷吉	09.07 09.12 09.26	東京農業教育専門学校教授
山本 忠助	02.20	
山本 徹	06.05	静岡県磐田郡袋井町
山本 福吉	02.17 03.21 08.11 11.06	南郷村明朗会員
山本 幸雄	01.18 01.28 01.30 02.02 06.25	静岡県立掛川中学校長
山本 要吉	04.19	陸軍衛生伍長
山本 良吉	04.29	武蔵高校校長
山本 和三郎	04.06	東遠明朗会評議員
山本	04.06 04.28	東遠明朗会役員 静岡県榛原郡金谷町
山本	12.08	三七会
湯浅 倉平	01.26 11.21 11.24 11.25 11.26 12.24	元内大臣
湯浅倉平夫人	01.28	
結城 安次	02.24 03.22	貴族院議員（多）研究会 大井川電力会社
湯河 元威	06.26 11.08 12.29	農林省食糧管理局長官
柚木 久太	07.24 08.03	洋画家
柚木久太夫人	07.24	
横田	03.23	大日本報徳社
吉岡 八二郎	03.17 03.23 04.06 07.14	東遠明朗会評議員
吉川 哲	10.22	林学士
芳澤 謙吉	06.20 07.28 09.19 10.08	特命全權大使（仏印） 貴族院議員（勅） 交友倶楽部
吉島 六一郎	02.08	宮内省皇族附高松宮附武官
吉田 俊三	05.07	日発常盤発電所副所長ㇿ
吉田 善佐	07.04	
吉田 龍雄	04.21 04.22 04.27	富山県学務部長
吉田 増蔵	12.24	漢学者 昭和元号考案
吉田 雪子	10.08 10.09	吉田茂妻 牧野伸顕娘
米津 政賢	08.22	貴族院議員（子）研究会
米田 富士雄	06.27	逓信省管船局輸送課長

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
米山 梅吉	01.04 01.05 01.13 01.18 02.24 03.01 03.25 06.25 07.23 08.31 09.12 09.19 09.20 09.23 10.20 11.08 11.10 11.12 11.17 11.20 12.10 12.22	貴族院議員（勅）同成会 静岡育英会監 事
米山 要助	09.05 09.15 09.18	東京府総務部振興課主事 「要吉」と誤 記した場合あり
若槻 礼次郎	06.03 06.05 06.10	貴族院議員（勅）男爵 同和会
若林 資藏	11.29	貴族院議員（勅）研究会
鷲山 恭平	01.06 01.08 01.13 02.01 02.17 03.10 03.16 03.17 03.22 03.23 03.24 04.04 04.06 04.07 04.19 04.21 04.22 04.23 05.17 07.07 07.14 07.28 08.14 10.06 12.20	大日本報徳社常務理事 顧問(04.06～)
和田 栄太郎	11.08	鴻巣稲作主任技師
和田 謙三	01.19 01.20 03.08 04.10 06.15 07.03 07.21 08.21 09.01 10.01 10.09	池之上小学校会顧問会副会長
渡瀬	11.11	
渡辺 光平	02.20	市川紀元二中尉伝刊行会主事
渡辺 昇吾	11.10	
渡辺 昇三郎	05.06	宮内省帝室林野局木曾支局業務課長
渡辺 史郎	06.01 06.26	内閣情報部
渡辺史郎夫人	06.01 12.07	
渡辺 善太郎	09.04	
渡辺 孝雄	04.23	農会技手
渡辺 恒治	06.26	
渡辺 豊日子	11.11	朝鮮森林開発会社々長
渡辺 八太郎	06.26 12.02	
渡辺 平治郎	04.20 04.21 05.02 07.16	新潟県振興課嘱託
渡辺 汀	01.29	貴族院議員（男）公正会
渡辺 守三	06.26	
渡辺 亘	03.08	宮中顧問 池之上小学校会顧問
渡部 信	03.09 06.10	宮内省東京帝室博物館総長
渡部 美代治	08.04	
名前のみ		
えい	07.01	東京宅の河井家女中
貞子	07.28 08.09 10.06	東京宅の河井家女中 「てい」「てい子」 とも表記
西欧人		
Churchill, Winston	08.15	英国首相
Ford	10.08 10.09	フォード夫人
Ford, A. H.	08.18	
Malthus, Thomas R.	02.13	『人口論』の著者
Maurois, André	06.12	『仏蘭西敗れたり』の著者
Roosevelt, Franklin D.	08.15 11.18	第32代アメリカ合衆国大統領
Willcox, O. W.	02.13	
皇族関係		
大正天皇	12.08 12.25	
昭和天皇裕仁	04.03 04.25 04.29 05.30 07.17 09.21 10.17 10.18 11.16 12.08 12.10 12.18 12.25 12.26	
香淳皇后	03.06 03.30 04.29 07.17 12.25	
貞明皇太后節子	03.30 04.03 04.29 06.25 10.17 12.25	
継宮明仁	12.23	

氏 名	記 載 月 日 (mm.dd.)	弥八との関係、職、肩書きなど
朝香宮 鳩彦	12.25	
北白川宮 祥子	11.21	
北白川宮 多恵子	11.21	
北白川宮 房子	11.21 12.25	
竹田宮 恒正	12.25	
竹田宮 昌子	12.25	
秩父宮 雍仁	03.14 03.25 03.28	
秩父宮 勢津子	03.14 03.28	
高松宮 宣仁	02.08 04.03 04.29	
三笠宮 崇仁	03.30 04.03 10.03 10.22 12.25	
三笠宮 百合子	10.03 10.22 12.25	
閑院宮 載仁	04.03 12.25	
閑院宮 智恵子	12.25	
閑院宮 春仁	04.03	
常陸宮 正仁	11.28	
賀陽宮 恒憲	11.27	
賀陽宮 好子	11.26	
久邇宮 邦昭	03.25	
梨本宮 守正	04.03 05.18	
東久邇宮 聡子	12.25	
東久邇宮 稔彦	04.03	
東久邇宮 盛厚	04.03 05.06 12.25	
清宮 貴子	03.02	
順宮 厚子	03.07	
孝宮 和子	09.30	
照宮 成子	05.06 05.07 12.06	
久宮 祐子	03.08	
<b>朝鮮王室</b>		
李 垠	12.25	
李 方子	12.25	
李 鍵	12.25	
李 錫	04.03	

河井弥八日記 河井弥八手帳 一九四一年

2018年8月31日 第一刷発行

編集・解題 前山亮吉

森山 優

校訂 河井重蔵・弥八研究会

発行者 静岡県立大学大学院国際関係学研究科

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1

本ワーキングペーパーにおける議論は、研究会の見解であり、大学を代表するものではない。

## Working Paper Series

Graduate School of International Relations  
University of Shizuoka

- 01-01 Hirohisa Kohama, *Misunderstandings on Japan's Economic Development: Japan's Experience and its Lessons for Transition*, September 2001
- 01-02 Yasuyuki KOKUBO, *The EU Enlargement: Its Implications for Europe and Asia*, September 2001
- 01-03 小浜裕久「日本の ODA—その歴史的展開」(*Japan's ODA: A Historical Overview*) 2001 年 11 月
- 01-04 小谷野俊夫「グリーンズパン議長の金融政策」(*An Evaluation of US Monetary Policy by Chairman Greenspan*) 2002年3月
- 02-01 Masaharu Hishida, *China and the WTO: The Effect on China's Sociopolitical Stability*, Summer 2002
- 03-01 梅本哲也「『核兵器による秩序』と『RMA による秩序』」2003 年 7 月
- 03-02 小浜裕久「グローバリゼーションと南北格差」2003 年 9 月
- 03-03 長谷川純一・小浜裕久「ODA 改革—我が国援助政策の転換とその経済学的意義」(*Japan's ODA: Its Policy Change and Economic Implications*) 2004 年 2 月
- 05-01 小浜裕久「援助と政策一貫性—日本の国際貢献を考える」2005 年 10 月



## Working Paper Series

Graduate School of International Relations  
University of Shizuoka

- 07-01 小浜裕久「アジア通貨危機と IMF・日本」2007 年 10 月
- 09-01 小浜裕久「世界経済危機と資本主義の将来」2009 年 9 月
- 10-01 飯野光浩・小浜裕久「アジア危機、世界経済危機とグローバル・インバランス」2010 年 11 月
- 11-01 小浜裕久「日本の TPP 参加と農業改革・産業構造調整」2011 年 10 月
- 12-01 梅本哲也「米中関係と大量破壊兵器不拡散」2013 年 2 月
- 14-01 前山亮吉・森山優（編）河井重蔵・弥八研究会（校訂）『『河井弥八日記』  
『河井弥八手帳』一九五二年』2014 年 9 月
- 16-01 前山亮吉・森山優（編）河井重蔵・弥八研究会（校訂）『『河井弥八日記』  
一九四〇年』2016 年 9 月
- 18-01 前山亮吉・森山優（編）河井重蔵・弥八研究会（校訂）『『河井弥八日記』  
一九四一年』2018 年 9 月